

# 令和7年度 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

2\_02-1\_別添1\_改修工事設計図(差替え一式)  
【差替え内容】  
S-01～S-11構造図追加  
A-12 追記(赤枠部分)  
A-71 建具表SD姿図の不要な点線削除(赤枠部分)

図面リスト

0	A - 0	図面リスト	41	A - 41	C棟3階 宿泊室 平面詳細図(改修後)	1/50	82	A - 82	E L V改修図(1)	1/20	
1	A - 1	改修工事特記仕様書(その1)	42	A - 42	B棟2階 宿泊室(A) 平面詳細図(改修図)	1/50	83	A - 83	E L V改修図(2)	1/20	
2	A - 2	改修工事特記仕様書(その2)	43	A - 43	A棟2階 宿泊室(B) 平面詳細図(改修図)	1/50	84	A - 84	E L V改修図(3)	1/20	
3	A - 3	改修工事特記仕様書(その3)	44	A - 44	B棟3階 宿泊室(A) 平面詳細図(改修図)	1/50	85	A - 85	改修仕様リスト	1/30	
4	A - 4	改修工事特記仕様書(その4)	45	A - 45	A棟3階 宿泊室(B) 平面詳細図(改修図)	1/50	86	A - 86	【防水改修】屋根伏図(改修前)	1/200	
5	A - 5	改修工事特記仕様書(その5)	46	A - 46	展開図(1) B棟1階オープンワークショップスペース廻り(改修前)	1/50	87	A - 87	【防水改修】屋根伏図(改修後)	1/200	
6	A - 6	改修工事特記仕様書(その6)	47	A - 47	展開図(2) B棟1階オープンワークショップスペース廻り(改修後)	1/50	88	A - 88	【防水改修】2階平面図(改修図)	1/200	
7	A - 7	改修工事特記仕様書(その7)	48	A - 48	展開図(3) B棟1階ワークショップスペース廻り(改修図)	1/50	89	A - 89	【防水改修】3階平面図(改修図)	1/200	
8	A - 8	改修工事特記仕様書(その8)	49	A - 49	展開図(4) B棟1階サポートオフィス廻り(改修図)	1/50	90	A - 90	【防水改修】A棟B棟C棟 断面図(改修図)	1/200	
9	A - 9	改修工事特記仕様書(その9)	50	A - 50	展開図(5) C棟1階管理人廻り(改修図)	1/50	91	A - 91	【外構改修】1階平面図(改修図)	1/200	
10	A - 10	工事区分表・材料、機材等の品質及び性能	51	A - 51	展開図(6) A棟1階キッズルーム(改修前)	1/50	92	A - 92	【外構改修】B棟テラス回廊詳細図1(改修図)	1/50	
11	A - 11	建築材料等品質性能表(改修)(その1)	52	A - 52	展開図(7) A棟1階 宿泊室A-1-(HC)(改修後)	1/50	93	A - 93	【外構改修】B棟テラス回廊詳細図2(改修図)	1/50	
12	A - 12	建築材料等品質性能表(改修)(その2)	53	A - 53	展開図(8) A棟1階キッズルーム(改修前)	1/50	94	A - 94	【外構改修】B棟車寄せ詳細図(改修図)	1/50	
13	A - 13	付近見取図、配置図	1/100	54	A - 54	展開図(9) A棟1階 宿泊室1-(B2)(B2C)(改修後)	1/50	95	A - 95	【サイン改修】1階平面図(改修図)	1/200
14	A - 14	仕上表1	55	A - 55	展開図(10) A棟1階 キッズルーム(改修前)	1/50	96	A - 96	【サイン改修】2階平面図(改修図)	1/200	
15	A - 15	仕上表2	56	A - 56	展開図(11) A棟1階 宿泊室(D)-1(改修後)	1/50	97	A - 97	【サイン改修】3階平面図(改修図)	1/200	
16	A - 16	仕上表3	57	A - 57	展開図(12) C棟2階 ラウンジ(改修前)	1/50	98	A - 98	【サイン改修】屋外平面図(改修図)	1/200	
17	A - 17	仕上表4	58	A - 58	展開図(13) C棟2階 宿泊室(改修後)	1/50					
18	A - 18	1階平面図(改修前)	1/200	59	A - 59	展開図(14) C棟3階 ちゅらホール(改修前)	1/50				
19	A - 19	2階平面図(改修前)	1/200	60	A - 60	展開図(15) C棟3階 宿泊室(改修後)	1/50				
20	A - 20	3階平面図(改修前)	1/200	61	A - 61	1階天井伏図(改修前)	1/200	99	S - 01	A棟 基礎伏図(既存・改修)	1/100
21	A - 21	1階平面図(改修後)	1/200	62	A - 62	1階天井伏図(改修後)	1/200	100	S - 02	A棟 Y0-1,600通り増設壁詳細図	1/30
22	A - 22	2階平面図(改修後)	1/200	63	A - 63	2階天井伏図(改修前)(改修後)	1/200	101	S - 03	A棟 Y1通りコンクリート壁増設詳細図	1/30
23	A - 23	3階平面図(改修後)	1/200	64	A - 64	3階天井伏図(改修前)(改修後)	1/200	102	S - 04	A棟 X5通り増設袖壁詳細図	1/30
24	A - 24	立面図(改修前)	1/200	65	A - 65	1階建具キープラン(改修前)(改修後)	1/200	103	S - 05	A棟 Y1+1,600通り増設壁詳細図	1/30
25	A - 25	立面図(改修後)	1/200	66	A - 66	2階建具キープラン(改修前)(改修後)	1/200	104	S - 06	C棟 3階柱壁・R階梁床伏図(既存・改修) X24通り軸組図(既存・改修)	1/100
26	A - 26	A棟 断面図(改修前)(改修後)	1/100	67	A - 67	3階建具キープラン(改修前)(改修後)	1/200	105	S - 07	C棟 X24通り開口閉塞詳細図	1/30
27	A - 27	B棟 断面図(改修前)(改修後)	1/100	68	A - 68	建具表(1)	1/50	106	S - 08	C棟 X24通り補強詳細図	1/30
28	A - 28	C棟 断面図(改修前)(改修後)	1/100	69	A - 69	建具表(2)	1/50	107	S - 09	B棟 ポンプ室改修床スラブ配筋詳細図	1/30
29	A - 29	A棟 断面詳細図(改修前)(改修後)	1/50	70	A - 70	建具表(3)	1/50	108	S - 10	C棟 2,3階スラブ開口閉塞(既存・改修)	1/10,30,50
30	A - 30	B棟 断面詳細図(改修前)	1/50	71	A - 71	建具表(4)	1/50	109	S - 11	デッキ合成分スラブ設計・施工標準仕様書(1)	—
31	A - 31	B棟 断面詳細図(改修後)	1/50	72	A - 72	建具表(5)	1/50				
32	A - 32	C棟 断面詳細図(改修前)(改修後)	1/50	73	A - 73	建具表(6)	1/50				
33	A - 33	A棟1階 キッズルーム平面詳細図(改修前)	1/50	74	A - 74	建具表(7)	1/50	110	参考1	総合仮設計画図	1/200
34	A - 34	A棟1階 HC室平面詳細図(改修後)	1/50	75	A - 75	建具表(8)	1/50	111	参考2	概略工事工程表	—
35	A - 35	B棟1階 コンビニ廻り平面詳細図(改修前)	1/50	76	A - 76	建具表(9)	1/50				
36	A - 36	B棟1階 コンビニ廻り平面詳細図(改修後)	1/50	77	A - 77	建具表(10),法チェック表	1/50				
37	A - 37	C棟1階 セミナー室廻り平面詳細図(改修図)	1/50	78	A - 78	部分詳細図(1)	1/5,10,30				
38	A - 38	C棟2階 ラウンジ平面詳細図(改修前)	1/50	79	A - 79	部分詳細図(2)	1/5,10,20,30				
39	A - 39	C棟2階 宿泊室 平面詳細図(改修後)	1/50	80	A - 80	階段詳細図1(改修図)	1/50				
40	A - 40	C棟3階 ちゅらホール平面詳細図(改修前)	1/50	81	A - 81	階段詳細図1(改修図)	1/50				



3 防水改修工事

● 共通事項

● 降雨等に対する養生方法 (とい共)

● 既存防水の処理 [3.1.4][3.2.3、4、6]

● 既存下地の処理 [3.2.6]

○ アスファルト防水 [3.3.2~5]

施工標識  
● 監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける

改修用ドレン(POAS、POAS1、POD、POD1、POS、POS1、POXの場合)  
取付方法等は、ルーフィング 類の製造所の仕様による

● 改修標準仕様書[3.1.3](5)(7)~(9)による

○

既存保護層の撤去  
○ 行う (範囲 ○ 図示 ○ )  
● 行わない

既存防水層の撤去  
○ 行う (範囲 ● 図示 ○ )  
● 行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去  
● 行う ( ○ M4AS ○ M4AS1 ○ M4C ○ M4D1 ● L4X )  
○ 行わない

● 既存下地の処理は、改修標準仕様書3.2.6(2)から(6)までによる。

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等  
○ 図示 ○

POS工法及びPOSI工法(機械式固定工法)の既存保護層を撤去し、防水を非撤去とした立上り部等の処理  
○ 改修標準仕様書[3.2.6](4)(7)(g)①~③による  
○ 補修 (

設備機器架台、配管受部、バケツ、貫通パイプ廻り、手すり・丸環の取付部、塔屋出入口等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理  
● 監督職員と協議する  
○ 図示

新設防水層の種別(既存:屋根保護防水)

工法	種別	施工箇所	絶縁用シート
○ P2A	○ A-1 ○ A-3 ○ A-2		○ 8'リシフェンフォーム断熱材0.15mm以上
○ P1B	○ B-1 ○ B-3 ○ B-2		○
○ P2A1	○ A1-1 ○ A1-3 ○ A1-2		○ フライトン90x70g/mf程度
○ P1B1	○ B1-1 ○ B1-3		○
○ T1B1	○ B1-2		○

断熱材の種別及び厚さ  
(種類) JIS A 9521に基づく押出法\*リシフェンフォーム断熱材3種bA(スチ層付き)  
(厚さ) ○ 25mm ○ 50mm

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
○ 改修標準仕様書[表3.3.3]から[表3.3.9]による  
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	○ R種	mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
○ 改修標準仕様書[表3.3.3]から[表3.3.9]による  
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	○ R種	mm以上

平場の保護コンクリートの厚さ  
こて仕上げ ○ 水下80mm以上 ○  
床タイル張り ○ 水下60mm以上 ○

立上り部の保護方法  
○ 乾式保護材  
窯業系\*砂I類 厚さ ( ) mm 幅 ( ) mm  
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による  
○ れんが押え ( ○ JIS R 1250 ○ )  
○ コンクリート押え  
○ もみ押し(屋内)

3 防水改修工事(続き)

○ 改質アスファルトシート防水 [3.4.2、3]

新設防水層の種別(既存:屋根露出防水)

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
○ M4C	○ C-1 ○ C-3 ○ C-2 ○ C-4			
○ M3D	○ D-1 ○ D-3			
○ POD	○ D-2 ○ D-4			
○ POD1	○ D1-1		改修標準仕様書[3.3.2](9)	
○ M3D1			(種類) ○	
○ M4D1	○ D1-2		(厚さ) ○ 25mm	

仕上げ塗料  
種類 ○ アスファルトルーフィング 類の製造所の仕様 ○  
使用量 ○ アスファルトルーフィング 類の製造所の仕様 ○

高日射反射率防水の適用図 ○ 有 ○ 無

M3D、POD、POD1、M3D1、M4D1における脱気装置及び改修用ドレン  
脱気装置 ○ 設ける ○ 設けない  
改修用ドレン ○ 設ける ○ 設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
○ 改修標準仕様書[表3.3.3]から[表3.3.9]による  
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	○ R種	mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
○ 改修標準仕様書[表3.3.3]から[表3.3.9]による  
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	○ R種	mm以上

絶縁断熱工法のルーフィング廻り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置  
○ 図示 ○

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ○ アスファルトルーフィング 類の製造所の指定  
○  
設置数量 ○ アスファルトルーフィング 類の製造所の指定  
○ (個)

防水層の種別(屋内防水)

工法	種別	施工箇所	保護層
○ P1E	○ E-1		○ 設ける ( ○ 図示 ○ )
○ P2E	○ E-2		○ 設けない

○ E-1の工程3を行う部位 ○ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位  
○

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
○ 7mm鋼製 L-30×15×2.0(mm)程度 ○

屋根排水溝 ○ 図示 ○

新設防水層の種別(既存:屋根露出防水)

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
○ M4AS	○ AS-T1 ○ AS-J1			
に準ずる	○ AS-T2			
○ M3AS	○ AS-T3 ○ AS-J1 ○ AS-T4 ○ AS-J3			
○ POAS	○ AS-T3 ○ AS-J1 ○ AS-T4 ○ AS-J3			
○ M3AS1	○ AS1-T1		改修標準仕様書[3.3.2](9)	
○ M4AS1	○ AS1-J1		(種類) ○	
○ POAS1			(厚さ) ○ 25mm	

仕上げ塗料  
種類 ○ アスファルトルーフィング 類の製造所の仕様 ○  
使用量 ○ アスファルトルーフィング 類の製造所の仕様 ○

高日射反射率防水の適用図 ○ 有 ○ 無

M4AS、M3AS、POAS、M3AS1、M4AS1、POAS1における脱気装置及び改修用ドレン  
脱気装置 ○ 設ける ○ 設けない  
改修用ドレン ○ 設ける ○ 設けない

M3AS1、M4AS1、POAS1における防湿層 ○ 設ける ○ 設けない

3 防水改修工事(続き)

○ 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2~4][表3.5.1~3]

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
○ 改修標準仕様書[表3.4.1]から[表3.4.3]による  
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	○ R種	mm以上

粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
○ 改修標準仕様書[表3.4.1]から[表3.4.3]による  
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	○ R種	mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
○ 改修標準仕様書[表3.4.1]から[表3.4.3]による  
○ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分	材料構成による区分	厚さ
	○ R種	mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
○ 7mm鋼製 L-30×15×2.0(mm)程度 ○

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ○ 改質アスファルトルーフィング 類の製造所の指定  
○  
設置数量 ○ 改質アスファルトルーフィング 類の製造所の指定  
○ (個)

新規防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
○ POS	○ S-F1 ○ S-M1			
○ S4S	○ S-F2 ○ S-M2 ○ S-M3			
○ S3S	○ S-F1 ○ S-F2			
○ M4S	○ S-M1 ○ S-M3 ○ S-M2			
○ POS1	○ S1-F1		改修標準仕様書[3.3.2](3)(4)(b)	
○ S3S1	○ S1-F2		(種類) ○	
○ S4S1			(厚さ) ○ 25mm ○ 50mm	
○ M4S1	○ S1-M1 ○ S1-M2		(種類) ○	
			(厚さ) ○ 25mm ○ 50mm	

仕上げ塗料  
種類 ○ アスファルトルーフィング 類の製造所の仕様 ○  
使用量 ○ アスファルトルーフィング 類の製造所の仕様 ○

高日射反射率防水の適用図 ○ 有 ○ 無

POS、S4S、S3S、M4S、POS1、S3S1、S4S1、M4S1における脱気装置  
○ 設ける ○ 設けない

POS、S4S、POS1、S3S1、S4S1、M4S1における改修用ドレン  
○ 設ける ○ 設けない

S1-F1、S1-F2、S1-M1及びS1-M2における防湿用材料  
○ 設置する ○ 設置しない

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ○ 非歩行仕様 ○ 軽歩行仕様

S-M2またはS1-M2の立上り部の工法  
○ 接着工法(立上り面のシート厚さ ○ 1.5mm ○ )  
○ 機械的固定工法

防水層の種別(屋内防水)

種別	種別	施工箇所	保護層	
			平場の保護材張り厚さ	立上り部の保護材張り厚さ
○ P1S	○ S-C1		○	○ 7mm以下

絶縁用シートの材質 ○ 発泡ポリエチレンシート ○

平場の床の床塗りにおける床の目地割及び種類  
目地割 ○ 2m程度 最大目地間隔3m程度 ○  
目地の種類 ○ 押し目地 ○

3 防水改修工事(続き)

● 塗膜防水

● シーリング

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ  
○ 改修標準仕様書[表3.5.1]から[表3.5.3]による  
○ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ  
種類 ○ 厚さ mm以上

固定金具の材質及び寸法形状  
○ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの  
○

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ○ アスファルトルーフィング 類の製造所の指定  
○  
設置数量 ○ アスファルトルーフィング 類の製造所の指定  
○ (個)

接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理  
○ 行う ( ○ 図示 ○ )  
○ 行わない

S-F1、S1-F1の場合のプレキャストコンクリート部材の隅部の増張り  
○ 行う ( ○ 図示 ○ )  
○ 行わない

機械的固定工法の場合の一部のルーフィングシートの張付け  
1章 適用区分による風圧力の ( ○ 1.0 ○ 1.15 ○ 1.3 )  
の風圧力に対応した工法

新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	仕上げ塗料		備考
			種類	使用量	
○ FOX	○ X-1 ○ X-2		○ 主材料の製造所の仕様	○ 主材料の製造所の仕様	
○ SD	● X-1 ● X-2 ○		● 主材料の製造所の仕様	● 主材料の製造所の仕様	

高日射反射率防水の適用図 ○ 有 ● 無

ルン系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ● 主材料の製造所の仕様  
○  
設置数量 ● 主材料の製造所の仕様  
○ (個)

新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	各工程数及び工程の使用量	保護層
○ P1Y	○ Y-2		○ 主材料の製造所の仕様による	○
○ P2Y	○ Y-2		○ 主材料の製造所の仕様による	○

シーリング 改修工法の種類  
○ シーリング 充填工法  
● シーリング 再充填工法  
○ 拡幅シーリング 再充填工法  
○ ブリッジ 工法  
ボンドブレード張り ○ 適用する ○ 適用しない  
エッジング材張り ○ 適用する ○ 適用しない

シーリング材の種類、施工箇所  
下表以外は、改修標準仕様書[表3.7.1]による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
サッシ廻り、玄関扉	MS-2
打掃ぎ目地、ひび割れ誘発目地	PU-2 (ノグリタイプ)

シーリング材の目地寸法  
● 図示  
○

シーリング材の接着性試験  
● 簡易接着性試験 ○ 引張接着性試験

設計者  
株式会社 m3那覇建築事務所  
管理技術者: 川本 雅史  
構造一級建築士: 6037 号  
主任技術者: 本山 治美  
一級建築士: 271307 号

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
改修工事特記仕様書(その2) (A3) S=1/200  
国土交通省 九州地方整備局 宮崎部 令和6年版 <2024.08.30>

2  
A-2

3 防水改修工事（続き）

● とい

● アルミニウム製笠木 [3.9.2.3]

● 常温アクリル塗膜防水

種別	材質	径	施工箇所	備考
たてどい	○ 硬質ポリ塩化ビニル管			
	○ 配管用鋼管			
	○ ステンレス鋼管			SUS304
軒どい	○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (φ75)	φ150		

とい受け金物

材質 ● 改修標準仕様書[表3.8.2]による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)

○ ステンレス製

形状 ○ 市販品 (とい径100以下)

● 25x4.5mm以上 (とい径100を超えるもの)

取付け間隔 ● 改修標準仕様書[表3.8.2]による

○

足金物

材質 ● 改修標準仕様書[表3.8.2]による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)

○

形状 ● 市販品

取付け間隔 ● 改修標準仕様書[表3.8.2]による

○

防露材の単位㎡当り放散量 ● F☆☆☆☆ ○

既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法

○ 図示 ○

鋼管製といの防露巻き ○ 改修標準仕様書[表3.8.4]による

○

ルーフトレの材質種その他

種別	呼び	施工箇所	材質
○ ろく屋根用	○ ねじ込み式	○ 80 ○ 100 ○ 125	
たて形1型	○ ねじ込み式	○ 150	
○ ろく屋根用	○ ねじ込み式	○ 80 ○ 100 ○ 125	
横形1型	○ ねじ込み式	○ 150	
○ ハコ用	○ ねじ込み式	○ 50 ○ 80 ○ 100	
	○ 差し込み式	○ 50 ○ 75 ○ 100	
○ ハコ-中継用	○ ねじ込み式	○ 50 ○ 80 ○ 100	
	○ 差し込み式	○ 50 ○ 75 ○ 100	

たてどい金物の取付け

○ 図示 ○

ルーフトレの取付け

○ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間に樹脂を充填する。

○

種類	本体幅(mm)	板厚(mm)	表面処理	色合等
● オープン形式	○ 押出250形	350	2	○ BA-1 ● 標準色
	○ 押出300形			○ BA-2
	○ 押出350形			● BB-1 ○ 特注色
	○			○ BB-2
●	● 板材折曲げ形	● 180×50	○	● 2.0以上
○ シール形式	○ 板材折曲げ形	○	○	○ 2.0以上

既存笠木等の撤去

● 行う (範囲) ● 図示 ○

○ 行わない

下地補修の工法

○ 図示 ○

板材折曲げ形の笠木の取付方法

○ 図示 ○

棟上避雷導体システム ● 無 ○ 有

笠木の固定金具の工法等

1章 適用区分による風圧力の ( ● 1.0 ○ 1.15 ○ 1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法

田島ルーフィング㈱ アスクールC  
日新工業㈱ キュービックコート  
昭石化㈱ フジマウントコート

4 外壁改修工事

○ ポリマーセメントモルタル [4.2.2]

○ ポリマーセメントスラリー [4.2.2]

○ 既製適合モルタル [4.2.2]

○ 外壁改修数量表

(性能・試験方法) 材料等品質性能表による [4.2.2]

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm)
3以上	3以下	0.50以下	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数: 0.35~0.55 粘調係数: 0.50~1.00

モルタル下地とした工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

● コンクリート打放し仕上げ面

項目	工法	寸法等	単位	種名	
				行方	
ひび割れ部	● 樹脂注入工法	0.2mm以上1.0mm未満	m		
	○ シール工法	0.2mm未満	m		
	○ 珪藻土材充填工法		m		
欠損部改修	○ 充填工法 (● 樹脂モルタル)	100×100×30	箇所		
	○ 露出鉄筋等の処理無し	100×200×30	箇所		
	○ 露出鉄筋等の処理有り	100×300×30	箇所	1	
	○ 充填工法 (● 樹脂モルタル)	100×100×30	箇所		
浮き部改修	○ 樹脂注入工法	100×200×30	箇所		
	○ 樹脂注入工法	100×300×30	箇所		
	○ 樹脂注入工法 (● リン酸モルタル)		箇所		

○ モルタル塗り仕上げ面

項目	工法	寸法等	単位	種名	
				行方	
ひび割れ部	● 樹脂注入工法	0.2mm以上1.0mm未満	m		
	○ シール工法	0.2mm未満	m		
	○ 珪藻土材充填工法		m		
欠損部改修	○ 充填工法 (● 樹脂モルタル)	100×100×30	箇所		
	○ 露出鉄筋等の処理無し	100×200×30	箇所		
	○ 露出鉄筋等の処理有り	100×300×30	箇所		
	○ 充填工法 (● リン酸モルタル)		箇所		
浮き部改修	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	一般部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	指定部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	狭幅部分	m		
ひび割れ部	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	一般部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	指定部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	狭幅部分	m		
欠損部改修	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	一般部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	指定部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	狭幅部分	m		
浮き部改修	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	一般部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	指定部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	狭幅部分	m		

○ 樹脂張り仕上げ面

項目	工法	寸法等	単位	種名	
				行方	
ひび割れ部	● 樹脂注入工法	0.2mm以上1.0mm未満	m		
	○ シール工法	0.2mm未満	m		
	○ 珪藻土材充填工法		m		
欠損部改修	○ 充填工法 (● 樹脂モルタル)	100×100×30	箇所		
	○ 露出鉄筋等の処理無し	100×200×30	箇所		
	○ 露出鉄筋等の処理有り	100×300×30	箇所		
	○ 充填工法 (● リン酸モルタル)		箇所		
浮き部改修	○ 樹脂張り替え工法	㎡			
	○ 樹脂張り替え工法	㎡			
	○ 樹脂張り替え工法	㎡			
ひび割れ部	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	一般部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	指定部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	狭幅部分	m		
欠損部改修	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	一般部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	指定部分	㎡		
	○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	狭幅部分	m		
浮き部改修	○ 樹脂張り替え工法	㎡			
	○ 樹脂張り替え工法	㎡			
	○ 樹脂張り替え工法	㎡			

4 外壁改修工事 (続き)

4-1 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)

● ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.4.5、6、7]

● 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]

○ 既存モルタル塗りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.4.5、6]

○ ひび割れ部改修工法

○ 樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(m <sup>3</sup> /m)
○ 自動式低圧	0.2以上~1.0未満	● 200~300 ○	● 130 ○
○ 手動式● 樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	○ 50~100 ○	○ 40 ○
○ 手動式● 樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	○ 100~200 ○	○ 70 ○
○ 機械式● 樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	○ 150~250 ○	○ 130 ○

● 樹脂注入工法

工法の種類

○ 自動式低圧

○ 手動式● 樹脂注入工法

○ 機械式● 樹脂注入工法

● 低粘度形 ○ 中粘度形

注入状況の確認方法

● コブ抜きを行う ○

抜き取り個数

● 長さ500m毎及びその端数につき1個

○

抜き取り部の補修方法

● 樹脂モルタル又は無収縮モルタル等で埋め戻す ○ 図示

● 珪藻土材充填工法

材質

● シーリング材

充填材料 ● 1成分形又は2成分形● リン酸系

○ 行う ○ 行わない

○ 可とう性● 樹脂

○ シール工法

材質 ○ ハチ状● 樹脂 ○ 可とう性● 樹脂

● 充填工法

材質 ● ● 樹脂モルタル ○ ● 樹脂モルタル

○ 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.7]

○ 既存モルタル塗りの撤去 [4.1.4][4.2.2][4.4.5、6]

○ ひび割れ部改修工法

○ 樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(m <sup>3</sup> /m)
○ 自動式低圧	0.2以上~1.0未満	○ 200~300 ○	○ 130 ○
○ 手動式● 樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	○ 50~100 ○	○ 40 ○
○ 手動式● 樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	○ 100~200 ○	○ 70 ○
○ 機械式● 樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	○ 150~250 ○	○ 130 ○

● 樹脂注入工法

工法の種類

○ 自動式低圧

○ 手動式● 樹脂注入工法

○ 機械式● 樹脂注入工法

○ 低粘度形 ○ 中粘度形

注入状況の確認方法

○ コブ抜きを行う ○

抜き取り個数

○ 長さ500m毎及びその端数につき1個

○

抜き取り部の補修方法

○ 樹脂モルタル又は無収縮モルタル等で埋め戻す ○ 図示

4-2 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁) (続き)

○ 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.9]

○ 浮き部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.10~15]

○ 珪藻土材充填工法

材質

● シーリング材

充填材料 ○ 1成分形又は2成分形● リン酸系

○ 行う ○ 行わない

シーリング材の試験 改修標準仕様書3章 防水改修工事による

○ 可とう性● 樹脂

○ シール工法

材質 ○ ハチ状● 樹脂 ○ 可とう性● 樹脂

● 充填工法

材質 ○ ● 樹脂モルタル ○ ● 樹脂モルタル

○ 樹脂張り替え工法

○ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書[8.2]コンクリート工事による)

○ 既調査材料

既製目地材 使用する (形状 ○ 図示 ○)

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ○ 図示 ○

工法の種類	アカビシの本数		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (m <sup>3</sup> /箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	○ 16 ○ 25	○ 25	—	—	○ 25 ○
○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	○ 13 ○ 20	○ 12 ○ 20	○ 12 ○ 20	○ 20 ○ 25	○ 25 ○
○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	○ 13 ○ 20	○ 12 ○ 20	○ 12 ○ 20	○ 20 ○ 50	○ 50 ○
○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	○ 9 ○ 16	—	—	—	○ 25 ○
○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	○ 9 ○ 16	○ 9 ○ 16	○ 9 ○ 16	○ 16 ○ 25	○ 25 ○
○ アカビシ部分● 樹脂注入工法	○ 1 ○ 16	○ 9 ○ 16	○ 9 ○ 16	○ 16 ○ 50	○ 50 ○
○ 充填工法	—	—	—	—	—
○ 樹脂張り替え工法	—	—	—	—	—

アカビシの材質

○ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全切り加工したもの

○

注入口付アカビシの材質

○ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度

○

注入工法用材料

○ ● 樹脂モルタル

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm)
3以上	3以下	0.50以下	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数: 0.35~0.55 粘調係数: 0.50~1.00

充填工法用材料

○ ● 樹脂モルタル ○ ● 樹脂モルタル ○

樹脂張り替え工法用材料

○ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書[8.2]コンクリート工事による)

○ 既調査材料 ( )

既製目地材

○ 使用する (形状 ○ 図示による ○)

仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の措置

○ 図示による ○

4-3 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）

共通事項

外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）

ひび割れ部改修工法

ひび割れ部の撤去 ○ 外壁ひび割れ全面 ○ 図示の範囲

撤去位置 ○ 下地モルタルまで ○ 張付けモルタルまで ○ タイルのみ

改修箇所

○ 既存タイル張り面 ○ 既存タイル撤去面（○ コンクリート面 ○ モルタル面）

○ 樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (ml/m)
○ 自動式低圧球状樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	○ 200～300	○ 130
○ 手動式球状樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	○ 50～100	○ 40
○ 機械式球状樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	○ 100～200	○ 70
	0.5以上～1.0以下	○ 150～250	○ 130

球状樹脂 ○ 低粘度形 ○ 中粘度形

注入状況の確認方法

○ コブ抜きを行う ○

抜き取り個数

○ 長さ500mm毎及びその端数につき1個 ○

抜き取り部の補修方法

○ 球状樹脂モルタル又は無収縮モルタル等で埋め戻す ○ 図示

○ 珪藻土充填工法

材料

○ シーリング材 充填材料 ○ 1成分形又は2成分形ホリケレン系 ○

シーリング材の上にホリケレンモルタルの充填 ○ 行う ○ 行わない

○ 可とう性球状樹脂

○ タイル部分張替え工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.8]

接着剤の種類 ○ ホリケレンモルタル ○ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコン樹脂系

○ タイル張替え工法

張り替え用材料

○ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコン樹脂系

○ 張り付けモルタル（○ 現場調合材料 ○ 既製調合モルタル） ○

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置

○ 改修標準仕様書[表4.2.2]による ○ 図示

外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験

○ 行う ○ 行わない

○ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り

下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理

○ 目荒し工法（改修標準仕様書[4.4.9] (3)による） ○

タイル張りの工法

○ 外装タイル ○ 密着張り ○ 改良圧着張り

○ 改良積上げ張り ○ エニツタイル ○ マスク張り

○ ゼア'イタイル張り

シーリングは、改修特記仕様書 3章防水改修工事による

○ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り

モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理

○ 目荒し工法（改修標準仕様書[4.4.9] (3)による） ○

シーリング材の種類

打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地

○ ホリケレン系 ○

伸縮調整目地、その他の目地

○ 変成シリコン系 ○

シーリングのその他の事項は、改修特記仕様書 3章防水改修工事による

○ 欠損部改修工法

4-3 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）（続き）

浮き部改修工法

工法の種類	アンカーの本数(本/m)		注入口の箇所数(箇所/m)		注入量(ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
○ アンカー付タイル部分	○ 16	○ 25	—	—	○ 25
球状樹脂注入工法	○ 0	○ 0	—	—	○ 0
○ アンカー付タイル全面	○ 13	○ 20	○ 12	○ 20	○ 25
球状樹脂注入工法	○ 0	○ 0	○ 0	○ 0	○ 0
○ アンカー付タイル全面	○ 13	○ 20	○ 12	○ 20	○ 50
ホリケレンモルタル注入工法	○ 0	○ 0	○ 0	○ 0	○ 0
○ 注入口付アンカー付タイル部分	○ 9	○ 16	—	—	○ 25
球状樹脂注入工法	○ 0	○ 0	—	—	○ 0
○ 注入口付アンカー付タイル全面	○ 9	○ 16	○ 9	○ 16	○ 25
球状樹脂注入工法	○ 0	○ 0	○ 0	○ 0	○ 0
○ 注入口付アンカー付タイル全面	○ 9	○ 16	○ 9	○ 16	○ 50
ホリケレンモルタル注入工法	○ 0	○ 0	○ 0	○ 0	○ 0
○ 注入口付アンカー付タイル部分	○ 0	○ 0	—	—	○ 25
球状樹脂注入工法	—	—	—	—	—
○ タイル張替え工法	—	—	—	—	—
○ タイル張替え工法	—	—	—	—	—

アンカーの材質

○ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mm丸棒で全割切加工したもの ○

注入口付アンカーの材質

○ ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度 ○

○ タイル部分張替え工法

接着剤の種類 ○ ホリケレンモルタル ○ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコン樹脂系

○ タイル張替え工法

張り替え用材料

○ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコン樹脂系

○ 張り付けモルタル（○ 現場調合材料 ○ 既製調合モルタル） ○

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置

○ 改修標準仕様書[表4.2.2]による ○ 図示

外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験

○ 行う ○ 行わない

○ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り

下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理

○ 目荒し工法（改修標準仕様書[4.4.9] (3)による） ○

タイル張りの工法

○ 外装タイル ○ 密着張り ○ 改良圧着張り

○ 改良積上げ張り ○ エニツタイル ○ マスク張り

○ ゼア'イタイル張り

シーリングは、改修特記仕様書 3章防水改修工事による

○ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り

モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理

○ 目荒し工法（改修標準仕様書[4.4.9] (3)による） ○

シーリング材の種類

打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地

○ ホリケレン系 ○

伸縮調整目地、その他の目地

○ 変成シリコン系 ○

シーリングのその他の事項は、改修特記仕様書 3章防水改修工事による

○ 目地改修工法

4-3 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）（続き）

○ タイルの形状、寸法等 [4.2.2]

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり	役物	色	再生材料の適用	耐凍害性	耐凍り性	備考
			I類	II類	III類							
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ○ 行う ○ 行わない

見本焼き ○ 行う ○ 行わない

4-4 外壁改修工事（塗り仕上げ外壁）

● 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 [4.5.4]

工法	処理範囲	下地の処理	加圧力
○ 削ぎ工法	○ 既存仕上面全体 ○ 図示	○ 行う ○	—
● 高圧水洗工法	● 既存仕上面全体 ○ 図示	● 行う ○	● 30～100kPa程度 ○ 100～250kPa程度
○ 塗膜はく離剤工法	○ 既存仕上面全体 ○ 図示	○ 行う ○	—
○ 水洗い工法	○ 上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ○ 図示	○ 行う ○	○ 10～30kPa程度 ○

● 下地調整塗材 [4.5.2]

○ C-1 ● C-2 ○ CM-2

○ ホリケレンモルタル

● 仕上塗材仕上げ [4.1.5][4.5.2][表4.5.1]

建物内部に使用する塗料の揮発性有機化合物放散量

● F☆☆☆☆ ○

新規仕上塗材の種類

○ 薄付け仕上げ塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
○			○ 適用する	○
○			○ 適用する	○

○ 厚付け仕上げ塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗材	防火材料
○			○ 適用する	○ 適用する	○
○			○ 適用する	○ 適用する	○

○ 複層仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐凍性	防火材料
○ 防水型複層塗材 R E	ゆず肌	ローラー	溶媒 ○ 水系 ○ 樹脂 ○ アクリル系 ○	○ 耐凍型 3種 ○ 耐凍型 2種 ○ 耐凍型 1種	○
			外観 ○ つやあり ○ フリツツ ○		

● 可とう形改修用仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐凍性	防火材料
● フッ素トップコート			溶媒 ● 水系 ○	● 耐凍型 3種 ○ 耐凍型 2種 ○ 耐凍型 1種	○
			樹脂 ○ アクリル系 ○		
			外観 ● つやあり ○ フリツツ ○		

株式会社 m3那覇建築事務所

管理技術者：川本 雅史

構造一級建築士：6037号

主任技術者：本山 治美

一級建築士：271307号

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

改修工事特記仕様書（その4） (A3) S=1/200

国土交通省 九州地方整備局 富嶺部 令和6年度 <2024.08.30>

4

A-4

5 5  
**改修工法** [5.1.3]  

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
● 7A型樹脂製建具	●	○	● 建具表による ○
○ 樹脂製建具	—	○	○ 建具表による ○
● 鋼製建具	●	○	● 建具表による ○
● 外部	○	○	○ 建具表による ○
● 内部	○	○	○ 建具表による ○
● 鋼製軽量建具	○	○	● 建具表による ○
● ステンレス製建具	○	○	○ 建具表による ○
● 木製建具	○	○	○ 建具表による ○

新規に建具を設ける場合  
壁部分の開口の開け方  
● 図示 ○  
新規建具周囲の補修工法及び範囲  
● 図示 ○

建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修による

5.1.4  
**防火戸**  
防火戸の指定  
○ 指定する 適用箇所 ( ○ 建具表による ○ )  
○ 指定しない

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動  
○ 連動させる ( ○ 建具表による ○ )  
○ 連動させない

5.1.7  
**防犯建物部品**  
○ 適用する ( ○ 建具表による ○ )  
○ 適用しない

● アルミニウム製建具 [5.2.2~5][表5.2.1、2]  
性能等級  
○ 外部に面する建具の種別 (コンクリート系下地及び鉄骨下地)  
○ A種 (建具符号 ○ 建具表による ○ )  
○ B種 (建具符号 ○ 建具表による ○ )  
○ C種 (建具符号 ○ 建具表による ○ )

○ 外部に面する建具の種別 (木下地)  
○ D種 (建具符号 ○ 建具表による ○ )  
○ E種 (建具符号 ○ 建具表による ○ )

● 上記によらない場合  
耐風圧性の等級 ( S-7 )  
気密性の等級 ( A-4 )  
水密性の等級 ( W-5 )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

防音ド7、防音サツ  
○ 遮音性の等級 ( ○ )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

断熱ド7、断熱サツ  
○ 断熱性の等級 ( ○ )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

耐震ド7  
○ 面内変形追随性の等級 ( ○ )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

形状及び仕上げ  
枠の見込み寸法 ○ 建具表による ○

表面処理の種別  
外部に面する建具  
(種別) ○ BB-1種 ● BB-2 (改修標準仕様書[表5.2.2])  
(着色) ● 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

屋内に使用する建具  
(種別) ○ BC-1種 ● BB-2 (改修標準仕様書[表5.2.2])  
(着色) ● 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

材料  
ステンレス鋼板  
○ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○  
ステンレス製のくつずりの仕上げ  
○ HL程度 ○ No.2B ○

結露水の処理方法  
処理方式 ○ 水貯め式 ○ 排水式  
設置箇所 ○ 建具表による ○ 図示

水切り、ぜん板 ○ 建具表による ○ 図示

5 5  
**網戸等** [5.2.3][5.3.3]  

種類	材種	線径	網戸
○ 防虫網	○ 合成樹脂製 ○ 繊維入り合成樹脂製 ○ ステンレス(SUS316)製	○ 0.25mm以上	○ 16~18メッシュ
○ 防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

[5.2.2][5.3.2~5][表5.3.1]  
性能等級  
○ 外部に面する建具の種別 (コンクリート系下地及び鉄骨下地)  
○ A種 (建具符号 ○ 建具表による ○ )  
○ B種 (建具符号 ○ 建具表による ○ )  
○ C種 (建具符号 ○ 建具表による ○ )

○ 外部に面する建具の種別 (木下地)  
○ D種 (建具符号 ○ 建具表による ○ )  
○ E種 (建具符号 ○ 建具表による ○ )

○ 上記によらない場合  
耐風圧性の等級 ( )  
気密性の等級 ( )  
水密性の等級 ( )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

防音ド7、防音サツ  
○ 遮音性の等級 ( ○ T-1 ○ T-2 )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

断熱ド7、断熱サツ  
○ 断熱性の等級 ( ○ H-4 ○ H-5 ○ H-6 ○ )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

外部に面する建具の日射熱取得性の等級  
○

材料  
ガラス  
○ 建具表による ○ 複層ガラス ○  
ステンレス製のくつずりの仕上げ  
○ HL程度 ○ No.2B ○

形状及び仕上げ  
枠の見込み寸法 ○ 建具表による ○  
表面色 ○ 標準色 ( ) ○ 特注色 ( )

工法 水切り板、ぜん板 ○ 図示 ○

[5.2.2][5.4.2~5][表5.4.2]  
● 鋼製建具  
性能値等  
簡易気密型ド7セット  
○ 適用する (建具符号: ○ 建具表による ○ )  
○ 適用しない

外部に面する建具の耐風圧性  
● S-4 (建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ● SD-4以外)  
○ S-5 (建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ○ )  
● S-6 (建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ● SD-4)

防音ド7、防音サツ  
● 遮音性の等級 ( ● 宿泊室 T-2 )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

断熱ド7、断熱サツ  
○ 断熱性の等級 ( ○ H-4 ○ H-5 ○ H-6 ○ )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

耐震性能  
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料  
ステンレス鋼板  
○ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○  
ステンレス製のくつずりの仕上げ  
● HL程度 ○ No.2B ○

形状及び仕上げ  
鋼板類の厚さ ● 改修標準仕様書[表5.4.2]による  
○ mm 使用箇所 ( )

標準型鋼製建具の形式及び寸法  
● 建具表による ○

5 5  
**鋼製軽量建具** [5.2.2][5.5.2~4]  
性能値等  
簡易気密型ド7セット  
○ 適用する (建具符号: ○ 建具表による ○ )  
● 適用しない

防音ド7、防音サツ  
○ 遮音性の等級 ( ○ )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

断熱ド7、断熱サツ  
○ 断熱性の等級 ( ○ )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

耐震性能  
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料  
鋼板  
● 亜鉛めっき鋼板 ○ ビニル皮膜鋼板 ○ 冷間鋼板 ○ ステンレス鋼板  
ステンレス鋼板  
○ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○  
召合せ、縦小口包み板の材質  
● 鋼板 ○  
ステンレス製のくつずりの仕上げ  
● HL程度 ○ No.2B ○

形状及び仕上げ  
鋼板類の厚さ ○ 改修標準仕様書[表5.5.1]による  
○ mm 使用箇所 ( )

標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法  
○ 建具表による ○

[5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]  
● ステンレス製建具  
性能値等  
簡易気密型ド7セット  
○ 適用する (建具符号: ○ 建具表による ○ )  
○ 適用しない

外部に面する建具の耐風圧性  
○ S-4 (建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ○ )  
○ S-5 (建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ○ )  
○ S-6 (建具符号: ○ 全て ○ 建具表による ○ )

防音ド7、防音サツ  
○ 遮音性の等級 ( ○ )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

断熱ド7、断熱サツ  
○ 断熱性の等級 ( ○ )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

耐震ド7  
○ 面内変形追随性の等級 ( ○ )  
(建具符号: ○ 建具表による ○ )

材料  
ステンレス鋼板  
● SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○  
ステンレス製のくつずりの仕上げ  
● HL程度 ○ No.2B ○

形状及び仕上げ  
表面仕上げ ● HL ○ 鏡面仕上げ ○

工法  
ステンレス鋼板の曲げ加工  
● 普通曲げ ○ 角出し曲げ ( ○ a角 ○ b角 ○ c角 )

5 5  
**木製建具** [5.7.2~4]  
建具材の加工、組立時の含水率 ● A種 ○ B種  
建物内部の木材建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量  
● F☆☆☆☆ ○

● フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量  
● 改修標準仕様書[5.7.2](2)(4)(a)による  
○

表面材の合板の種類  

合板の種類	規格等	備考
● 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り ( ○ ラツ程度 ○ ) 不透明塗料塗り ( ● しな程度 ○ ) 板面の品質 ( ) 接着の程度 ( ○ 1種 ○ 2種 )	
○ 天然木	樹種名 ( )	
化粧合板	接着の程度 ( ○ 1種 ○ 2種 )	
○ 特殊加工	化粧加工の方法 ( ○ オールレイ ○ フリット ○ 塗装 ) 表面性能 ( ) 接着の程度 ( ○ 1種 ○ 2種 )	

表面板の厚さ ● 改修標準仕様書[表16.7.6]による  
○

● かまち戸  
かまち樹種 ( メラピー )  
鏡板樹種 ( メラピー )  
見込み寸法 ● 36mm ○ 建具表による  
○

○ ふすま  
張りの種別 ( ○ I型 ○ II型 )  
上張り (押入等の裏側以外)  
○ 鳥の子 ○ 鳥の子又はビニル紙程度  
縁仕上げ  
○ 塗り縁 ○ 生地縁(素地) ○ 生地縁(ルックグレイ塗装)  
見込み寸法  
○ 19.5mm ○ 建具表による ○

○ 戸ふすま  
表面板の仕上げ  
○ 建具表による ○  
見込み寸法  
○ 30mm ○ 建具表による ○

○ 紙張り障子  
見込み寸法  
○ 30mm ○ 建具表による ○

枠、くつずりの材料 ○ 建具表による ○

設計者  
株式会社 m3那覇建築事務所  
管理技術者: 川本 雅史  
構造一級建築士: 6037号  
主任技術者: 本山 治美  
一級建築士: 271307号

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
改修工事特記仕様書(その5) (A3) S=1/200  
国土交通省 九州地方整備局 富嶺部 令和6年度 <2024.08.30>

5  
A-5

5 5 5

● 建具用金物 [5. 8. 2~4] [表5. 8. 1~5]

● マスターキー ● 製作する ( ● 新規 ○ 既存に合わせる )  
その他の鍵の製作本数 ○

● シリンダー錠  
● レバーハンドル 材質 ● 7%ミニウム合金 ○ ステンレス ○ 黄銅  
座金 ● 丸座 ○ 長座  
● 握り玉 材質 ● ステンレス

○ 本締り錠 (品質、性能) 建築材料等品質性能表による

● 空錠  
● レバーハンドル 材質 ● 7%ミニウム合金 ○ ステンレス ○ 黄銅  
座金 ● 丸座 ○ 長座  
● 握り玉 材質 ● ステンレス

○ グレモン錠  
レバーハンドルの材質 ○ 亜鉛合金 ○ ステンレス  
製造所 ○ 図示

● ビックロック錠  
かべ部の材質 ● ステンレス ○ 亜鉛合金

○ フロア錠 ○ Grade1 ○ Grade2  
かべ部の材質 ○ ステンレス ○

○ ヒンジドアザー(丁番型)  
材質 ○ 鋼(焼付け塗装) ○

○ ヒンジドアザー(ビックロック型)  
材質 ○ 鋼(焼付け塗装) ○

● ドアコーザー ○ Grade1 ● Grade2  
材質 ● 7%ミニウム合金 ○

○ 押棒、押板  
材質 ○ ステンレス ○ 黄銅 ○ 合成樹脂

○ アムストガバー  
材質 ○ 鋼(クロムめっき) ○ ステンレス

● クレセント  
材質 ● 建具製造所の仕様による

● 排煙バルブ ( ● 埋込 ○ 露出 )

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置  
○ 建具表による ○

金物の種類及び見え掛り部の材質等  
● 改修標準仕様書[表5. 8. 1]により適用は建具表による  
○

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ  
● 改修標準仕様書[表5. 8. 2]による ○ 建具表による

樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ  
○ 改修標準仕様書[表5. 8. 3]による ○ 建具表による

木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ  
● 改修標準仕様書[表5. 8. 4]による ○ 建具表による

木製建具に使用する戸車及びレール  
○ 改修標準仕様書[表5. 8. 5]による ○ 建具表による

● 自動ドア開閉装置 [5. 9. 2、3]

戸の開閉方式  
● 建具表による ○

● 引き戸用駆動装置  
性能値  
● 標準仕様書[表5. 9. 1]による  
(防錆 ○ 適用する ● 適用しない)  
○ 以下による  
種類・開閉方法 ( )  
耐電圧 ( )  
温度上昇 ( )  
耐久性(サイクル) ( )  
防錆 ( )  
電源 ( )

○ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置  
性能値  
● 標準仕様書[表5. 9. 2]による  
(防錆 ○ 適用する ○ 適用しない)  
○ 以下による  
耐電圧 ( )  
温度上昇 ( )  
耐久性(サイクル) ( )  
防錆 ( )  
電源 ( )

○ 引き戸用検出装置  
性能値  
● 標準仕様書[表5. 9. 3]による  
(防錆 ○ 適用する ○ 適用しない)  
○ 以下による  
耐電圧 ( )  
防錆 ( )  
防滴 ( )  
電源 ( )

引き戸用検出装置の種類  
○ 光線(反射)センサー ○ 熱線センサー ○ 音波センサー  
○ 光電センサー ○ 電波センサー ○ 押しボタンスイッチ  
○ タッチスイッチ ( ○ 無線式 ○ 光線式 )  
○ 車椅子使用者用便房スイッチ  
( ○ 大形押しボタンスイッチ ○ 非接触スイッチ )

凍結防止措置 ○ 行わない ○ 行う

駆動力 ○ 電気式又は電動油圧式 ○

電源 ○ 単相100V(過電流保護装置付) ○

補助センサー ○ 安全光線スイッチ1組 ○  
各開閉装置毎に補助センサーを設ける

性能値等 [5. 10. 3]  
● 改修標準仕様書[表5. 10. 1]による  
○ 以下による  
手動開き力 ( )  
手動閉じ力 ( )  
閉じ速度の調整 ( )  
制動区間 ( )  
開閉繰返し ( )  
耐衝撃性 ( )

○ 自閉式上吊り引手装置 [5. 10. 3]

○ 重量シャッター [5. 11. 2、3]

シャッターの種類

名 称	耐風圧強度	開閉方式の種類	
○ 管理シャッター	( ) Pa	○ 電動式(手動併用)	○ 手動式
○ 外壁用防火シャッター	( ) Pa	○ 電動式(手動併用)	○ 手動式
○ 屋内用防火シャッター			
○ 防煙シャッター			

安全装置  
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置  
(設置箇所 ○ 建具表による ○ )  
電動式シャッターの障害物感知装置  
(設置箇所 ○ 建具表による ○ )  
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置  
(設置箇所 ○ 建具表による ○ )

管理用シャッターのシャッターケース ○ 設ける ○ 設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板  
鋼板の種類 ○ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)  
○ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)  
めっきの付着量 ○ Z12又はF12 ○

電動式の場合の電源 ○ 三相200V 0.75kw以下(過電流保護装置付)

リモコンの有無 ○ 無 ○ 有 (リモコンの個数 個)

ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のかべ、雨掛りに用いるスイッチ類のふたの材質  
○ ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1  
○

5 5 5

○ 軽量シャッター [5. 12. 2~4]

開閉形式 ○ 手動式 ○ 電動式(手動併用)

耐風圧強度 ( ) Pa

安全装置 電動シャッターの障害物感知装置  
(設置箇所 ○ 建具表による ○ )

スラットの材質の種類  
○ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)  
めっき付着量 ( ○ Z06又はF06 ○ )  
○ JIS G 3322 (塗装溶融55%7%ミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)  
めっき付着量 ( ○ AZ90 ○ )

スラットの形状 ○ インターロック形 ○ オープンラック形

ガイドレール・座板の材質 ○ ステンレス(SUS304) ○ 溶融亜鉛めっき鋼板

電動式の場合の電源 ○ 単相100V(過電流保護装置付)

[5. 13. 2、3]

セリン材料による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
○ ステークタイプ	○ 125	○ バランス式	○ ストックード形	○ 溶融亜鉛めっき鋼板
○ 7%ミニウムタイプ	○ 100	○ チェーン式	○ ロックド形	○ ステンレス鋼板
○ フレキシブルタイプ	○ 75	○ 電動式	○ ロックド形	
	○ 50		○ バランス形	

電動式オープンヘッドドアの障害物感知装置  
(設置箇所 ○ 建具表による ○ )

● ガラス [3. 7] [5. 14. 2~4]

● フロートガラスの品質及び厚さの呼びによる種類  
● 建具表による ○

● 型板ガラスの厚さによる種類  
● 建具表による ○

○ 網入りガラス及び線入り板ガラス又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類  
○ 建具表による ○

○ 合わせガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ  
○ 建具表による ○  
形状による種類  
○ 平面合わせガラス ○ 曲面合わせガラス  
落球衝撃はく離特性並びにショットパイク衝撃特性による種類  
○ I類 ○ II-1類 ○ II-2類 ○ III類

○ 強化ガラス  
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称  
○ 建具表による ○  
破片の状態及びショットパイク衝撃特性による種類  
○ I類 ○ III類

○ 熱線吸収板ガラス  
板ガラスによる種類、厚さによる種類  
○ 建具表による ○  
性能による種類  
○ 1種 ○ 2種

○ 複層ガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ  
○ 建具表による ○  
断熱性による区分  
○ T1 ○ T2 ○ T3 ○ T4 ○ T5 ○ T6  
日射取得性、日射遮蔽性による区分  
○ G ○ S  
乾燥気体の種類  
○ 空気 ○ 7%ミニウム ○

5 5

● 熱線反射ガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類  
○ 建具表による ○  
日射熱遮蔽性による区分  
○ 1種 ○ 2種 ○ 3種  
耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)  
○ A種 ○ B種  
映像調整  
○ 行わない ○ 行う

○ 倍強度ガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類  
○ 建具表による ○

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
7%ミニウム製	○ シリンダ材(SR-1) ガラス ○ グレージングチャンネル形 ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示 ○
鋼製及び鋼製軽量	○ シリンダ材(SR-1) ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示
ステンレス製	○ シリンダ材(SR-1) ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示
樹脂製	○ シリンダ材 ガラス ○ グレージングチャンネル形 ○	○ 建具の製造所の仕様による ○ 図示

○ ガラスフィルム

種 類	記 号		その他性能等
	内貼り用	外貼り用	
○ 日射調整フィルム	○ SD-1	○ SD-2	
○ 低放射フィルム	○ LE		
○ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	○ GI-1	○ GI-2	
○ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	○ GD-1	○ GD-1	
○ ガラス通防止フィルム	○ DF		

品質は、JIS A 5759による

形式 ○ 30本入 ( ) 個 ● 60本入 ( 1 ) 個  
○ 120本入 ( ) 個 ○ 本入 ( ) 個

鋼製市販品とし、監督職員の承諾による

設 計 者 株式会社 m3那覇建築事務所  
管理技術者：川本 雅史  
構造一級建築士：6037号  
主任技術者：本山 治美  
一級建築士：271307号

沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
改修工事特記仕様書(その6) (A3) S=1/200  
国土交通省 九州地方整備局 富嶺部 令和6年度 <2024.08.30>

6  
A-6

6 内装改修工事

●改修範囲

●既存床の撤去及び下地補修

●既存壁の撤去及び下地補修

●施工一般

○製材

●造作用集成材

[6. 1. 3] 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲  
●壁面より両面100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う  
○図示  
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲  
●壁面より両面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う  
○図示  
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修  
●既存のまま  
○図示

[6. 2. 2] ビニル床シート等の除去  
●仕上材のみ（接着剤とも）  
●下地材とも（○図示の範囲 ●除去範囲全て）  
合成樹脂塗床材の除去工法  
○機械的除去工法 ○目荒し工法  
既存コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いる「リマー」モルタル及び「珪」樹脂モルタルは、改修標準仕様書 4章 外壁改修工事による。

[6. 3. 2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修  
●改修標準仕様書[4. 3. 10]によるモルタル塗り（全塗り厚25mmを超える場合の措置 ○図示）  
○

[6. 5. 2] 材料の「F☆☆☆☆」放散量  
●F☆☆☆☆又は改修標準仕様書[6. 5. 2] (1) (9) (b)による  
○

[6. 5. 2] ○ JAS 1083-5 製材—第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材の適用
		○ 2級 ○	○ A種 ○ B種 ○		○
					○

○ JAS 1083-2 製材—第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材の適用
見え掛り面		○ 上小節 ○	○ A種 ○ B種 ○		○
見え掛り面以外		○ 小節以上 ○	○ A種 ○ B種 ○		○

○ JAS 1083-6 製材—第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材の適用
		○ 1等 ○	○ 10%以下 ○ A種 ○ B種 ○		○
					○

● JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材の適用
		○ (造作材の場合) ○ A種 ○ B種	○ 適用する ○ 適用しない	○ A種 ○ B種 ○	○
					○

[6. 5. 2] ●「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材の適用
宿泊室 (A)	ラワン				● 1等 ○ 2等	○
宿泊室 (B)	ラワン				● 1等 ○ 2等	○
窓枠	ラワン				● 1等 ○ 2等	○

6 内装改修工事(続き)

○造作用単板積層材

○合板等

○「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材の適用
		化粧薄板:				○ 1等 ○ 2等	○
		芯材:					

○「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材の適用
				○ 15%以下 ○	○
				○ 15%以下 ○	○

○「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材の適用
		化粧薄板:				○ 15%以下 ○	○
		芯材:					

○ JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材の適用
				○ 適用する ○ 適用しない	○
				○ 適用する ○ 適用しない	○

○ JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材の適用
			○ 14%以下 ○	○ 適用する ○ 適用しない	○
			○ 14%以下 ○	○ 適用する ○ 適用しない	○

○ JAS 3079に基づく直交集成板 (CLT)

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材の適用
							○
							○

○「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材の適用
	○ 5.5	○ ラワン ○ しな ○	○ 1級 ○ 2級	○ 広葉樹 ○ 2等以上 ○ 1等 ○ 針葉樹 ○ C-D以上 ○	○ 適用する ○ 適用しない	○

○「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材の適用
	○ 2級以上 ○ 1級	○ ラワン ○	○ 1級 ○ 特種	○ C-D以上 ○	○ 12 ○	○ 適用する ○ 適用しない	○ 適用する ○ 適用しない	○

○「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材の適用
			○ 1級 ○ 特種	○ 適用する ○ 適用しない	○

6 内装改修工事(続き)

○接合具等

○接着剤

○防腐・防蟻処理

○内部間仕切軸組及び床組

○窓、出入口その他

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			○ 1級 ○ 2級	○ 適用する ○ 適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		○ 1級 ○ 2級			○ 適用する ○ 適用しない

○パネティックボード

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	○ 15 ○		○ 13以上 ○	○ P又はM ○	

○ JAS 0360 に基づく構造用パネティックボード

施工箇所	寸法 (mm)

○ MDF

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

造作材の化粧面の釘打ち  
○隠し釘打ち ○釘頭埋め木 ○つぶし頭釘打ち ○釘頭現し

諸金物  
○かすがい、座金、箱金物、短冊金物  
(改修標準仕様書[表6. 5. 3~5]に示す程度の市販品 [表8. 20. 1]のF種程度)  
○  
形状 : 寸法 : 材質 :

[6. 5. 3] 造作材の化粧面の釘打ち  
○隠し釘打ち ○釘頭埋め木 ○つぶし頭釘打ち ○釘頭現し

[6. 5. 3, 4] 接着剤は可塑性(難揮発性の可塑性を除去)が添付されていないものとする

パネティックボード放散量 ○F☆☆☆☆ ○

[6. 5. 5] ○防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材  
適用部位 ( )

○薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	○ K2 ○ K3 ○ K4
	○ K2 ○ K3 ○ K4

○薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	○ 薬剤の製造所の仕様による	○ JIS K 5171に適合又は同等品

○薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理  
適用部位 ( )

○合板等の加圧注入処理等の適用  
適用部位 ( )

[6. 5. 6] ○間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)  
○杉又は松 ○

○床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)  
○杉又は松 ○

[6. 5. 7] ○窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)  
○吊元枠、水掛けの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 ○

6 内装改修工事(続き)

●軽量鉄骨天井下地

●軽量鉄骨壁下地

●ビニル床シート

●ビニル床タイル

○特殊機能床材

[6. 6. 2~4] 野縁等の種類  
屋外 (○ 25形 ○ 19形) 屋内 (● 19形 ○ 25形)

○屋外の軒天井、ビニル天井等  
野縁受、吊り材及びビニル間の間隔 ○ 900程度 ○  
周辺部の端からの間隔 ○ 図示 ○  
野縁の間隔 ○ 300程度 ○  
工法  
1章 適用区分による風圧力の (○ 1.0 ○ 1.15 ○ 1.3)  
倍の風圧力に対応した工法

既存の埋込インサート ○使用する ●使用しない

あと施工アークの引抜き試験  
●行う 試験箇所数 ●屋内の場合、当該階において3箇所  
○ ( )箇所  
確認強度 ●吊り材受け等の間隔が900mm以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m<sup>2</sup>以内の天井の場合は400程度  
○ ( ) N

○吊り材の間隔が900mmを超える場合  
補強方法 ○図示 ○

●天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合  
補強方法 ●図示 ○

○天井のふところが3.0mを超える場合  
補強方法 ○図示 ○

○屋内外への耐震補強  
○行う  
補強箇所 ○図示 ○  
補強方法 ○図示 ○  
○行わない

[6. 7. 3][表6. 7. 1] スタッド、ランナーの種類  
●改修標準仕様書[6. 7. 3]によるスタッドの高さによる区分に応じた種類  
○図示

スタッドの高さが5.0mを超える場合  
○図示 ○

出入口及びこれに準ずる開口部の補強  
○標準仕様書(14. 5. 4) (5)による ○

[6. 8. 2, 3] 種類の記号

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考
● 防汚性 F S (複層ビニル床シート)	● 無地	● 2.0	
○	○ ナチュラル柄	○	
○	○ 柄物	○	

目地処理する場合の工法 ○熱溶接工法 ○

[6. 8. 2] 種類

種類	色柄	寸法	厚さ (mm)	備考
○ TT (単層ビニル床シート(接着型))	● 無地	● 300×300	● 2.0	
○ FT (複層ビニル床シート(接着型))	○ 柄物	○ 450×450	○ 2.5	
● KT (コブ・ソリッドビニル床シート)		○ 500×500	○ 3.0	
○ FDA (置敷きビニル床シート(置敷き型))		○	○	
○ FDB (置敷きビニル床シート(置敷き型))		○	○	

[6. 8. 2] 種類

種類	厚さ (mm)	寸法	性能	備考
○ 帯電防止床シート ( )	○		○	
○ 帯電防止床シート ( )	○		○	
○ 耐動荷重性床シート ( )	○			
○ 防汚性床シート ( )	○			
○ 防汚性床シート ( )	○			

6 内装改修工事(続き)

●ビニル幅木 [6. 8. 2]

材質の種類 ●軟質 ○硬質  
高さ(mm) ○60 ●75 ○100  
厚さ(mm) ●1.5以上 ○

●カーペット敷き

●カーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
○メープル	○第一種		○500×500	○6.5	帯電防止及び
	○第二種			○	
●オックス	●第一種	○オープンクッション	●500×500	●6.5	防汚加工品
	○第二種			○	
○カット、メープ併用	○第一種		○500×500	○6.5	
	○第二種			○	

色柄 ●無地 ○柄物

カーペットの敷き方  
(平場) ●市松敷き ○横線流し ○  
(階段部分) ○市松敷き ○横線流し ○

見切り、押え金物  
材質 ( )  
種類 ( )  
形状等 ●図示 ○

○合成樹脂塗床 [6. 10. 2~3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
○厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床		○薄膜流し展べ工法 ○厚膜流し展べ工法 ○樹脂砂り工法	○平滑仕上げ
			○防汚仕上げ ○つや消し仕上げ
○厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		○薄膜流し展べ工法 ○厚膜流し展べ工法 ○樹脂砂り工法	○平滑仕上げ
			○防汚仕上げ
○厚膜型塗床材			○平滑仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放散量 ○F☆☆☆☆ ○

○フローリング張り [6. 11. 2~6] [表6. 11. 1~5]

○単層フローリング (フローリングボード1等)  
工法 ○釘留め工法 (○根太張り ○直張り) ○接着工法  
樹種 ○なら ○  
間伐材等の適用 ○適用する ○適用しない

○単層フローリング (フローリングボード1等)  
樹種 ○  
厚さ ○  
大きさ ○  
間伐材等の適用 ○適用する ○適用しない

○複合フローリング  
工法 ○釘留め工法 (○根太張り ○直張り) ○接着工法  
樹種 ○なら ○  
種別 ○A種 ○B種 ○C種  
間伐材等の適用 ○適用する ○適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ○F☆☆☆☆ ○

接着工法の場合の表面緩衝材  
○合成樹脂発泡シート ○

○現場塗装仕上げ  
○ウレタン樹脂ワニス塗り ○オイルステインの上、ワックス塗り  
○生地そのまま、ワックス塗り

○畳敷き [6. 12. 2]

種別 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種  
(畳床: ○KT-I ○KT-II ○KT-III ○KT-K ○KT-N)

下地の種類 ○標準仕様書(表16. 6. 1)による床組  
○ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロア) ○

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする

6 内装改修工事(続き)

●せっこうボード、その他ボード及び合板張り [6. 13. 2. 3]

合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ●F☆☆☆☆ ○

規格名称	種類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
木質系パーティクルボード	○硬質木毛パーティクルボード	HW	○15 ○20 ○25 ○
	○普通木毛パーティクルボード	NW	○15 ○20 ○25 ○
繊維強化セメント板	●けい酸セメント板	0.8FK	●突付け ○目渡し
	●ケイ酸セメント板	1.0FK	●6 ●8
化粧けい酸セメント板	○化粧けい酸セメント板	0.8FK	○910×2,730 ○
	●ケイ酸セメント板	1.0FK	●目地 ○目渡しシーリング工法 ○ゾリ付工法 (○7R1製 ○樹脂製) ○厚さ ○6(不燃) ○8(不燃) ○仕上げ ○UV塗装 ○シート張り ○突板張り ○一般塗装
火山性ガラス繊維板	○		
繊維板	○		
パーティクルボード	○		
吸音材料	●ロウセル化粧吸音板	DR	●突付け ○ ●フックタイプ ●9(不燃) ○12(不燃) ○凹凸タイプ ○12(不燃) ○15(不燃) ○19(不燃) ○ ●300×600 ○455×910
	○グラスウール吸音ボード	DR-B	○25(厚手タイプ) ○ ○2K ○ ○留め付材(樹脂製)がφ300程度
せっこうボード製品	●せっこうボード	GB-R	●突付け(ハーフタイプ) ○難目処理 ●12.5(不燃) ○15(不燃) ○910×2,730 ○910×1,820
不燃種層せっこうボード	GB-NC	○突付け ○9.5(不燃) ○化粧無し(下地張り用) ○化粧有り(凸凹・凹模様) ○450×910 ○910×910	
	GB-S	●12.5(不燃)	
強化せっこうボード	GB-F	●12.5(不燃) ○15(不燃)	
化粧せっこうボード	GB-D	●凸凹・凹模様 9.5(準不燃)	
せっこうボード	GB-L	○9.5	
合板類	○普通合板		表面の樹種名 ○ 板面の品質 ○ 厚さ ○図示 ○ 接着の程度 ○1種 ○2種 防虫処理 ○行う ○行わない
	○天然木化粧合板		化粧板の樹種名 ○ 厚さ ○図示 ○ 接着の程度 ○1種 ○2種 防虫処理 ○行う ○行わない
	○特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 ○オパール ○プリント ○塗装 ○ 表面性能 ○ 厚さ ○図示 ○ 接着の程度 ○1種 ○2種 防虫処理 ○行う ○行わない
その他のボード類	○ポリイソシアネート化粧板	JIS K 6903による	○1.2 ○

せっこうボード等の下地 ●図示

せっこうボードの目地工法 ●仕上げ表による

遮音シート ●適用する ●7R1系又はケイ酸系シーリング材  
○適用しない ●ジョイントバンド (JIS A 6914)

合板類の張付け ○A種 ●B種

6 内装改修工事(続き)

●壁紙張り [6. 14. 2. 3]

ホルムアルデヒド放散量 ●F☆☆☆☆ ○

施工箇所	種類	壁紙の種類					防火性能	商品名(程度)
		紙	織	編	織	その他		
宿泊室	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○

モルタルのラスタ面の下地調整 ○RA種 ●RB種  
コンクリート面の下地調整 ○RA種 ●RB種  
せっこうボード面の下地調整 ○RA種 ●RB種

モルタル ○現場調査材料 ○既調査材料 (材料: )

既製目地材 ○設ける 施工箇所 ( )  
○設けない 形状 (○図示 ○)

床の目地 ○設ける  
目地の種類 ○押し目地 ○  
目地割り ○2m程度 ○  
最大目地間隔 ○3m程度 ○  
○設けない

伸縮調整目地の位置 床タイプ ○縦、横とも4m以内ごと  
○図示 ○  
床タイプ以外 ○図示 ○

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記標準仕様書3章による

○セメントモルタルによるタイプ(セラミックタイプ)張り  
タイプの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物	色	再生材料の適用	耐摩耗性	耐汚性	備考
			I類	II類	III類	無地						
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ○行う ○行わない  
見本張り ○行う ○行わない

既調査モルタル  
モルタル下地としたタイプ工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤を予め工場において所定の割合に配合した材料となる  
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

既調査目地材  
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

○有機系接着剤によるタイプ(セラミックタイプ)張り  
タイプの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率による区分		うわぐすり		役物	色	再生材料の適用	耐摩耗性	耐汚性	備考
			I類	II類	III類	無地						
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	

6 内装改修工事(続き)

○セルフレベリング材塗り

○フリーアクセスフロア

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ○行う ○行わない  
見本張り ○行う ○行わない

内装壁タイプ接着剤張りを使用する有機系接着剤のホルムアルデヒド放散量 ○F☆☆☆☆ ○

種類及び品質 ○せっこう系 ○セメント系  
標準塗厚(mm) ○8mm

施工箇所	寸法(mm)	高さ(mm)	所定荷重(N)	表面仕上材	備考
A棟1階	●450角以上 ○600角以上 ○	○100 ○120 ●300	○3000 ○5000 ●3000	○帯電防止床タイプ ○タイプ ●塩ビシート	
	○450角以上 ○600角以上 ○	○100 ○120 ○	○3000 ○5000 ○	○帯電防止床タイプ ○タイプ ○	
	○450角以上 ○600角以上 ○	○100 ○120 ○	○3000 ○5000 ○	○帯電防止床タイプ ○タイプ ○	

適用地震時水平力  
1階及び地階 ●0.6G以上  
中間階(～階) ○0.6G以上 ○1.0G以上  
最上階(階) ○1.0G以上

帯電防止床タイプ  
○置敷タイプ ○ハコ一体タイプ  
(ハコ一体タイプ以外の仕上げ材は、別途内装工事とする)

寸法精度 ●標準仕様書(20.2.2)(b)(5)(i)～(iii)による  
厚さ ±0.5mm  
平坦度 ハコ周辺部 1.0mm以下  
図心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下

表面仕上材の品質、性能は標準詳細図19章による

床ハコの材質 ●7R1合金タイプ製、スチール製又は複合材等  
スチール及び合金タイプ ●製造所の仕様による ○図示

配線用取り出しハコ  
フリーアクト7全体面積に対する設置割合  
○50%以上 ○20～30% ●図示  
配線取り出し開口  
○ハコ1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上 図示  
空調用吹き出し(吸い込み)ハコ  
●なし ○あり(形式、施工箇所:図示)

(性能・試験方法)  
ローリングロード性能 ●適用しない  
○適用する  
適用室(ローリングロード性能については所定荷重1,000N(5,000Nの積載荷重は1,000N以上(任意))による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下であること(ハコ表面に目視による著しいわだち及び損傷がないこと。かつ、使用上有害なたつきがないこと)

○2重床用複合アクト用開口  
適用室(開口の数 アクト面積8m<sup>2</sup>につき1ヶ所かつ予備開口を14m<sup>2</sup>につき1ヶ所  
開口の大きさ 以下の仕様が入ったアクトが収まる大きさ  
(電源) コンセント:2P15A接地極付×2  
(電話) 情報用モジュラージャック:8極8芯×1  
取付方法 フリーアクト7製造所の仕様とする

6 内装改修工事(続き)
○ 可動間仕切
(20.2.3)
構造形式による種類
○ スライド(内蔵)
○ スライド(露出)
○ パネル式
○ スライドパネル式

20.2.3
鋼製基材の種類
鋼製基材の仕上り
遮音性
防火性能
パネル内に取付ける建具
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放散量
ガラス留め材
20.2.4
構造形式
操作方式
移動式
移動式
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンカール等の取付け下地の補強
移動間仕切の壁面当たり枠
ラナー
20.2.5
表面材の材料
色柄
脚部形状
ドアノブ
20.2.6
階段滑り止め

6 内装改修工事(続き)
● 床目地棒
(20.2.7)
○ 手すり
○ ブラインド
○ カーテン
○ カーテンレール

20.2.7
床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
○ 集成材手すり
○ 既製手すり(樹脂製)
○ 再利用する
○ 新設する
スラットの材質
スラットの材質
○ 再利用する
○ 新設する
○ 再利用する
○ 新設する

6 内装改修工事(続き)
● ブラインドボックス及びカーテンボックス
○ コーナービード
○ 天井見切縁
○ 天井点検口
○ 床点検口
○ 仕上塗材仕上げ
7 塗装改修工事
● 材料
● 下地調整

○ 再使用する
○ 新設する
材質
施工箇所
○ 再利用する
○ 新設する
○ 再利用する
○ 新設する
○ 再利用する
○ 新設する

7 塗装改修工事(続き)
● 錆止め塗料塗り
● 塗装
● フッ素樹脂塗装
○ 焼付塗装

Table with multiple sections: 錆止め塗料塗りの種別, 塗装の種類, つや有合成樹脂エポキシペイント塗り, 合成樹脂エポキシペイント塗りの塗替えの場合のしき止め, 高日射反射率塗料塗り, 下地調整, 打放しコンクリート面保護工法, 素材





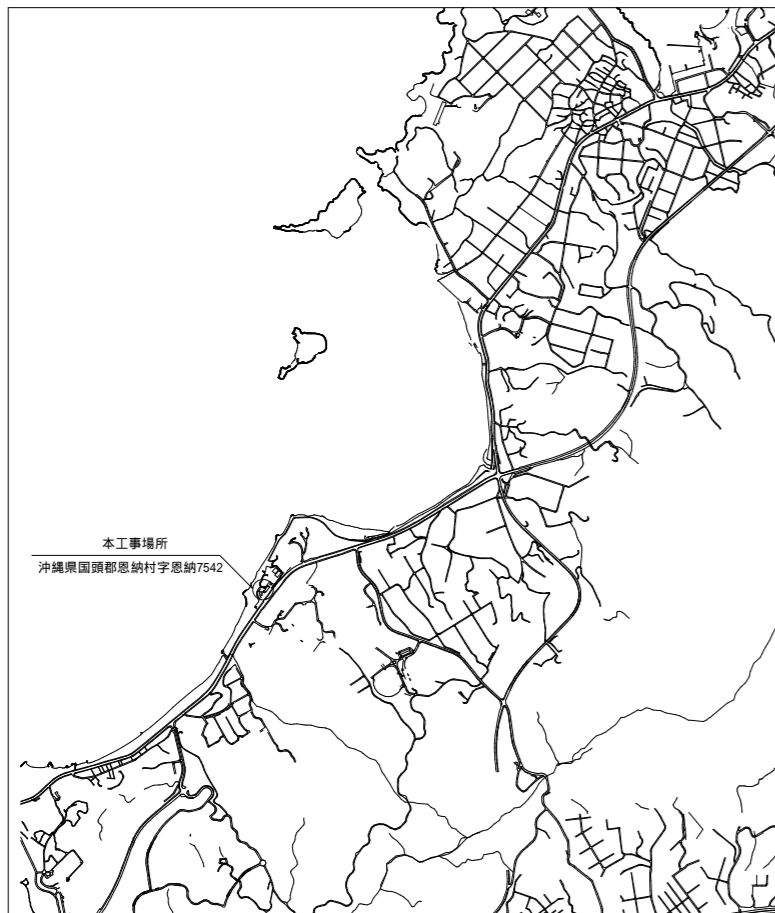
■この建築材料等品質性能表は、特記仕様書記載の材料（性能は建築材料等品質性能表による）の品質及び性能を詳細に示したものである。

章	項目	品質性能		
9 環境配慮 改修工事	3 屋上緑化システム	<屋上緑化軽量システム>		
		管理方法による区分	屋上緑化軽量システム	
		植栽基盤の質量(kg/m <sup>2</sup> )	60以下(表示項目)	
		適用土壌の種類	植物の生育に適している人工軽量土としていること	
		有効土壌層の最大厚さ(m)	表示項目	
		有効土壌層の飽和時のかさ比重	表示項目	
		透水・排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)	
		透水路	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることなく、植込み用土を流出させない構造であること。	
		排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、透気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造を持つこと。	
		排水層の鉛直方向の排水性能(L/m <sup>2</sup> ・h)	240以上	
		耐荷重性能	一般歩行時の上部歩行に耐え破壊しないこと。また、排水層の許容圧縮強度(N/m <sup>2</sup> )	
		耐根層及び防水層保護層	耐根層 重ね合わせ部分を含め、1ヶ月程度の地下茎伸長力の強い植物に対して貫通防止能力を有し、3年以上の体積性能、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (施工要領書及び仕様以上の実績資料を提出すること。)	
			防水層保護層 材質は、合成樹脂製等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護シート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。	
		25mm総重量(N/m <sup>2</sup> )	土壌を除く(表示項目)	
		保水性能(L/m <sup>2</sup> )	保水空間体積(表示項目)	
		水平方向排水性能(L/m <sup>2</sup> )	排水空間体積(表示項目)	
		植栽	専用植栽の植とし、通常の屋根環境で自生・生育するものとする。	
		再生材の利用	各材料の利用率の分析結果を確認し、表示項目とする。	
		自動灌水装置	有 無 有の場合は、設置者を記入し、設置の資料を提出する。	
		(試験方法等)		
		1) 保水層の保水性能：保水空間体積の算定値または実測値による。 (保水層を有する場合のみ)		
		2) 排水層の排水性能：排水量の最低値または実測値による。		
		3) 耐根層の耐根性能：3年間の実績資料の確認(その他)による。		
		4) 排水層の耐荷重性能 イ) 3×10 <sup>4</sup> N/m <sup>2</sup> の等分布荷重による加圧試験を行い、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きない事を確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。)		
		ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態に植した3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。		
(その他確認事項)				
実績は施工後3年間以上、かつ、施工面積100m <sup>2</sup> 以上の条件を1件以上含む販売実績5件以上について下記事項を確認している。なお、複数の製品を申請している場合、材質・部材構成が異なるなど下記1)～5)の各項目について各々個別に確認を要するときは、その実績に応じて別途確認している。				
当該の案件に対し、下記に関する最近の調査報告書を提出する。				
1) 植物の生育状態：施行時と比べ順調に生育していること				
2) 耐根層の状態：根が貫通したり、耐根層が痛んでいないこと				
3) 保水・排水基盤の状態：腐食、破壊されていないこと				
4) 土壌の安定状態：風雨で土壌が吹き飛ばされていないこと				
5) 排水路への土壌の流出状況：排水路はきれいに保たれていること				
6) その他金銭的な問題の有無				

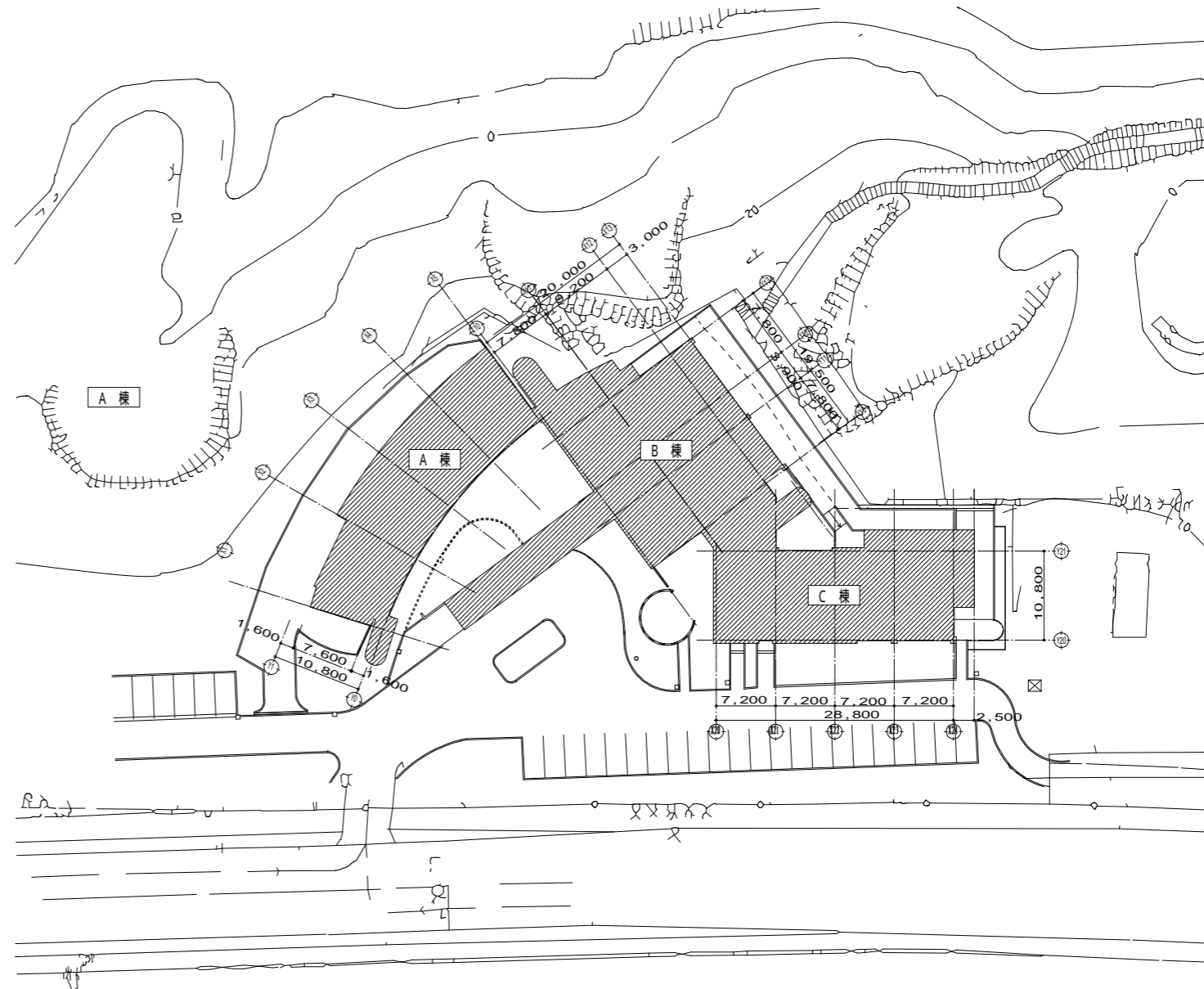
4	石鋪含有建材の除去工事
	含有建材 1) 防水材(外部) 灰色 2) 外壁塗材 灰色 3) 軒塗材(外部) 灰色 4) 塗装材(内部) 灰色 5) 巾木材(内部) 灰色 6) 塗装材(外部) 灰色  ※当該部分を解体・撤去等を施工する場合は、国土交通省大臣官房営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版 9章 環境配慮改修工事による。

改修工事概要	
工事名称	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事
建築場所	沖縄県国頭郡恩納村字恩納7542
施設用途	宿泊及びセミナー施設
構造・階数	RC造・3階建
敷地面積	73,580㎡
建築面積	1,341.70㎡
延べ面積	2,999.63㎡

改修工事項目	
1. 屋上、外壁防水改修工事	一式
2. 内部改修工事	一式
3. テラス(ウッドデッキ)改修工事	一式
4. サイン工事	一式
5. 外構工事	一式



付近見取図



配置図 S=1/750

D



一般建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一般建築士事務所 知事登録 174-3400号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 付近見取図、配置図

縮尺 A1 : 1/100  
A3 : 1/200

沖縄科学技術大学院大学学園

13

A-13

種別	巾木	改修内容	柱・梁・外壁	改修内容	屋根	改修内容	軒裏	改修内容	屋外階段	改修内容	バルコニー	改修内容	テラス	改修内容	車寄せ	改修内容	その他
改修前	複層塗材 R E	F	複層塗材 R E	F	大屋根：塗膜防水(X-1)工法 一部塗膜防水(X-2)工法 脱気筒(12か所既存のまま)	E	R Cの上 V E 塗装 厚6の(酸加)スル板張 VE 塗装	F	巾 木：防水モルタル全コテ 手摺壁：複層塗材 R E 段 裏：V E 塗装	F	床：防水モルタル全コテ 巾木：同上 壁：複層塗材 R E 段 裏：V E 塗装	C	木造床組下地厚15φドデ付(代)	D	屋根：沖縄在来瓦葺き、一部防水砂利金巾 パラベット：複層塗材 R E 天井：φ150板下地 V E 塗装 柱：複層塗材 R E		
改修後	【高圧水洗浄】100kg/cm2	a	【高圧水洗浄】100kg/cm2 クラック、浮き部改修の上 複層塗材 R E 【新設】	a	【高圧水洗浄】100kg/cm2 クラック、浮き部改修の上 下地調整の上 超速硬化ウレタン吹付け 【新設】(密着 S D 工法)	b	【高圧水洗浄】100kg/cm2 クラック、浮き部改修の上 フッ素トップコート【新設】 0.8FKの上 D P 塗装【新設】	a	巾 木：【高圧水洗浄】100kg/cm2 手摺壁：フッ素トップコート【新設】 段 裏：フッ素トップコート【新設】	f a a a	床：【高圧水洗浄】100kg/cm2 巾 木：【高圧水洗浄】100kg/cm2 壁：フッ素トップコート【新設】 段 裏：フッ素トップコート【新設】	c	木造床組下地 t=15人口木口ドデ付【新設】	d	屋根：沖縄在来瓦葺き【高圧水洗浄】100kg/cm2 漆喰【交換】 パラベット：フッ素トップコート【新設】 天井：E P - G 塗装【新設】 柱：フッ素トップコート【新設】		

階	改修前	改修後	旧室名	改修内容	床	改修内容	巾木	改修内容	壁	改修内容	天井	改修内容	廻り縁	CH	備考
共通	階段(1)	A	階段(1)	A	踏面：コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木 H=75	E	コンクリート打放し(B種)の上、A E P 塗装	E	L G S 下地厚12.5石膏ボード張りの上、A E P 塗装	A	塩ビ		ステンレスノンスリップ
	階段(2)	a	階段(2)	a	踏面：ビニル床タイル t=2.0張【新設】	a	ビニル巾木 H=75【新設】	e	クラック補修(エポキシ樹脂注入)の上 下地調整 E P - G 塗装【新設】	e	E P - G 塗装【新設】	a	塩ビ【新設】		ステンレスノンスリップ【新設】
E V ホール		A	E V ホール	A	1階：コンクリート金コテ仕上の上、500角タイルカーベット張り 2・3階：厚2、300角ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木 H=75	E	同上	E	同上	A	同上		同上
		a	E V ホール	a	1階：500角タイルカーベット張【新設】 2・3階：厚2、300角ビニル床タイル t=2.0張【新設】	a	ビニル巾木 H=75【新設】	e	同上	e	同上	a	同上		同上
B棟 1階	ポーチ	f	ポーチ	f	コンクリート増打ちの上 500角 鑄石張り 一部300角タイル張り 【高圧水洗浄】100kg/cm2	f	コンクリート打放しB種の上、複層仕上塗材 R E 複層塗材 R E 【新設】	f	コンクリート打放しB種の上、複層仕上塗材 R E 複層塗材 R E 【新設】	e	L G S 下地厚6ノンスケイカル板張り A E P 塗装 E P - G 塗装【新設】	A	塩ビ	2,900	
	オープンワークショップ 展示コーナー	A	オープンワークショップ 展示コーナー	A	O A フロアー (H=100) 500角制電タイルカーベット張り			E	コンクリート打放し(B種)の上、A E P 塗装 柱型：鉄骨壁下地 G B - R t = 12.5 クロス貼り【撤去】 一部 ガラスパーティション【撤去】	F	スラブ裏 A E P 塗装 L G S 下地厚12.5石膏ボード張りの上、A E P 塗装	A	塩ビ	4,750 3,680 2,900	
		a	オープンワークショップ 展示コーナー	a	500角制電タイルカーベット張【新設】			e	E P - G 塗装【新設】 一部 鉄骨壁下地 G B - R t = 12.5 クロス貼り【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 12.5の上、E P - G 塗装【新設】	a	同上	3,250 2,900	
	通路	F	通路	F	厚20ウッドデッキ張り(ウリン材)【既存のまま】一部【撤去】			E	コンクリート打放し(B種)の上、A E P 塗装 柱型：鉄骨壁下地 G B - R t = 12.5 クロス貼り【撤去】 一部 ガラスパーティション【撤去】	F	スラブ裏 A E P 塗装 L G S 下地厚12.5石膏ボード張りの上、A E P 塗装	A	塩ビ	3,680 2,900	
								e	E P - G 塗装【新設】 一部 鉄骨壁下地 G B - R t = 12.5 クロス貼り【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 12.5の上、E P - G 塗装【新設】	a	同上		
	ワークショップ(1)-(3)	A	ワークショップ(1)-(3)	A	O A フロアー (H=100) 500角制電タイルカーベット張り			f	ガラスパーティション【撤去】 L G S 下地厚12.5石膏ボード張りの上、A E P 塗装【撤去】(入口) 厚12.5石膏ボード張り(G L 工法)の上、A E P 塗装【撤去】(奥側)	E	L G S 下地厚12.5化粧石膏ボード張り	F	アルミ製	3,650 2,900 3,250	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】
	廊下1-(1)	A	廊下1-(1)	A	O A フロアー (H=100) 500角制電タイルカーベット張り			E	コンクリート打放し(B種)の上、A E P 塗装	E	L G S 下地厚12.5石膏ボード張りの上、A E P 塗装	F	アルミ製	2,900	
		a	廊下1-(1)	a	500角制電タイルカーベット張【新設】			e	E P - G 塗装【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 12.5の上、E P - G 塗装【新設】				
	サービスカウンター	A	サービスカウンター	A	O A フロアー (H=100) 500角制電タイルカーベット張り			E	コンクリート打放し(B種)の上、A E P 塗装	E	L G S 下地厚12.5石膏ボード張りの上、A E P 塗装	F	アルミ製	2,900	
		a	サービスカウンター	a	500角制電タイルカーベット張【新設】			e	E P - G 塗装【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 12.5の上、E P - G 塗装【新設】				
セミナー サポートオフィス 管理室	A	セミナー サポートオフィス 管理室	A	O A フロアー (H=100) 500角制電タイルカーベット張り	A	ソフト巾木 H=75	E	一部発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(G L 工法) A E P 塗装 L G S 下地厚12.5石膏ボード張り A E P 塗装 ガラスパーティション【撤去】	C	L G S 下地厚9.5石膏ボード張りの上、厚9ロックウール化粧吸音板	F	アルミ製	2,400	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】	
コンビニエンスストア 管理室	a	コンビニエンスストア 管理室	a	長尺塩ビシート張り t=2.0【新設】 長尺塩ビシート張り t=2.0【新設】	a	ビニル巾木 H=75【新設】	e	E P - G 塗装【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 9.5張りの上、D R t = 9.0張【新設】			3,000		
講師控室	A	講師控室	A	O A フロアー (H=100) 500角制電タイルカーベット張り	A	同上	E	一部発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(G L 工法) A E P 塗装	C	同上	F	同上	2,400	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】	
倉庫1-(2)	A	倉庫1-(2)	A	コンクリート金コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル張り	A	同上	E	同上	C	同上	F	同上	2,500	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】	
廊下1-(5)	A	廊下1-(5)	A	300角厚2ビニル床タイル張り	A	同上	E	同上	C	同上	F	同上	2,500		
	a	廊下1-(5)	a	300角ビニル床タイル t=2.0張【新設】	a	同上	e	同上	c	同上					
便所前室	F	便所前室	F	厚100コンクリート増打ちの上500角タイルカーベット張り	F	ソフト巾木 H=75	E	厚20モルタル全コテ仕上の上、A E P 塗装	E	L G S 下地厚12.5石膏ボードの上、A E P 塗装	F	同上	2,900		
							e	E P - G 塗装【新設】	e	E P - G 塗装【新設】					
倉庫1-(1)	F	倉庫1-(1)	F	コンクリート金コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル張り	F	ソフト巾木 H=75	F	同上	C	L G S 下地厚9.5化粧石膏ボード張り	F	同上	2,500		
T E L コーナー	F	T E L コーナー	F	O A フロアー(H=100)500角制電タイルカーベット張り	F	ソフト巾木 H=75	F	同上	F	L G S 下地厚12.5石膏ボードの上、A E P 塗装	F	同上	2,400		
空調機械室1-(1)	F	空調機械室1-(1)	F	コンクリート打放し	F		F	コンクリート打放し素地	F	コンクリート打放し素地					

共通事項	外部付属物適用分類番号	内部付属物適用分類番号	略号凡例	防火認定材料(特記なき限り、下記防火認定材料とする)	
<p>1 内・外部仕上表は記載したものを適用する。</p> <p>2 設計図中( )内は、建築工事標準詳細図の分類番号を示す。</p> <p>3 内部仕上表</p> <p>イ 地下分類欄</p> <p>C : 鉄筋コンクリート下地、コンクリート下地、A L C 下地</p> <p>W : 木造下地</p> <p>S : 軽量鉄骨下地</p> <p>ロ 特記以外の柱、梁、下り壁の仕上げは壁仕上げによる。</p> <p>ハ 付属物のうち、室名札、誘導標識、便所表示、階表示、床点検口などは平面図による。</p> <p>ニ 付属物のうち、ブライダルボックス、カーペット、アラウド、天井点検口などは天井伏図による。</p> <p>4 特記以外の木部・鉄面の仕上げはSOP塗りとする。</p> <p>5 特記以外の断熱材打込みの施工範囲は( )による。</p> <p>ただし、屋根防水が断熱工法の場合は、屋根スラブ下面の断熱材打込みを行わない。</p> <p>6 壁ボード出隅部はコーナードとする。</p> <p>7 軽量鉄骨天井下で、目隠し張りの場合は、野縁以外の目地あたりに目地板を入れる。</p> <p>8 軽量骨壁下地の間柱に監督員の指示により配管用穴あけを行う。</p> <p>9 ( )、( ) スラブ天端フカンシ法は、特記なき限り t = 10とする。</p> <p>10 床仕上げを( )とした場合の指定仕上材は、( )床コンクリート直均し仕上げ(打ち直し無し)とする。</p> <p>11 室名の段に【VOC測定箇所】と表記している室は化学物質の濃度測定対象室及び測定箇所数を示す。</p> <p>12 各室内部に設置する付属物は、平面図、展開図、天井伏図による。</p> <p>13 天井内においては、表面仕上材及び塗装は不要とする。</p>	<p>・屋上点検口 5-21-1</p> <p>・屋上換気塔 5-21-2</p> <p>・給水管、排水管類屋上取合部 5-22-1</p> <p>・クーリングタワー基礎 5-22-2</p> <p>・5-22-3</p> <p>・テレビアンテナ基礎</p> <p>・ソーラーパネル基礎</p> <p>・便所手すり 5-23-1</p> <p>・図示</p> <p>・たてどいの形式 5-31-( )</p> <p>・ル・フロレン 5-32-1</p> <p>・5-33-1</p> <p>・煙突 7-21-1</p> <p>・くつふきマット 8-21-1</p> <p>・8-21-2</p> <p>・8-21-3</p> <p>・くつ洗い流し 8-22-1</p> <p>・8-22-2</p> <p>・タラップ 8-31-1</p> <p>・8-31-2</p> <p>・8-31-3</p> <p>・懸垂幕受け金物 8-32-1</p> <p>・8-32-2</p>	<p>・トラフ 1-21-( )</p> <p>・たてどいの形式 5-31-( )</p> <p>・ル・フロレン 5-32-1</p> <p>・5-33-1</p> <p>・流し上部水切 6-11-3</p> <p>・6-11-4</p> <p>・車いす使用者用簡易型便所 6-23-1</p> <p>・6-23-2</p> <p>・多機能便所 6-22-5</p> <p>・6-25-1</p> <p>・6-26-( )</p> <p>・便所手すり 6-25-1</p> <p>・6-28-( )</p> <p>・階段手すり 7-12-2</p> <p>・7-12-3</p> <p>・7-12-4</p> <p>・7-12-5</p> <p>・7-12-6</p> <p>・7-12-7</p> <p>・7-12-8</p> <p>・脱衣箱 6-32-1</p> <p>・押入れ 6-46-1</p> <p>・くつふきマット 8-21-1</p> <p>・8-21-2</p> <p>・8-21-3</p> <p>・タラップ 8-31-1</p> <p>・8-31-2</p> <p>・8-31-3</p> <p>・室名札 8-43-1</p> <p>・8-43-2</p> <p>・8-43-3</p> <p>・ビクトグラフ 8-44-1</p> <p>・8-44-2</p> <p>・庁舎・各階案内板 8-42-1</p> <p>・8-42-2</p>	<p>人 造石研出し</p> <p>G B - R セッコウボード</p> <p>G B - S シーリングセッコウボード</p> <p>G B - F 強化セッコウボード</p> <p>G B - N C 不燃層セッコウボード</p> <p>G B - N C ( T ) 不燃層セッコウボード(トラバーチン模様)</p> <p>G B - P 吸音穴あきセッコウボード</p> <p>D R ロックウール化粧吸音板(寸法300X600面取りなし)</p> <p>P F 板 ポリスチレンフォーム保温板</p> <p>H W 板 硬質毛セメント板</p> <p>N W 板 普通毛セメント板</p> <p>T B テラゾブロック</p> <p>0.8F K 無石綿セメントけい酸カルシウム板</p> <p>0.8F K - P 無石綿セメントけい酸カルシウム板(穴あき)</p> <p>複合フローリング</p> <p>S G P 配管用炭素鋼管(白)</p> <p>C O N ( D ) コンクリート直均し仕上げ</p> <p>T P 天然化粧単板(チーク)厚0.3程度</p> <p>G W - B ポリウレタン吸音ボード32K</p> <p>G B - D 化粧セッコウボード</p> <p>G B - R - H C 吸放湿セッコウボード</p>	<p>S O P 合成樹脂調合ペイント</p> <p>C L クリアラッカー塗り</p> <p>N A D アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</p> <p>D P 耐候性塗料塗り</p> <p>E P - G つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</p> <p>G - P 合成樹脂エマルジョンペイント塗り</p> <p>E P - T 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り</p> <p>U C ウレタン樹脂ニス塗り</p> <p>O S オイルステイン塗り</p> <p>S P 薄付け仕上げ塗料</p> <p>L E ラッカーエナメル塗り</p> <p>O F オイル塗りワックス拭き仕上げ</p> <p>W P 木材保護塗料塗り</p> <p>M S チェック マスチック塗料塗り</p> <p>屋内水系 屋内水系塗料塗り</p>	<p>壁紙(P) 紙壁紙</p> <p>壁紙(C) 織物壁紙</p> <p>壁紙(V) ビニル壁紙</p> <p>壁紙(I) 無機質壁紙</p> <p>せっこうボードφ12.5 NM-8612</p> <p>せっこうボードφ9.5 NM-8619</p> <p>QM-9823</p> <p>QM-9828</p> <p>NM-8613</p> <p>NM-8576</p> <p>NM-8578</p> <p>NM-8599</p> <p>個別認定品</p> <p>NM-8615</p> <p>硬質・普通毛セメント板 QM-9701</p> <p>ロックウール吹付け NM-8601</p> <p>軽量骨材吹付 (セメント系・粘結材系) NM-8571</p> <p>QM-9811</p> <p>RM-9366</p> <p>軽量骨材吹付 (合成樹脂エマルジョン系) NM-8572</p> <p>QM-9812</p> <p>RM-9361</p> <p>NM-不燃</p> <p>QM-準不燃</p> <p>RM-難燃</p>

内部仕上表

階	改修前 改修後	旧室名 新室名	改修 内容	床	改修 内容	巾 木	改修 内容	壁	改修 内容	天 井	改修 内容	廻り縁	CH	備 考
		男子便所	F	300角磁器質タイル張り(無袖)	F	—	F	300角磁器質タイル張り(施袖)	F	同 上	F	同 上	2,400	
		女子便所	F	300角磁器質タイル張り(無袖)	F	—	F	300角磁器質タイル張り(施袖)	F	同 上	F	同 上	2,400	
		車椅子用便所	F	300角磁器質タイル張り(無袖)	F	—	F	300角磁器質タイル張り(施袖)	F	同 上	F	同 上	2,200	
C棟 1階		セミナー室	A	O Aフロア(H=50)の上、500角制電タイルカーペット張り 鋼製床下地厚12+15杉構造合板張りの上、500角制電タイルカーペット張り	F	ソフト巾木 H = 75	F	コンクリート打放し(B種)の上、A E P 塗装 L G S 下地厚12.5+12.5石膏ボード張りの上、A E P 塗装 厚12.5石膏ボード張り(G L 工法)の上、A E P 塗装	C	L G S 下地厚9.5石膏ボ - ド捨張りの上、厚9ロックウール化粧吸音板張り	A	塩 比	3,000 - 4,300	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】
			a	500角制電タイルカーペット張【新設】					C	L G S 下地 G B - R t = 9.5捨張りの上 G B - P t = 9.5張【新設】	a	塩 比	3,000 - 3,250	
		ミーティングルーム(4)	F	鋼製床下地厚12+15杉構造合板張りの上500角制電タイルカーペット張り	F	同 上	F	L G S 下地厚12.5+12.5石膏ボード張りの上、A E P 塗装	C	L G S 下地厚9.5石膏ボ - ド捨張りの上、厚9ロックウール化粧吸音板張り	F	同 上	2,500	
									C	L G S 下地 G B - R t = 12.5の上、E P - G 塗装【新設】				
		廊下1 - (2)	A	コンクリート全コテ仕上の上、500角タイルカーペット張り	A	ソフト巾木 H = 75	E	コンクリート打放し(B種)の上、A E P 塗装	E	L G S 下地厚12.5石膏ボ - ド張りの上、A E P 塗装	A	塩 比	2,500 - 2,800	
			a	500角制電タイルカーペット張【新設】	a	同 上【新設】	e	E P - G 塗装【新設】	e	E P - G 塗装【新設】	a	塩 比【新設】		
		廊下1 - (3)	A	コンクリート全コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル	A	ソフト巾木 H = 75	E	コンクリート打放し(B種)の上、A E P 塗装	C	L G S 下地厚12.5石膏ボ - ド張りの上、A E P 塗装	A	同 上	2,400	
			a	300角ビニル床タイル t = 2.0張【新設】	a	同 上【新設】	e	E P - G 塗装【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 12.5の上、E P - G 塗装【新設】	a	同 上		
		厨房	F	コンクリート全コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り(抗菌・マープル)	F	同 上	F	同 上	C	L G S 下地厚6ノンスケイカル板目透かし張りの上、V E 塗装	F	同 上	2,700	
									C	L G S 下地 G B - R t = 12.5の上、E P - G 塗装【新設】				
		サーバー室	F	鋼製床下地厚12+15杉構造合板張りの上、300角厚2ビニル床タイル張り	F	同 上	F	コンクリート打放し(B種)の上、A E P 塗装 L G S 下地厚12.5+12.5石膏ボード張りの上、A E P 塗装 G W t = 30布団張り	C	ウレタンフォーム t = 25【既存のまま】	F	同 上	2,500	
		管理人室(洋室)	A	コンクリート全コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル	A	ソフト巾木 H = 75	E	厚25発泡断熱材打ち込みの上、厚12.5石膏ボ - ド張り(G L 工法) A E P 塗装 厚12.5石膏ボ - ド張り(G L 工法)の上、A E P 塗装	C	L G S 下地厚9.5化粧石膏ボ - ド	F	塩 比	2,500	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】
			a	ビニル床タイル t = 2.0張【新設】	a	同 上【新設】	e	E P - G 塗装【新設】 (G L 工法) E P - G 塗装【新設】	C	L G S 下地 G B - D t = 12.5【新設】				
		管理人室(和室)	F	木造床組下地厚12合板張りの上、畳敷き	F	タタミ寄せ	A	コンクリート打放し(B種)の上、ビニルクロス張り 厚25発泡断熱材打ち込みの上、厚12.5石膏ボ - ドビニルクロス張り L G S 下地厚12.5石膏ボ - ド張り(G L 工法)の上、ビニルクロス張り	C	同 上	F	同 上	2,500	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】
							a	ビニルクロス張り【新設】 (G L 工法)の上、ビニルクロス張り【新設】	c	同 上				
	管理人室(洗面・脱衣室)	F	コンクリート全コテ仕上の上、厚2ビニル床シート張り(抗菌・マープル)	F	ソフト巾木 H = 75	F	L G S 下地厚12.5シーリングボ - ドの上、ビニルクロス張り 厚12.5シーリングボ - ド(G L 工法)の上、ビニルクロス張り	C	L G S 下地厚6ノンスケイカル板張りの上、V E 塗装	F	同 上	2,500		
								C	L G S 下地 0.8 F K					
	管理人室(便所)	F	同 上	F	同 上	F	厚150 C B 種の上厚12.5シーリングボ - ド(G L 工法)の上、ビニルクロス張り	C	同 上	F	同 上	2,500		
								C	同 上					
	機械室1 - (2)	F	コンクリート打放し	F	—	F	コンクリート打放し素地	F	コンクリート打放し素地					
A棟 1階		Play space	A	コンクリート全コテ仕上の上、500角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木 H = 75	F	厚20モルタル全コテ仕上の上、A E P 塗装 L G S 1 0 0 形 + G B - R 厚 1 2 . 5 カラーガラス厚 5 貼 L G S 1 0 0 形 + G B - R 厚 1 2 . 5 + E P	C	L G S 下地厚9.5化粧石膏ボ - ド張り	A	塩 比	3,000	
		宿泊室1 - ( C ) ( D )	c	ビニル床シ - ト t = 2.0張【新設】	c	ビニル巾木 H = 75【新設】	C	硬質外クワ + M t = 25の上、G B - R t = 9.5(捨張)の上 G B - R - H C t = 12.5 E P - G 塗装 L G S 下地 G B - F t = 12.5+12.5 E P - G 塗装【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 12.5 E P - G 塗装【新設】	c	塩 比	2,700 2,350	
		Older Kids Space Library	A	コンクリート全コテ仕上の上、500角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木 H = 75	F	厚20モルタル全コテ仕上の上、A E P 塗装 L G S 1 0 0 形 + G B - R 厚 1 2 . 5 カラーガラス厚 5 貼 L G S 1 0 0 形 + G B - R 厚 1 2 . 5 + E P	C	L G S 下地厚9.5化粧石膏ボ - ド張り	A	塩 比	3,000	
		宿泊室1 - ( H C )	c	ビニル床シ - ト t = 2.0張【新設】	c	ビニル巾木 H = 75【新設】	C	硬質外クワ + M t = 25の上、G B - R t = 9.5(捨張)の上 G B - R - H C t = 12.5 E P - G 塗装 L G S 下地 G B - F t = 12.5+12.5 E P - G 塗装【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 12.5 E P - G 塗装【新設】	c	塩 比	2,700 2,350	
		Office Pantry	A	コンクリート全コテ仕上の上、500角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木 H = 75	F	厚20モルタル全コテ仕上の上、A E P 塗装 L G S 1 0 0 形 + G B - R 厚 1 2 . 5 カラーガラス厚 5 貼 L G S 1 0 0 形 + G B - R 厚 1 2 . 5 + E P	C	L G S 下地厚9.5化粧石膏ボ - ド張り	A	塩 比	3,000	
		宿泊室1 - ( H C )	c	ビニル床シ - ト t = 2.0張【新設】	c	ビニル巾木 H = 75【新設】	C	硬質外クワ + M t = 25の上、G B - R t = 9.5(捨張)の上 G B - R - H C t = 12.5 E P - G 塗装 L G S 下地 G B - F t = 12.5+12.5 E P - G 塗装【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 12.5 E P - G 塗装【新設】	c	塩 比	2,700 2,350	
		Craft Room	A	コンクリート全コテ仕上の上、500角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木 H = 75	F	厚20モルタル全コテ仕上の上、A E P 塗装 L G S 1 0 0 形 + G B - R 厚 1 2 . 5 カラーガラス厚 5 貼 L G S 1 0 0 形 + G B - R 厚 1 2 . 5 + E P	C	L G S 下地厚9.5化粧石膏ボ - ド張り	A	塩 比	3,000	
		宿泊室1 - ( B )	c	ビニル床シ - ト t = 2.0張【新設】	c	ビニル巾木 H = 75【新設】	C	硬質外クワ + M t = 25の上、G B - R t = 9.5(捨張)の上 G B - R - H C t = 12.5 E P - G 塗装 L G S 下地 G B - F t = 12.5+12.5 E P - G 塗装【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 12.5 E P - G 塗装【新設】	c	塩 比	2,700 2,350	
		Sturdy Room, Strage	A	コンクリート全コテ仕上の上、500角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木 H = 75	F	厚20モルタル全コテ仕上の上、A E P 塗装 L G S 1 0 0 形 + G B - R 厚 1 2 . 5 カラーガラス厚 5 貼 L G S 1 0 0 形 + G B - R 厚 1 2 . 5 + E P	C	L G S 下地厚9.5化粧石膏ボ - ド張り	A	塩 比	3,000	
		宿泊室1 - ( B )	c	ビニル床シ - ト t = 2.0張【新設】	c	ビニル巾木 H = 75【新設】	C	硬質外クワ + M t = 25の上、G B - R t = 9.5(捨張)の上 G B - R - H C t = 12.5 E P - G 塗装 L G S 下地 G B - F t = 12.5+12.5 E P - G 塗装【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 12.5 E P - G 塗装【新設】	c	塩 比	2,700 2,350	
		廊下1 - (4)	A	コンクリート全コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木 H = 75	E	コンクリート打放し(B種)の上、A E P 塗装	E	L G S 下地厚12.5石膏ボ - ド張りの上、A E P 塗装	A	同 上	2,700	
			a	300角ビニル床タイル t = 2.0張【新設】	a	同 上【新設】	e	E P - G 塗装【新設】	c	L G S 下地 G B - R t = 12.5 E P - G 塗装【新設】	a	同 上		
		廊下1 - (5)	A	コンクリート全コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木 H = 75	E	コンクリート打放し(B種)の上、A E P 塗装	E	L G S 下地厚12.5石膏ボ - ド張りの上、A E P 塗装	A	同 上	2,500	
			c	300角ビニル床タイル t = 2.0張【新設】	c	同 上【新設】	c	L G S 下地 G B - F t = 12.5+12.5 E P - G 塗装【新設】	C	L G S 下地 G B - R t = 12.5 E P - G 塗装【新設】	c	同 上		
		電気室		コンクリート打放し				グラスウール吸音ボード		コンクリート打放し				
	ボイラー室		コンクリート打放し				グラスウール吸音ボード		コンクリート打放し					



一級建築士事務所  
株式会社 m 3 那 那 那 建築事務所

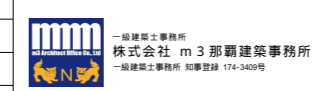
内部仕上表														
室名	旧室名	改修内容	床	改修内容	巾木	改修内容	壁	改修内容	天井	改修内容	廻り縁	CH	備考	
	新室名													
A棟 2階 3階	宿泊室(B)(洋室)	A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シ-ト張り	A	ソフト巾木H=75	E	コンクリート打放し(B種)AEP塗装 厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法)AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード張り	E	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	塩ビ	2,700	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】	
		c	ビニル床シ-ト t=2.0張り【新設】	c	ビニル巾木 H=75 【新設】	c	EP-G塗装【新設】 (GL工法)EP-G塗装【新設】	b	EP-G塗装【新設】	b	同上			
	宿泊室(B) (廊下、洗面)	A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シ-ト張り	A	同上	E	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード張り LGS下地厚12.5シーリングボ-ド張りの上、ビニルクロス張り(厚50グラスウール充填)	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	同上	2,350		
		c	ビニル床シ-ト t=2.0張り【新設】	c	同上	e	EP-G塗装【新設】 (GL工法)EP-G塗装【新設】 ビニルクロス張り【新設】	d	LGS下地GB-Rt=12.5 EP-G塗装【新設】	b	同上			
	宿泊室(B) (便所)	A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シ-ト張り	A	同上	A	コンクリート打放し(B種)の上、ビニルクロス張り LGS下地厚12.5シーリングボ-ド張りの上、ビニルクロス張り(厚50グラスウール充填)	C	LGS下地厚6ノンアスケイカル板目透かし張りの上、AEP塗装	A	同上	2,150		
		c	ビニル床シ-ト t=2.0張り【新設】	c	同上	a	ビニルクロス張り【新設】	d	LGS下地FKt=6 EP-G塗装【新設】	b	同上			
	宿泊室(B) (脱衣室)	A	同上	A	同上	A	LGS下地厚12.5シーリングボ-ド張りの上、ビニルクロス張り	C	同上	A	同上	2,150		
		c	同上	c	同上	a	ビニルクロス張り【新設】	d	同上	b	同上			
	宿泊室(B)(浴室)		—		—		—		—		—	—	—	シャワーユニット【既存のまま】 框【新設】
	廊下2-(1) 廊下3-(1)	A	コンクリート金コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木 H=75	E	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法)AEP塗装	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	同上	2,400		
		a	300角ビニル床タイル t=2.0張【新設】	a	同上	e	EP-G塗装【新設】	c	LGS下地GB-Rt=12.5 EP-G塗装【新設】	a	同上			
	B棟 2階 3階	宿泊室(A)(洋室)	A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シ-ト張り	A	ソフト巾木H=75	E	厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法)AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード張り	E	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	塩ビ	2,700	カーテンボックス(アルミ製)【既存のまま】
c			ビニル床シ-ト t=2.0張り【新設】	c	ビニル巾木 H=75 【新設】	c	EP-G塗装【新設】 (GL工法)EP-G塗装【新設】	b	EP-G塗装【新設】	b	同上			
宿泊室(A) (廊下、洗面)		A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シ-ト張り	A	同上	E	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード張り LGS下地厚12.5シーリングボ-ド張りの上、ビニルクロス張り(厚50グラスウール充填)	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	同上	2,350		
		c	ビニル床シ-ト t=2.0張り【新設】	c	同上	e	EP-G塗装【新設】 (GL工法)EP-G塗装【新設】 ビニルクロス張り【新設】	d	LGS下地GB-Rt=12.5 EP-G塗装【新設】	b	同上			
宿泊室(A) (便所)		A	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シ-ト張り	A	同上	A	コンクリート打放し(B種)の上、ビニルクロス張り LGS下地厚12.5シーリングボ-ド張りの上、ビニルクロス張り(厚50グラスウール充填)	C	LGS下地厚6ノンアスケイカル板目透かし張りの上、AEP塗装	A	同上	2,150		
		c	ビニル床シ-ト t=2.0張り【新設】	c	同上	a	ビニルクロス張り【新設】	d	LGS下地FKt=6 EP-G塗装【新設】	b	同上			
宿泊室(A) (脱衣室)		A	同上	A	同上	A	LGS下地厚12.5シーリングボ-ド張りの上、ビニルクロス張り	C	同上	A	同上	2,150		
		c	同上	c	同上	a	ビニルクロス張り【新設】	d	同上	b	同上			
宿泊室(A)(浴室)			—		—		—		—		—	—	—	シャワーユニット【既存のまま】 框【新設】
廊下2-(2) 廊下3-(2) リフレッシュコーナー		A	コンクリート金コテ仕上の上、300角厚2ビニル床タイル張り	A	ソフト巾木 H=75	E	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法)AEP塗装	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	同上	2,400		
		a	300角ビニル床タイル t=2.0張【新設】	a	ビニル巾木 H=75 【新設】	e	EP-G塗装【新設】	c	LGS下地GB-Rt=12.5 EP-G塗装【新設】	a	同上			
C棟 2階 【既存】		ラウンジ	C	コンクリート金コテ仕上の上、厚15クッション材付フローリング直張り	A	木製巾木(ニヤト- H=75 OS、CL塗装	F	厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法)の上AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装 コンクリート打放しの上、珪球石灰岩雑あいた張り	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	塩ビ	3,780 2,500	
	サービスカウンター	C	コンクリート金コテ仕上の上、ビニル床シ-ト張り	A	ソフト巾木 H=75	B	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	C	同上	C	同上	2,350		
	機械室2-(2)	C	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シ-ト張り	A	ソフト巾木H=60	B	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 厚12.5石膏ボード張り(GL工法)の上、AEP塗装	C	同上	C	同上	2,500		
C棟 3階 【既存】	ちゅらホール	C	コンクリート金コテ仕上の上、厚15クッション材付フローリング直張り	A	木製巾木(ニヤト- H=75 OS、CL塗装	F	コンクリート打放しの上、化粧タイル張り 厚25発泡断熱材打込みの上、厚12.5石膏ボード張り(GL工法)の上AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	A	同上	3,780 2,500	カーテンボックス(アルミ製)【撤去】	
	サービスヤード	C	コンクリート金コテ仕上の上、ビニル床シ-ト張り	A	ソフト巾木 H=75	B	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	C	同上	C	同上	2,350		
	機械室3-(2)	C	コンクリート金コテ仕上の上、厚2ビニル床シ-ト張り	A	ソフト巾木H=60	B	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 厚12.5石膏ボード張り(GL工法)の上、AEP塗装	C	同上	C	同上	2,500		
	客用手洗いカウンター	C	コンクリート金コテ仕上の上、厚15クッション材付フローリング直張り	A	木製巾木 H=75 OS、CL塗装	B	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装	C	LGS下地厚12.5石膏ボードの上、AEP塗装	C	塩ビ	2,350		



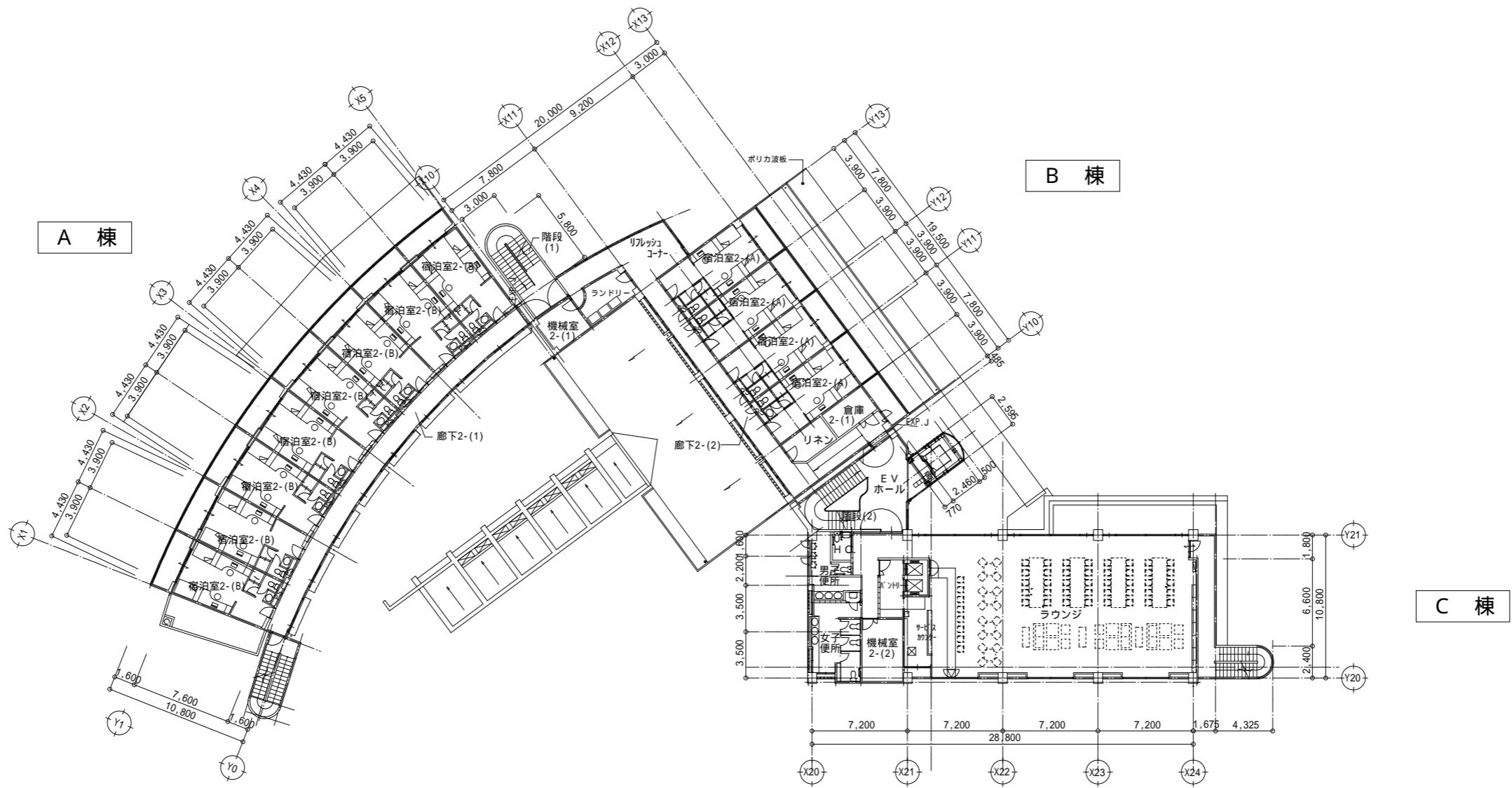
一級建築士事務所  
株式会社 m 3 那覇建築事務所

内部仕上表

室名	新室名	改修内容	床	改修内容	巾木	改修内容	壁	改修内容	天井	改修内容	廻り縁	CH	備考
C棟 2階 3階 【新設】	宿泊室2-(C)(宿泊室) 宿泊室3-(C)	c	ビニール床シート=2.0張り	c	ビニール巾木 H=75【新設】	c	硬質外タテ-A t = 25 GB-R-HC t = 12.5 (捨貼 t = 9.5) EP-G塗装 (外壁新設面) GB-R-HC t = 12.5 (捨貼 t = 9.5) EP-G塗装 (外壁面) GB-F t = 12.5+12.5 太鼓張り(界壁) GB-R t = 12.5 (その他)	c	軽鉄下地GB-R t = 12.5 EP-G塗装	c	塩ビ	2,700	カーテンボックス(アルミ製)【新設】
	宿泊室2-(C)(前室) 宿泊室3-(C)	c	ビニール床シート=2.0張り	c	ビニール巾木 H=75【新設】	c	GB-R t = 12.5	c	軽鉄下地GB-R t = 12.5 EP-G塗装	c	塩ビ	2,350	
	SW		—		—		—		—		—	—	サニタリーユニット【新設】
	廊下2-(3) 廊下3-(3)	c	300角ビニール床タイル t = 2.0張	c	ビニール巾木 H = 75【新設】	c	硬質外タテ-A t = 25 GB-R-HC t = 12.5 (捨貼 t = 9.5) EP-G塗装 (外壁新設面) GB-F t = 12.5+12.5 太鼓張り	c	軽鉄下地GB-R t = 12.5 EP-G塗装	c	塩ビ	2,400	
	空調機械室	f	300角厚2ビニール床タイル張り	f	モルタル巾木 H = 60 AEP塗装	f	コンクリート打放しのままAEP塗装	f	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り	f	同上	2,500	
2・3階 共通	リフレッシュコーナー	A a	コンクリート全コテ仕上の上、300角厚2ビニール床タイル張り 300角ビニール床タイル t = 2.0張【新設】	A a	ソフト巾木 H = 75 同上	E e	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装 EP-G塗装【新設】	C c	LGS下地厚6ケイカル板の上、AEP塗装 LGS下地0.8FKEP-G塗装【新設】	F f	同上	2,400	
	ランドリー	A a	コンクリート全コテ仕上の上、厚2ビニール床シート張り ビニール床シート=2.0張り	A a	ソフト巾木 H = 75 同上	E e	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装 EP-G塗装【新設】	C c	LGS下地厚6ケイカル板の上、AEP塗装 LGS下地0.8FKEP-G塗装【新設】	F f	同上	2,500	
	リネン室	A a	同上 同上	A a	ソフト巾木 H = 75 同上	E e	コンクリート打放し(B種)の上、AEP塗装 LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装 EP-G塗装【新設】	E e	LGS下地厚6ケイカル板の上、AEP塗装 EP-G塗装【新設】	F f	同上	2,500	
	女子便所	C	モルタル全コテ仕上の上、厚2ビニール床シート張り(抗菌・マープル)	C	同上	C	300角磁器質タイル張り	C	同上	C	同上	2,500	
	男子便所	C	コンクリート全コテ仕上の上、厚2ビニール床シート張り(抗菌・マープル) モルタル全コテ仕上の上、厚2ビニール床シート張り(抗菌・マープル)	C	同上	C	同上	C	同上	C	同上	2,500	汚重石:花崗岩(t=25)本磨き【撤去】
	倉庫2-(1) 倉庫3-(1)	F	コンクリート全コテ仕上の上、300角厚2ビニール床タイル張り	F	ソフト巾木 H = 75	F	同上	F e	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り EP-G塗装【新設】	F f	同上	2,500	







2 階平面図

S = 1/200

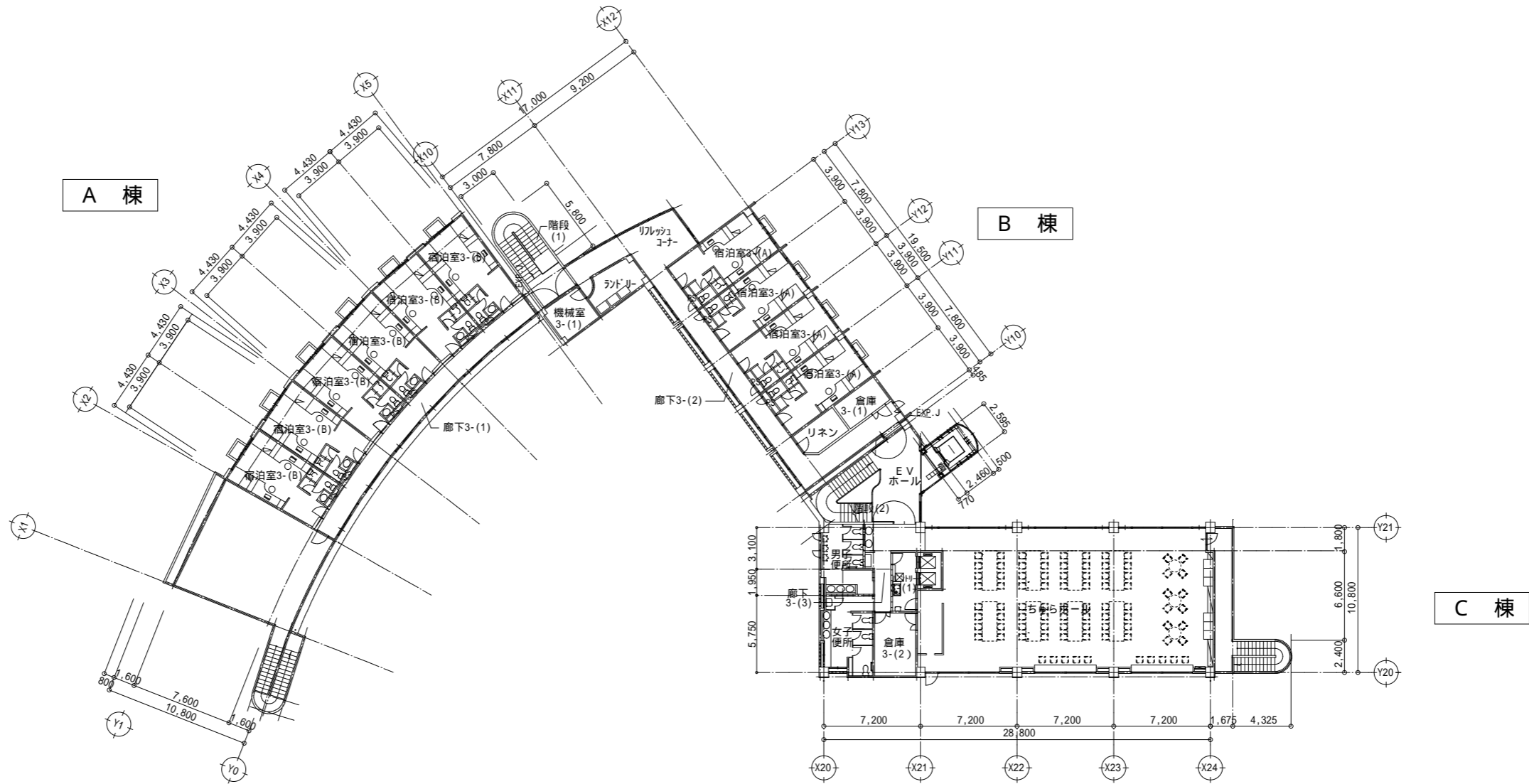


一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

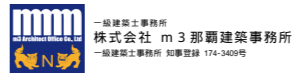
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 2 階平面図 (改修前) 縮尺 A1 : 1/200

沖縄科学技術大学院大学学園



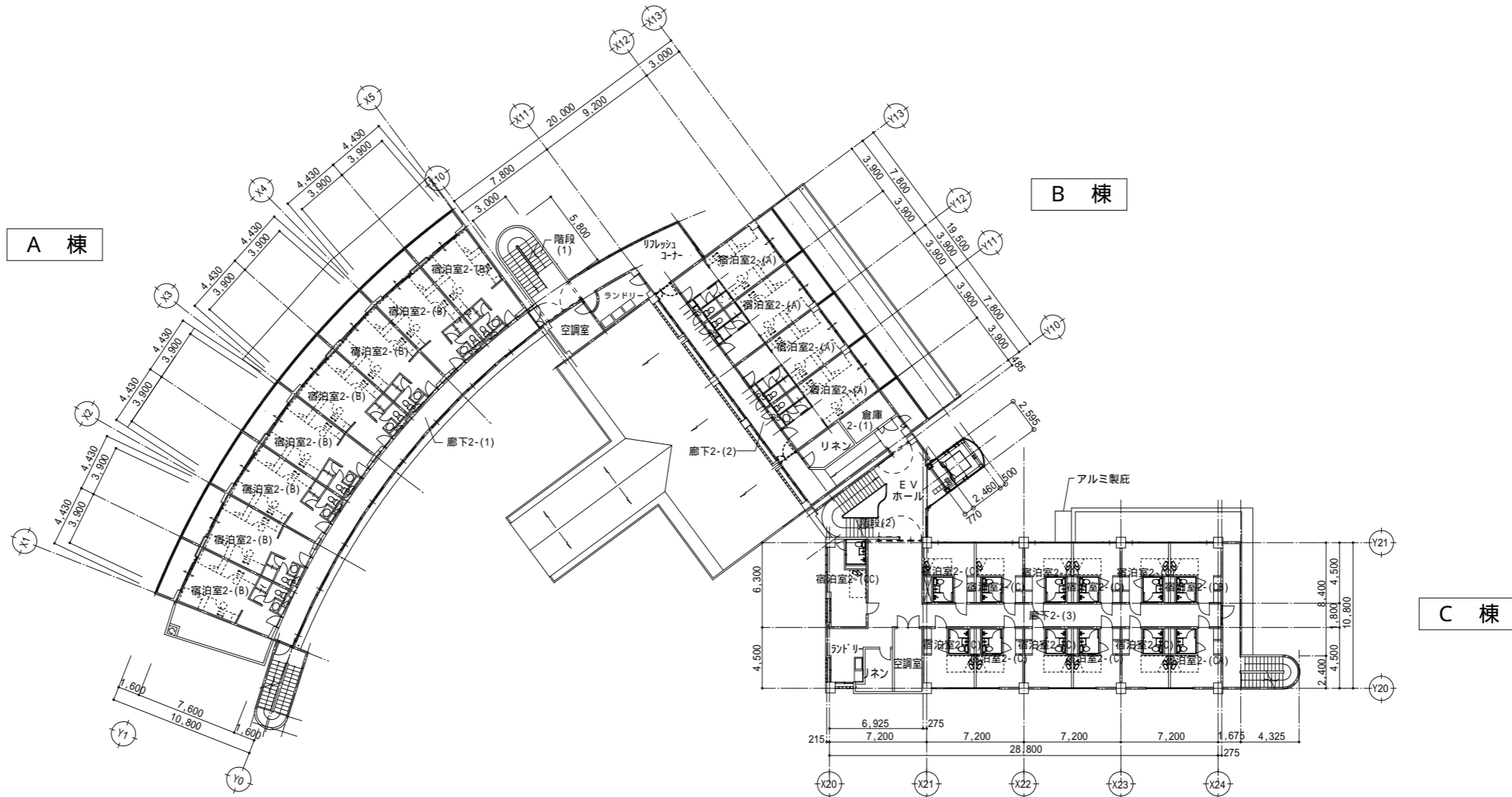
3階平面図 S = 1/200

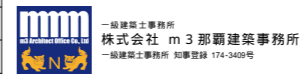
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3400号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 3階平面図(改修前)	縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400	20 A-20
沖縄科学技術大学院大学学園		

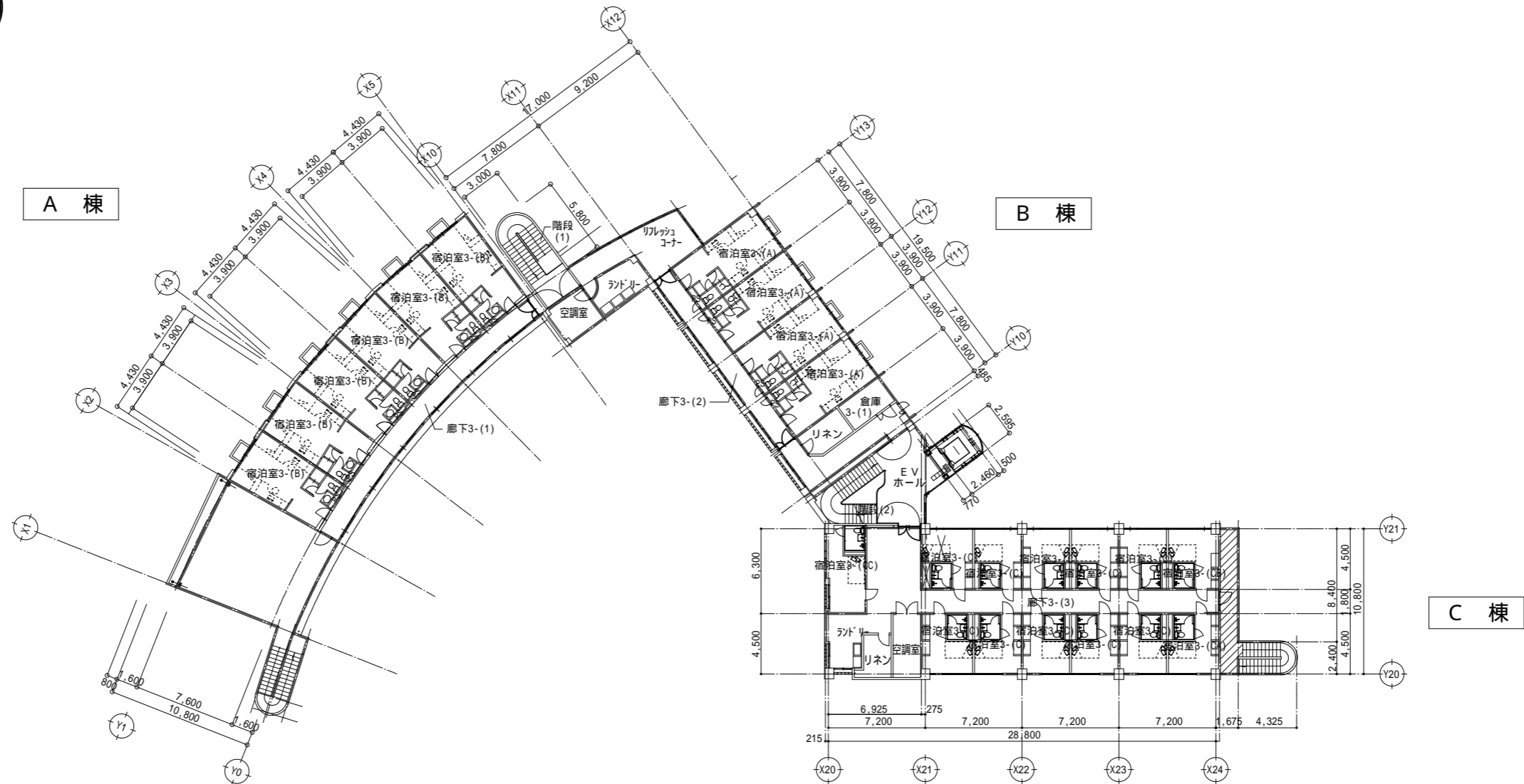




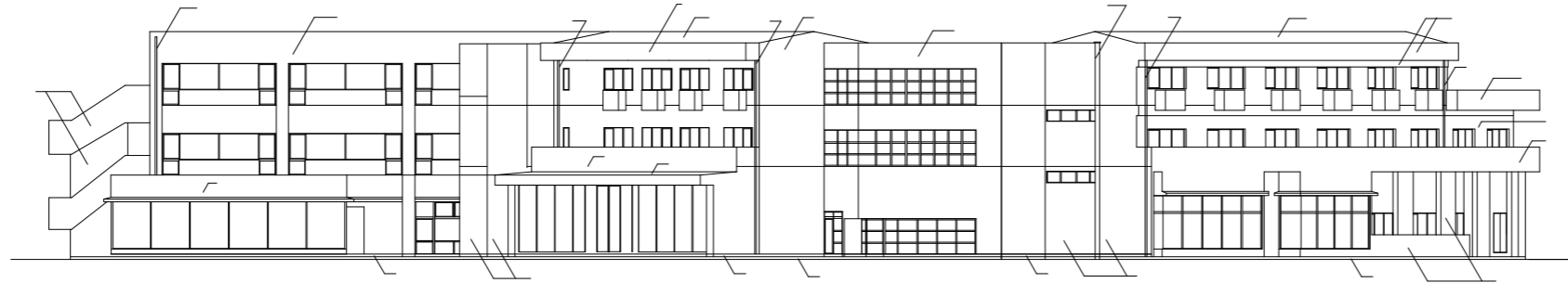
2階平面図 S = 1/200



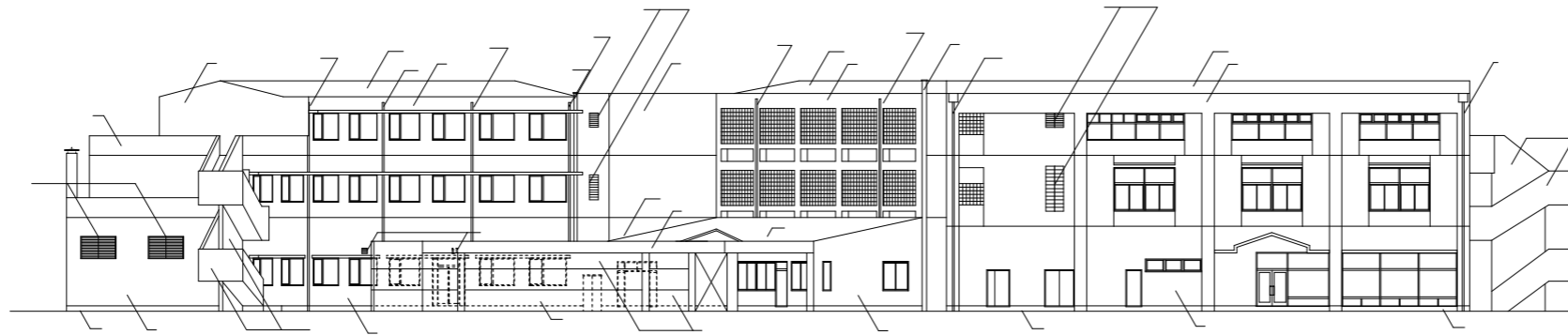
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号



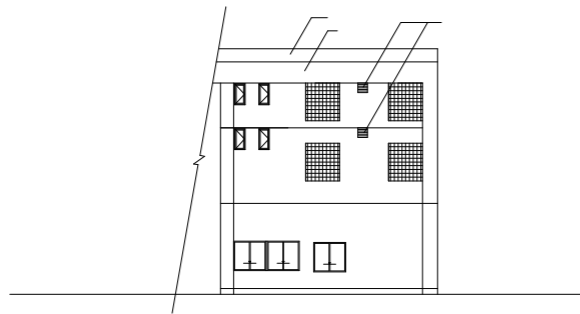
3階平面図 S = 1/200



西面 立面図 S = 1 : 200



東面 立面図 S = 1 : 200



南面 立面図 S = 1 : 200



北面 立面図 S = 1 : 200

仕上
塗膜防水【既存のまま】
複層塗材 R E【改修】
沖縄在来瓦葺き、一部防水材外金ヅ【既存のまま】
鑄鉄製鋼管 100【既存のまま】 摺み金物@1800鋼製【撤去】
EXP.Jカバー（アルミ製）【仮撤去】
コンクリート金網押【既存のまま】
ガラリ（鋼製）【撤去】
琉球石灰岩張り【既存のまま】
琉球石灰岩ポーター張り【既存のまま】
サッシ廻りシーリング【撤去】10×10
コンクリート打継目地、誘発目地【撤去】20×10



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3400号

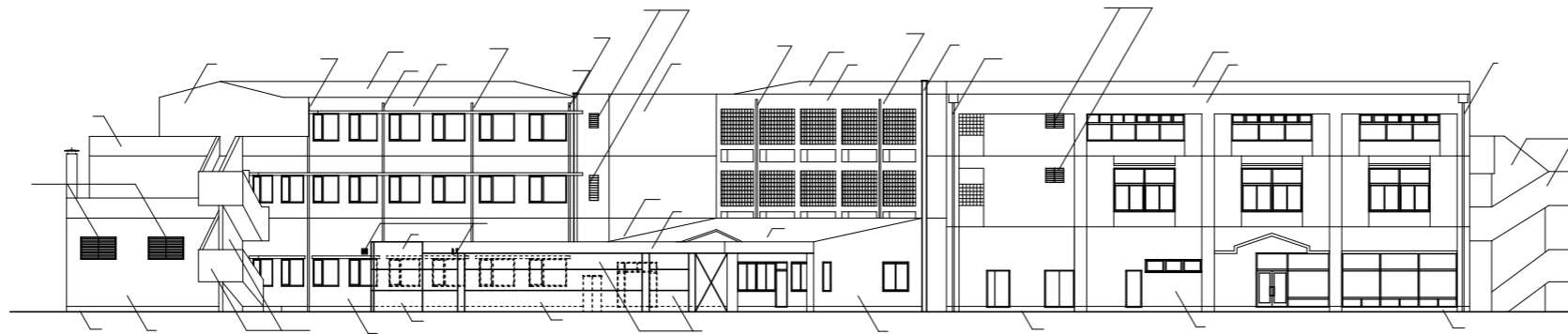
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 立面図（改修前） 縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400

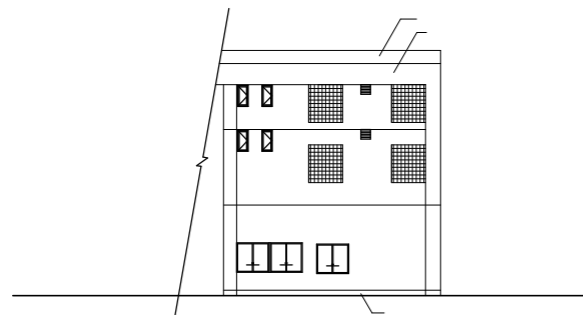
沖縄科学技術大学院大学学園



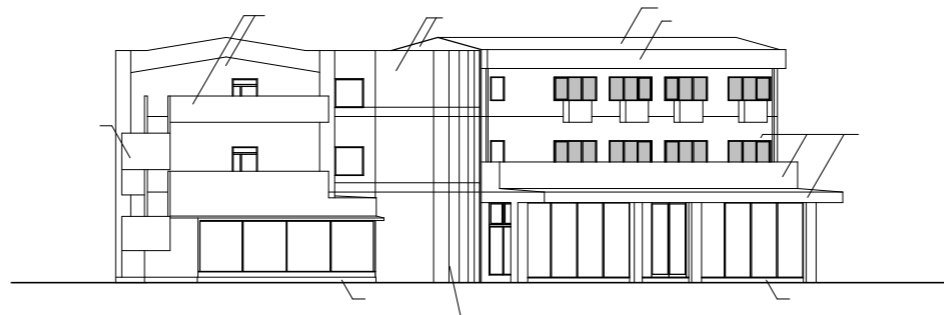
西面 立面図 S = 1 : 200



東面 立面図 S = 1 : 200



南面 立面図 S = 1 : 200



北面 立面図 S = 1 : 200

■ 【改修】(カバー工法) 建具を示す。

仕上
下地調整の上 超硬質ウレタン吹付け【新設】(密着SD工法)
下地調整の上 フッ素トップコート【新設】(塗替工法)
沖縄在来瓦葺き、【高圧水洗浄】漆喰【交換】
カラーVP 100【新設】 摺り金物@1800(SUS製)【新設】
EXP.Jカバー(アルミ製)【復旧】
コンクリート金網押
ガラリ(アルミ製)【新設】(防水仕様)
琉球石灰岩張り【高圧水洗浄】10Mpa
琉球石灰岩ポーグー張り【高圧水洗浄】10Mpa
サッシ廻りシーリング【新設】10×10 MS-2
コンクリート打継目地、誘発目地【新設】20×10 MS-2
A L C 版間目地【新設】20×10 PU-2



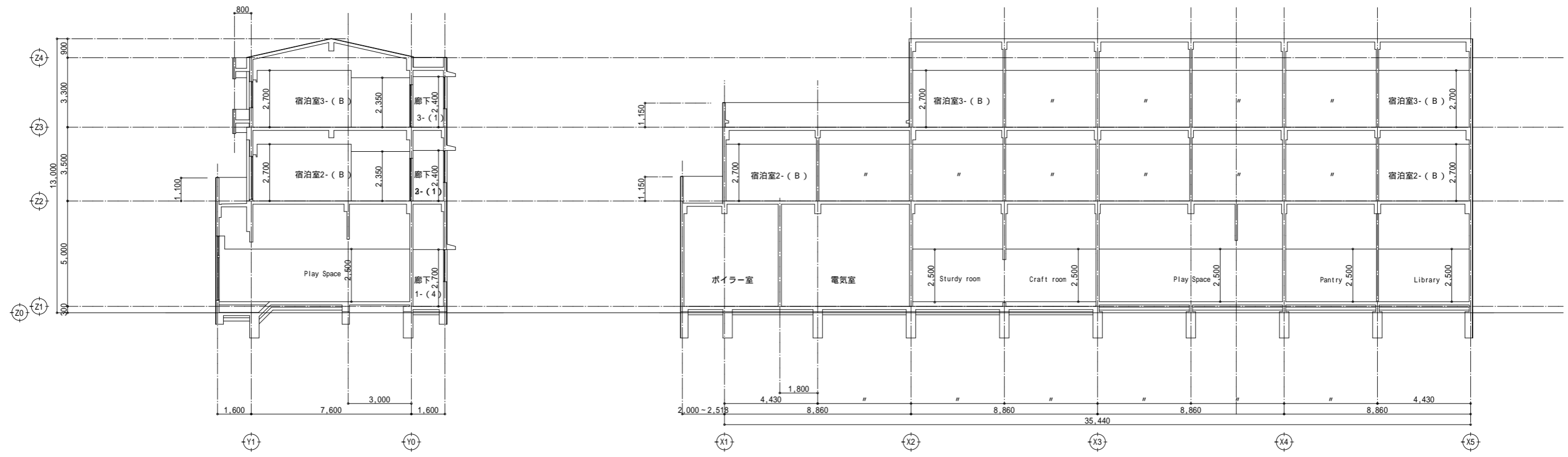
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3400号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 立面図(改修後) 縮尺 A1 : 1/200  
A3 : 1/400

沖縄科学技術大学院大学学園

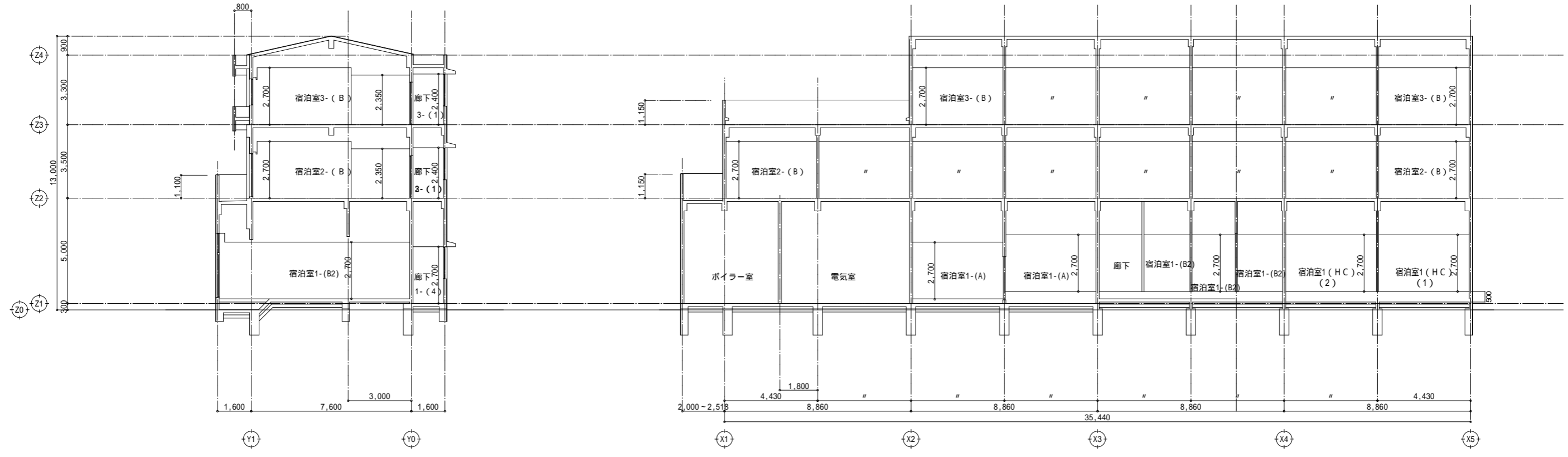
A棟断面図(改修前)



C-C' 断面図

D-D' 断面図

A棟断面図(改修後)



C-C' 断面図

D-D' 断面図



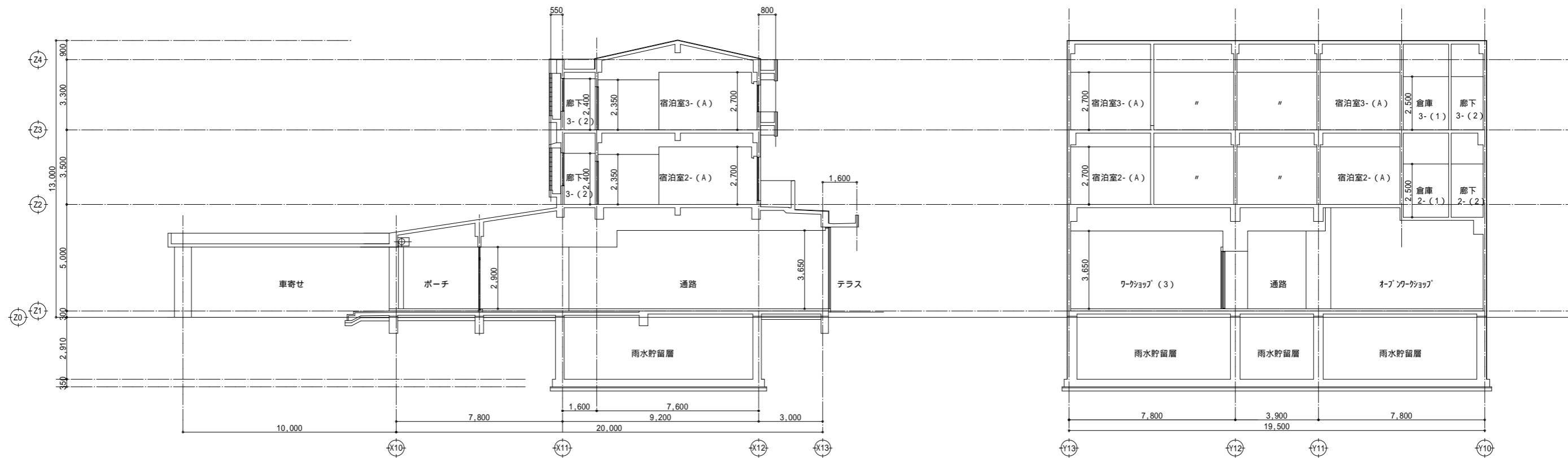
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 A棟断面図(改修前)(改修後)縮尺 A1: 1/100  
A3: 1/200

沖縄科学技術大学院大学学園

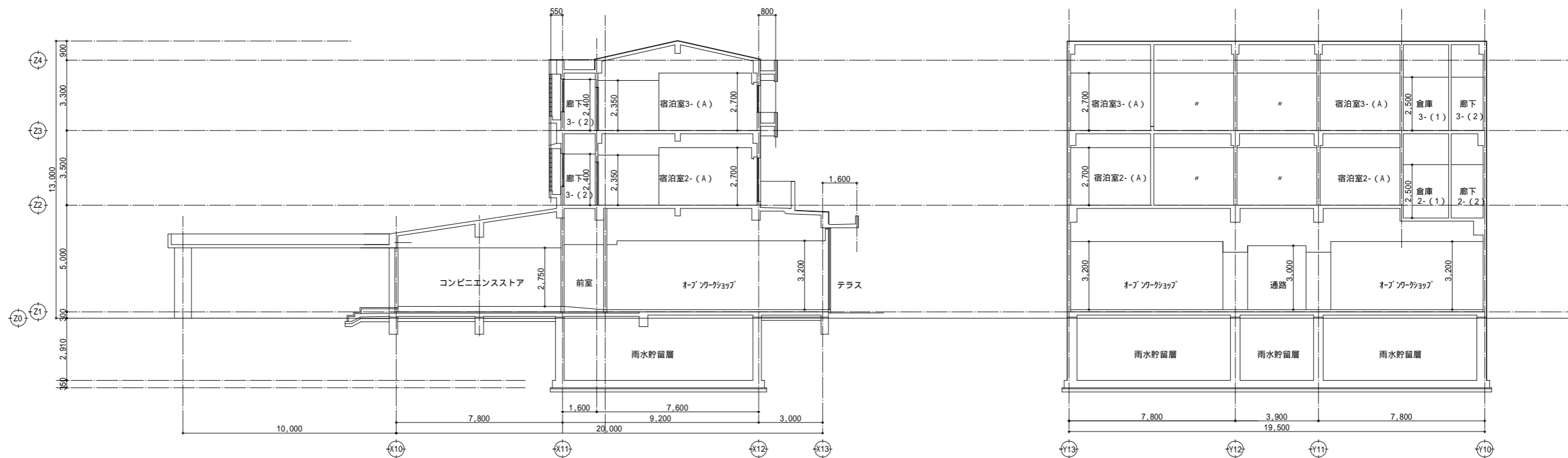
B棟断面図 (改修前)



A-A' 断面図

B-B' 断面図

B棟断面図 (改修後)



A-A' 断面図

B-B' 断面図



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3403号

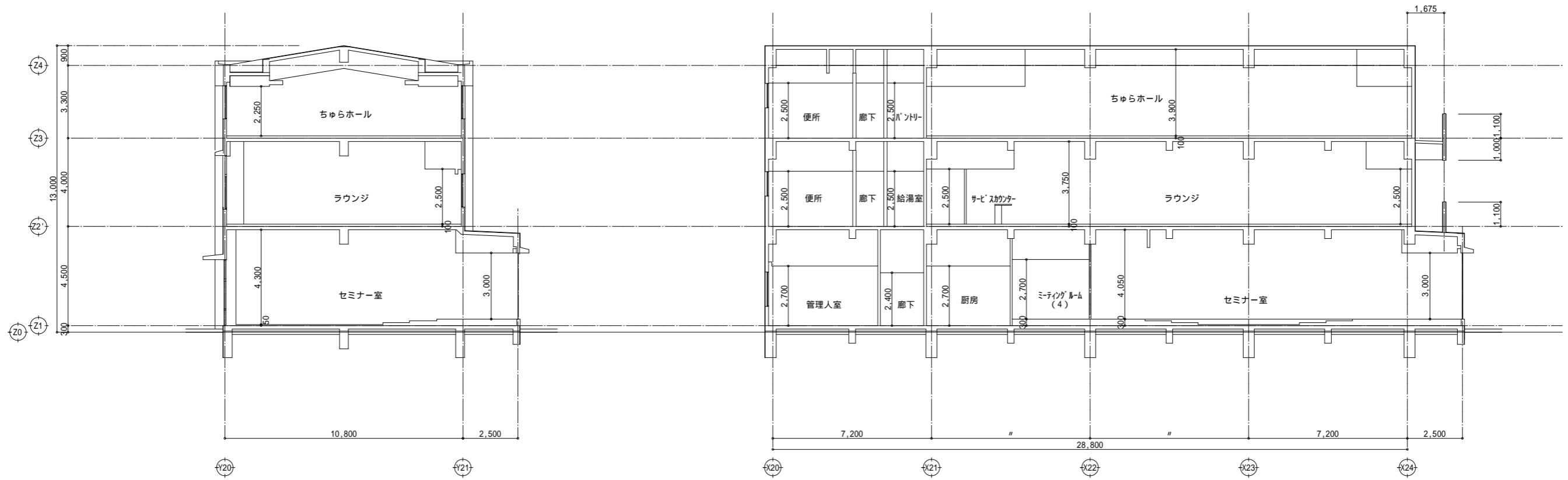
工事名 沖縄科学技術大学院大学ソーサイドハウス改修工事

図面名 B棟断面図 (改修前) (改修後) 縮尺 A1 : 1/100

A3 : 1/200

沖縄科学技術大学院大学学園

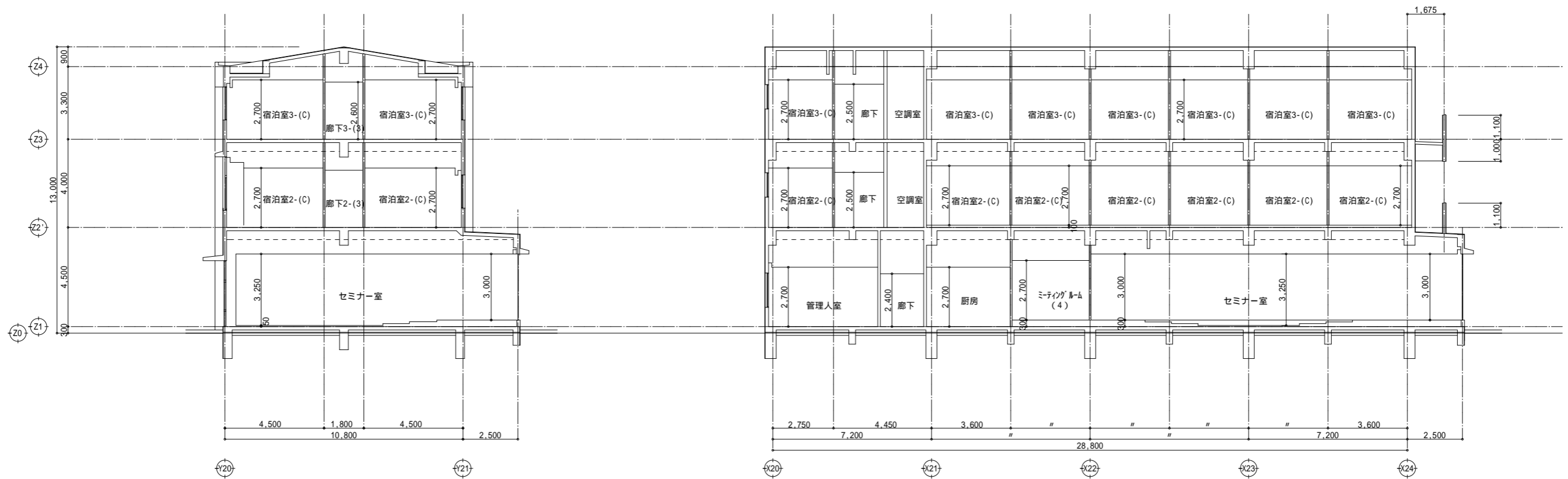
C棟断面図（改修前）



E-E' 断面図

F-F' 断面図

C棟断面図（改修後）



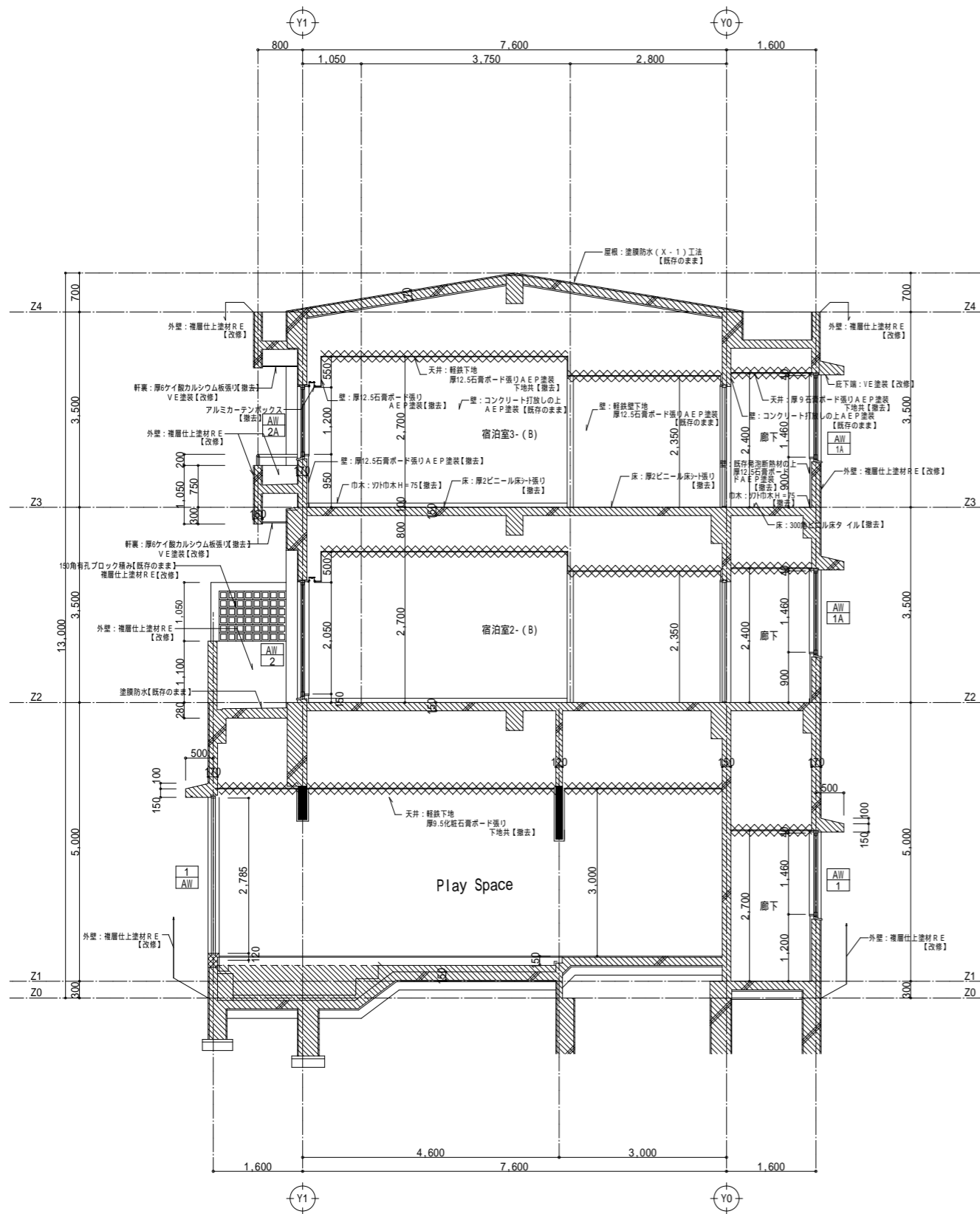
E-E' 断面図

F-F' 断面図

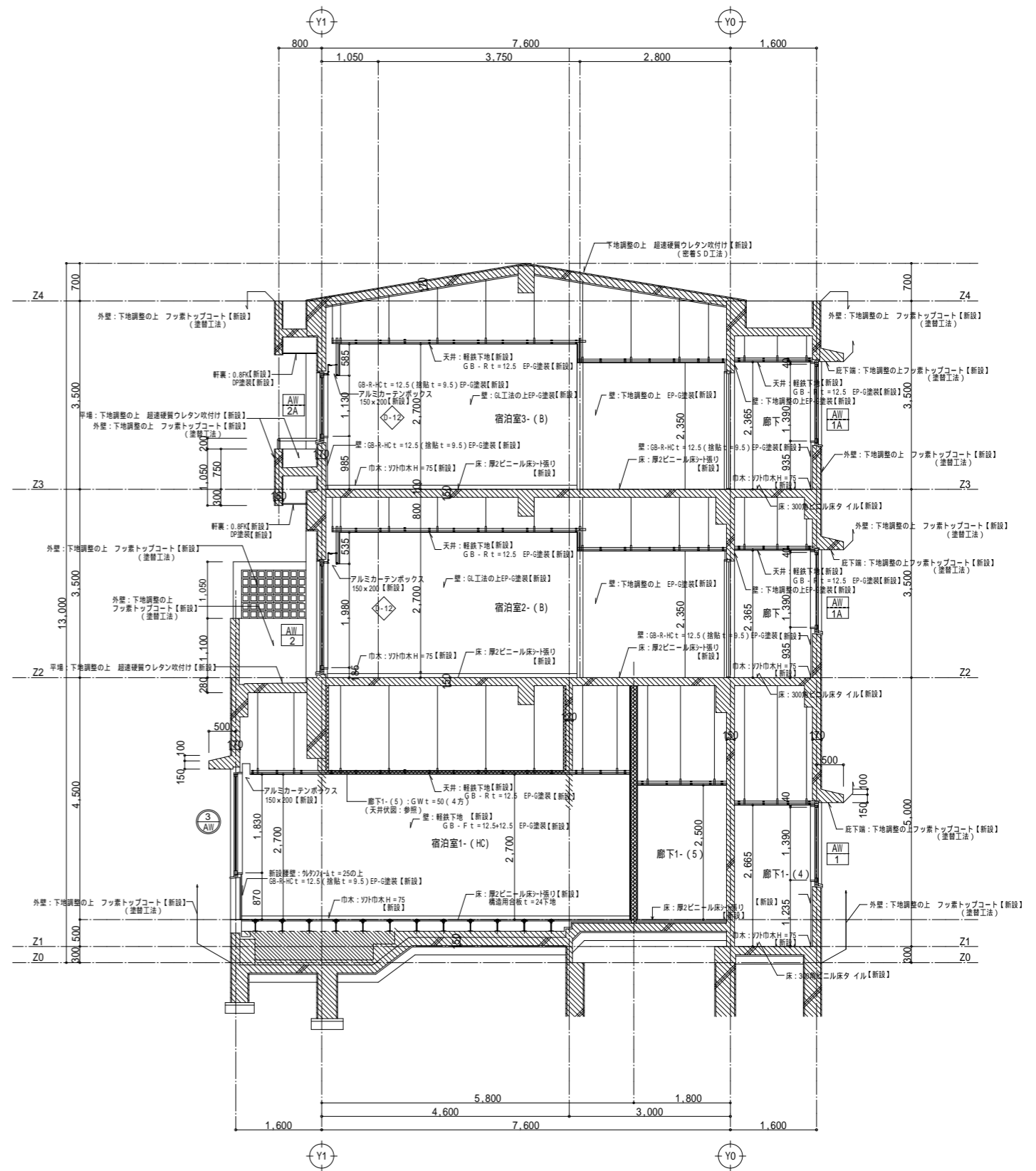


一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 C棟断面図（改修前）（改修後）縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200  
沖縄科学技術大学院大学学園



A 棟断面詳細図 (改修前) S = 1/50



A 棟断面詳細図 (改修後) S = 1/50

	【耐火壁】 - (上階スラブ下端まで) LGS100+GB-Ft = 12.5+12.5 FP060NP-0483 2-23-1
	建具-遮音性能: T-2を示す

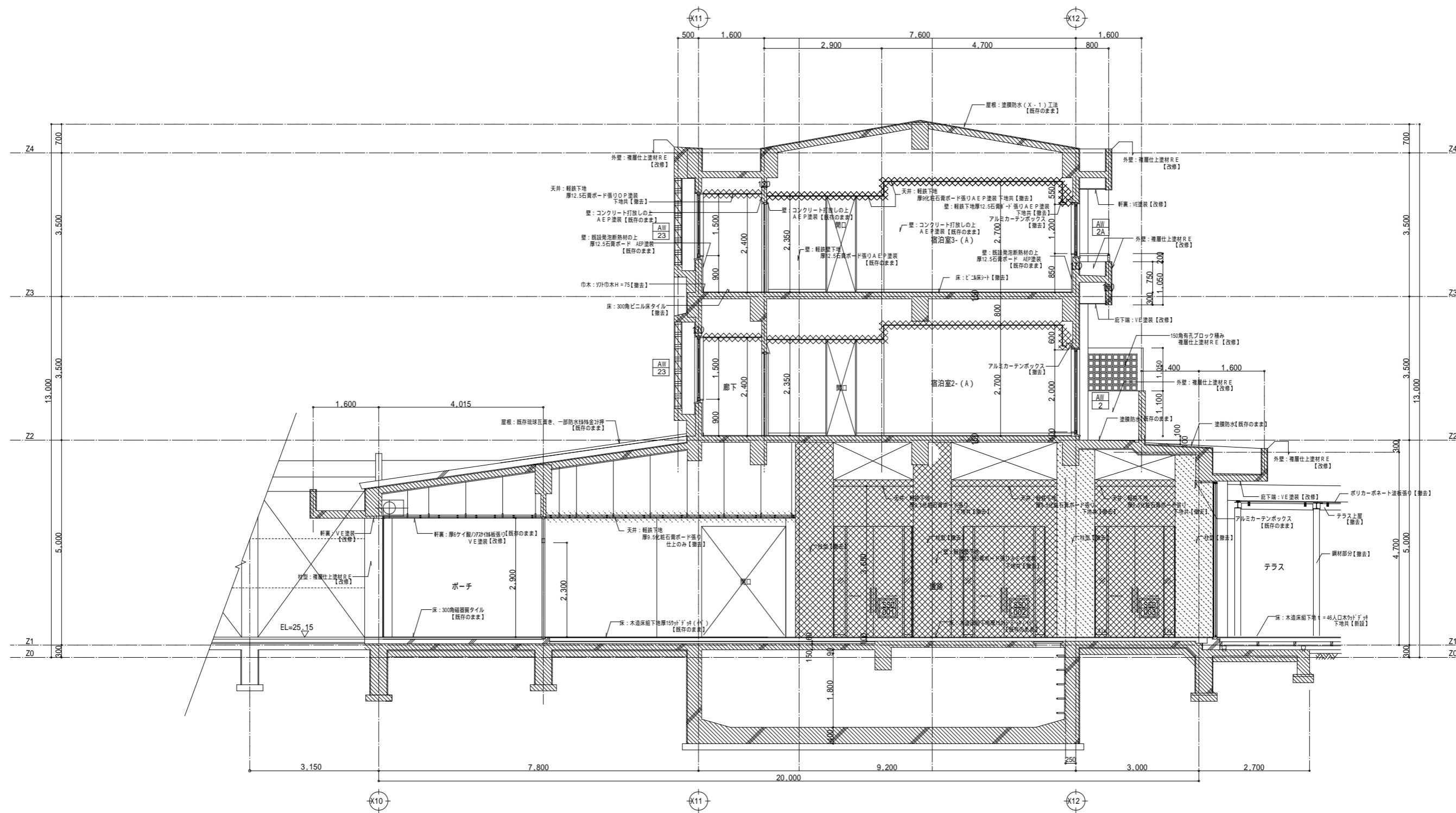
凡例

	撤去範囲 (下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	撤去範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
			既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		



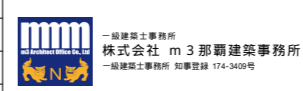
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 A棟断面詳細図 (改修前) (改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
沖縄科学技術大学院大学学園

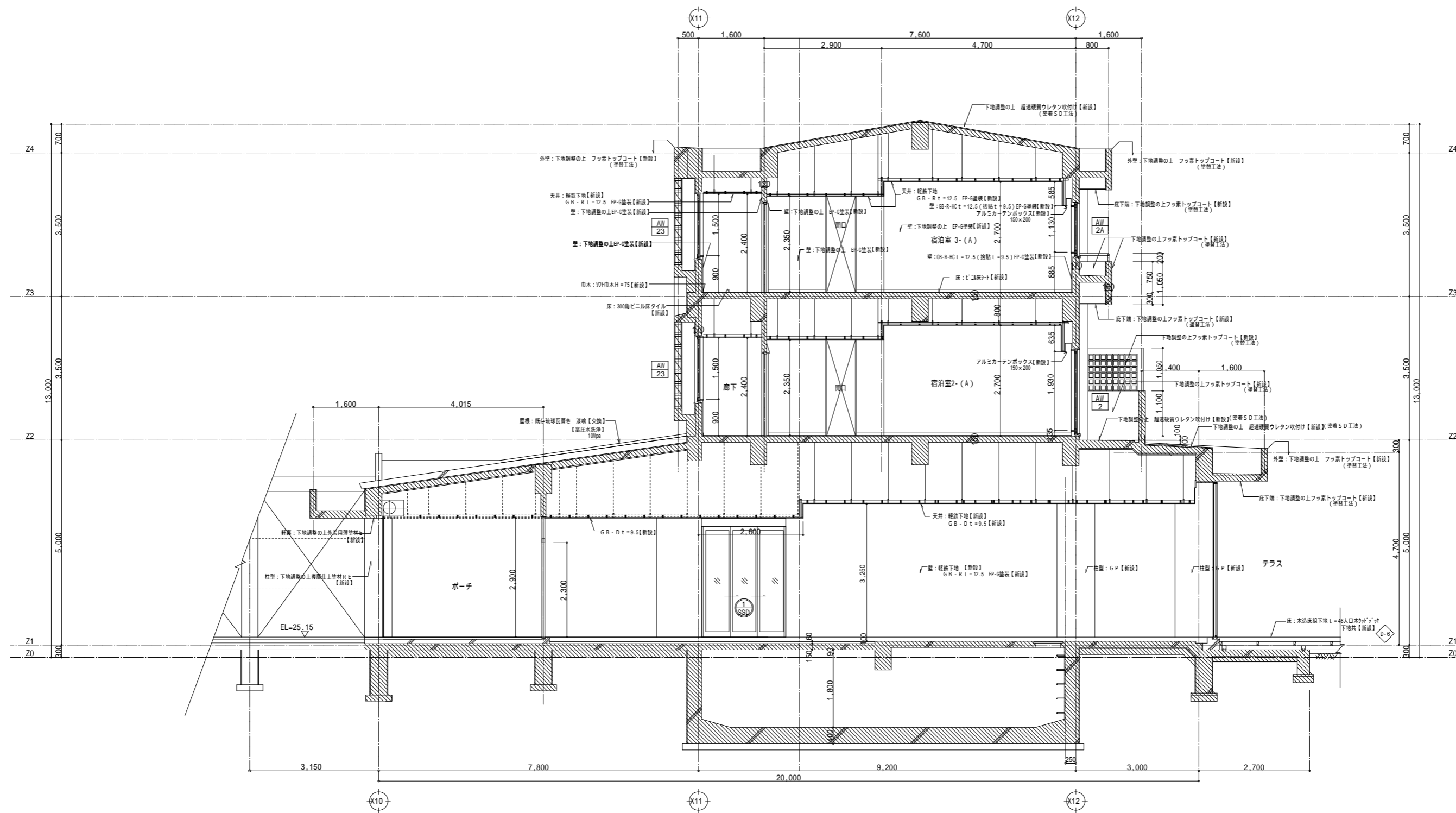


B 棟断面詳細図 (改修前) S = 1/50

凡例		撤去範囲 (下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		撤去範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
		撤去範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		

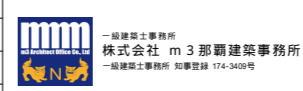


工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 B 棟断面詳細図 (改修前) 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園

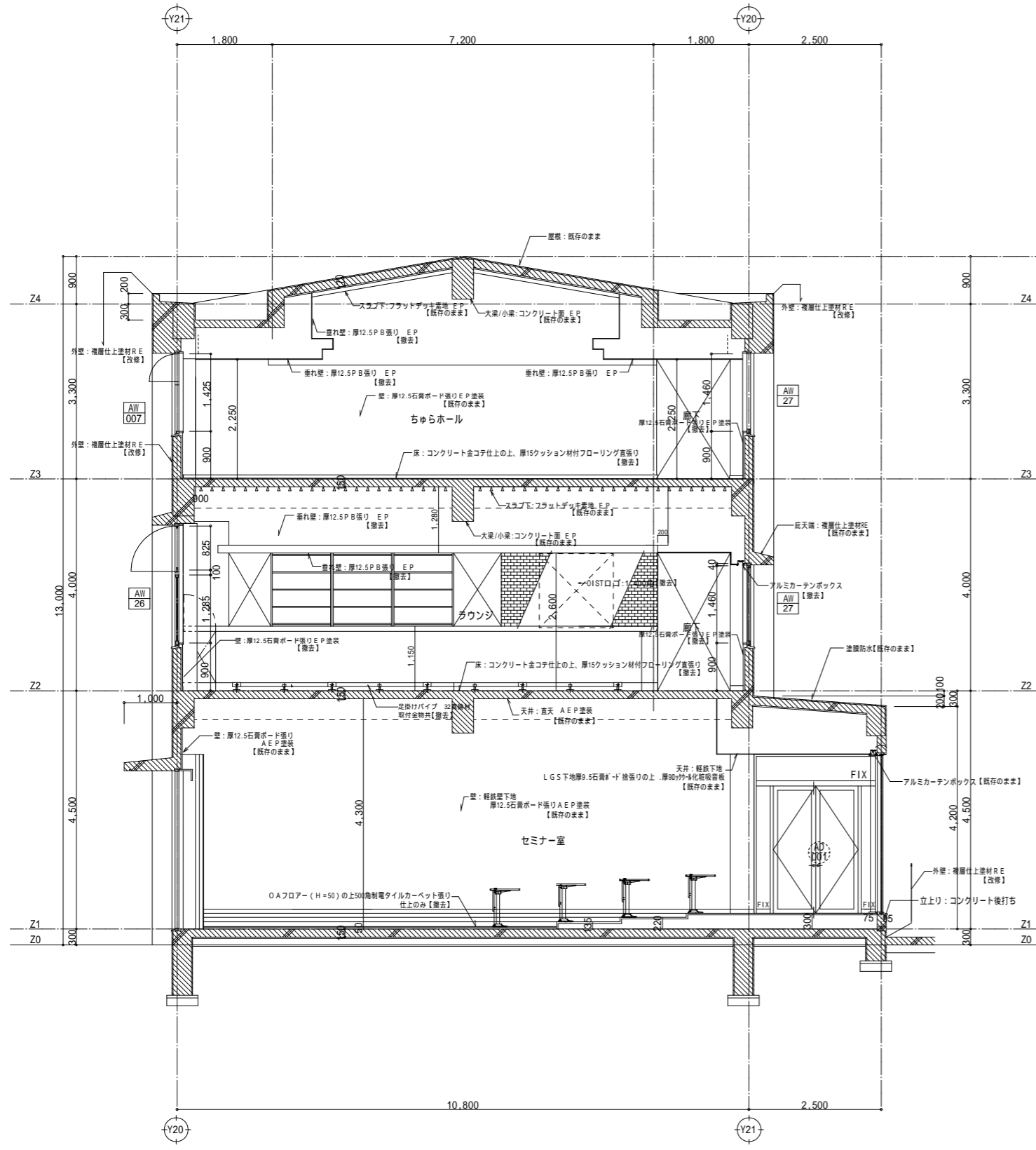


B 棟断面詳細図 (改修後) S = 1/50

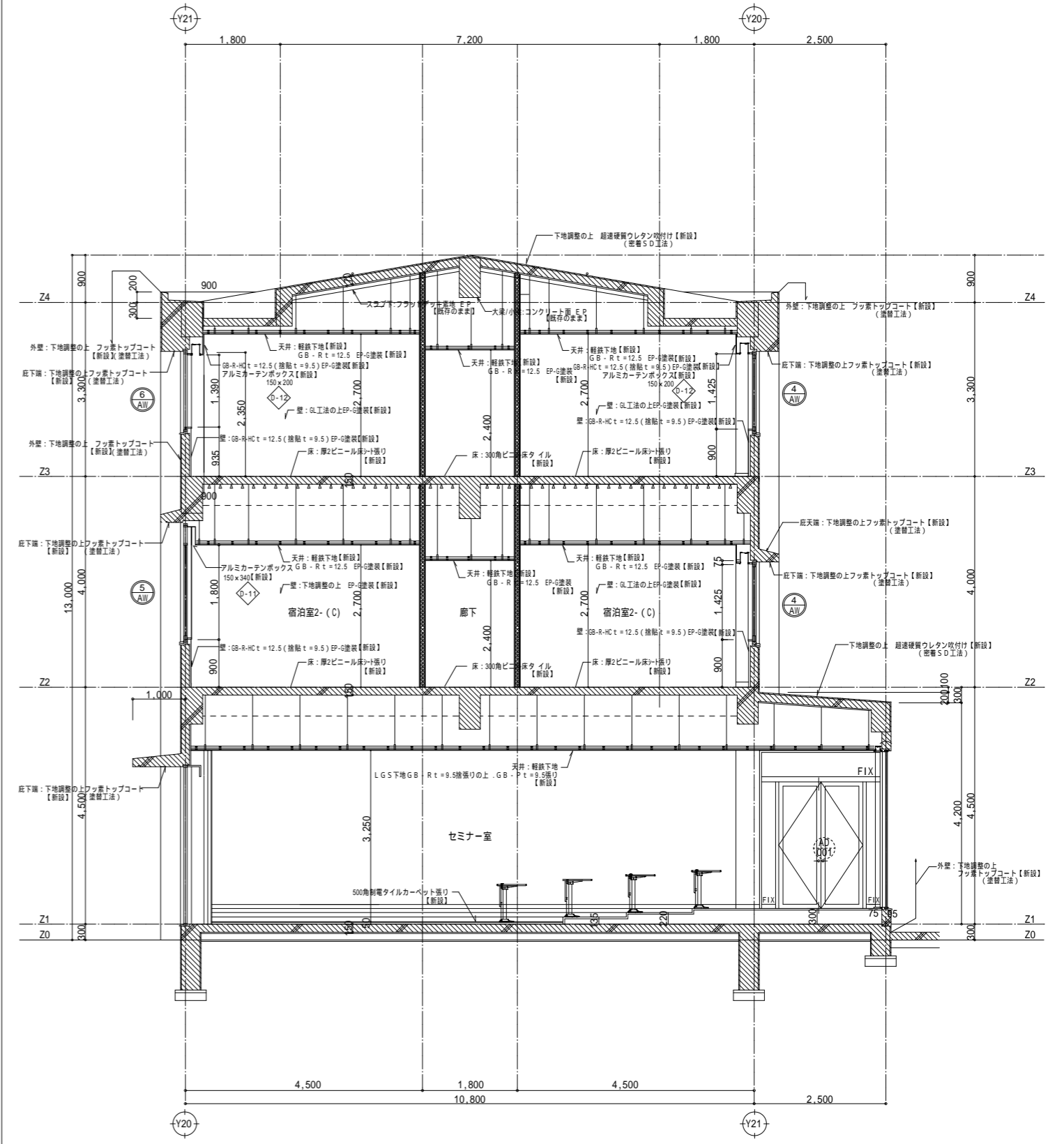
凡例		撤去範囲 (下地共)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
		撤去範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
				既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】 【新設】 建具を示す。		



工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 B 棟断面詳細図 (改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園



C 棟断面詳細図 (改修前) S=1/50



C 棟断面詳細図 (改修後) S=1/50

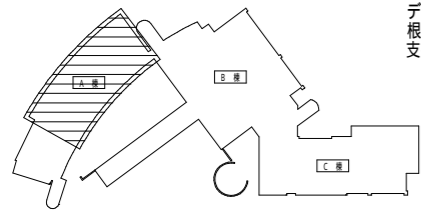
	【耐火壁】・(上階スラブ下端まで) LGS100+GB-F t = 12.5+12.5	2-23-1
	建具・遮音性能: T-2を示す	

凡例		撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		撤去範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
				既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		

一級建築士事務所  
 株式会社 m3 那覇建築事務所  
 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 C棟断面詳細図(改修前)(改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園

32  
A-32

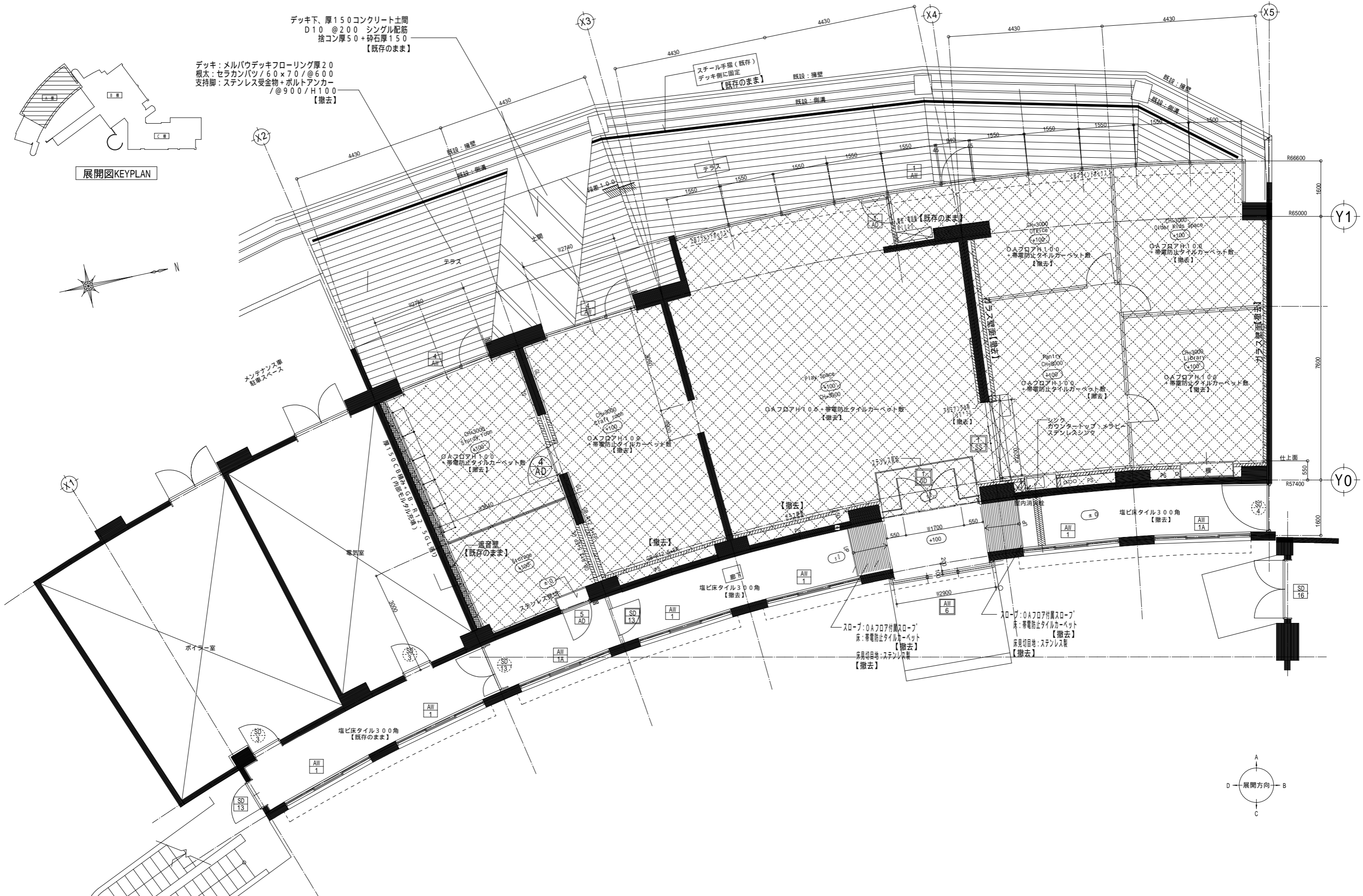


展開図KEYPLAN



デッキ：メルパウデッキフローリング厚20  
根太：セラカンパツ/60×70/φ600  
支持脚：ステンレス安全物+ボルトアンカー  
/φ900/H100  
【撤去】

デッキ下、厚150コンクリート土間  
D10 @ 200 シングル配筋  
捨コン厚50+砕石厚150  
【既存のまま】



メンテナンス車  
駐車スペース

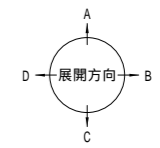
ボイラー室

塩ビ床タイル300角  
【既存のまま】

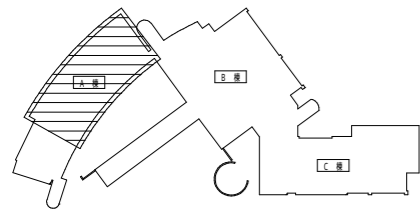
塩ビ床タイル300角  
【撤去】

スロープ：O.A.フロア付属スロープ  
床：帯電防止タイルカーペット  
【撤去】  
床見切目地：ステンレス製  
【撤去】

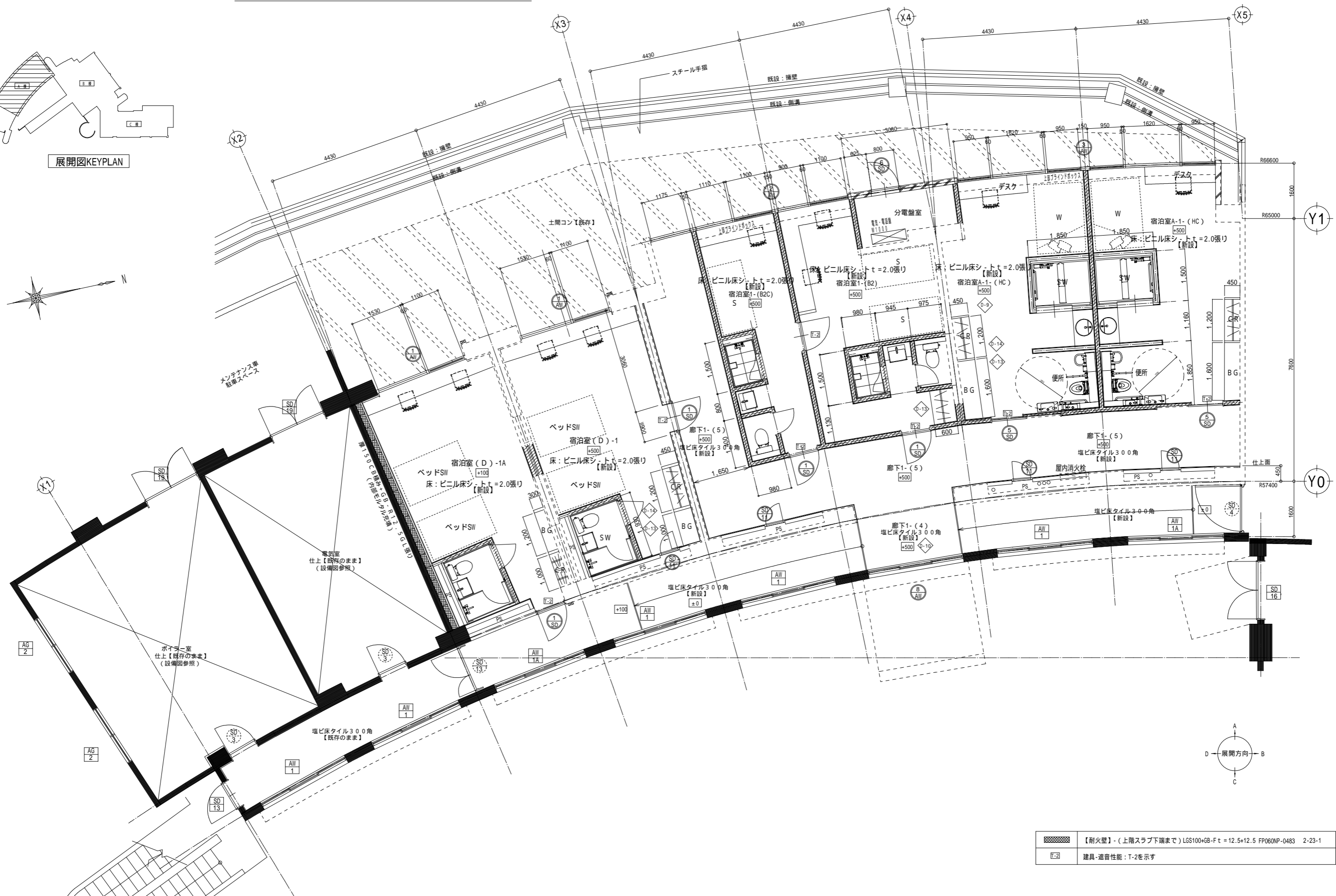
スロープ：O.A.フロア付属スロープ  
床：帯電防止タイルカーペット  
【撤去】  
床見切目地：ステンレス製  
【撤去】



凡例		撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		撤去範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。
				既存建具【既存のまま】を示す。		【撤去】【新設】建具を示す。
				【撤去】【新設】建具を示す。		
		工務名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 A棟1階キッズルーム 平面詳細図(改修前)		縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100		33 A-33



展開図KEYPLAN

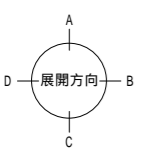
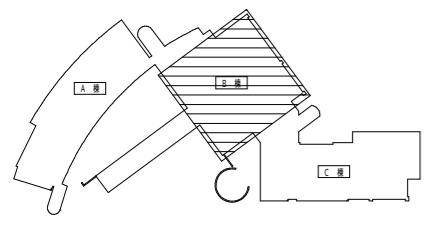
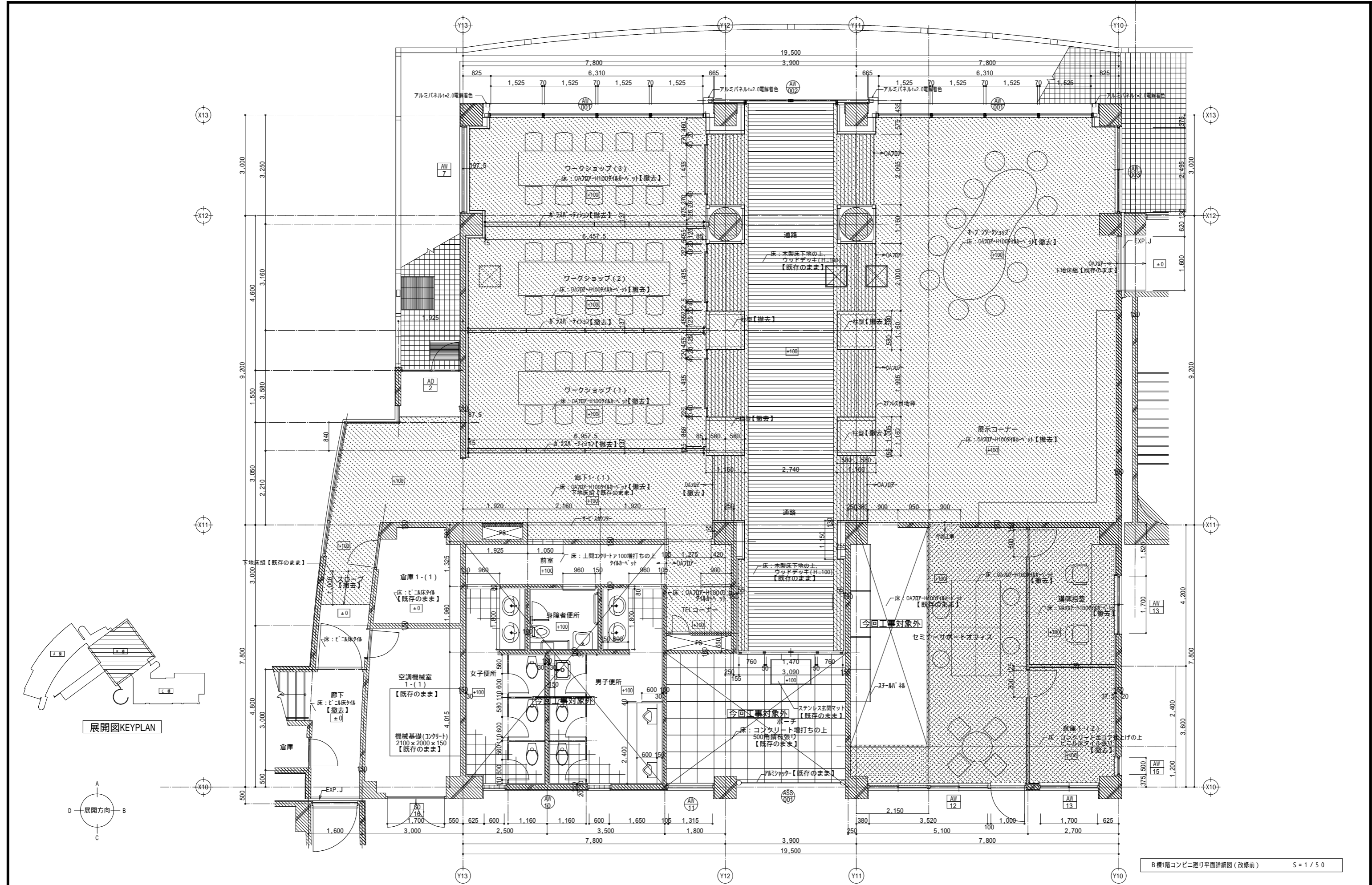


	【耐火壁】-(上階スラブ下端まで) LGS100+GB-F t = 12.5+12.5 FP060NP-0483 2-23-1
	建具-遮音性能:T-2を示す

凡例		RC壁【新設】		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		RC壁【既存】		既存建具【塗替】を示す。		
		軽量鉄骨下地間仕切壁100形【新設】		既存建具【既存のまま】を示す。		
		既設躯体/柱・壁を示す		【撤去】【新設】建具を示す。		

一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 A棟1階H C室廻り平面詳細図(改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
沖縄科学技術大学院大学学園

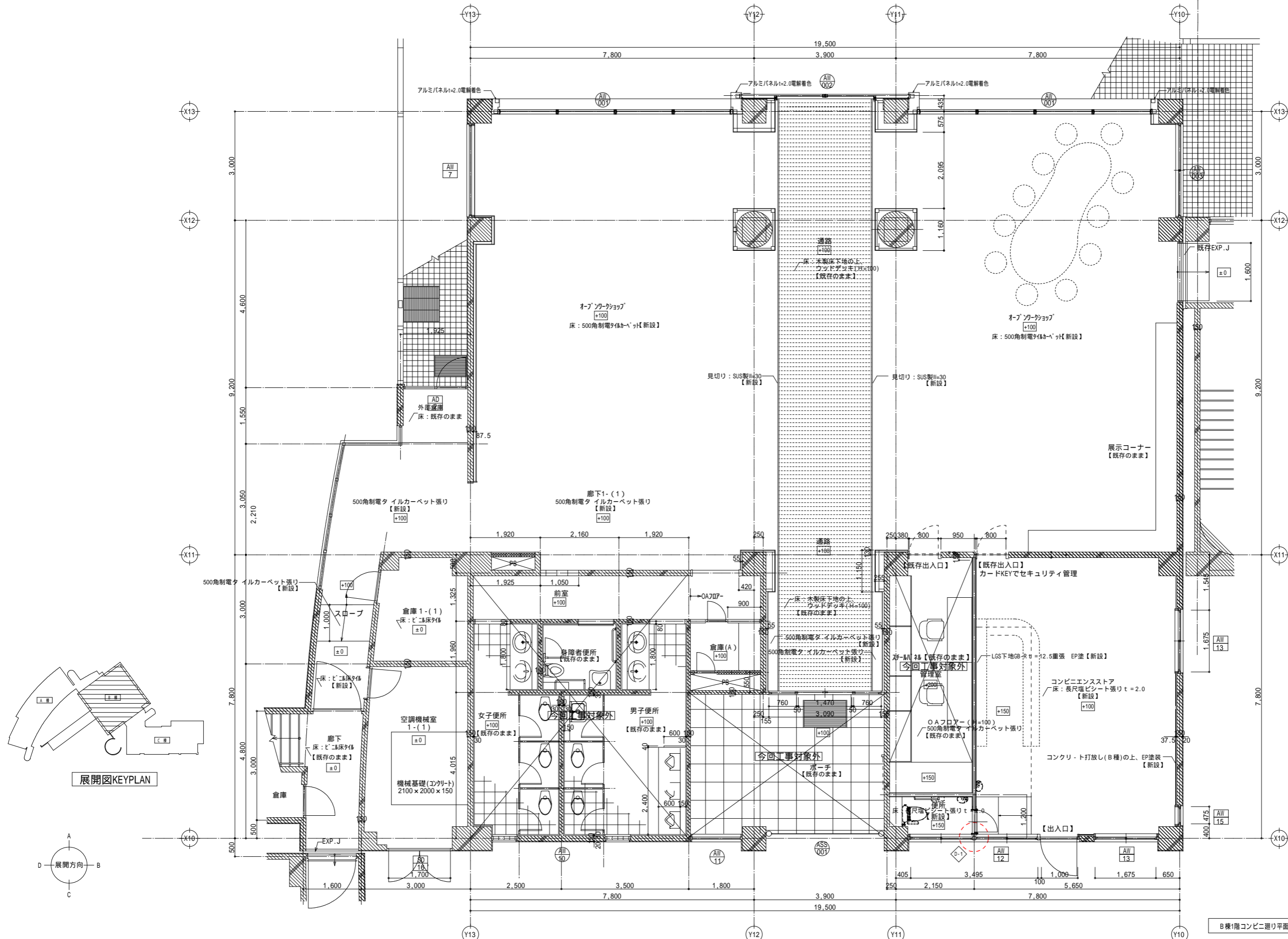


B 棟1階コンビニ廻り平面詳細図 (改修前) S = 1 / 50

	撤去範囲 (下地共)
	撤去範囲 (躯体)
	撤去範囲 (仕上のみ)

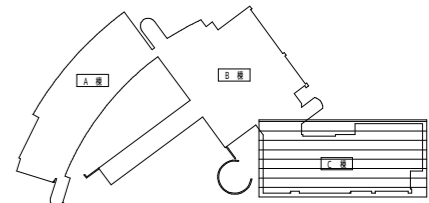
一級建築士事務所  
株式会社 m3 建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 1-12362号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 B 棟1階コンビニ廻り平面詳細図 (改修前) 沖縄科学技術大学院大学学園	縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	35 A-35
--	----------------------------	------------

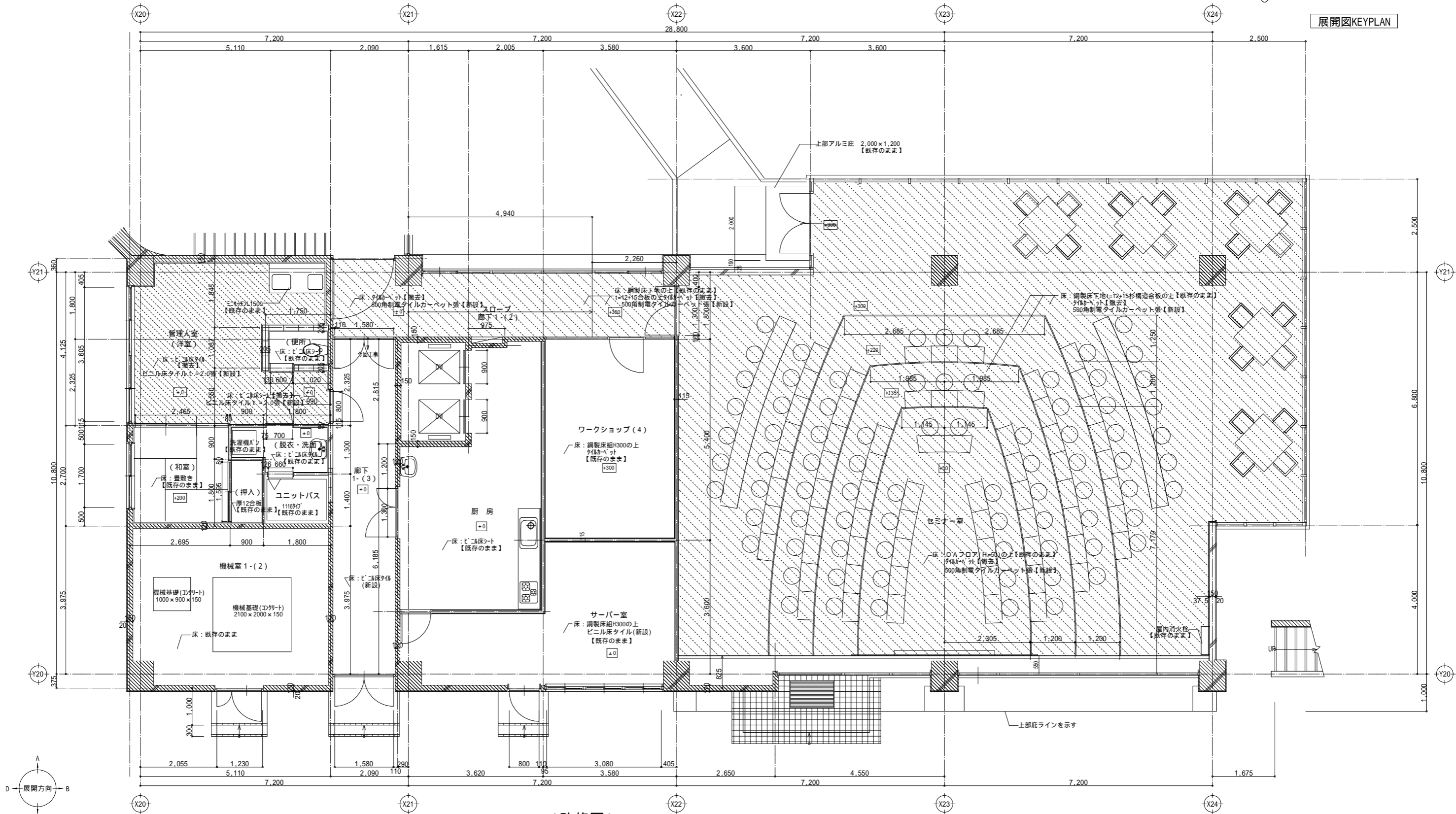


B棟1階コンビニ廻り平面詳細図(改修後) S=1/50

	<p>工事名 沖縄科学技術大学院大学サードハウス改修工事</p> <p>図面名 B棟1階コンビニ廻り平面詳細図(改修後)</p> <p>株式会社 m3 那覇建築事務所</p> <p>沖縄科学技術大学院大学学園</p>	<p>一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号</p>	<p>縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100</p>	<p>36 A-36</p>
--	--	---	------------------------------------	--------------------

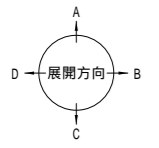


展開図KEYPLAN



(改修図)  
C棟1階セミナー室廻り平面詳細図 S=1/50

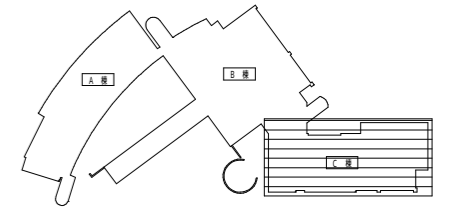
既存造りつけ家具の仮撤去 復旧、家具等の移動は本工事に含むものとする。



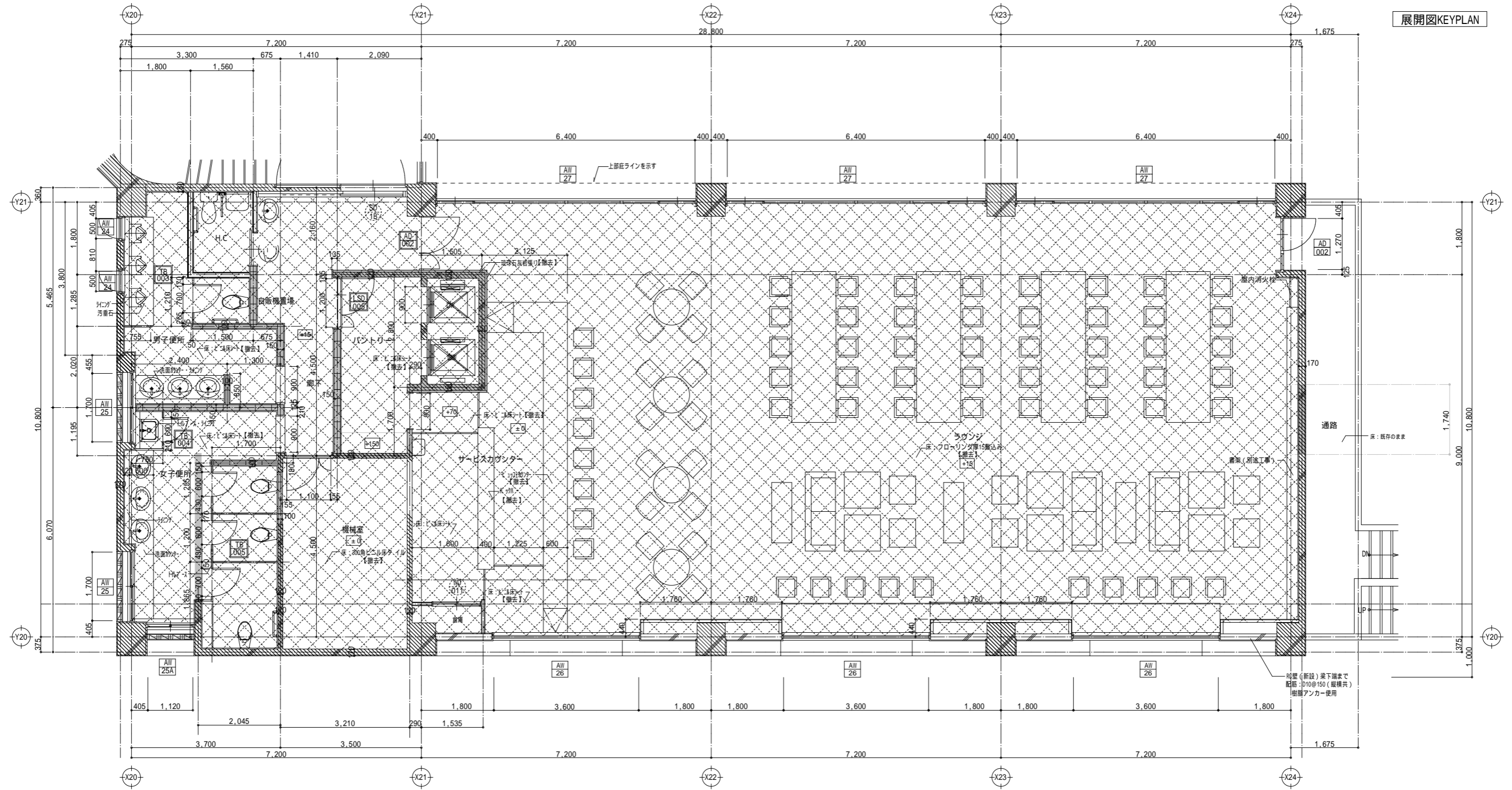
	撤去範囲(下地共)
	撤去範囲(躯体)
	撤去範囲(仕上のみ)

一級建築士事務所  
株式会社 m3 建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 1-12362号

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	37
図面名	C棟1階セミナー室廻り平面詳細図(改修図)	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
沖縄科学技術大学院大学学園		A-37

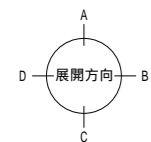


展開図KEYPLAN



(改修前)  
C棟2階ラウンジ平面詳細図 S = 1/50

既存造りつけ家具、移動家具等の撤去・廃棄は本工事に含むものとする。



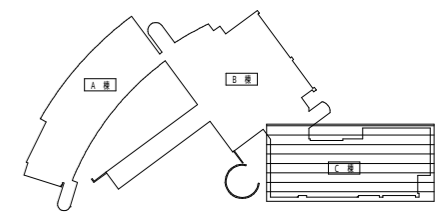
凡例

	撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	撤去範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
			既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		

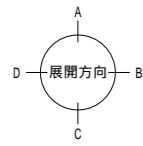
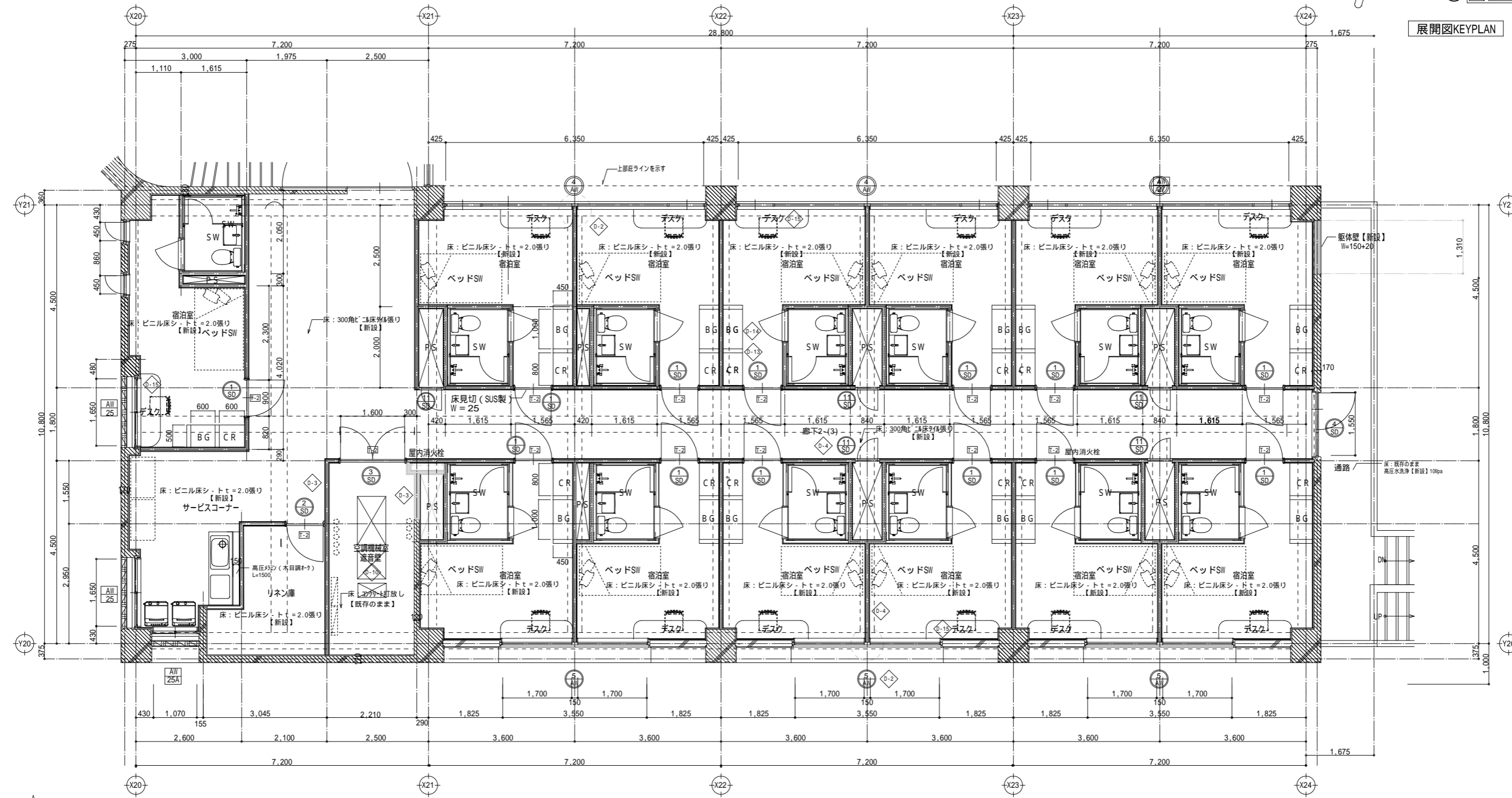


一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 C棟2階ラウンジ平面詳細図(改修前) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
沖縄科学技術大学院大学学園



展開図KEYPLAN

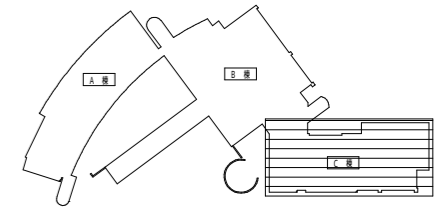
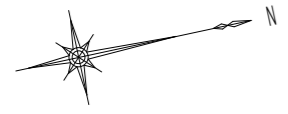


	【耐火壁】 - (上階スラブ下端まで) LGS100+GB-Ft = 12.5+12.5 2-23-1
	建具・通音性能: T-2を示す

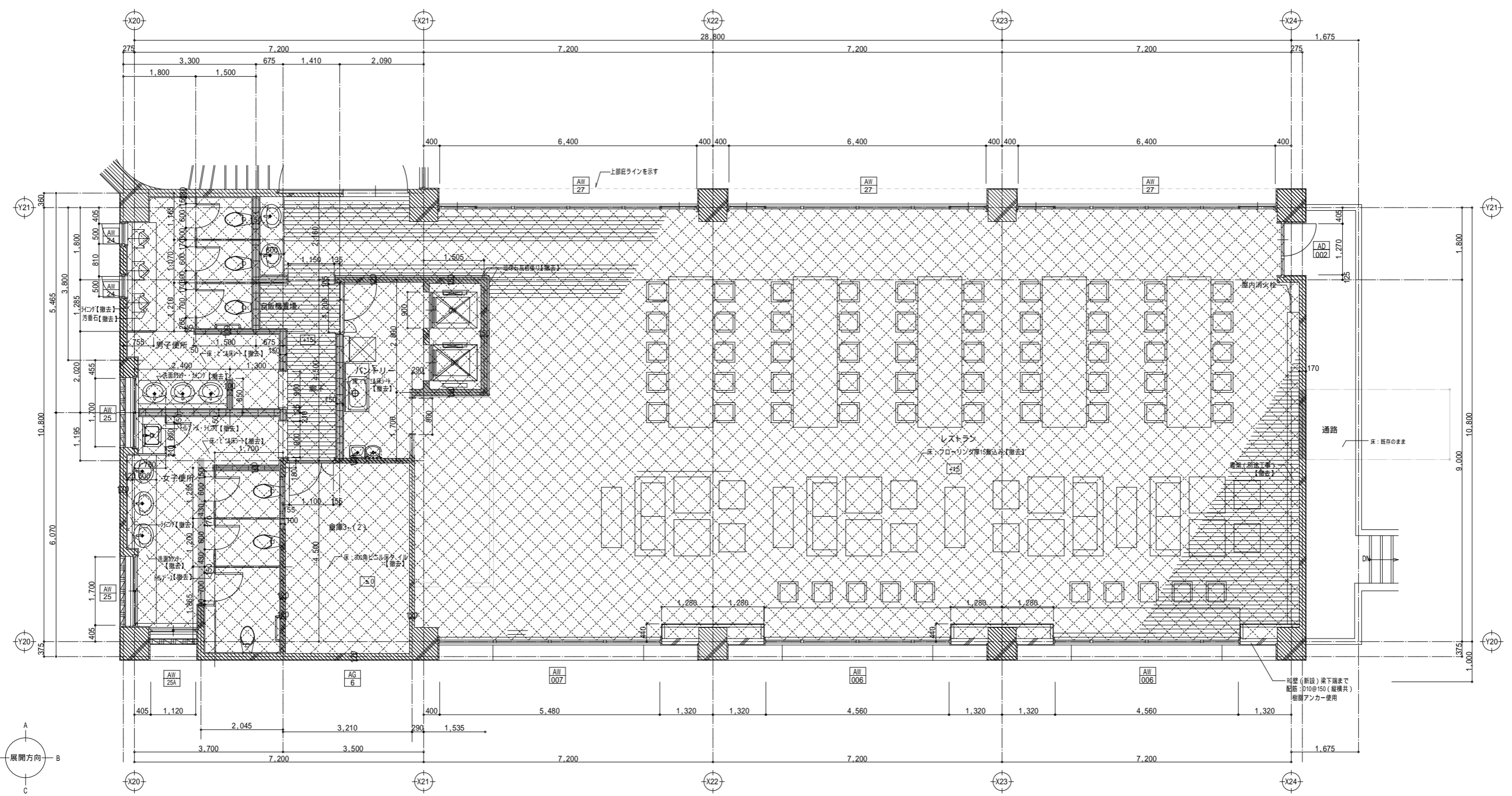
凡例		撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
				既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		

一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 C棟2階宿泊室 平面詳細図(改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
沖縄科学技術大学院大学学園



展開図KEYPLAN



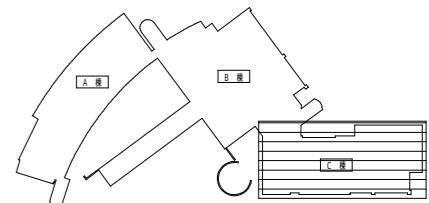
(改修前)  
C棟3階ちゅらホール平面詳細図 S=1/50

既存造りつけ家具、移動家具等の撤去・廃棄は本工事に含むものとする。

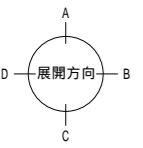
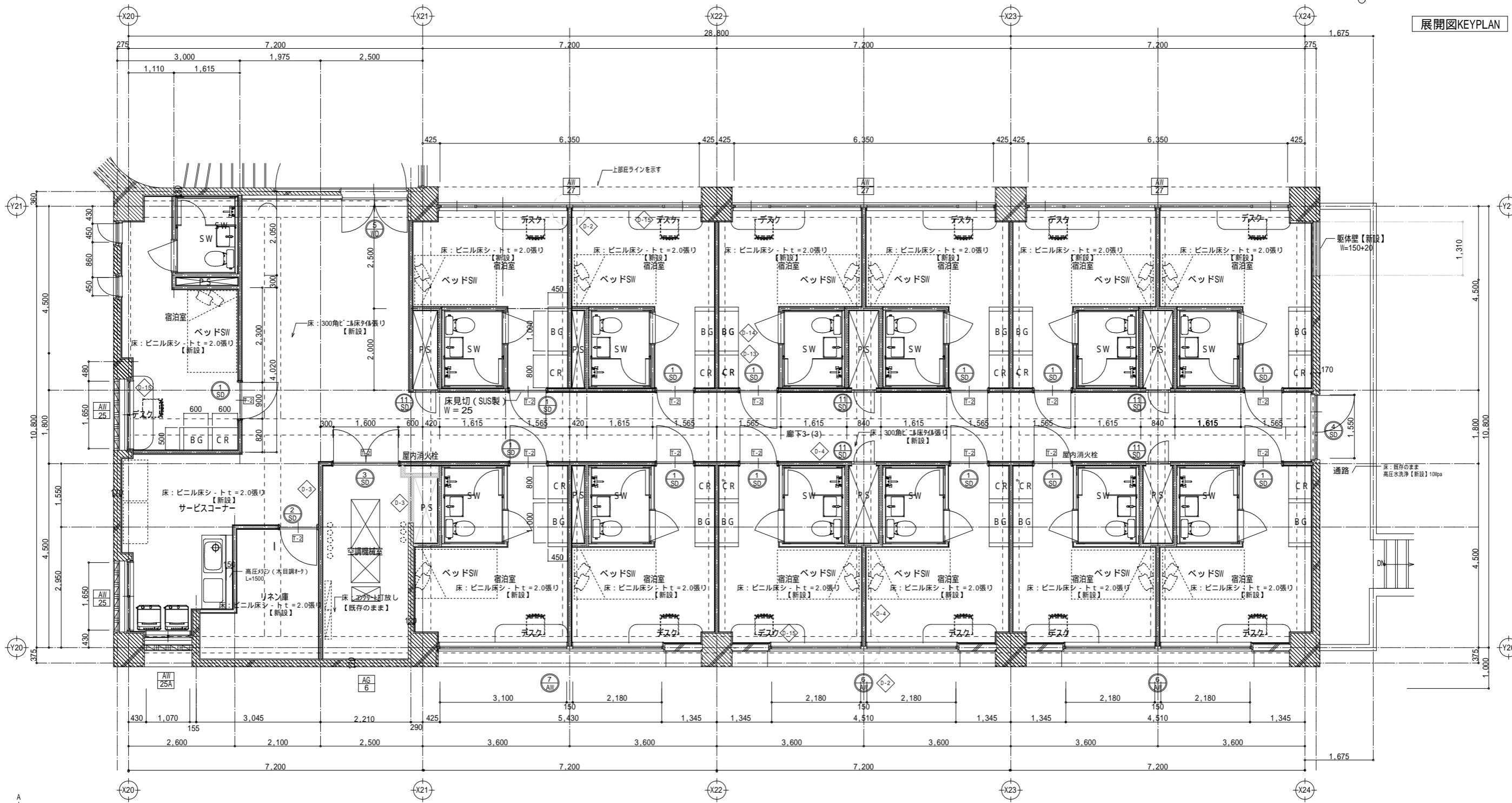
凡例		撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		撤去範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
				既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		

一級建築士事務所  
 株式会社 m3 那覇建築事務所  
 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 C棟3階ちゅらホール平面詳細図(改修前) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園

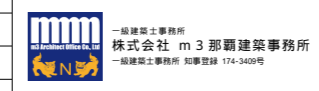


展開図KEYPLAN

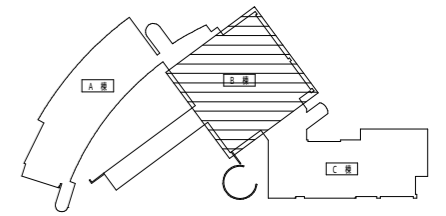


	【耐火壁】・(上階スラブ下端まで) LGS100+GB-Ft = 12.5+12.5 2-23-1
	建具・遮音性能: T-2を示す

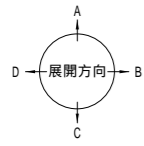
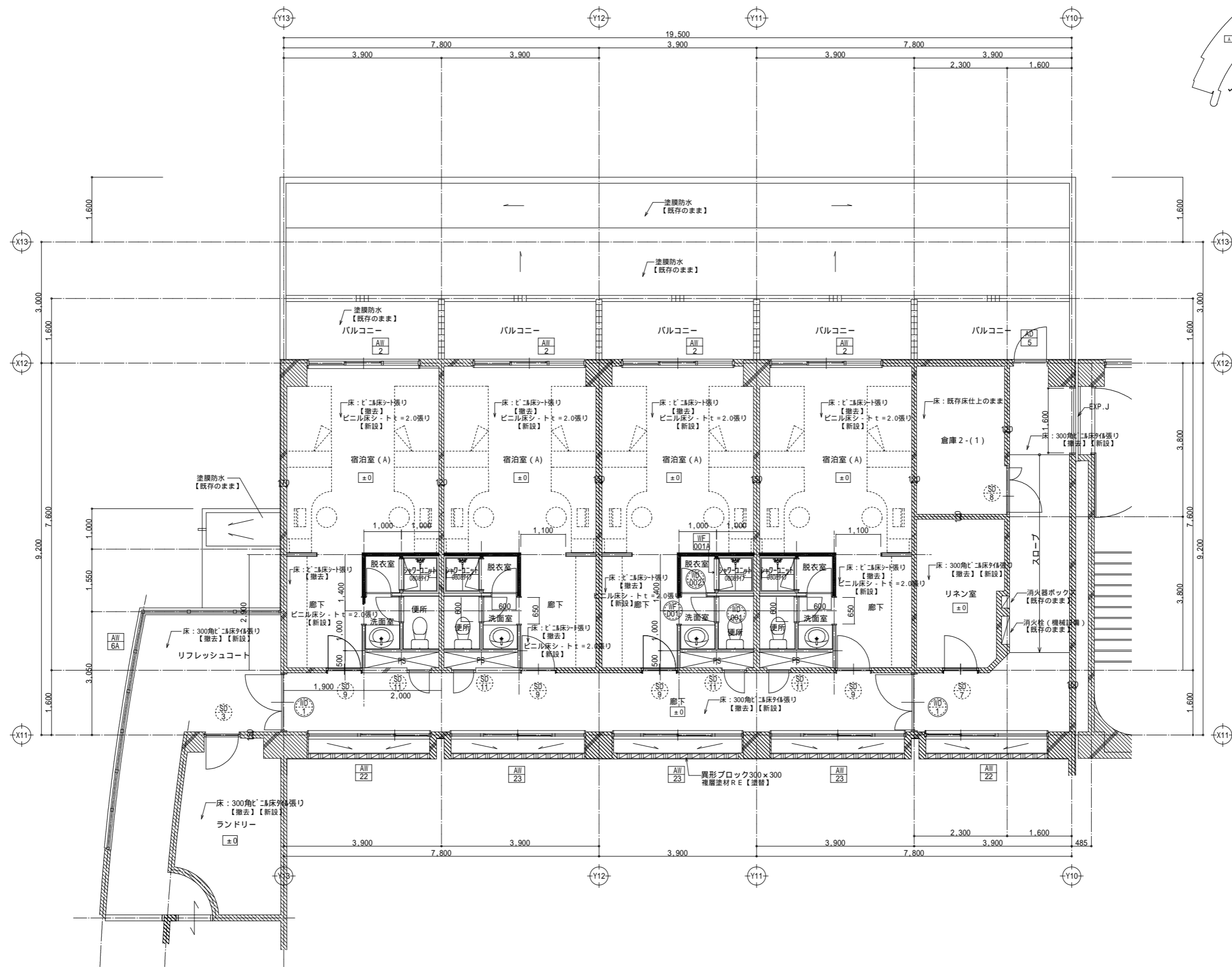
凡例		撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
				既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		



工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 C棟3階宿泊室 平面詳細図(改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園



展開図KEYPLAN



家具名	数量
デスク	8台
ベッド	8台
クローク (造付)	4台

凡例		撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。
				【撤去】【新設】建具を示す。		

一級建築士事務所  
株式会社 m 3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

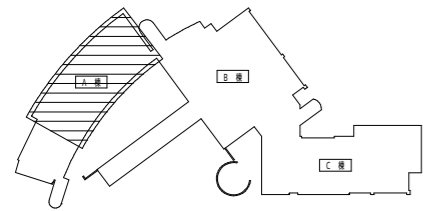
工事名 沖縄科学技術大学院大学ソーサイドハウス改修工事

図面名 B棟2階 宿泊室(A) 平面詳細図(改修図) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100

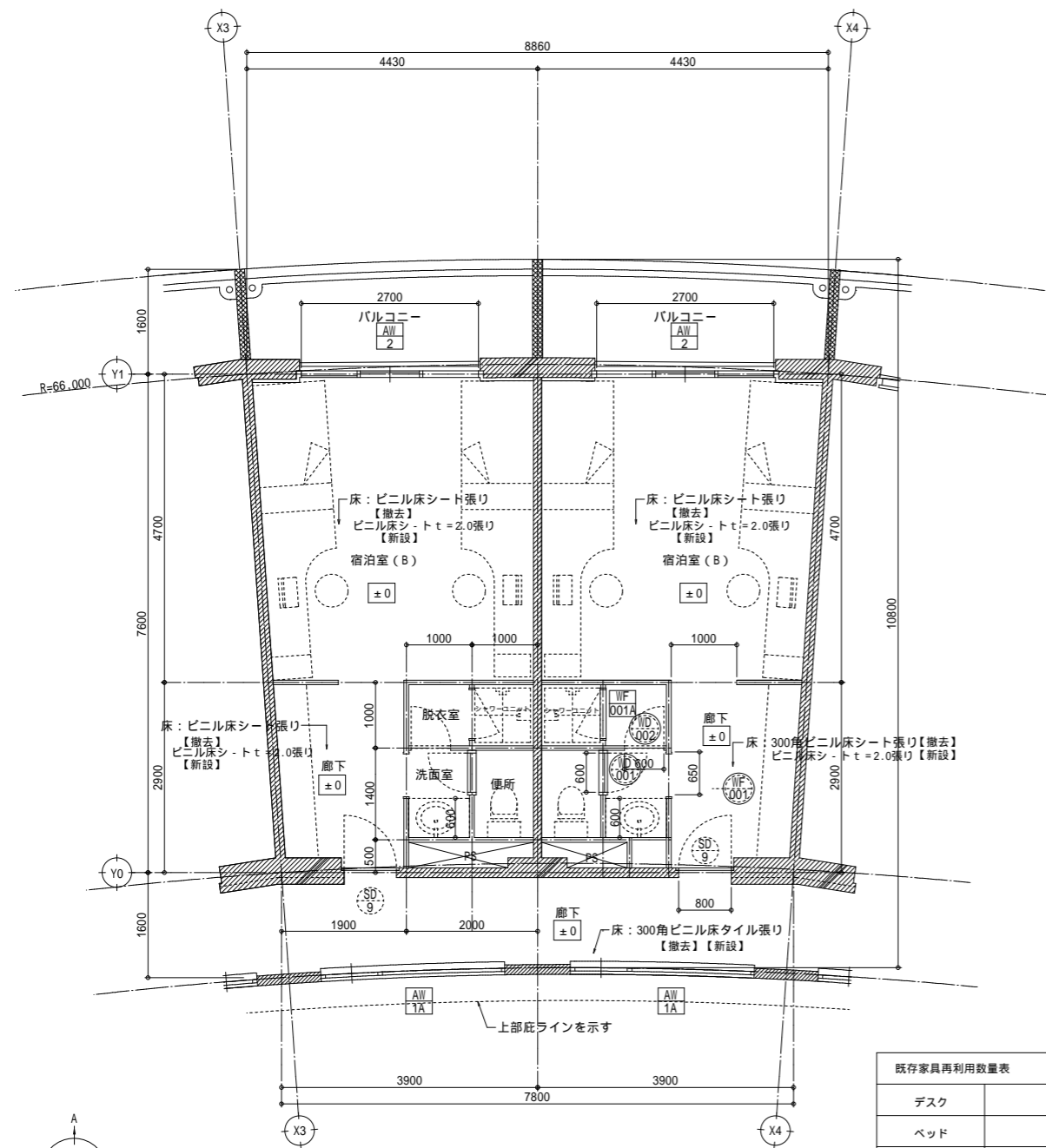
沖縄科学技術大学院大学学術部

42

A-42

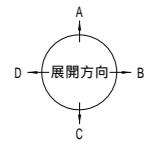


展開図KEYPLAN

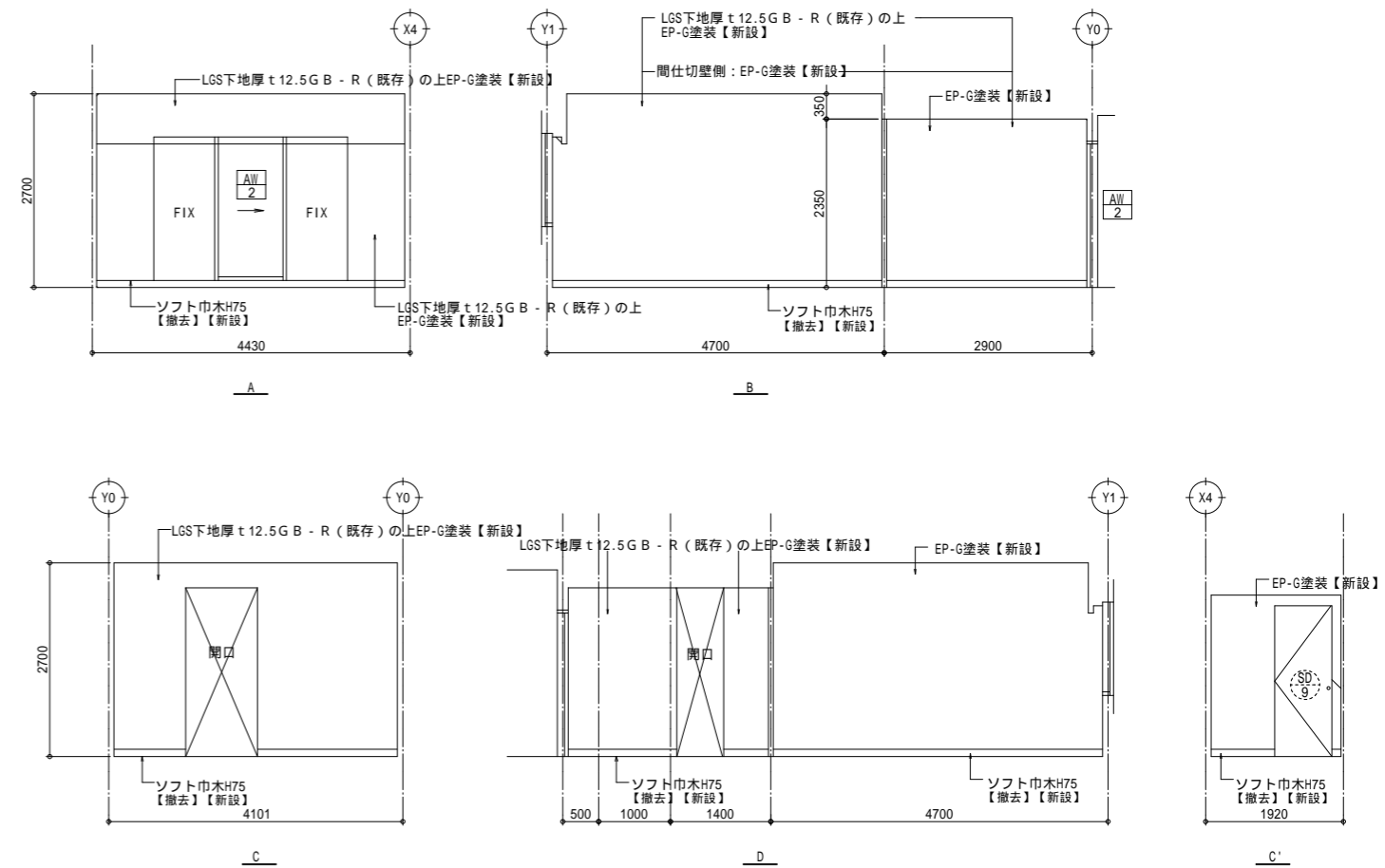


2階 宿泊室(B)平面詳細図 S=1/50

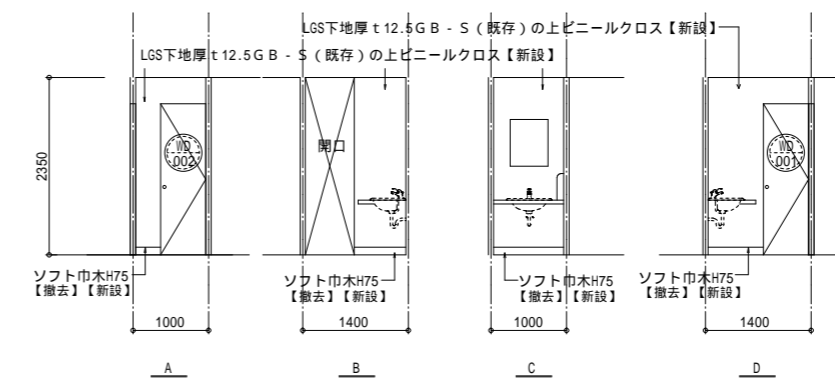
既存家具再利用数量表	
デスク	16台
ベッド	16台
クローク(違付)	8台



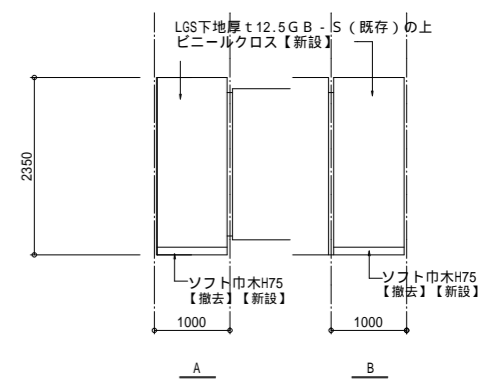
宿泊室(B)



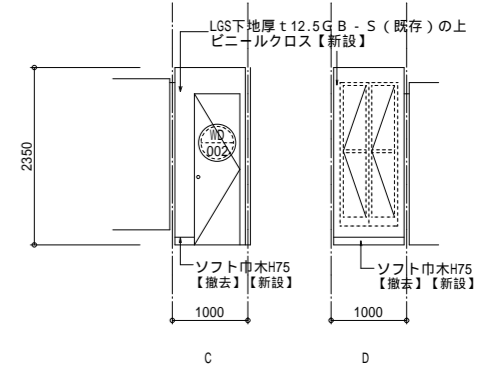
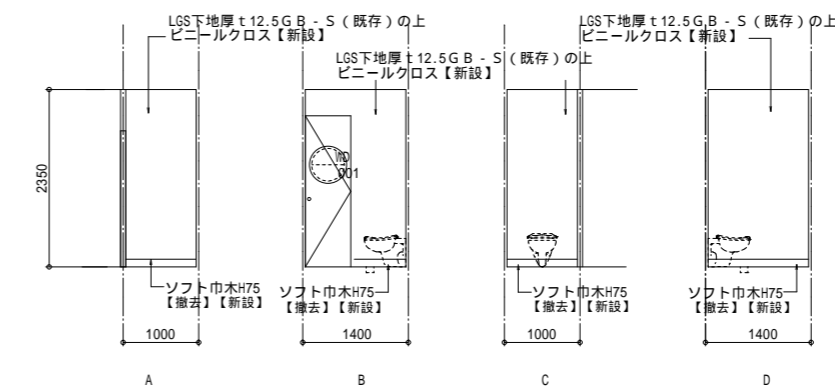
洗面所



脱衣室

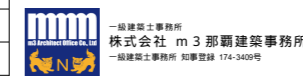


便所



凡例

	撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
			既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		



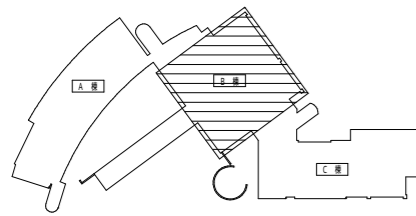
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 A棟2階 宿泊室(B) 平面詳細図(改修図) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100

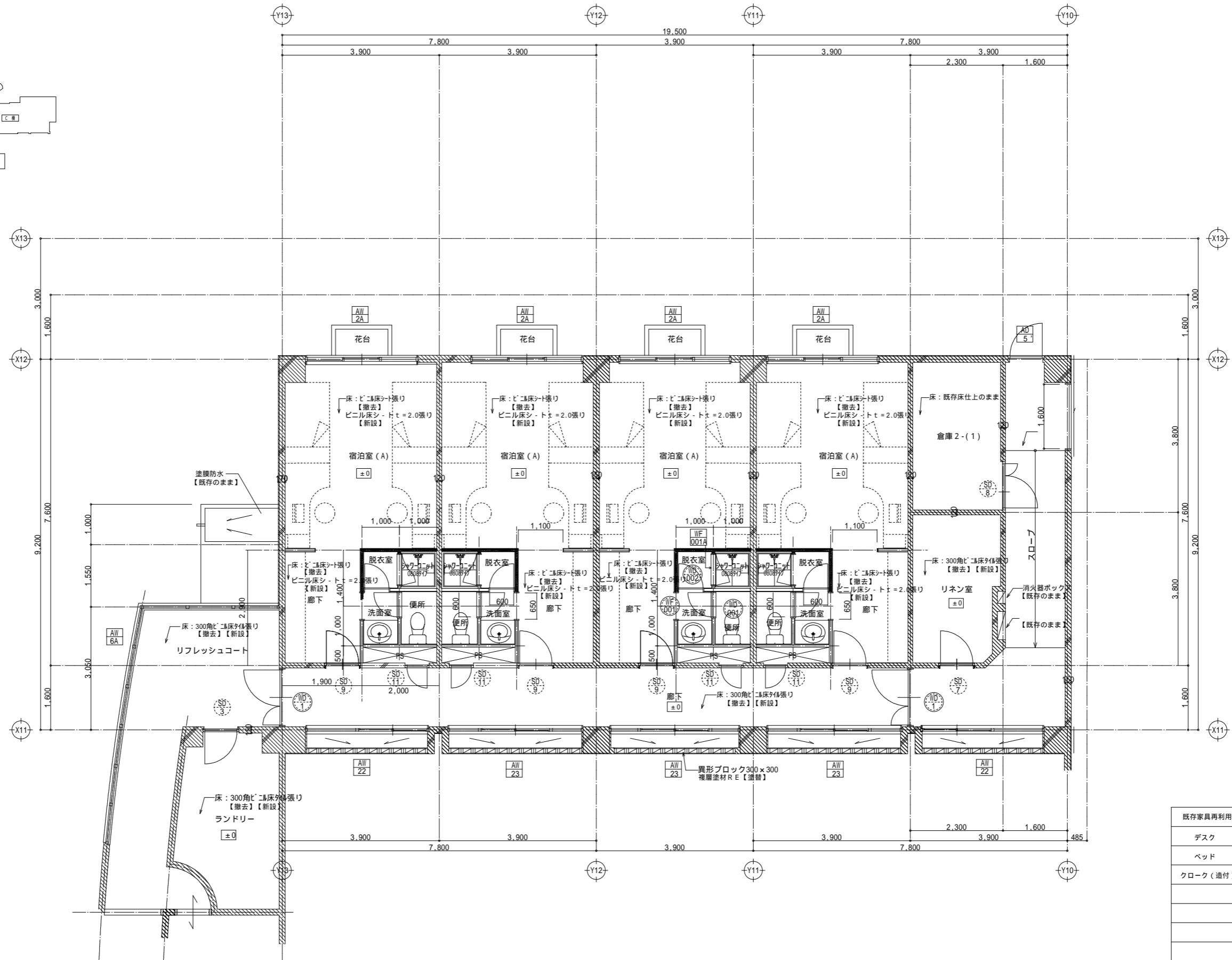
沖縄科学技術大学院大学学園

43

A-43



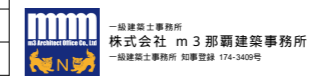
展開図KEYPLAN



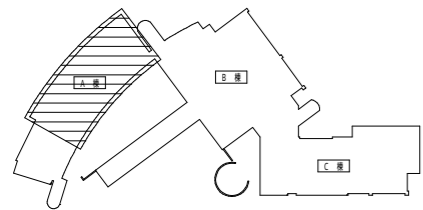
家具名	数量
デスク	8台
ベッド	8台
クローク(通付)	4台

凡例

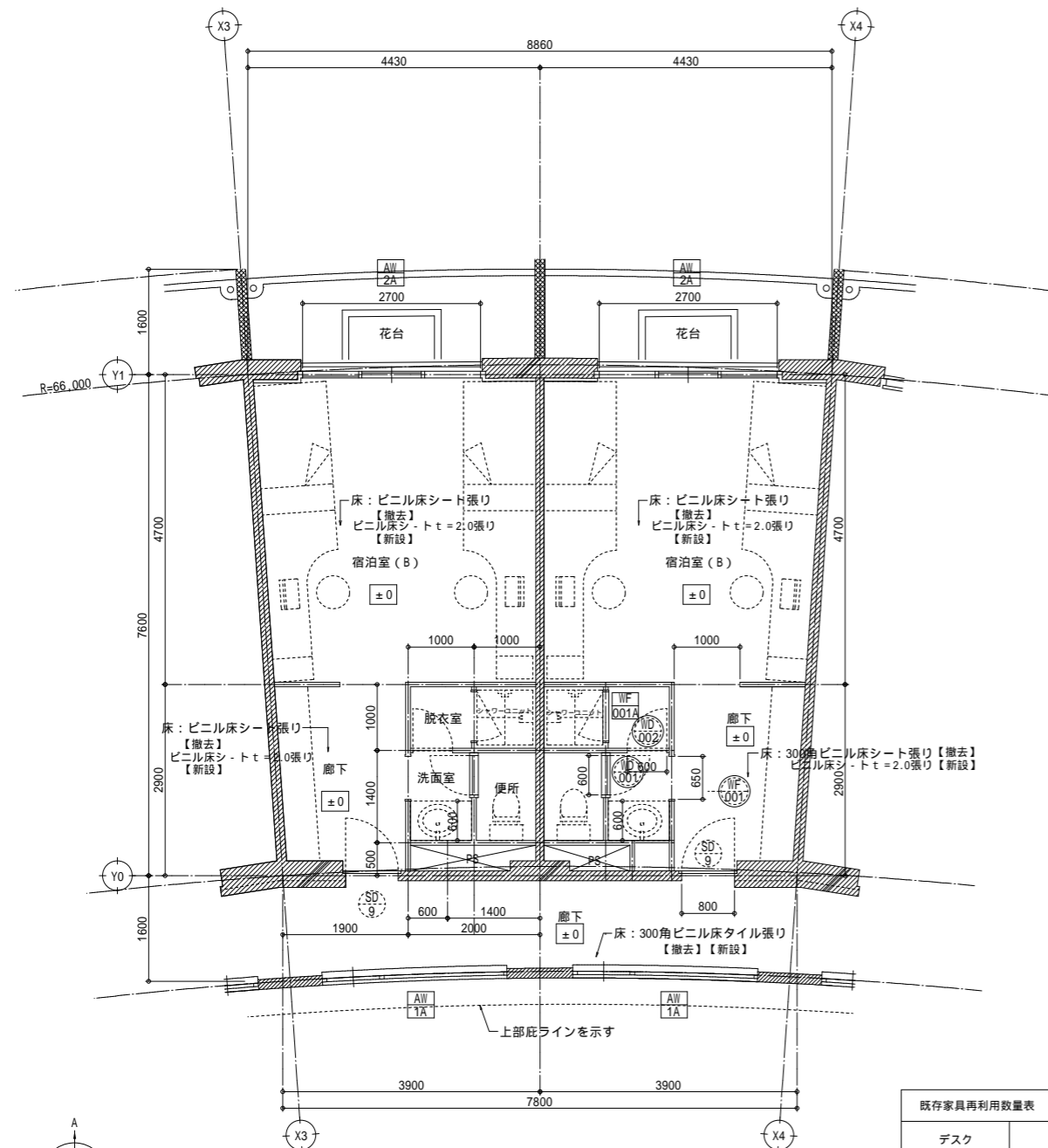
	撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
			既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		



工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 B棟3階 宿泊室(A) 平面詳細図(改修図)  
 沖縄科学技術大学院大学学園



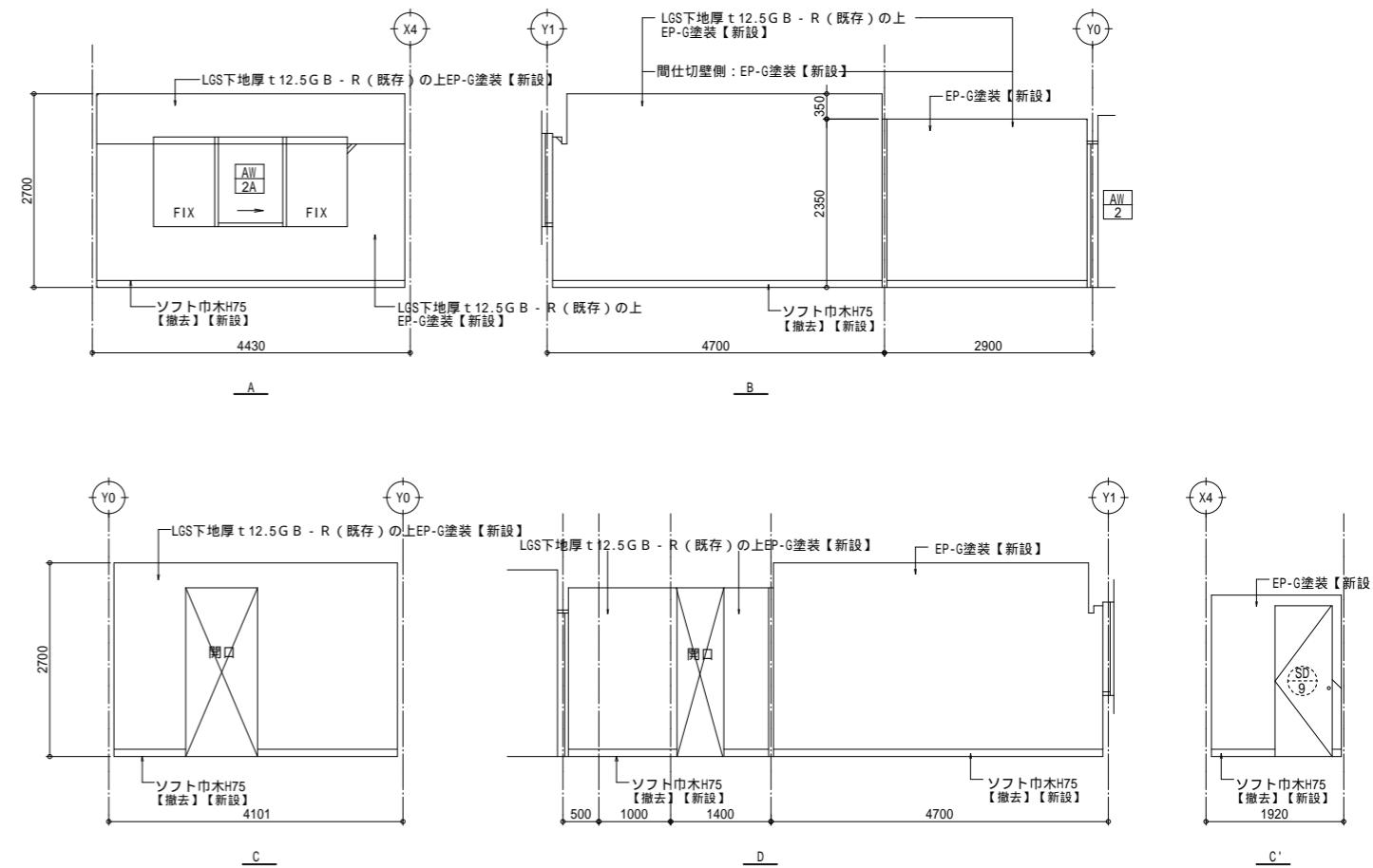
展開図KEYPLAN



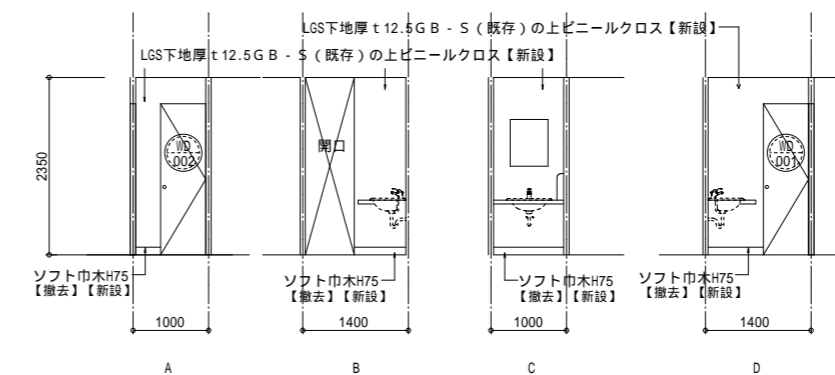
3階 宿泊室(B)平面詳細図 S=1/50

デスク	12台
ベッド	12台
クローク(遺付)	6台

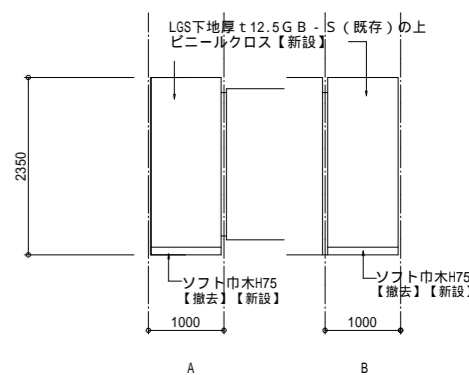
宿泊室(B)



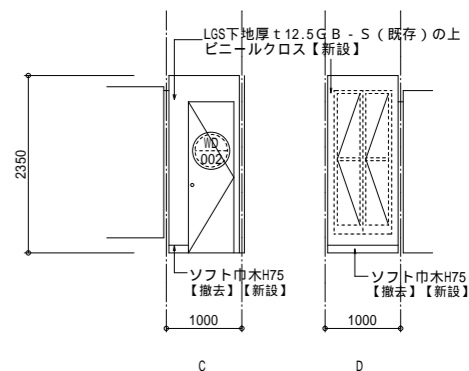
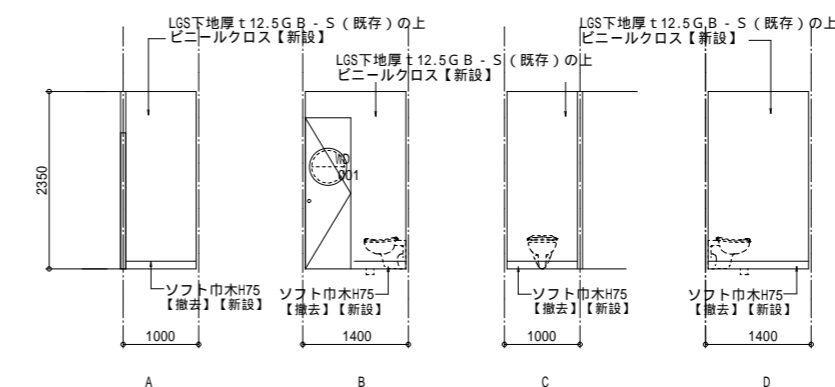
洗面所



脱衣室



便所



凡例

	撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
			既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		



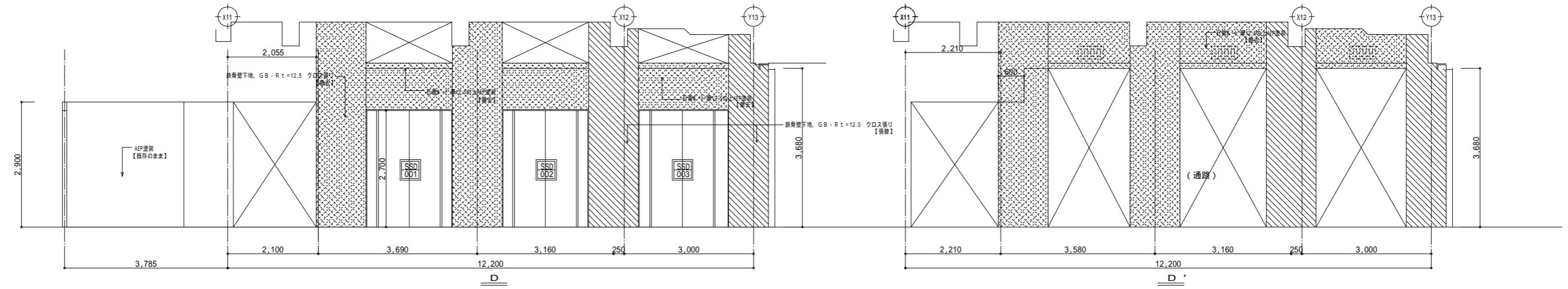
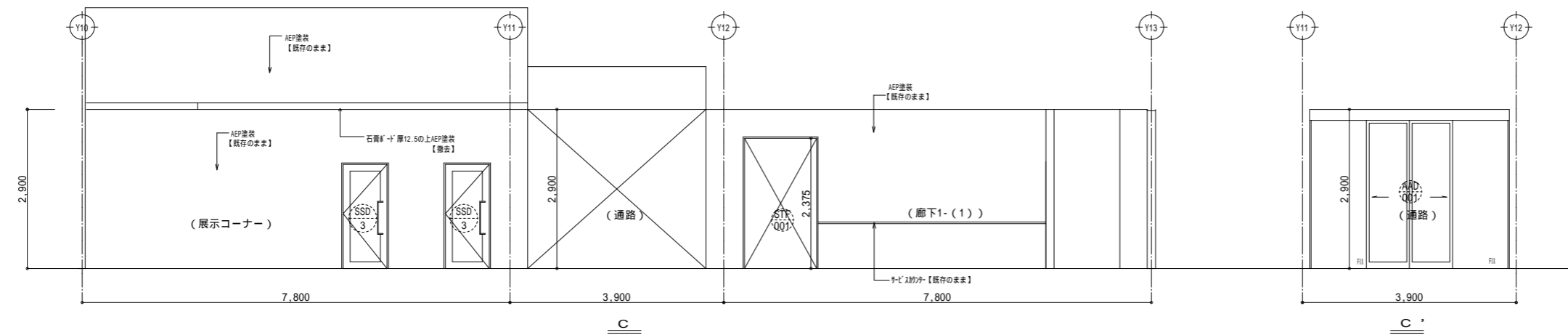
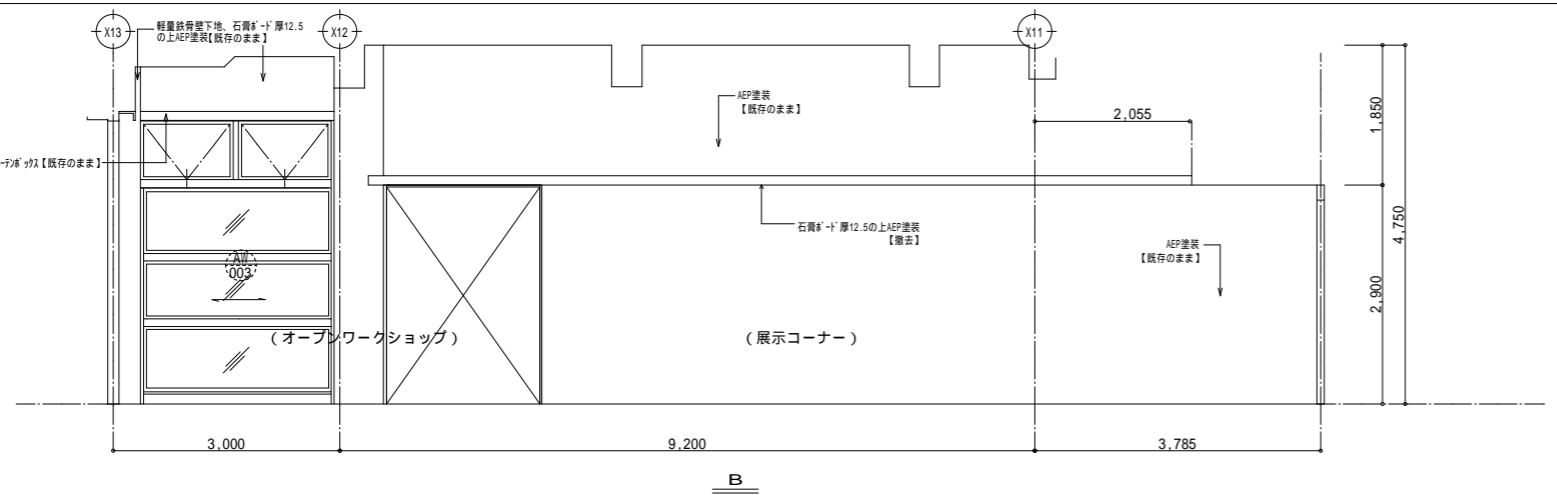
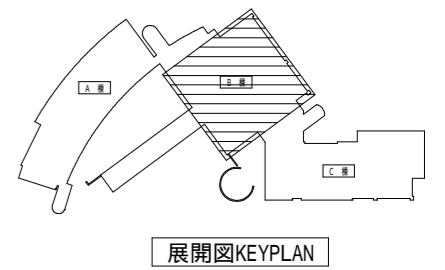
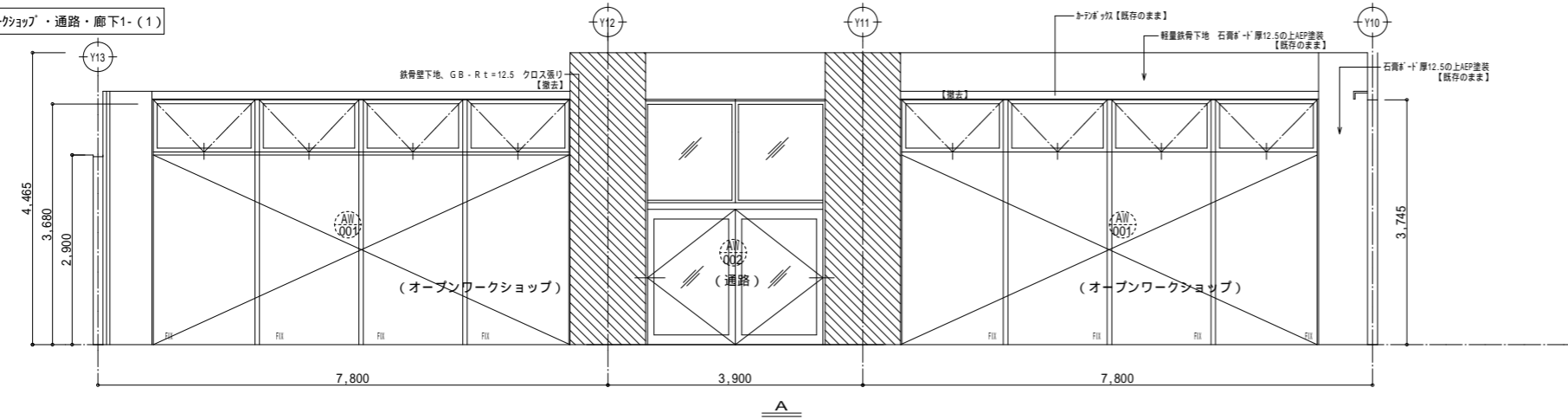
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 A棟3階 宿泊室(B) 平面詳細図(改修図) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
沖縄科学技術大学院大学学園

45

A-45

展示コーナー・オープンワークショップ・通路・廊下1-(1)

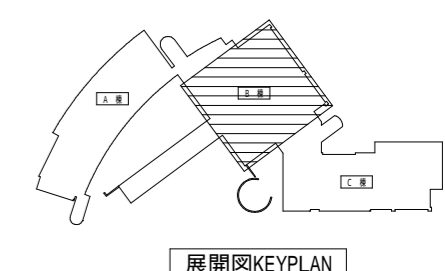
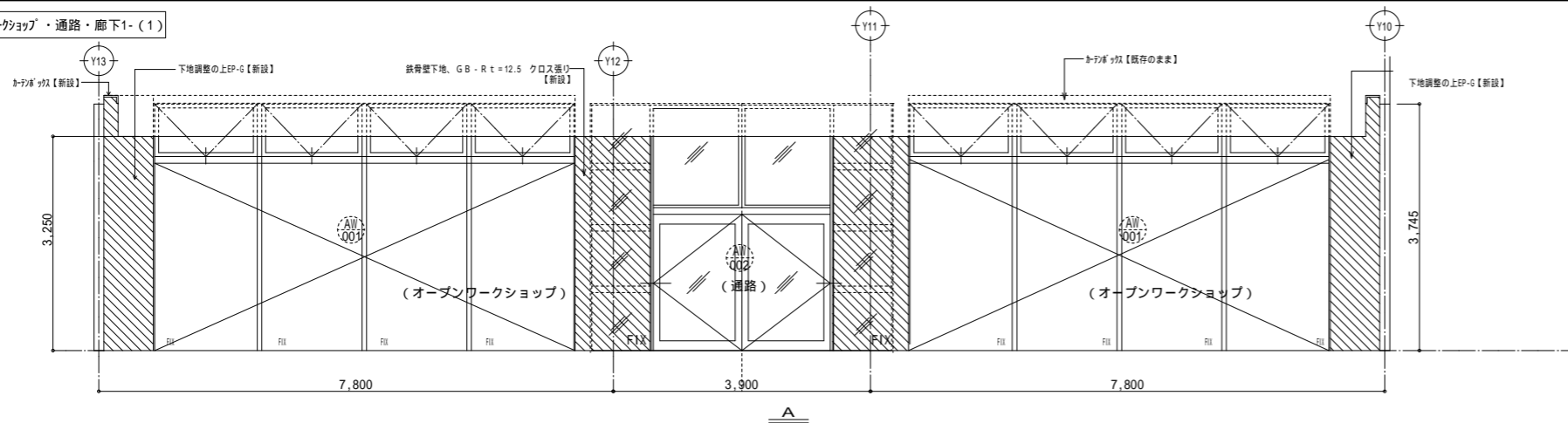


凡例		撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
		撤去範囲(仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		

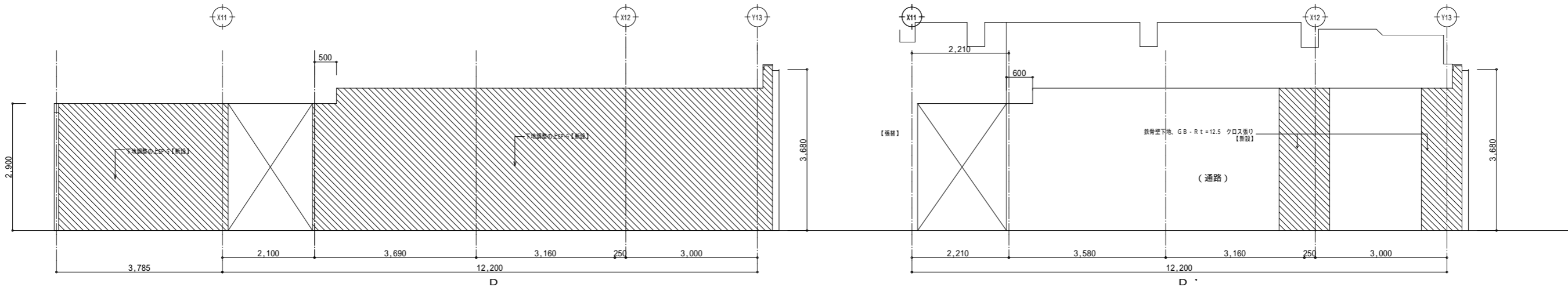
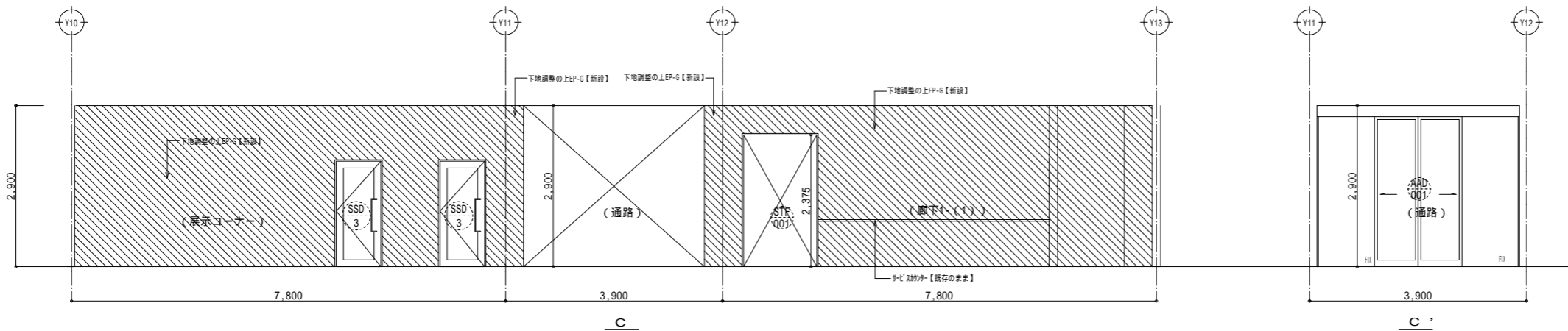
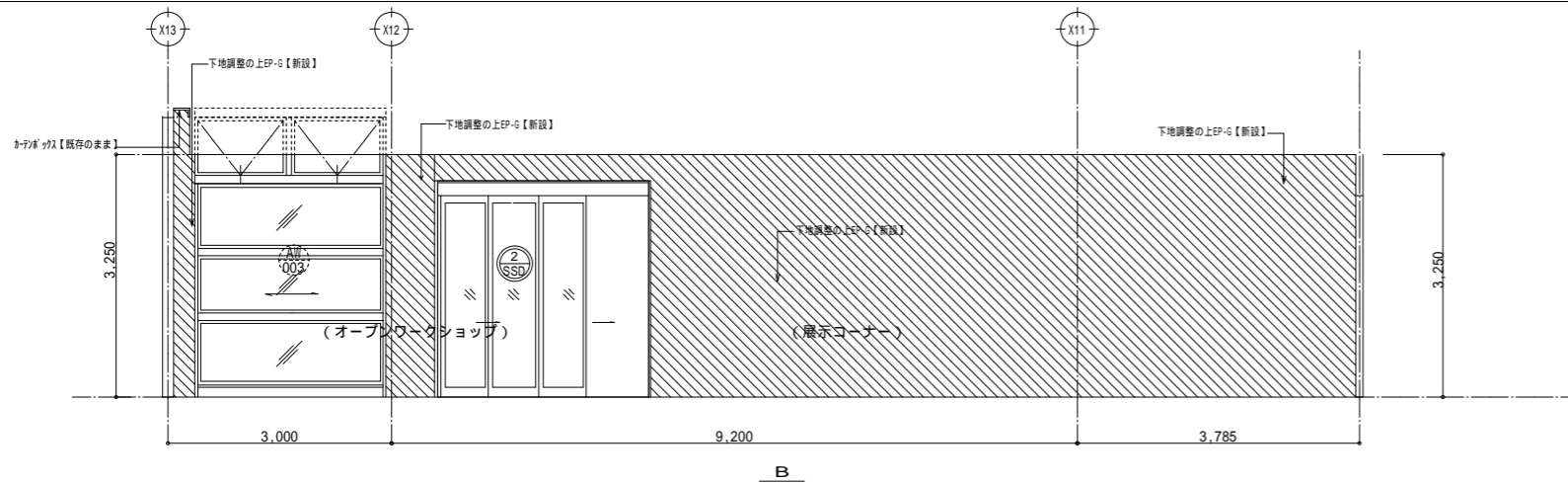
一級建築士事務所  
株式会社 m 3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 展開図(1)  
B棟1階オープンワークショップスペース廻り(改修前) 縮尺 A1: 1/50  
A3: 1/100  
沖縄科学技術大学院大学学園

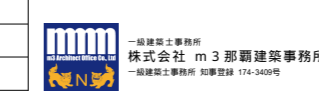
展示コーナー・オープンワークショップ・通路・廊下1-(1)



展開図KEYPLAN

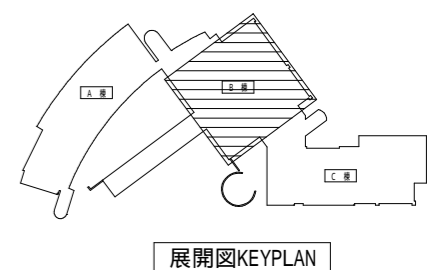
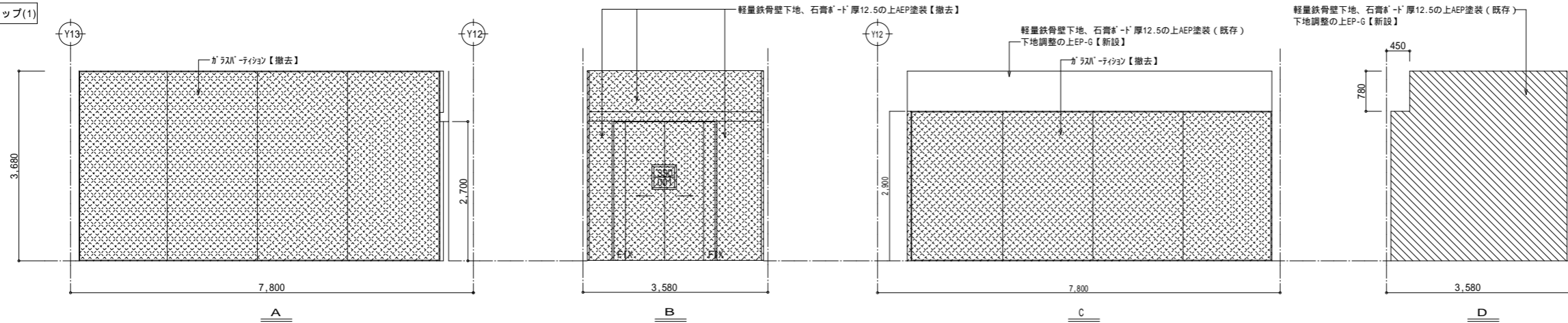


凡例		新設範囲(地下共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
		新設範囲(仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		

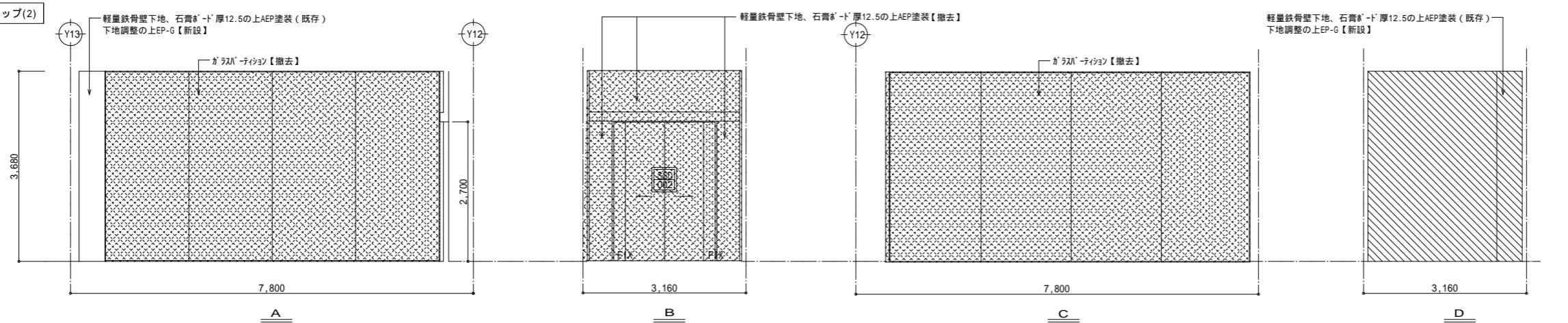


工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 展開図(2)  
 B棟1階オープンワークショップスペース廻り(改修後) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園

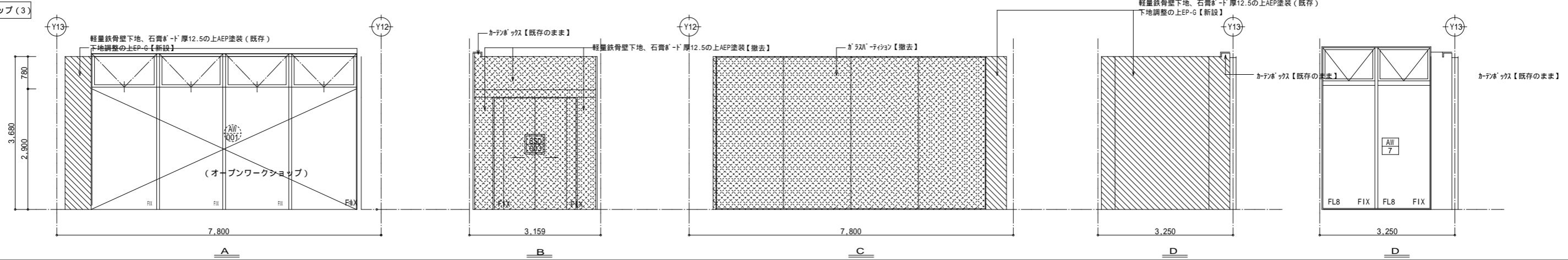
ワークショップ(1)



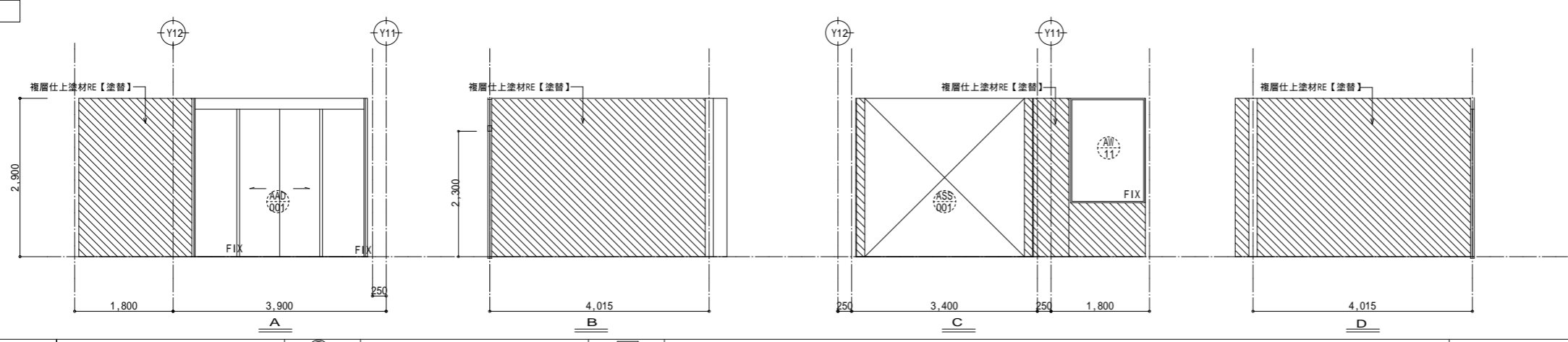
ワークショップ(2)



ワークショップ(3)



ポーチ

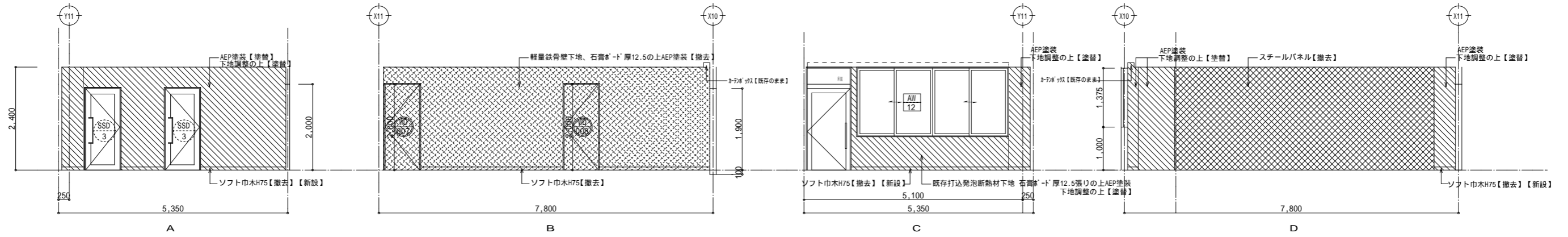


凡例		撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
		新設範囲(仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		

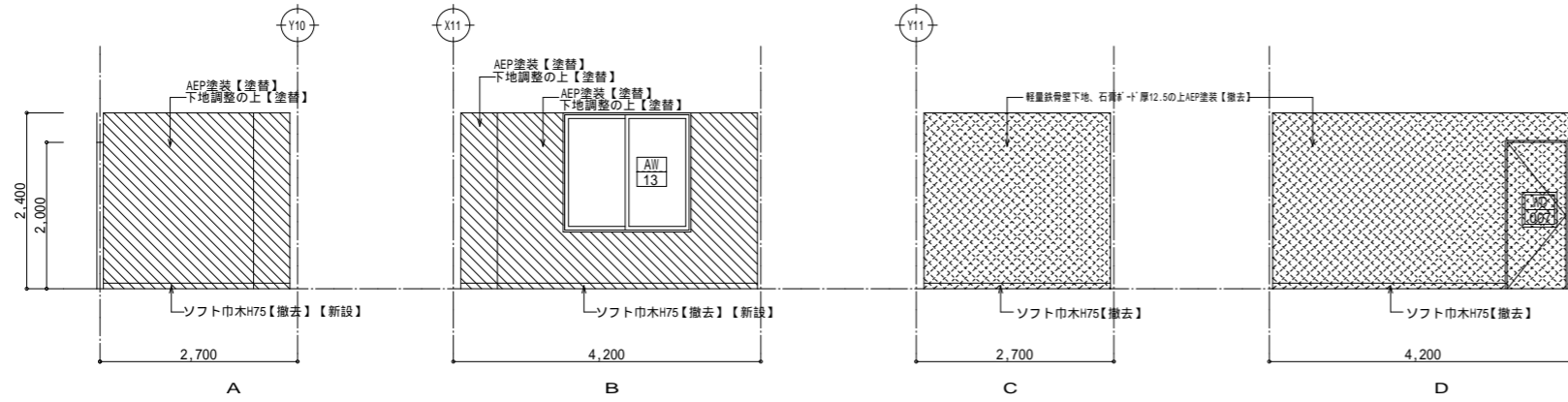
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
琉球建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 展開図(3)  
B棟1階ワークショップスペース廻り(改修図)  
沖縄科学技術大学院大学学園  
縮尺 A1 : 1/50  
A3 : 1/100  
48  
A-48

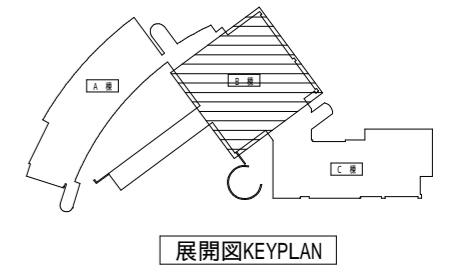
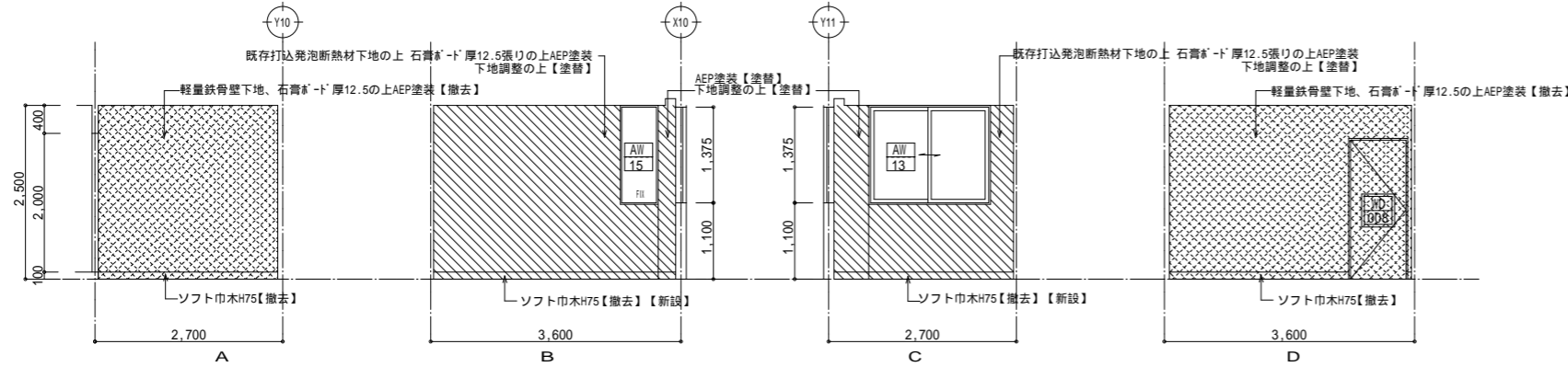
セミナーサポートオフィス



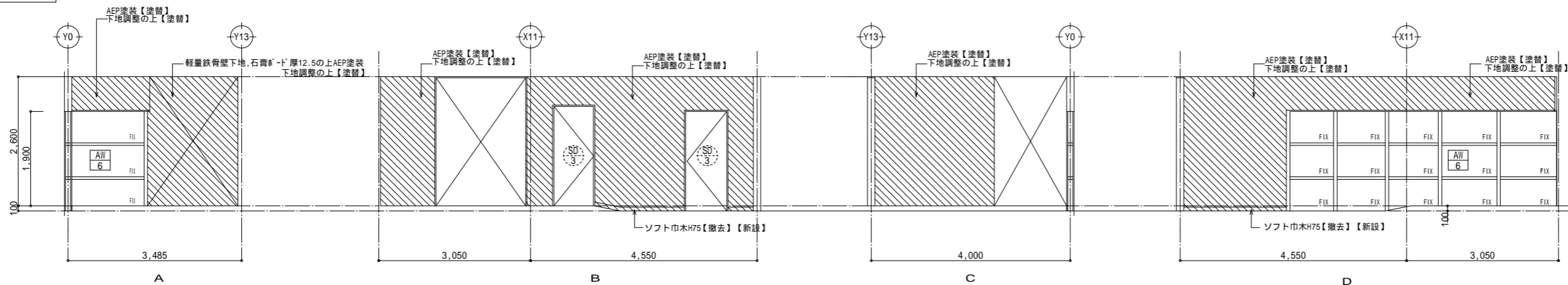
講師控室



倉庫 1-(2)



自販機コーナー(1階)



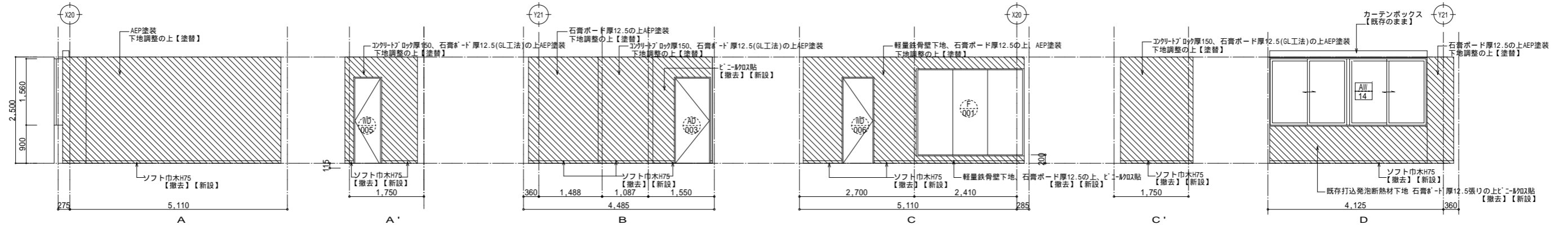
	撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
	新設範囲(仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		

一級建築士事務所  
株式会社 m 3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

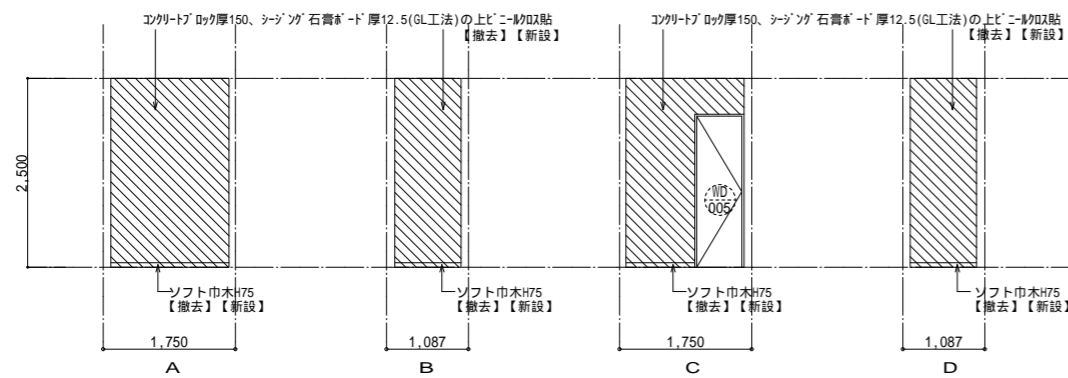
工事名 沖縄科学技術大学院大学ソーサイドハウス改修工事  
図面名 展開図(4)  
B棟1階 セミナーサポートオフィス廻り(改修図)  
沖縄科学技術大学院大学学園

縮尺 A1 : 1/50  
A3 : 1/100  
49  
A-49

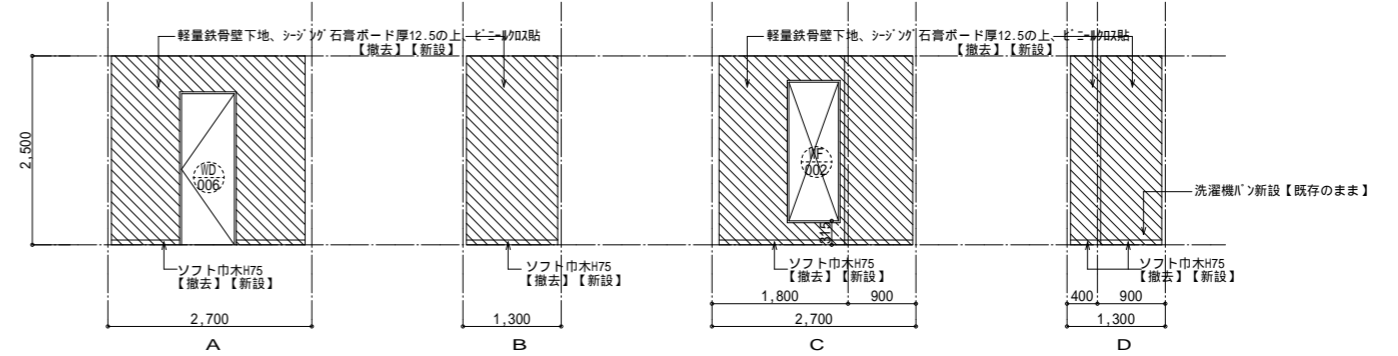
管理人室 居間



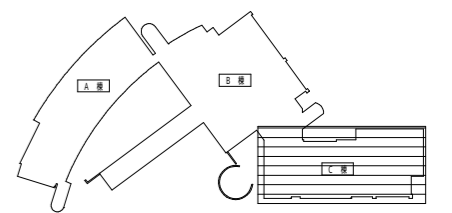
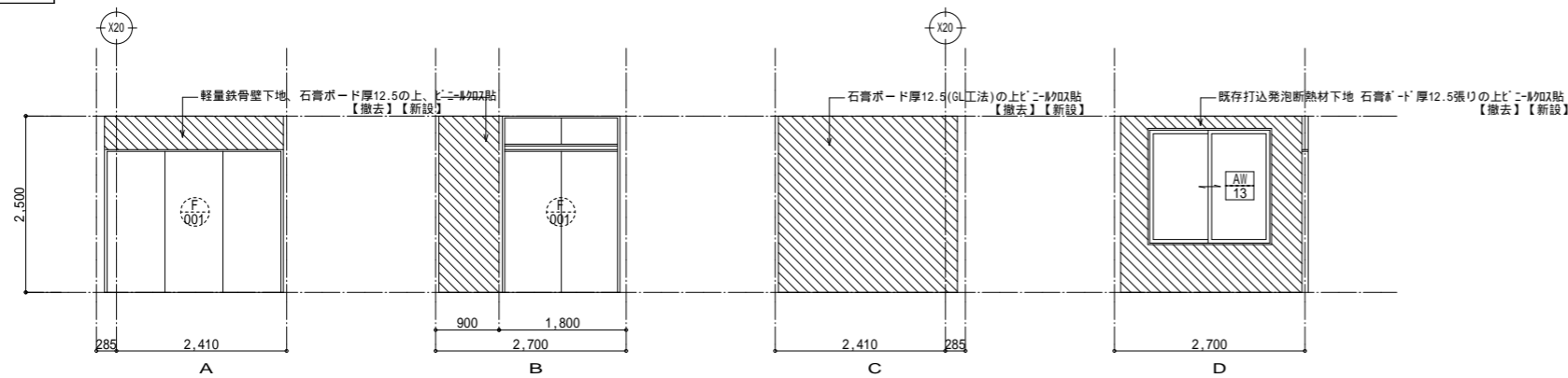
管理人室 便所



管理人室 脱衣場



管理人室 和室



展開図KEYPLAN

	撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
	新設範囲(仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		

一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
級建築士事務所 知事登録 174-3409号

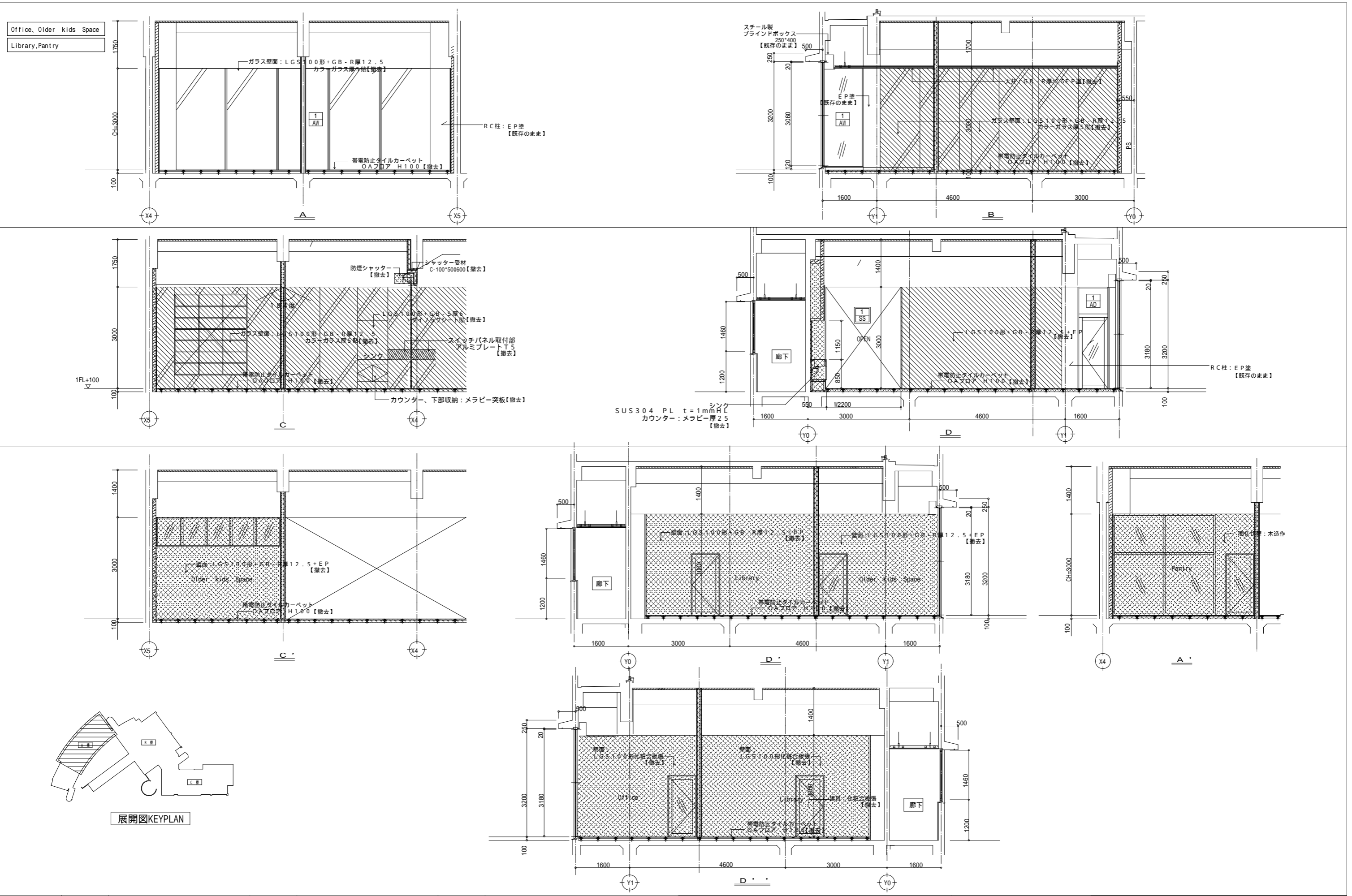
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 展開図(5) C棟1階 管理人室廻り(改修図) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100

沖縄科学技術大学院大学学園

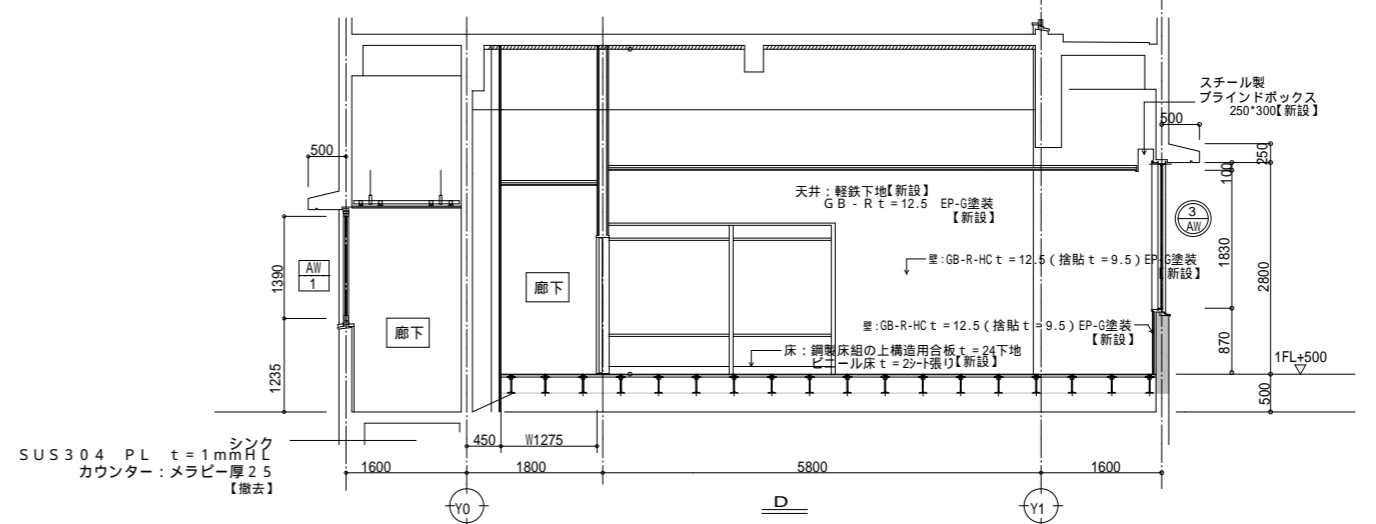
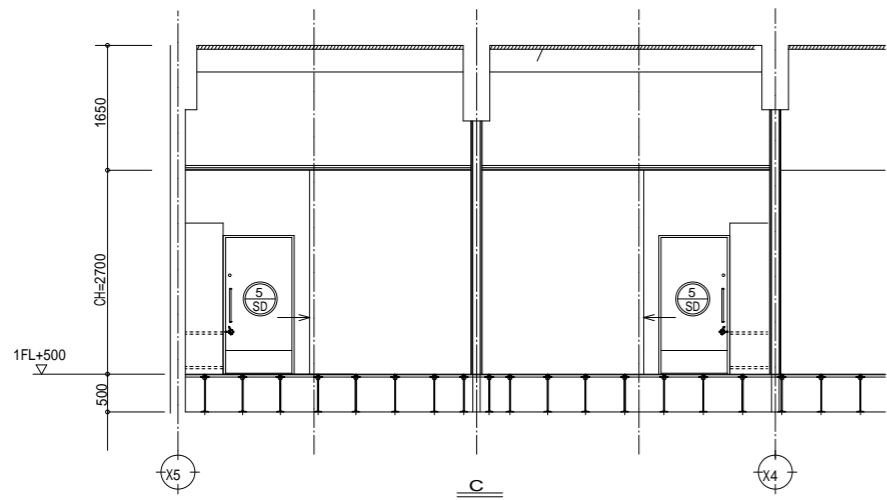
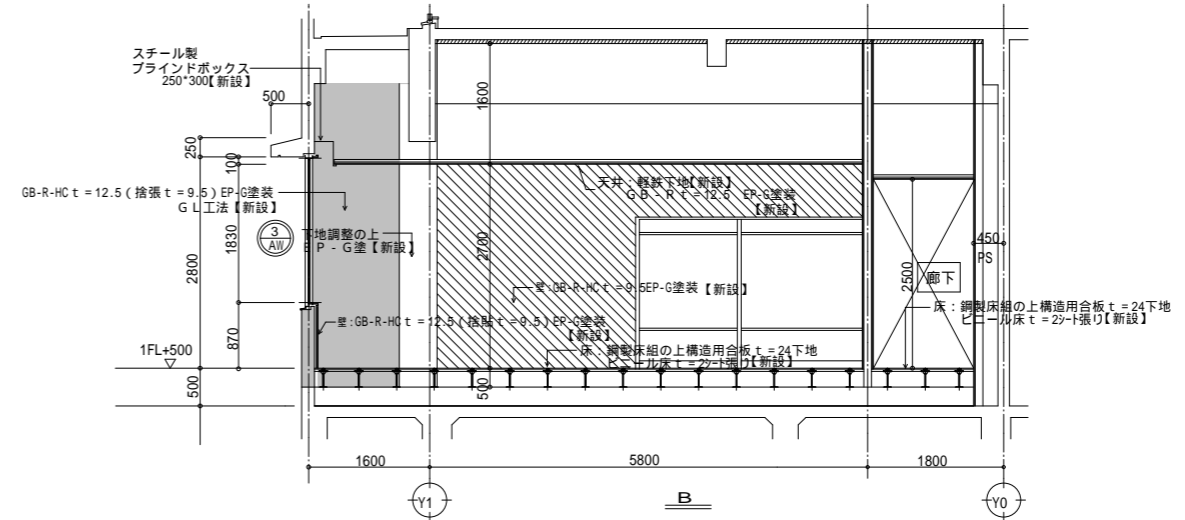
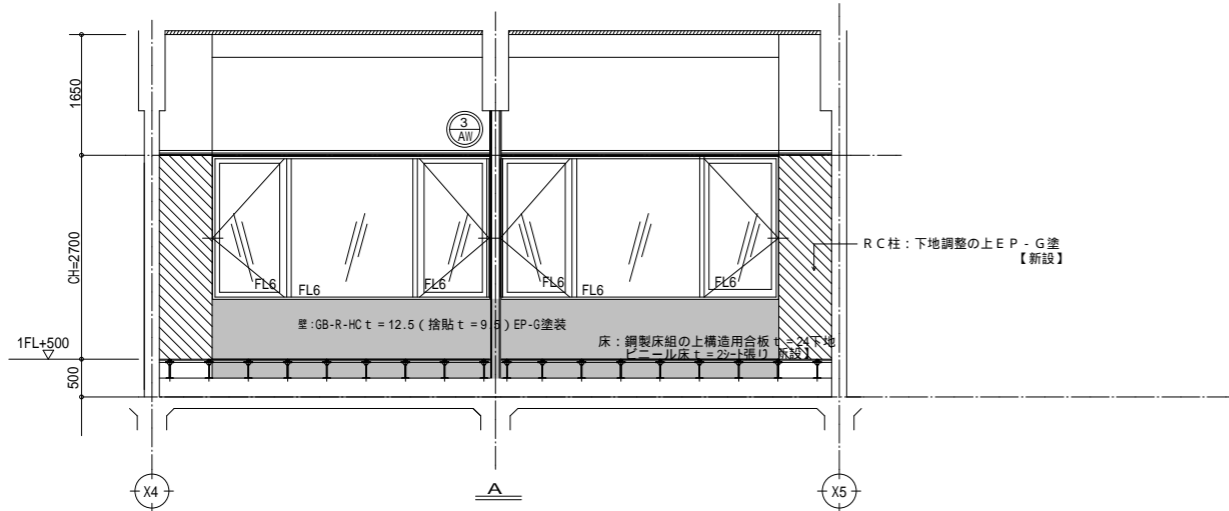
50

A-50

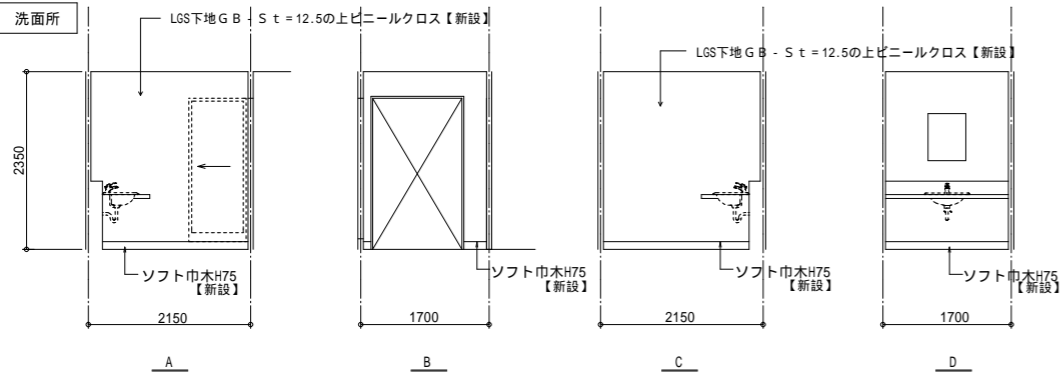


凡例		撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
		撤去範囲(仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		
一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号		工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展開図(6) A棟1階キッズルーム(改修前)		縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100		51 A-51

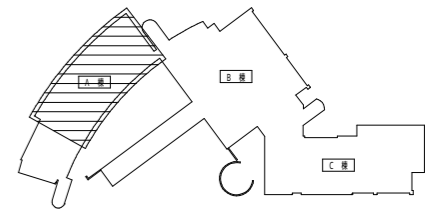
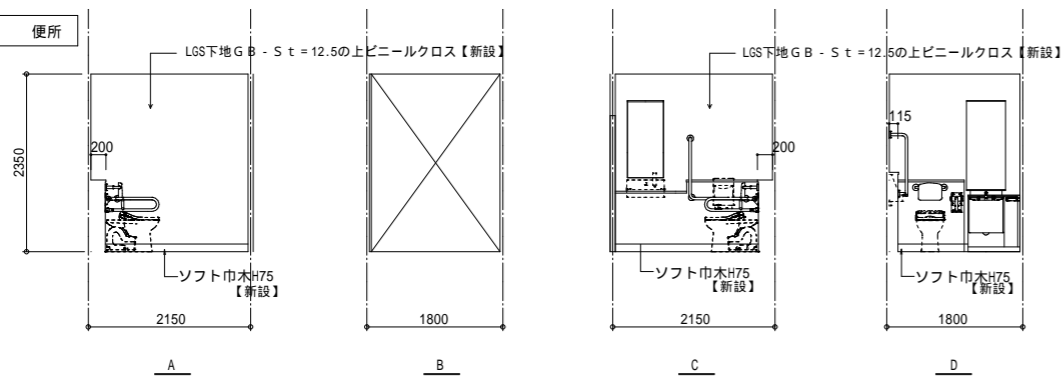
宿泊室 A-1-(HC)



宿泊室 A-1-(HC) 洗面所

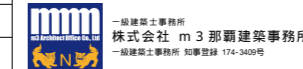


宿泊室 A-1-(HC) 便所

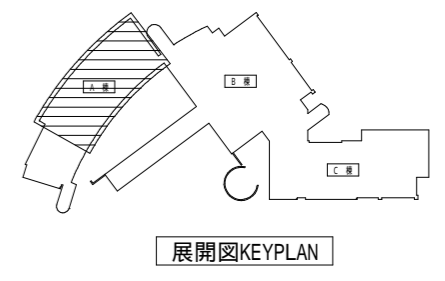
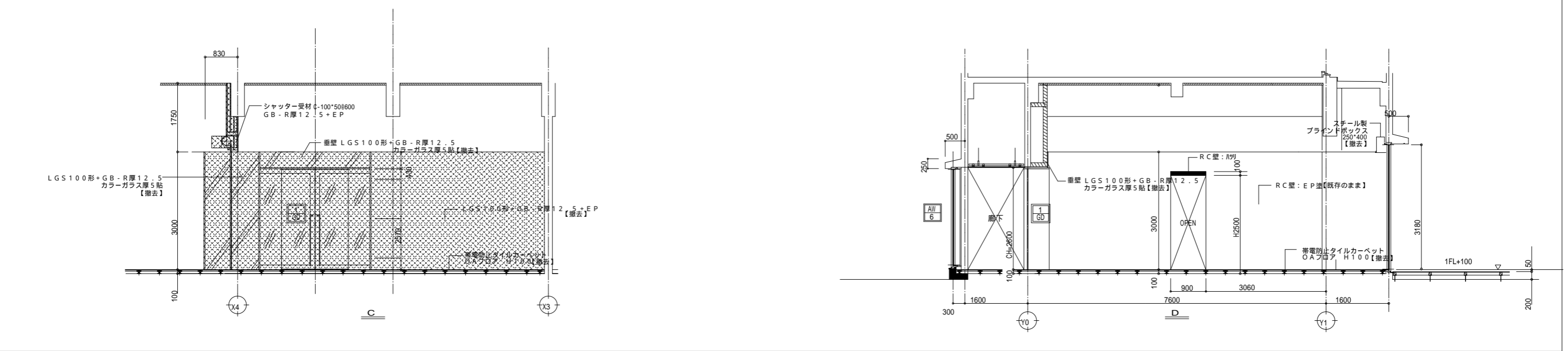
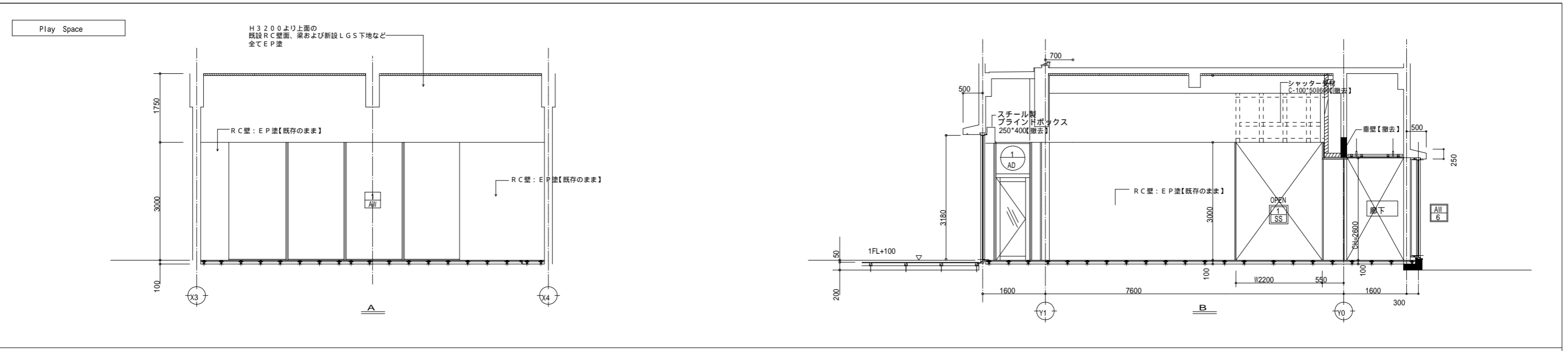


展開図KEYPLAN

凡例		新設範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。
		新設範囲(仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		【撤去】【新設】建具を示す。

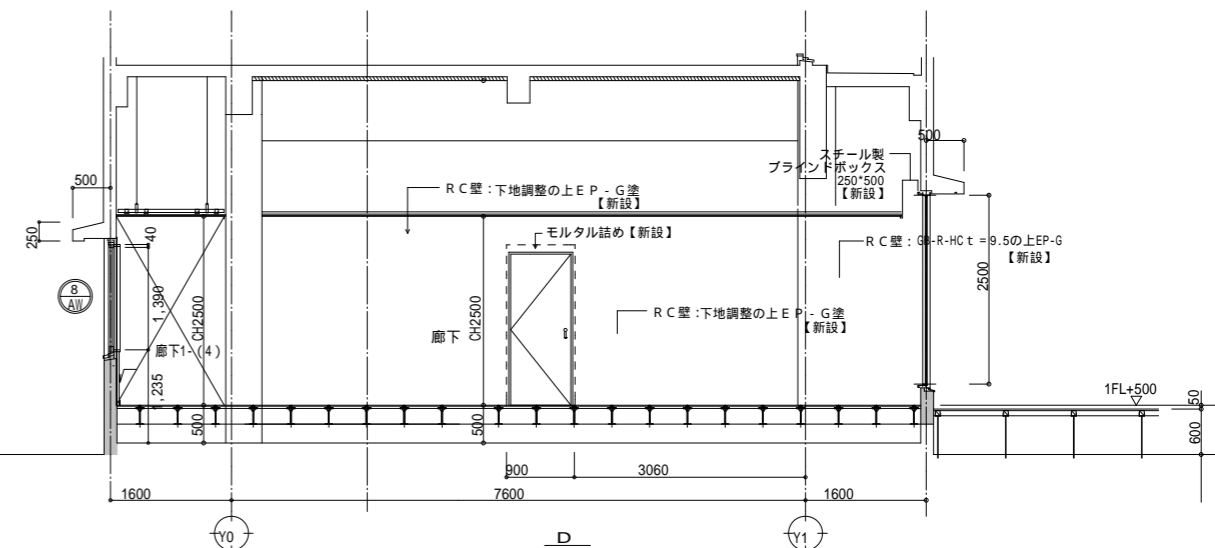
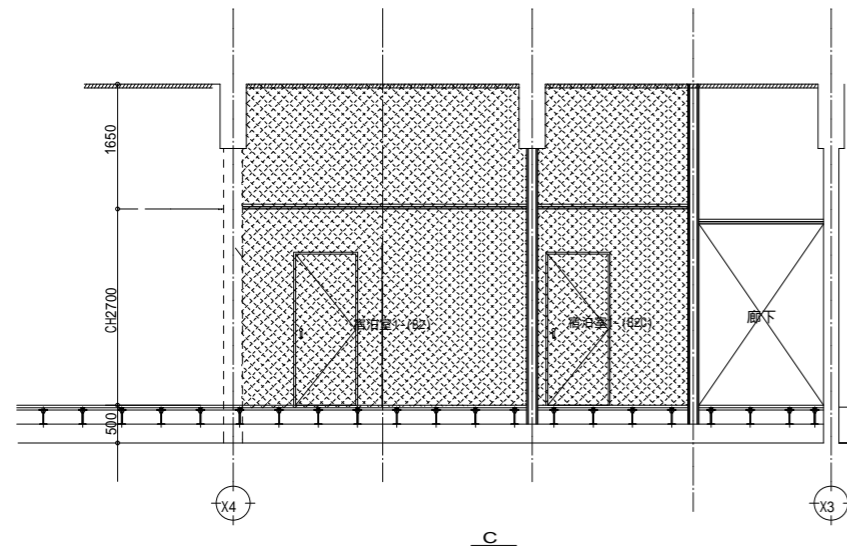
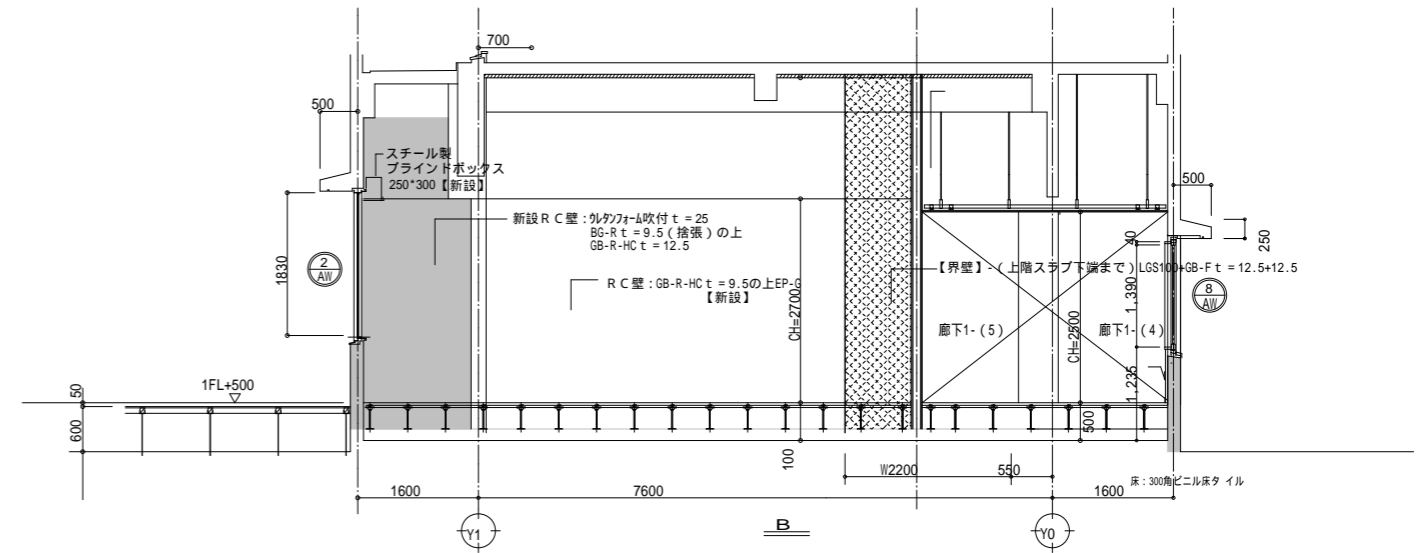
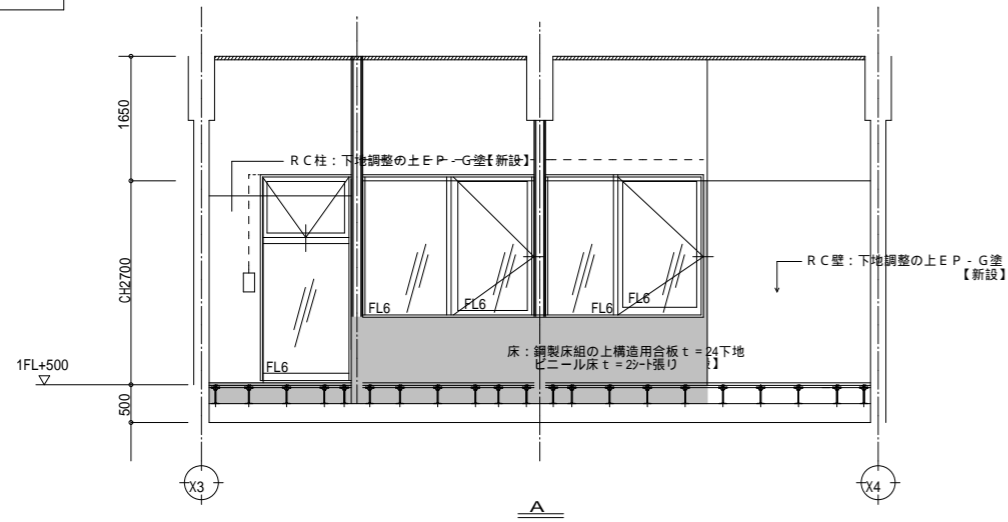


工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	52
図面名	展開図(7) A棟1階 宿泊室A-1-(HC)(改修後)			A-52
沖縄科学技術大学院大学学園				

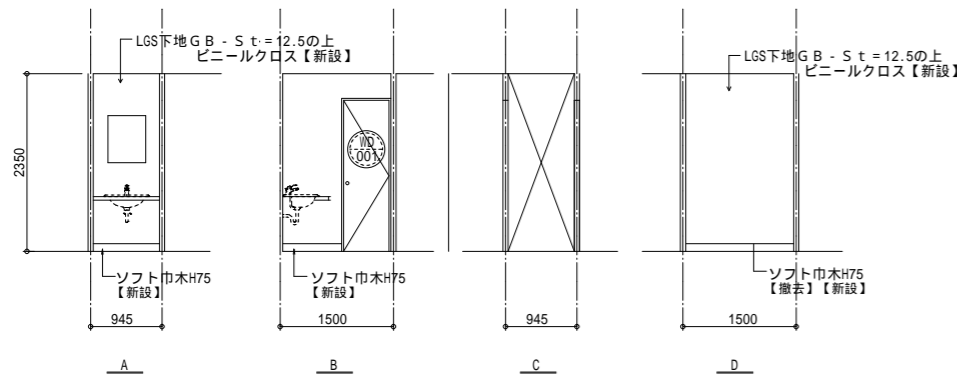


凡例		撤去範囲(躯体)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		撤去範囲(仕上のみ)		既存建具【塗替】を示す。		
		撤去範囲(下地共)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		
		工務名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 展開図(8) A棟1階キッズルーム(改修前) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園		53 A-53		

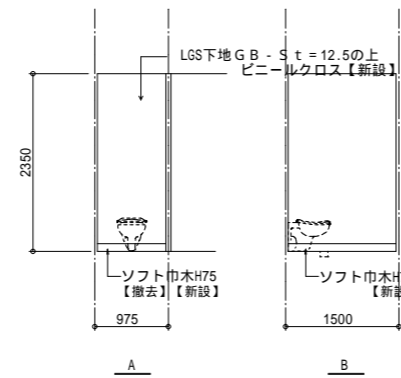
Play Space



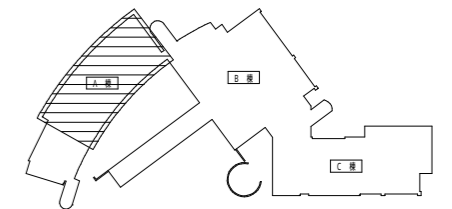
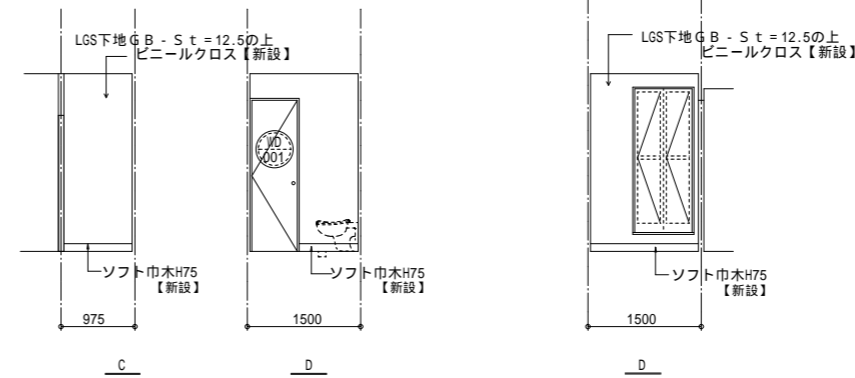
洗面所



便所



脱衣室



展開図KEYPLAN

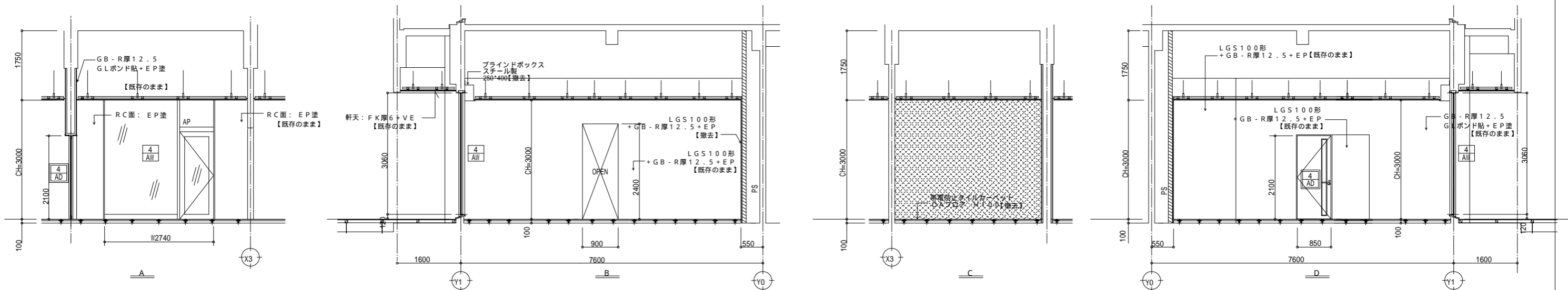
凡例

	新設範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
	新設範囲(仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		

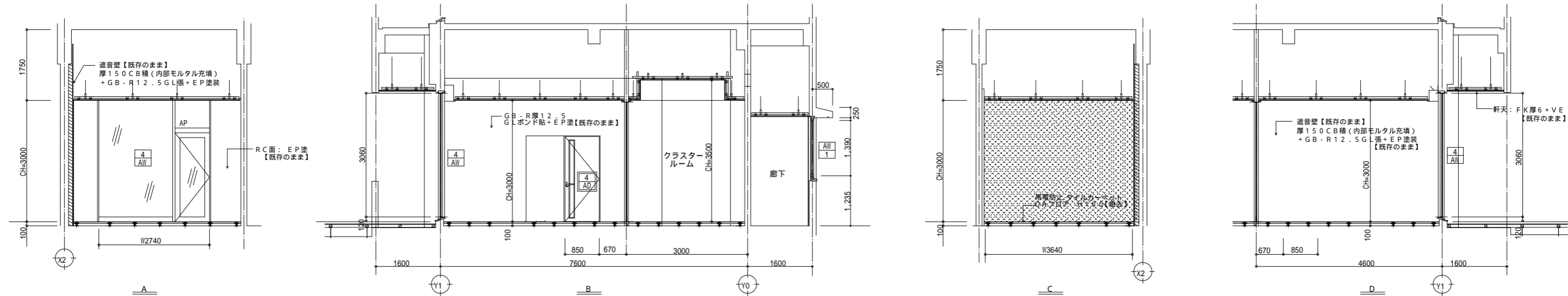
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 展開図(9)  
A棟1階宿泊室1-(B2)(B2C)(改修後) 縮尺 A1: 1/50  
A3: 1/100  
沖縄科学技術大学院大学学園

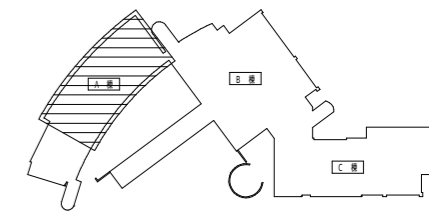
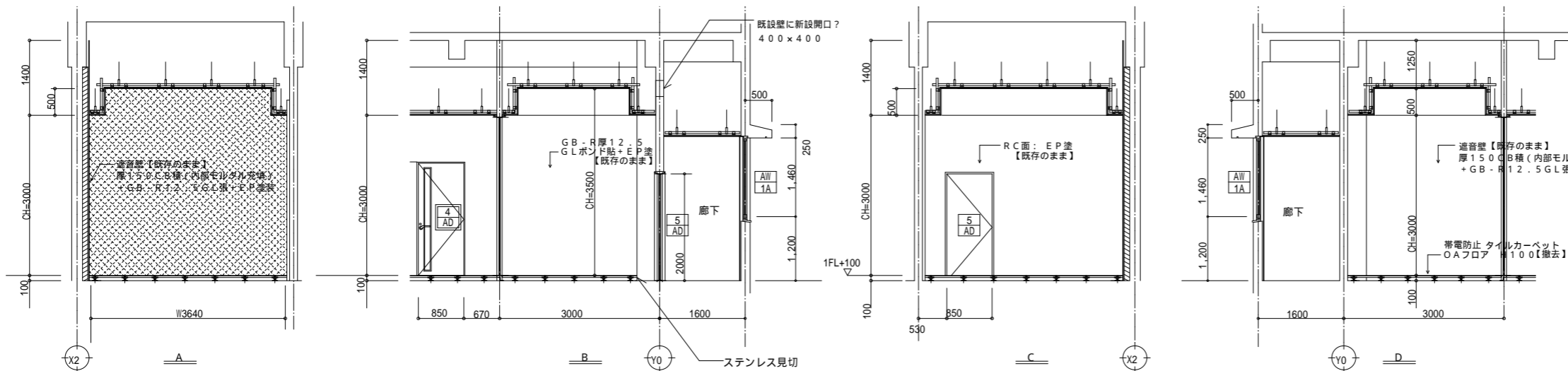
Craft room



Sturdy room



Storage



展開図KEYPLAN

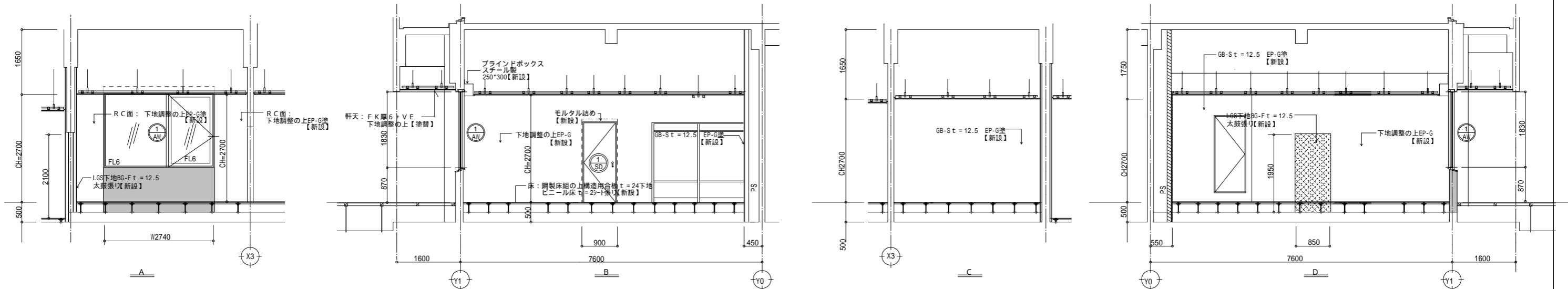
凡例		撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
		撤去範囲(仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		

一般建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一般建築士事務所 知事登録 174-3403号

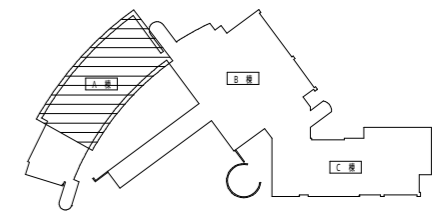
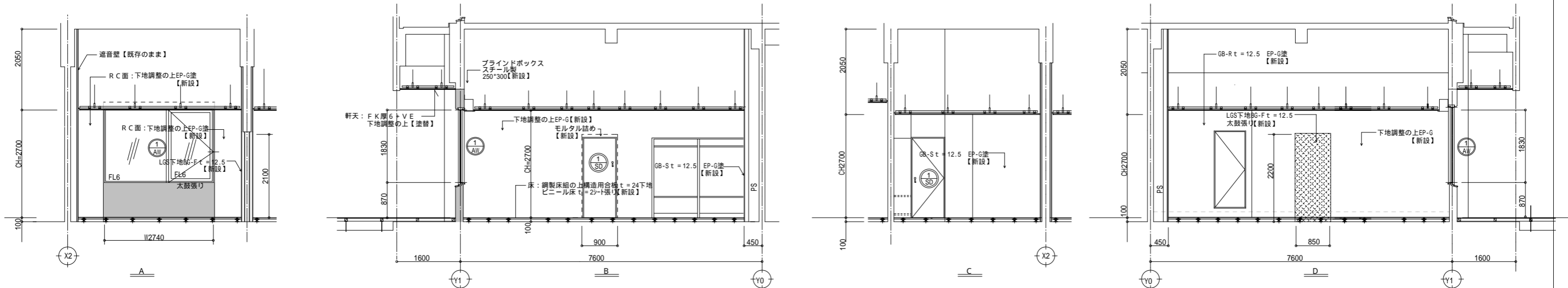
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 展開図(10)  
A棟1階キッズルーム(改修前)  
沖縄科学技術大学院大学学園

縮尺 A1: 1/50  
A3: 1/100

宿泊室 (D) -1



宿泊室 (D) -1A



展開図KEYPLAN

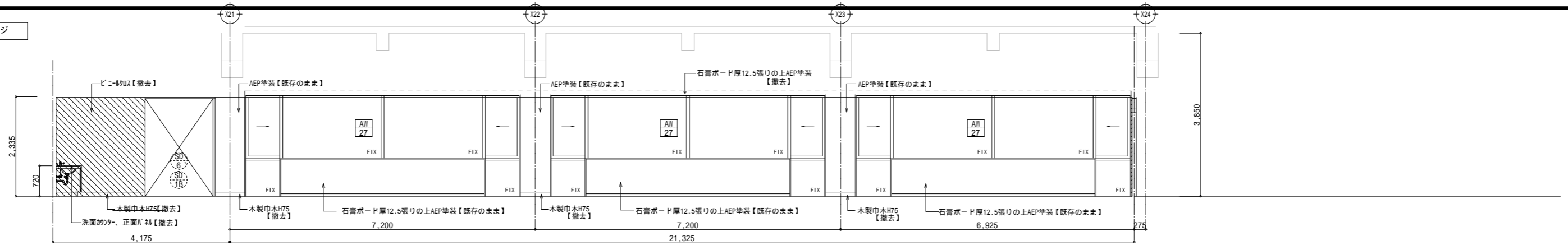
凡例

	新設範囲 (下地共)		【新設】 建具を示す。		【撤去】 建具を示す。
	新設範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
	新設範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】 建具を示す。		

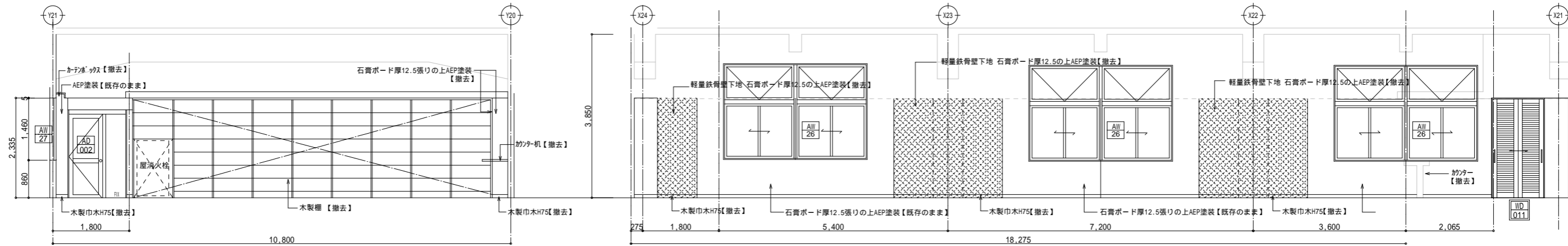
一般建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一般建築士事務所 知事登録 174-3400号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 展開図 (11)  
A棟1階宿泊室(D)-1(改修後) 縮尺 A1: 1/50  
A3: 1/100  
沖縄科学技術大学院大学学園

2階ラウンジ

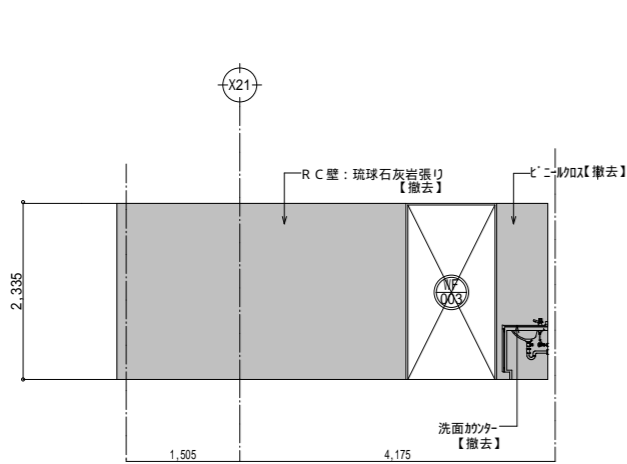


A

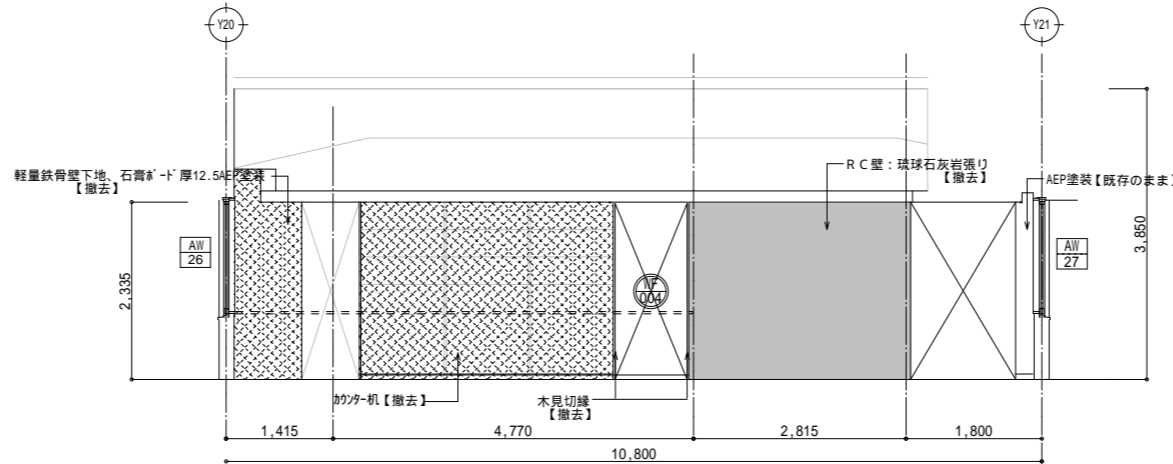


B

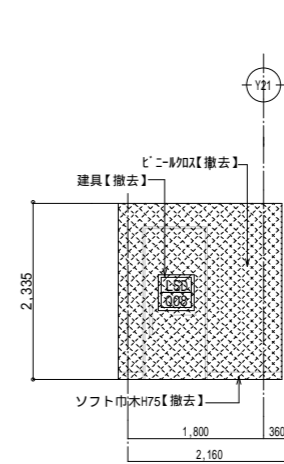
C



C'

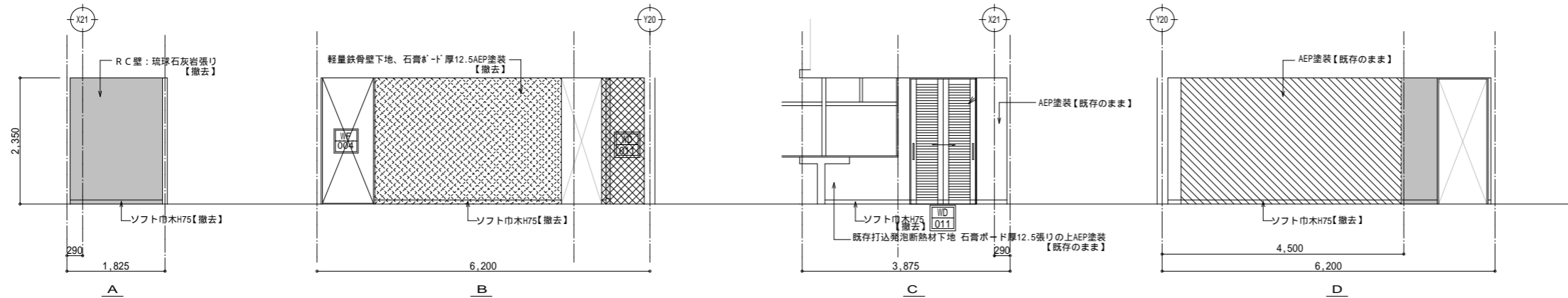


D



D'

サービスカウンター

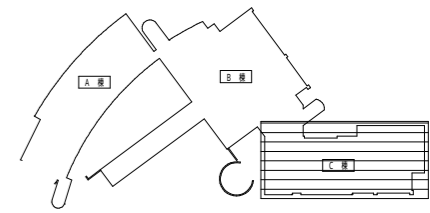


A

B

C

D



展開図KEYPLAN

凡例

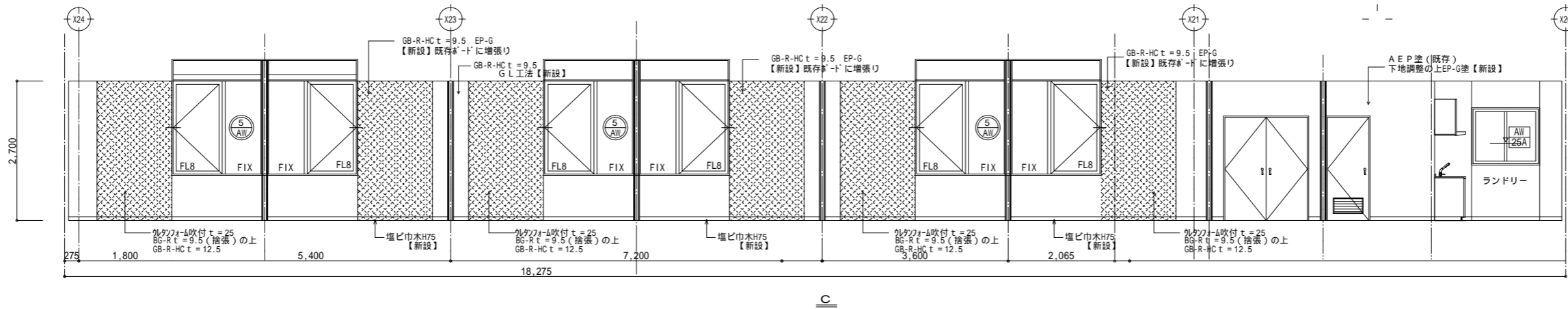
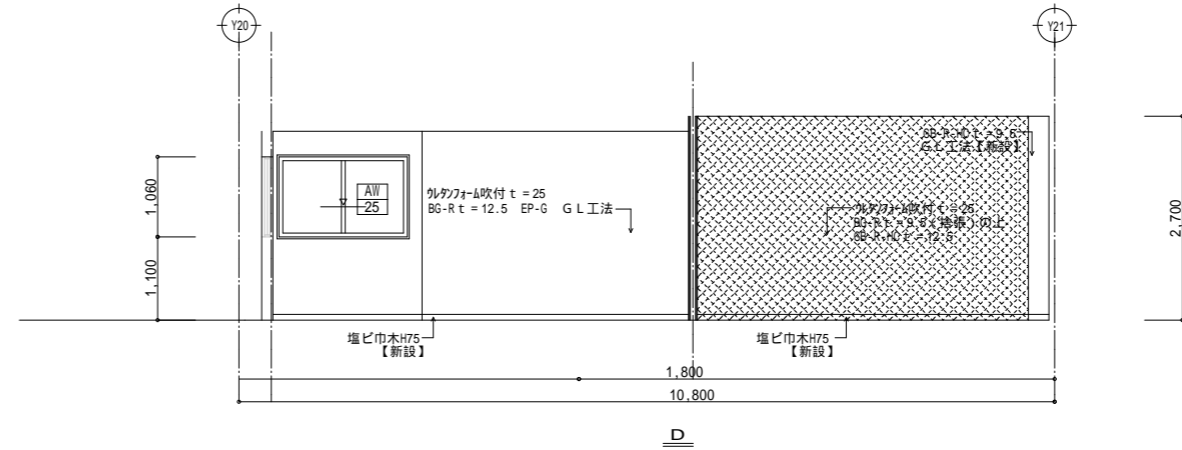
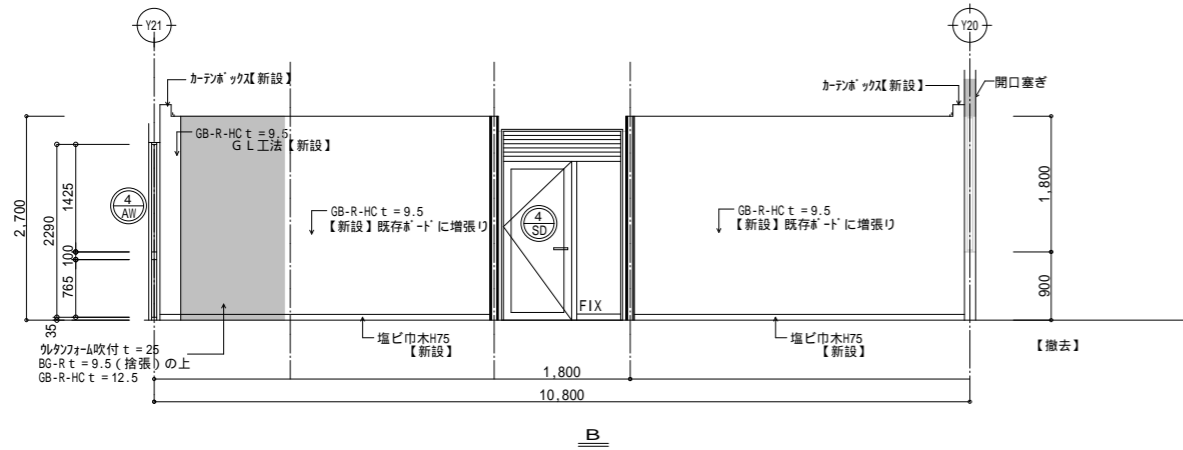
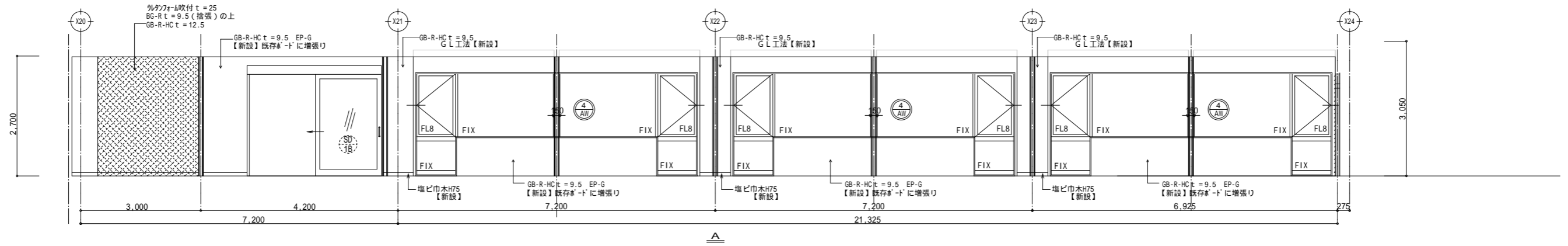
	撤去範囲（下地共）		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	撤去範囲（躯体）		既存建具【塗替】を示す。		
	撤去範囲（仕上のみ）		既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		



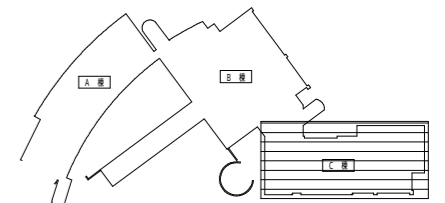
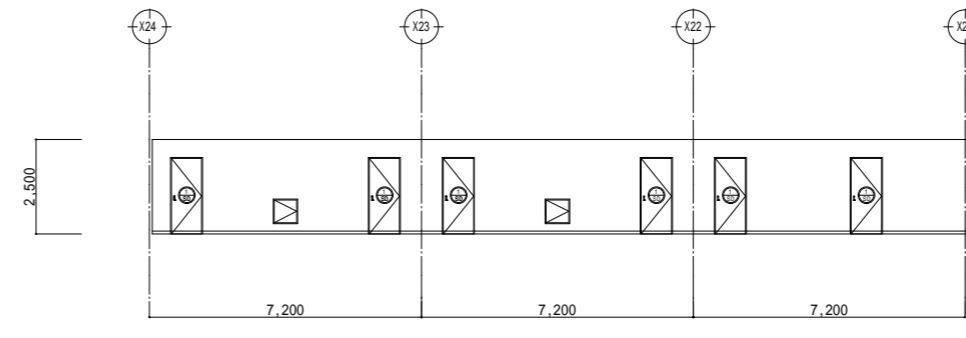
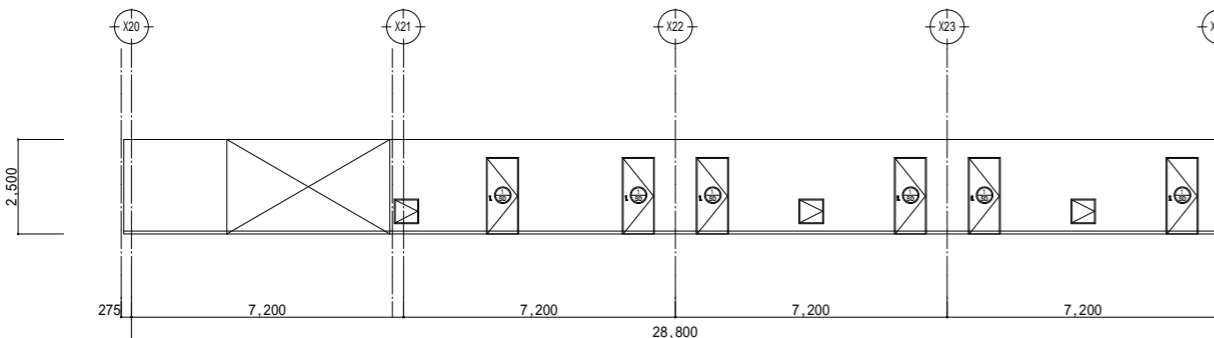
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 展開図(12) C棟2階 ラウンジ(改前) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
沖縄科学技術大学院大学学園

C棟2階宿泊室



C棟2階廊下



展開図KEYPLAN

凡例

	新設範囲(地下共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
	新設範囲(仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		

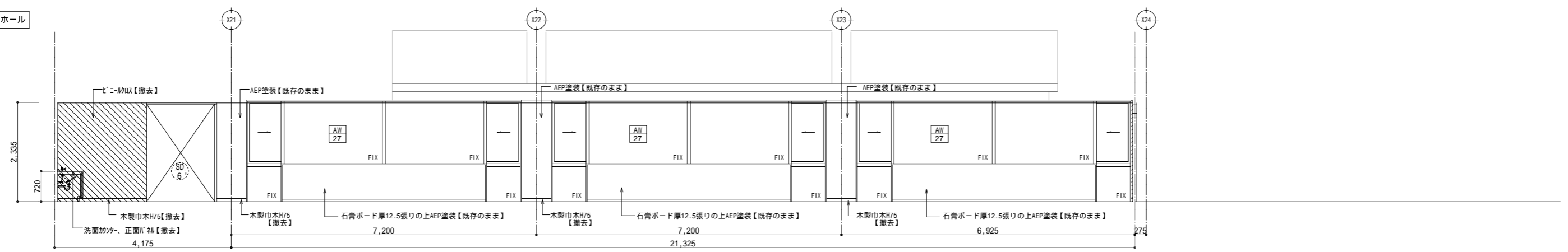


一級建築士事務所  
株式会社 m 3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

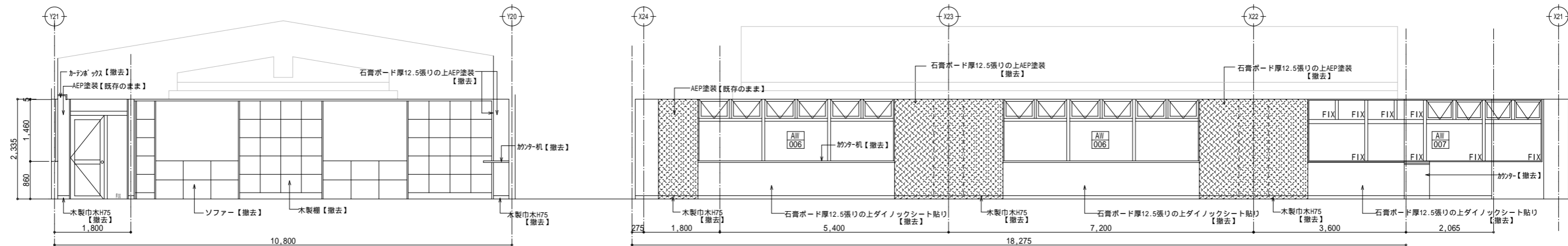
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 展開図(13) C棟2階 荷印室(改修後)  
沖縄科学技術大学院大学学園

縮尺 A1 : 1/50  
A3 : 1/100

3階ちゅらホール

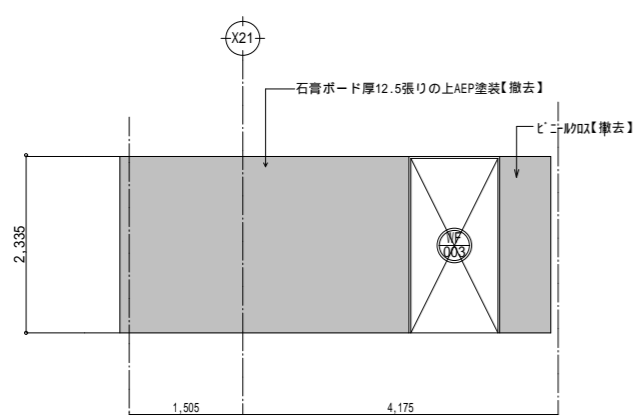


A

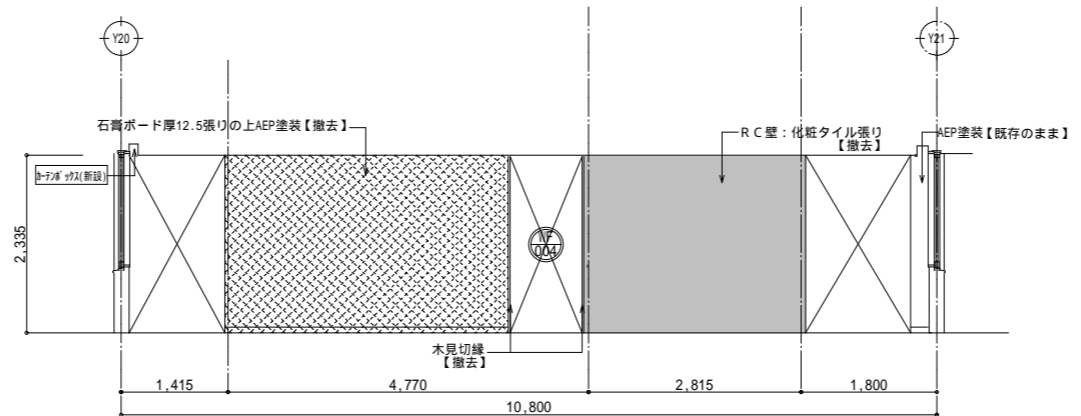


B

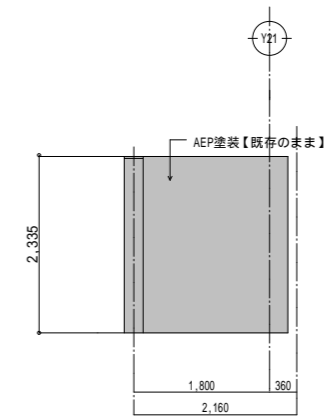
C



C'

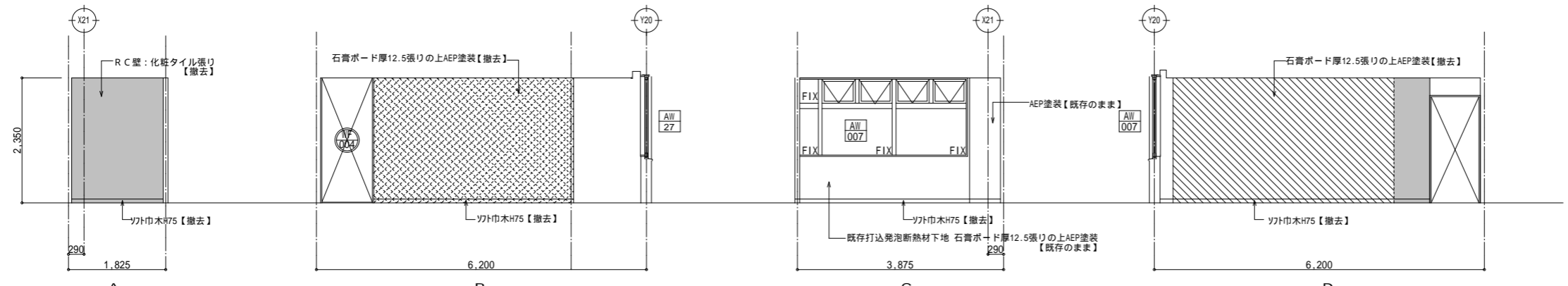


D



D'

サービスカウンター

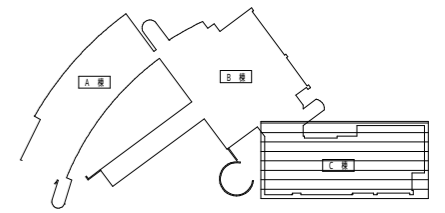


A

B

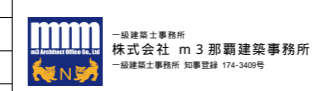
C

D



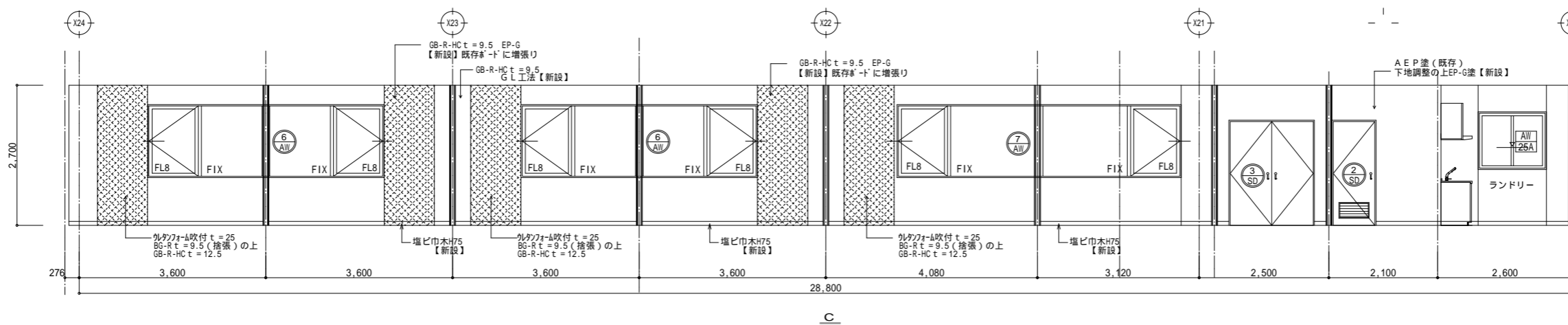
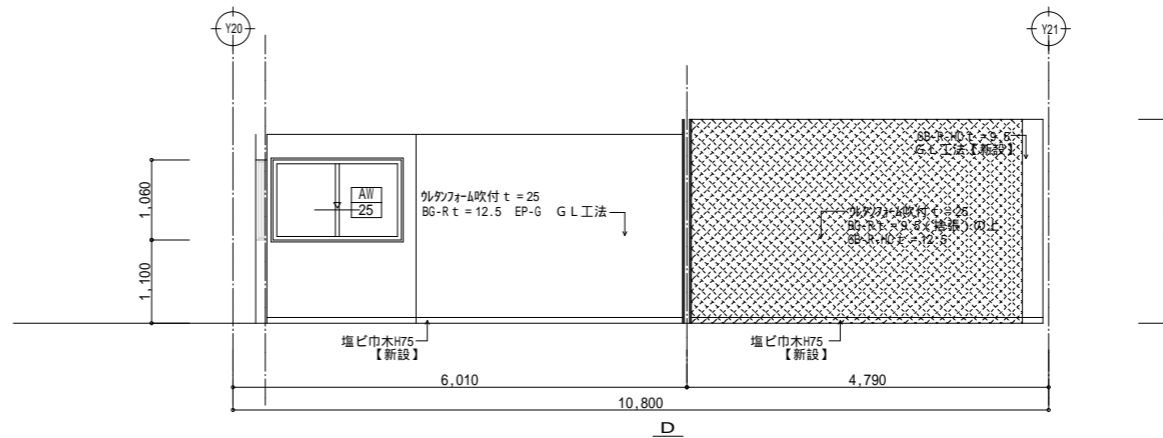
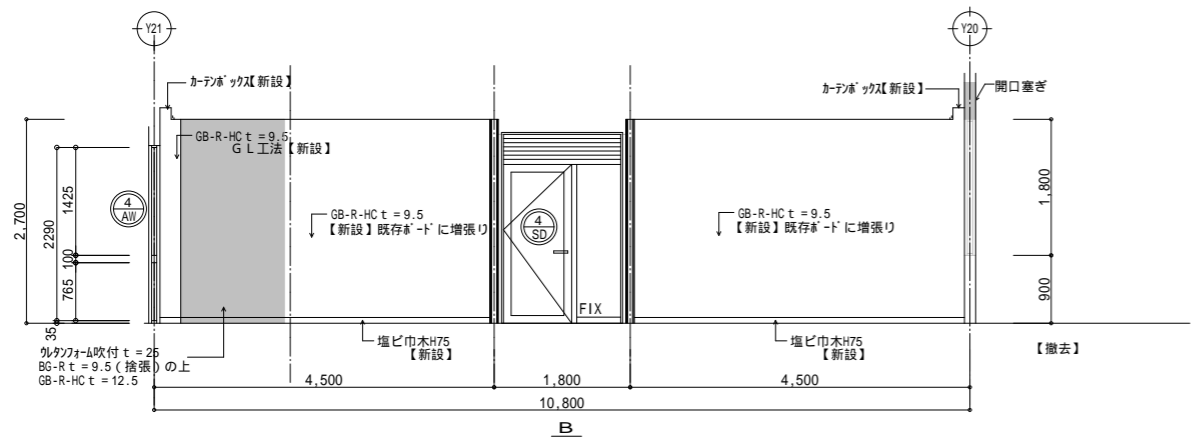
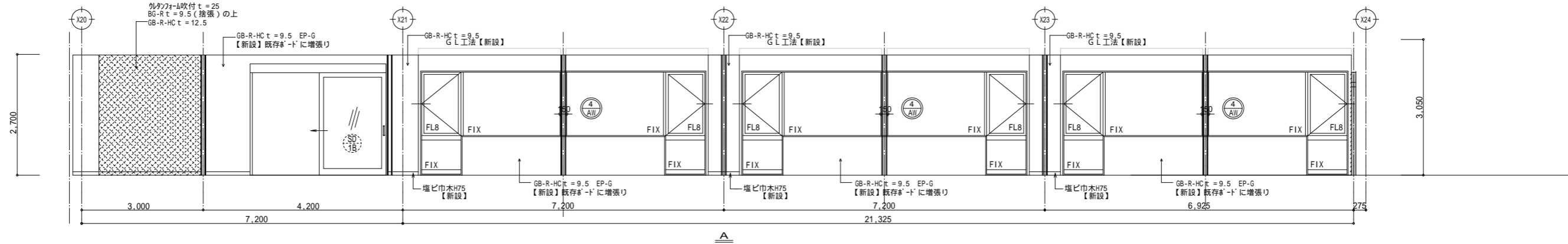
展開図KEYPLAN

凡例		撤去範囲(下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
		新設範囲(躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
		撤去範囲(仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
				【撤去】【新設】建具を示す。		

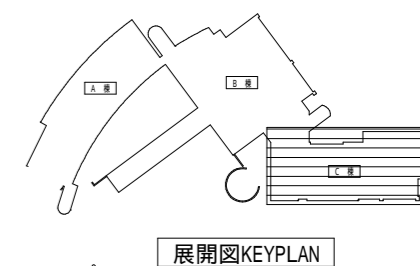
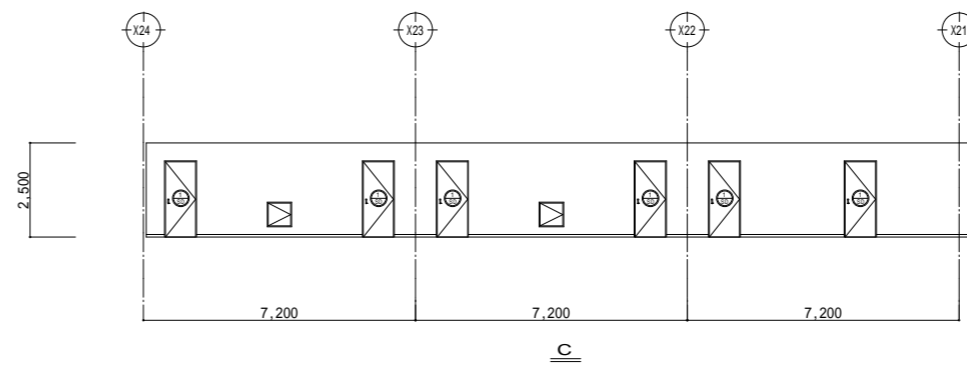
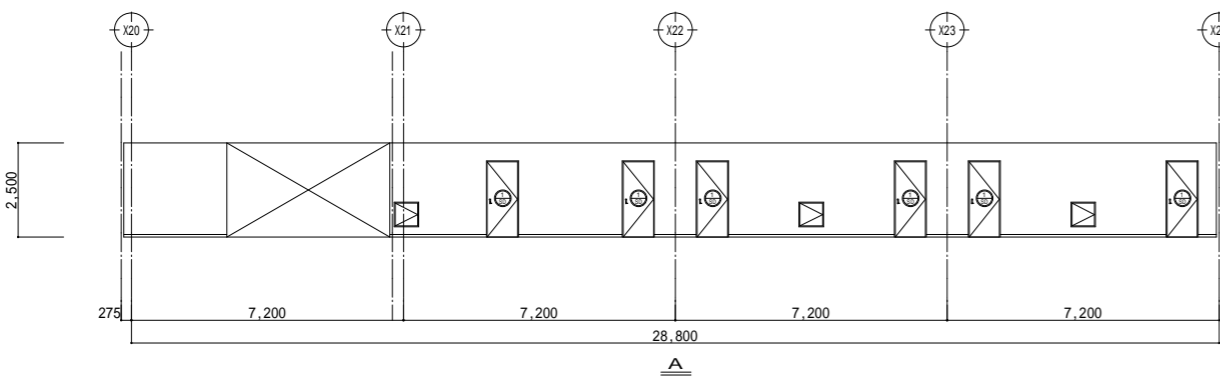


工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 展開図(14) C棟3階 ちゅらホール(改修前) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100  
 沖縄科学技術大学院大学学園

C棟3階宿泊室



C棟2階廊下



凡例

	新設範囲 (地下共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。
	新設範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		
	新設範囲 (仕上のみ)		既存建具【既存のまま】を示す。		
			【撤去】【新設】建具を示す。		

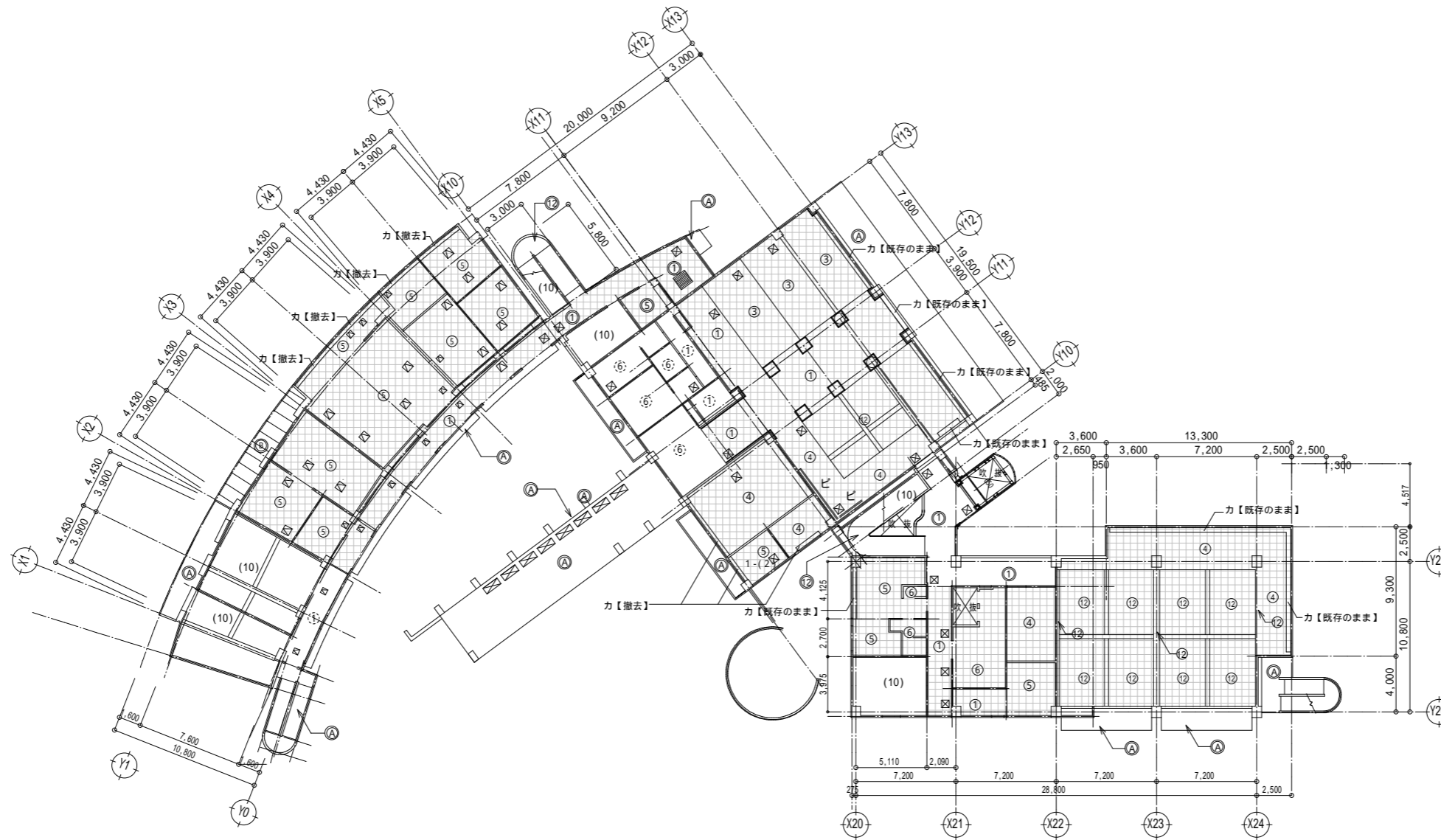


一級建築士事務所  
株式会社 m 3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 展開図 (15)  
C棟3階 宿泊室 (改修後)  
沖縄科学技術大学院大学学園

縮尺 A1 : 1/50  
A3 : 1/100

60  
A-60



(改修前)

1階天井伏図

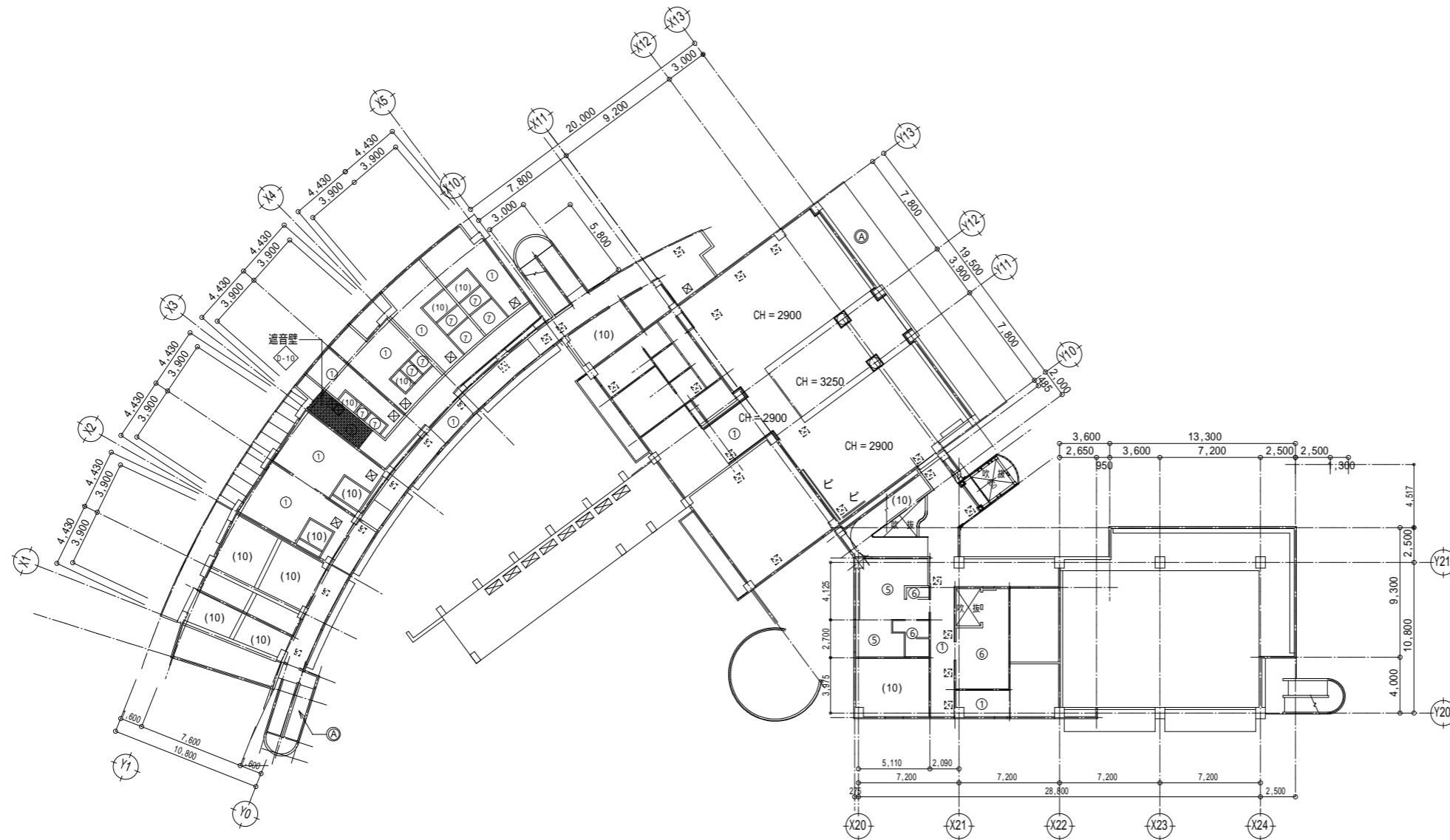
S = 1/200

凡例	
天井仕上表 (外部)	
Ⓐ	VE塗装
Ⓑ	厚6 ケイカル板張りの上、VE塗り
Ⓒ	複層仕上塗材
天井仕上表 (内部)	
①	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装
②	LGS下地厚120mm化粧吸音板
③	LGS下地厚9.5石膏ボード張り(東京興業貿易商会)取付け
④	LGS下地厚9.5石膏ボード張りの上、厚90mm化粧吸音板
⑤	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り
⑥	LGS下地厚6mm石膏加板目透かし張りの上、VE塗装
⑦	LGS下地厚6mm石膏加板張りの上、VE塗装
⑧	LGS下地木製トラス張り
(10)	既存仕上のまま
⑪	既存スラブAEP塗装
⑫	コンクリート打放しAEP塗装
⑬	スラブ底フラットデッキ柵素地SOP塗装
—	ピクチャーレール
⊠	天井点検口 アルミ450角(枠目地タイプ)
○	既存のまま
●	仕上のみ新設
—	ピクチャーレールを示す

撤去範囲(下地共)	
-----------	--

一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	縮尺	A1 : 1/200 A3 : 1/400
図面名	1階天井伏図(改修前)		
沖縄科学技術大学院大学学園			



(改修後)

1階天井伏図

S = 1/200

凡例

天井仕上表 (外部)	
Ⓐ	VE塗装
Ⓑ	厚6 ケイカル板張りの上、VE塗り
Ⓒ	複層仕上塗材

天井仕上表 (内部)	
①	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装
②	LGS下地厚120mm化粧吸音板
③	LGS下地9.5石膏ボード張りの上、厚90mm化粧吸音板
④	LGS下地厚9.5石膏ボード張りの上、厚90mm化粧吸音板
⑤	LGS下地厚6mm石膏ボード張りの上、VE塗装
⑥	LGS下地厚6mm石膏ボード張りの上、VE塗装
⑦	LGS下地厚6mm石膏ボード張りの上、VE塗装
⑧	LGS下地木製パネル張り
(10)	既存仕上のまま
⑩	既存スラブAEP塗装
⑪	コンクリート打放しAEP塗装
⑫	スラブ底フラットデッキ柾素地SOP塗装
—	ピクチャーレール
☒	天井点検口 アルミ450角(柾目地タイプ)
☒	天井点検口 アルミ600角(柾目地タイプ)
○	既存のまま
○	仕上のみ新設
—	ピクチャーレールを示す

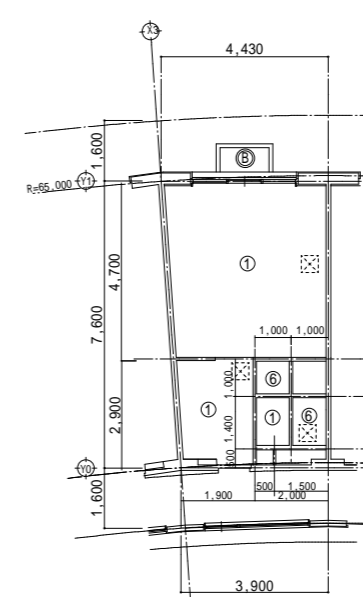
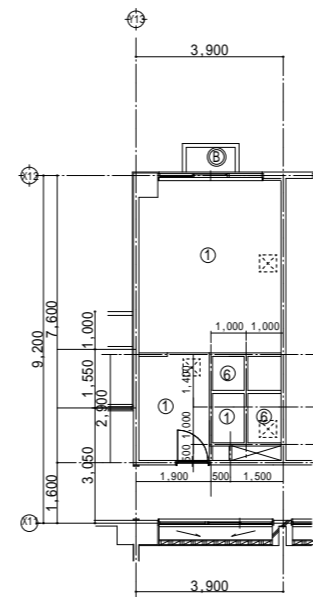
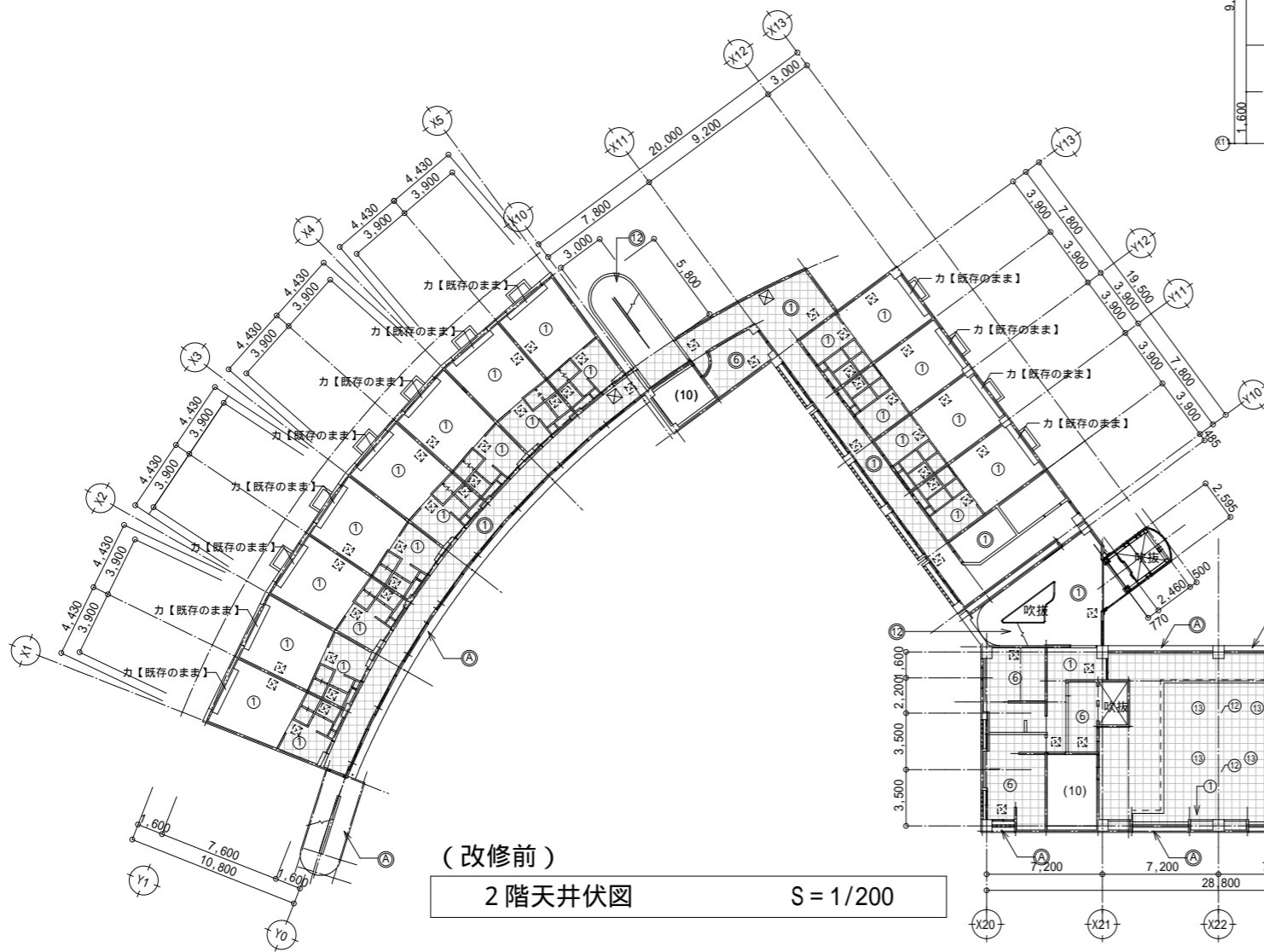
天井開口補強リスト 1階

種類	寸法	数量		合計
		【撤去】	【新設】	
点検口	450×450	1	1	1ヶ所
点検口	600×600	8	8	8ヶ所
				3-42-2



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 1階天井伏図(改修後) 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400  
沖縄科学技術大学院大学学園



凡例

天井仕上表(外部)	
Ⓐ	VE塗装
Ⓑ	厚6 ケイカル板張りの上、VE塗り

天井仕上表(内部)	
①	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装
②	LGS下地厚120ヶク-M化粧吸音板
③	LGS下地ケパ・Dグー(東京興業貿易商会)取付け
④	LGS下地厚9.5石膏ボード塗りの上、厚90ヶク-M化粧吸音板
⑤	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り
⑥	LGS下地厚6ヶク-M加板目透かし張りの上、VE塗装
⑦	LGS下地厚6ヶク-M加板張りの上、VE塗装
⑨	LGS下地木製M-パ張り
(10)	既存仕上のまま
⑪	既存スラブAEP塗装
⑫	コンクリート打放しAEP塗装
⑬	スラブ底フラットデッキ柵素地SOP塗装

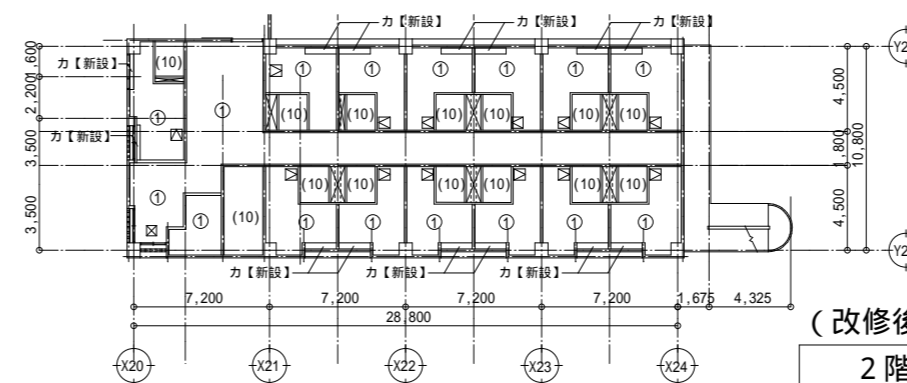
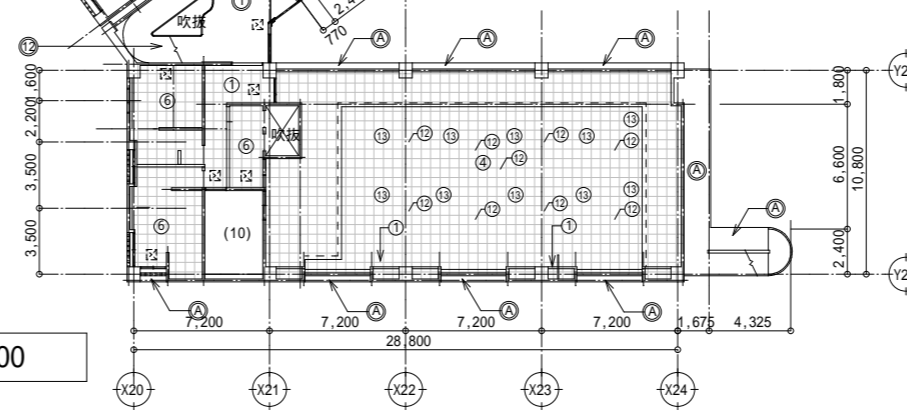
⌒	ビクチャールール
☒	天井点検口 アルミ450角(枠目地タイプ)
☒	天井点検口 アルミ600角(枠目地タイプ)

○ 既存のまま  
 ⊙ 仕上のみ新設  
 ≡ ビクチャールールを示す

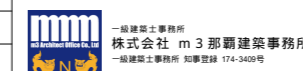
天井開口補強リスト 2階

種類	寸法	数量		合計
		【撤去】	【新設】	
点検口	450×450	5		5ヶ所
点検口	600×600		15	15ヶ所
				3-42-2

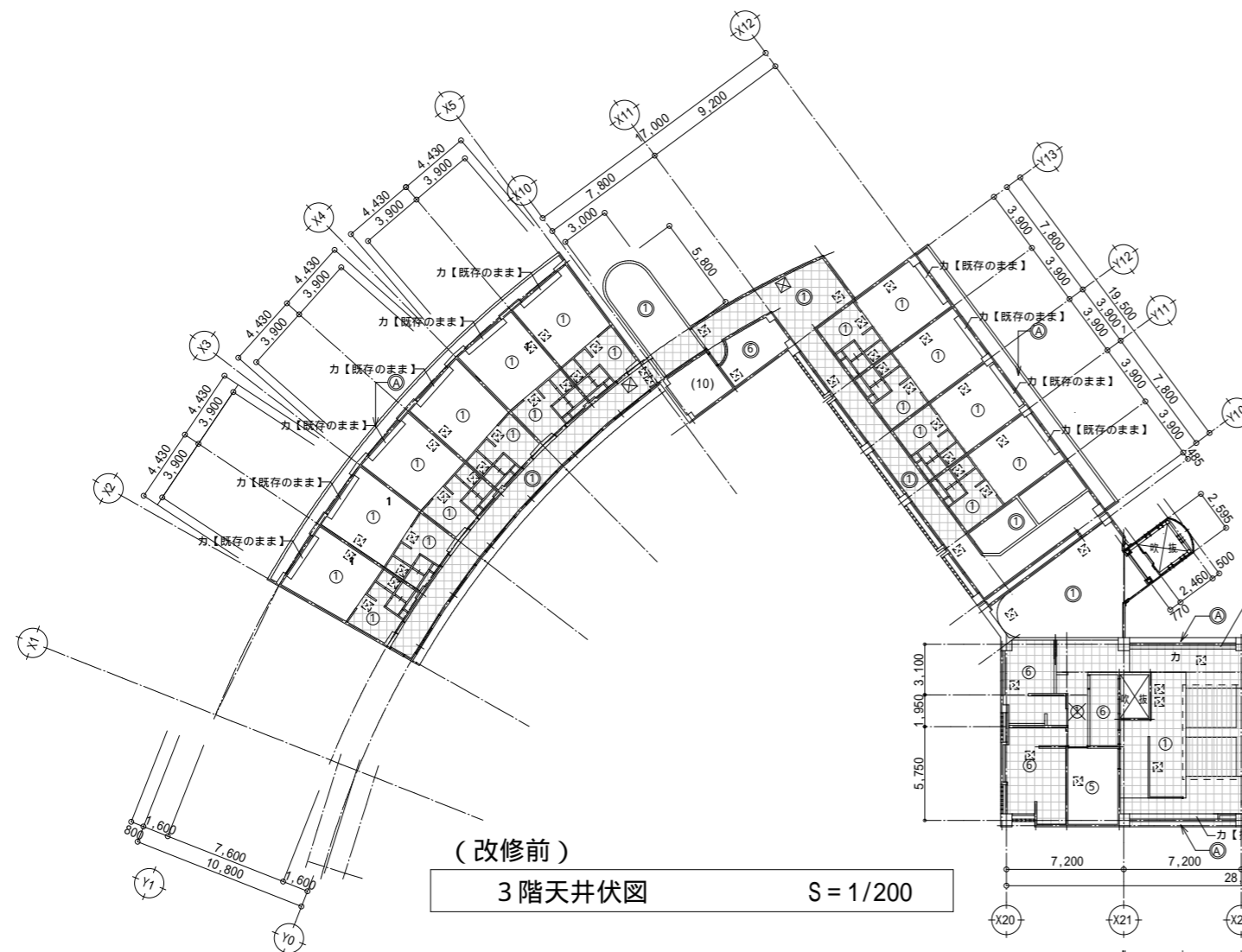


凡例

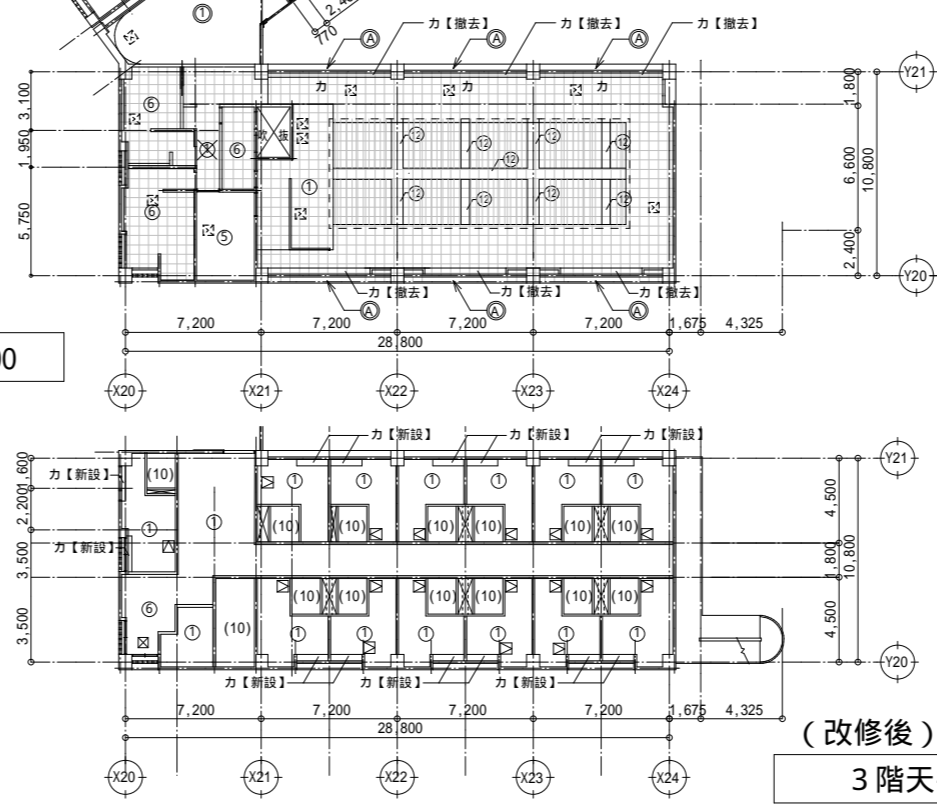
⊗	撤去範囲(下地共)
---	-----------



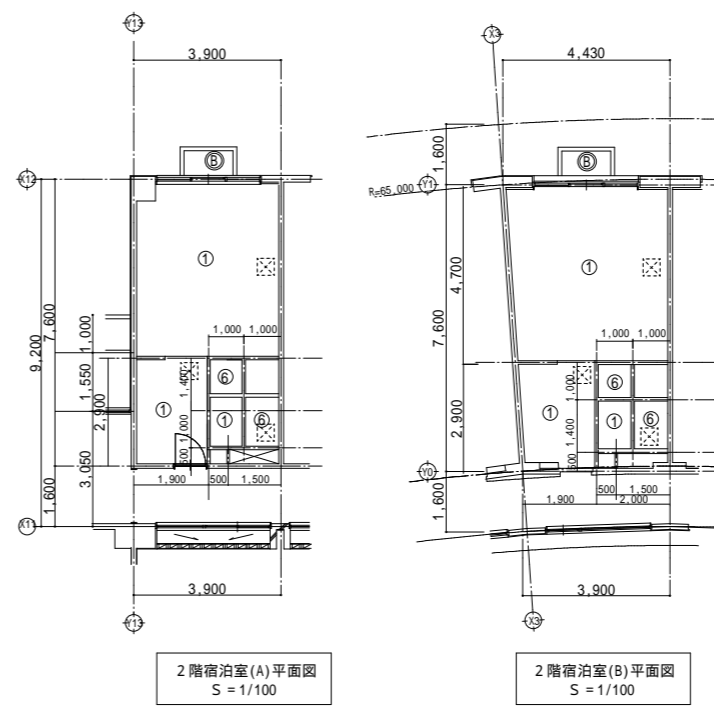
工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	63
図面名	2階天井伏図(改修前)(改修後) 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	A-63
作成者	沖縄科学技術大学院大学学術部	



(改修前)  
3階天井伏図 S=1/200



(改修後) C棟  
3階天井伏図 S=1/200



凡例

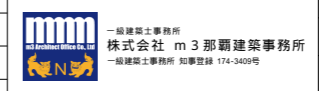
天井仕上表 (外部)	
(A)	VE塗装
(B)	厚6 ケイカル板張りの上、VE塗り
天井仕上表 (内部)	
(1)	LGS下地厚12.5石膏ボード張りの上、AEP塗装
(2)	LGS下地厚120mmM化粧吸音板
(3)	LGS下地7mmパ・Dガラ(東京興業貿易商会)取付け
(4)	LGS下地厚9.5石膏ボード捨張りの上、厚90mmM化粧吸音板
(5)	LGS下地厚9.5化粧石膏ボード張り
(6)	LGS下地厚6mmM化粧板目透かし張りの上、VE塗装
(7)	LGS下地厚6mmM化粧板張りの上、VE塗装
(8)	LGS下地木製M-11張り
(10)	既存仕上のまま
(11)	既存スラブAEP塗装
(12)	コンクリート打放しAEP塗装
(13)	スラブ底フラットデッキ桟素地SOP塗装
⊖	ビクチャレール
⊕	天井点検口 アルミ450角(桟目地タイプ)
○	既存のまま
○	仕上のみ新設
⊖	ビクチャレールを示す

天井開口補強リスト 2階

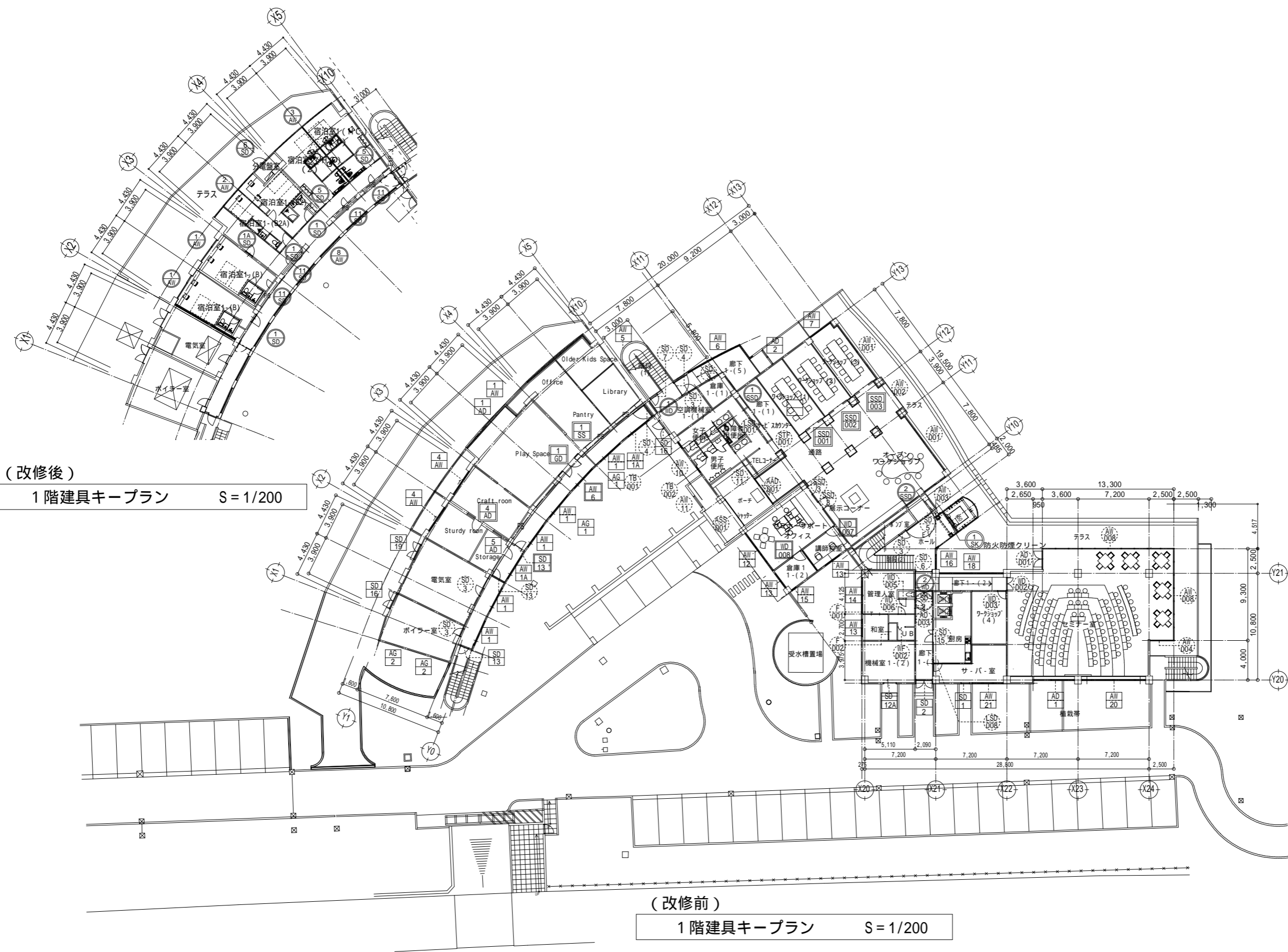
種類	寸法	数量		合計
		【撤去】	【新設】	
点検口	450x450	10	1	11ヶ所
点検口	600x600		18	18ヶ所
				3-42-2

凡例

	撤去範囲(下地共)
--	-----------



工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	64
図面名	3階天井伏図(改修前)(改修後) 縮尺 A1:1/200 A3:1/400	A-64
沖縄科学技術大学院大学学園		



(改修後)  
1階建具キープラン S = 1/200

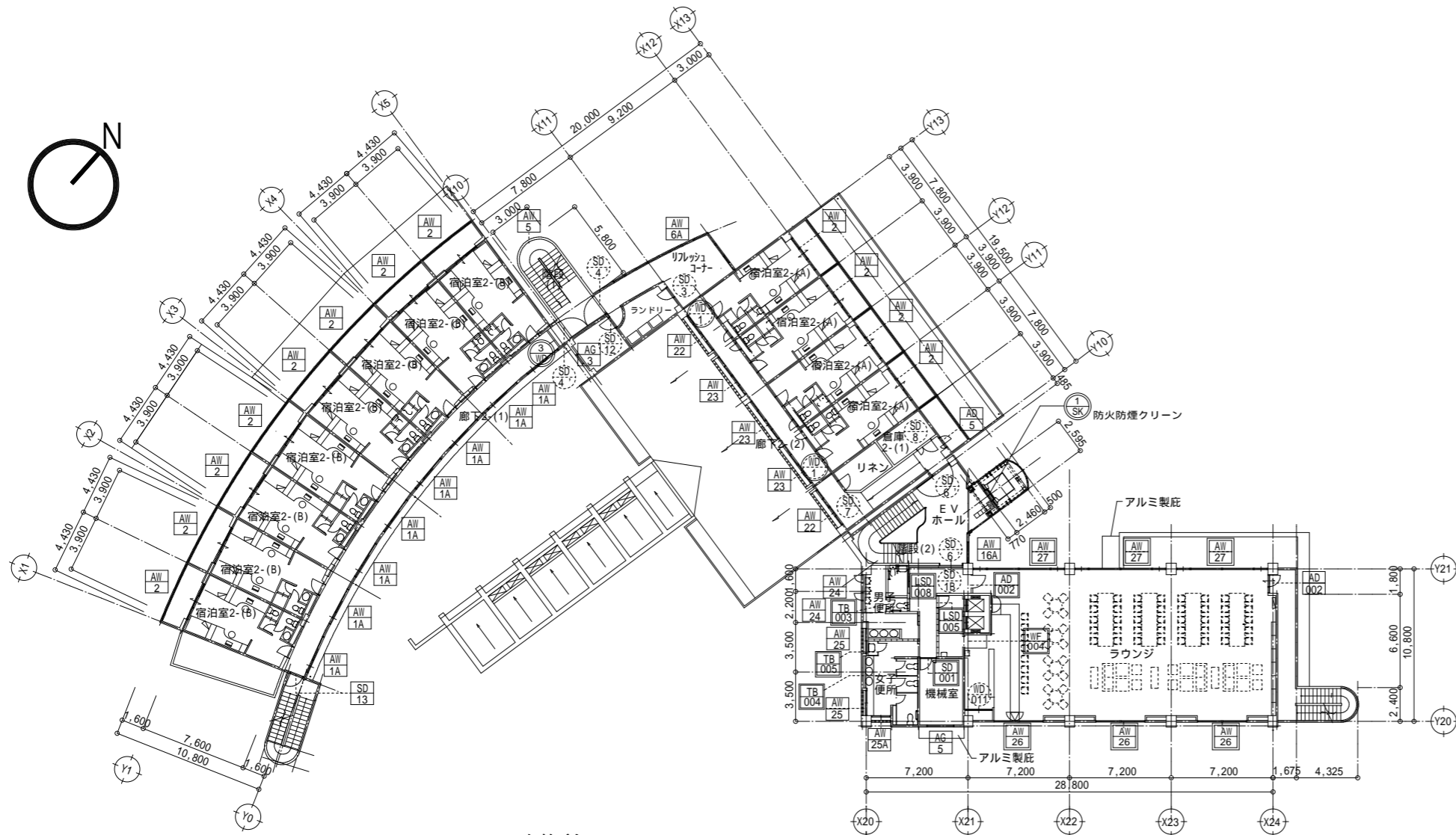
(改修前)  
1階建具キープラン S = 1/200

- 凡例
- : 【新設】建具を示す。
  - (with dashed border) : 既存建具【塗替】を示す。
  - (with dotted border) : 既存建具【既存のまま】を示す。
  - (with dashed border) : 【撤去】【新設】(カバー工法)建具を示す。
  - (with solid border) : 【撤去】建具を示す。

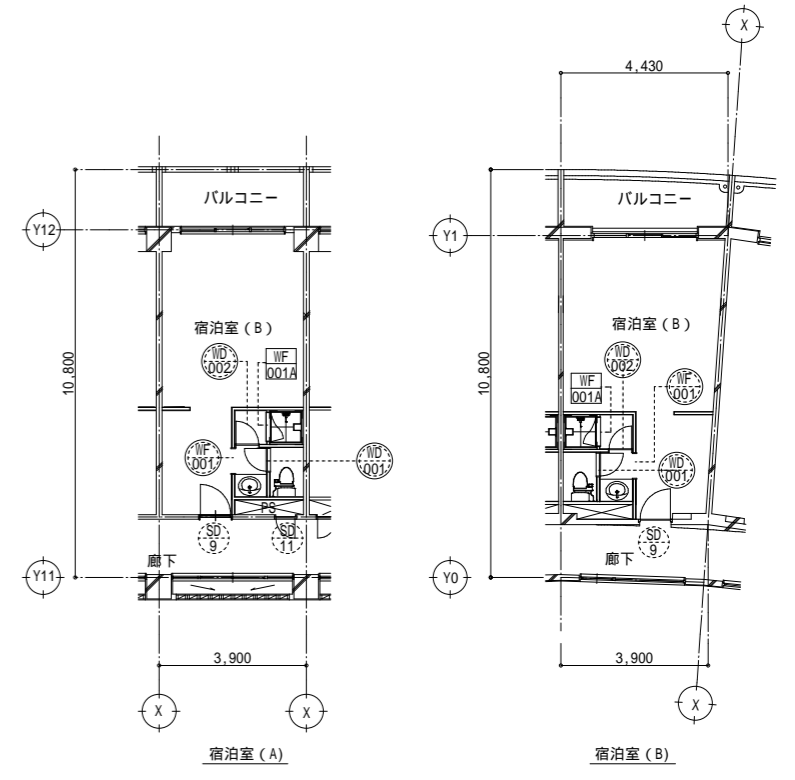


一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	65
図面名	1階建具キープラン (改修前) (改修後)	縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400
沖縄科学技術大学院大学学園		A-65



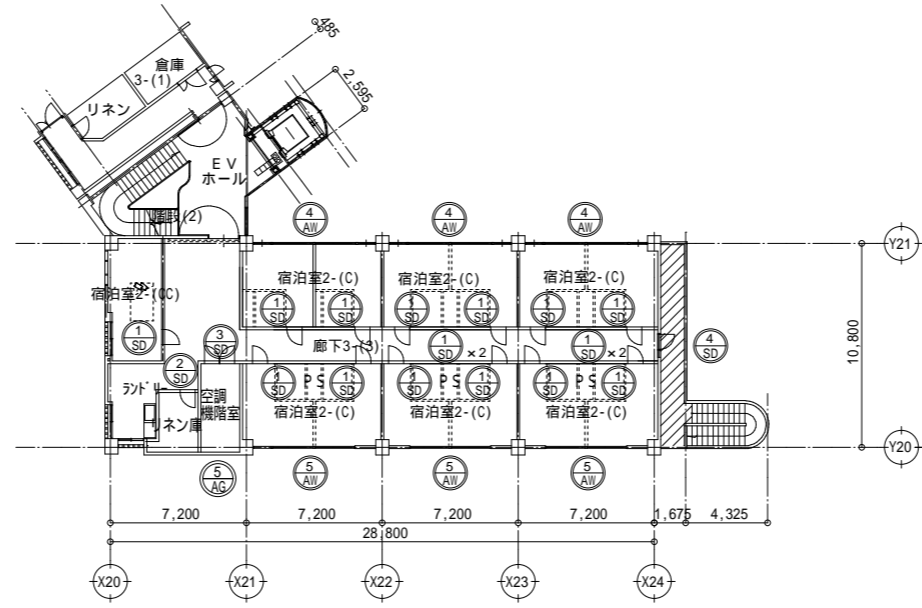
(改修前)  
2階建具キープラン S = 1/200



A棟B棟 宿泊室 建具キープラン

凡例

- : 【新設】建具を示す。
- : 既存建具【塗替】を示す。
- : 既存建具【既存のまま】を示す。
- : 【撤去】【新設】(カバー工法)建具を示す。
- : 【撤去】建具を示す。

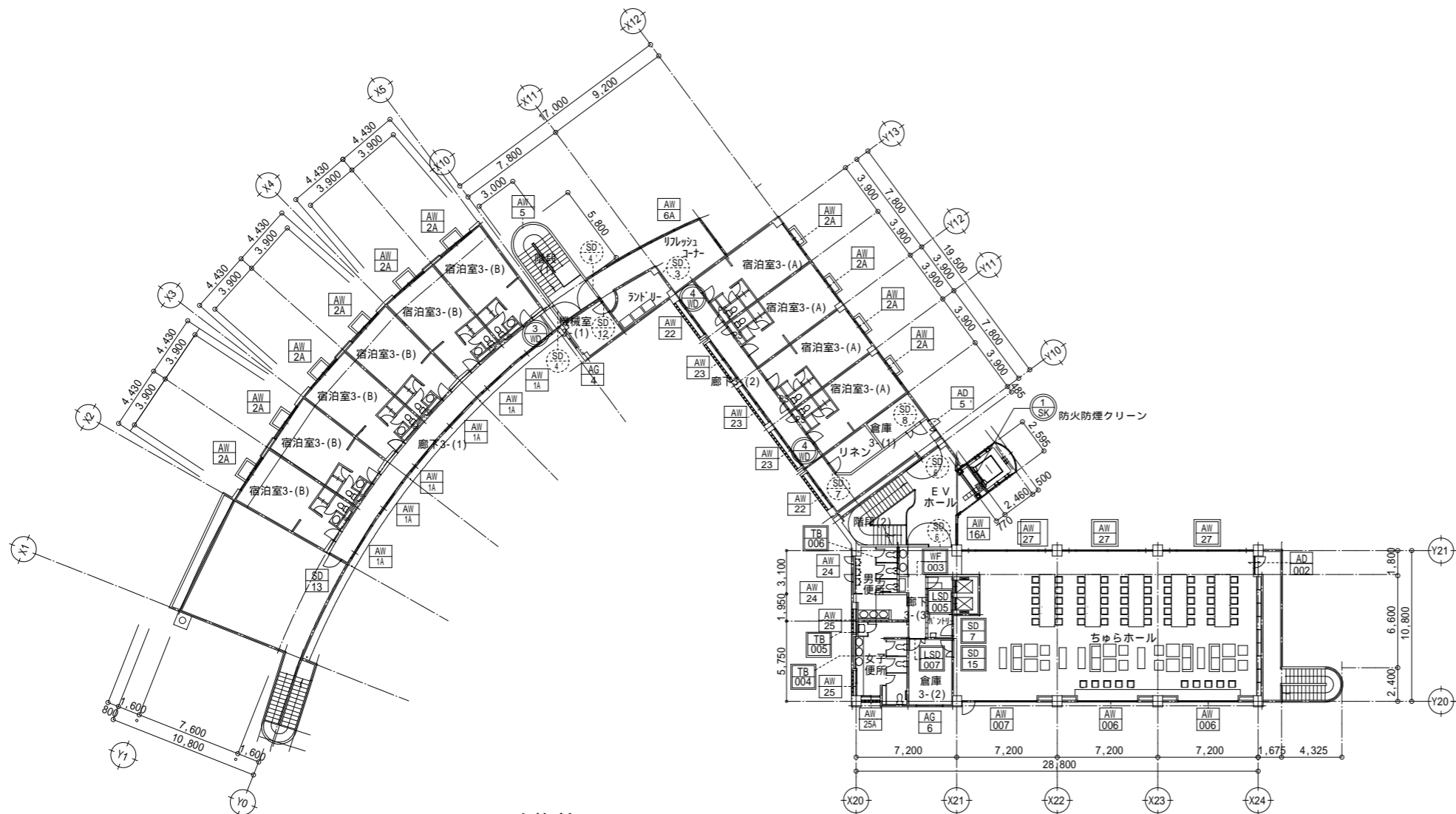


(改修後)  
2階建具キープラン S = 1/200

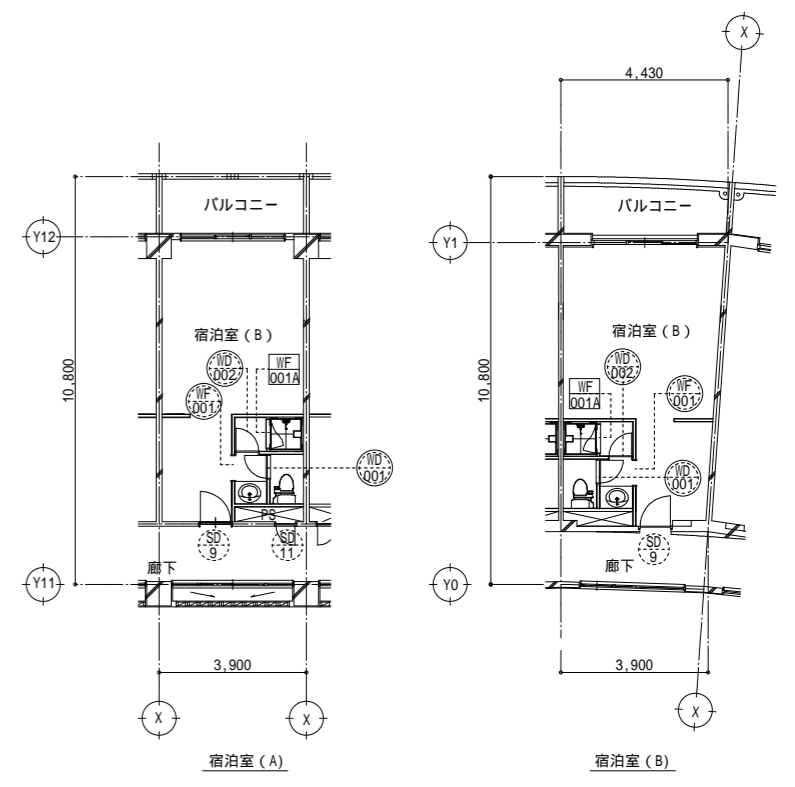


一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	66
図面名	2階建具キープラン (改修前) (改修後)	縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400
施主	沖縄科学技術大学院大学学園	A-66

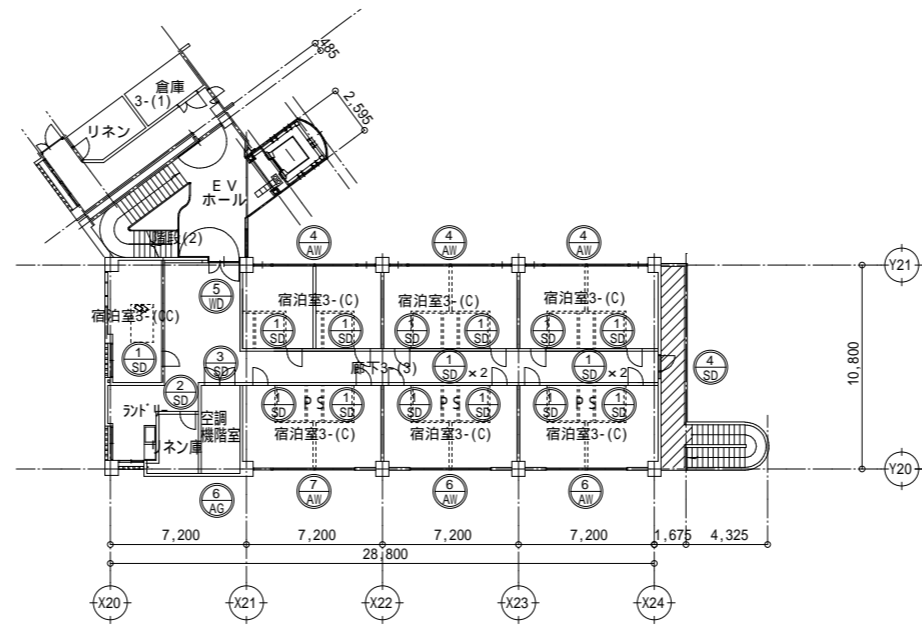


(改修前)  
3階建具キープラン S = 1/200



A棟B棟 宿泊室 建具キープラン

- 凡例
- : 【新設】建具を示す。
  - (with dashed border) : 既存建具【塗替】を示す。
  - (with dotted border) : 既存建具【既存のまま】を示す。
  - (with solid border) : 【撤去】【新設】(カバー工法)建具を示す。
  - (with dashed border) : 【撤去】建具を示す。



(改修後)  
3階建具キープラン S = 1/200



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	67
図面名	3階建具キープラン (改修前) (改修後)	縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400
沖縄科学技術大学院大学学園		A-67

符号・場所・数量	SD 001 2階 機械室 1ヶ所	SSD 001 1階ワークショップスペース(1) 1ヶ所	SSD 002 1階ワークショップスペース(2) 1ヶ所	SSD 003 1階ワークショップスペース(3) 1ヶ所	STF 001 1階 TELコーナー 1ヶ所	ASS 001 ポーチ 1ヶ所
図						
形式・見込	鋼製フラッシュ親子開き戸 ドア: 40 枠: 140	ステンレス製両袖嵌殺し窓付引分け戸 100	ステンレス製両袖嵌殺し窓付引分け戸 100	ステンレス製両袖嵌殺し窓付引分け戸 100	ステンレス製三方枠 170	アルミ製軽量電動式シャッター
材質・ガラス	鋼板 SOP塗装	ステンレスHL 70-t: 5	ステンレスHL 70-t: 5	ステンレスHL 70-t: 5	ステンレスHL	着色陽極酸化塗装複合皮膜
付属金物	レバーハンドル錠、ステンレス丁番、フランス落し、ドアクローザー、戸当り付属金物一式 くつずりA、ガラリC	引戸錠錠、ステンレス引手L300、ハンガーレール、振止め、自閉装置、上部ストッパー 付属金物一式	引戸錠錠、ステンレス引手L300、ハンガーレール、振止め、自閉装置、上部ストッパー 付属金物一式	引戸錠錠、ステンレス引手L300、ハンガーレール、振止め、自閉装置、上部ストッパー 付属金物一式		ガイドレール・ガイドレール支柱・まぐさ・座板: ステンレス製 シャッターケース: アルミ 耐風ボール、付属金物一式、電動装置一式
備考						電源: 単相 100V 0.05kw 60Hz
符号・場所・数量	LSD 001 1階 身障者便所 1ヶ所	WD 002 1階 セミナー室 1ヶ所	WD 003 1階 ミーティングルーム(4) 1ヶ所	LSD 005 2階 給湯室、3階パントリー 2ヶ所	LSD 007 3階 倉庫3-(2) 1ヶ所	LSD 008 2階 HC用便所 1ヶ所
図						
形式・見込	軽量鋼製フラッシュ自閉式片引き戸 枠: 110	軽量鋼製フラッシュ親子開き戸 枠: 110	軽量鋼製フラッシュ両開き戸 枠: 110	軽量鋼製フラッシュ親子開き戸 ドア: 40 枠: 220	軽量鋼製フラッシュ親子開き戸 ドア: 40 枠: 140	軽量鋼製フラッシュ片引き戸 ドア: 40 枠: 140
材質・ガラス	鋼板 SOP塗装 型板: 4	鋼板 両面化粧シート貼 型板: 4	鋼板 両面化粧シート貼 型板: 4	鋼板 片面化粧シート貼 型板: 4	鋼板 片面化粧シート貼 型板: 4	化粧塩ビシート張(枠共) 型板: 4
付属金物	引戸錠錠(非常開装置付表示装置共)、ステンレス引手L300、ハンガーレール、振止め 自閉装置、付属金物一式 くつずりA	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式 くつずりA、ガラリC	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式 くつずりA、ガラリC	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式 くつずりA、ガラリC	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式 くつずりA、ガラリC	大型握手 傾斜レール 制御装置エアダンパー 外付上吊り片引き戸レバー表示錠 1/4寸錠 付属金物一式
備考	****					
符号・場所・数量	LSD 008 1階 サーバー室 1ヶ所	AD 001 1階 セミナー室 1ヶ所	AD 002 2階ラウンジ、3階ちゅうらホール 2ヶ所	AD 003 1階 管理入室 1ヶ所	AD 1 1ヶ所	
図						
形式・見込	軽量鋼製フラッシュ片開き戸 ドア: 40 枠: 140	アルミ製欄間・両袖嵌殺し窓付両開き框戸 100	アルミ製嵌殺し窓付片開き框戸 100	アルミ製フラッシュ片開き戸 140	セミナールーム	
材質・ガラス	鋼板 OP塗装	着色陽極酸化塗装複合皮膜 70-t: 5	着色陽極酸化塗装複合皮膜 70-t: 5	着色陽極酸化塗装複合皮膜	100	
付属金物	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式 くつずりA	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り 付属金物一式	アルミ框ドア、ランマ、FIX カラーアルミ フロート t=8	
備考					フロアヒンジ、シリング本錠錠、付属金物一式	

凡例	: 【新設】建具を示す。	: 既存建具【既存のまま】を示す。	: 【撤去】建具を示す。	 一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 建具表(1) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園	68
	: 既存建具【塗替】を示す。	: 【撤去】【新設】建具を示す。 (カバー工法)			A-68	

符号・場所・数量	AW001 1階 ワークショップ(3)・オープンワークショップ 2ヶ所	AW002 1階 通路 1ヶ所	AW003 1階 オープンワークショップ 1ヶ所	AW004 1階 セミナー室 1ヶ所
図				
形式・見込	アルミ製四連嵌殺し窓	アルミ製両袖嵌殺し窓付引分け戸	アルミ製欄間滑出し窓付引違い戸	アルミ製両袖滑出し窓付嵌殺し窓
材質・ガラス	着色陽極酸化塗装複合皮膜	着色陽極酸化塗装複合皮膜 強化10mm	着色陽極酸化塗装複合皮膜 強化10mm	着色陽極酸化塗装複合皮膜
付属金物	付属金物一式	引戸用鎌錠 付属金物一式	オペレーター、付属金物一式	オペレーター、付属金物一式
備考		ヘーベシーベ大型引き戸同等品		

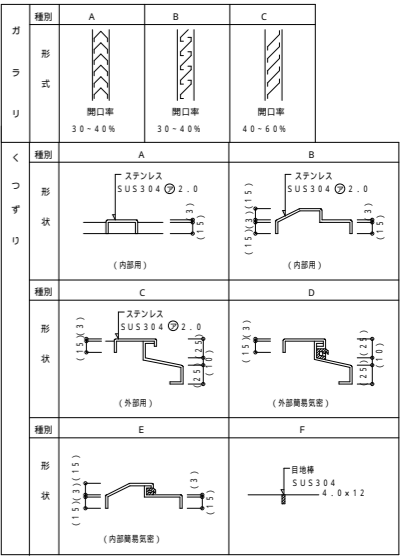
種類	A	B	C
形式	開口率 30-40%	開口率 30-40%	開口率 40-60%
種類	A		B
形状	ステンレス SUS304 2.0 (内部用)		ステンレス SUS304 2.0 (内部用)
種類	C	D	
形状	ステンレス SUS304 2.0 (外部用)	ステンレス SUS304 2.0 (外部用)	
種類	E	F	
形状	ステンレス SUS304 2.0 (内部用)	目付棒 SUS304 4.0x1.2 (内部用)	

符号・場所・数量	AW006 3階 ちゅらホール 2ヶ所	AW007 3階 ちゅらホール 1ヶ所	AW001 1階 通路 1ヶ所
図			
形式・見込	アルミ製欄間押し窓付き三連嵌殺し窓	アルミ製欄間押し窓・嵌殺し窓付き四連嵌殺し窓	アルミ製引分け自動ドア
材質・ガラス	着色陽極酸化塗装複合皮膜	着色陽極酸化塗装複合皮膜	着色陽極酸化塗装複合皮膜 70ト:8
付属金物	オペレーター、付属金物一式	オペレーター、付属金物一式	タッチ式スイッチ、補助光源スイッチ、スライドドアエンジン、ステンレスガイドレール 付属金物一式
備考			

符号・場所・数量	AW008 1階 セミナー室
図	
形式・見込	アルミ17連嵌め殺し窓 強化10mm
材質・ガラス	着色陽極酸化塗装複合皮膜
付属金物	付属金物一式
備考	

凡例	: 【新設】建具を示す。 : 既存建具【既存のまま】を示す。 : 【撤去】建具を示す。 : 既存建具【塗替】を示す。 : 【撤去】【新設】建具を示す。(カバー工法)		工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 建具表(2) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園	69 A-69
----	--	--	--	------------

符号・場所・数量	WD.001 宿泊室便所 2ヶ所	WD.002 宿泊室脱衣室 2ヶ所	WD.005 管理人室便所 1ヶ所	WD.006 管理人室脱衣洗面室 1ヶ所	WD.007 1階 講師控室 1ヶ所	WD.008 1階 倉庫1-(2) 1ヶ所
姿図						
形式・見込	木製フラッシュ片開き戸 110	木製フラッシュ片開き戸 110	木製フラッシュ片開き戸	木製フラッシュ片開き戸	木製フラッシュ片開き戸 110	木製フラッシュ片開き戸 110
材質・ガラス	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビコー DP塗装【塗替】	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビコー DP塗装【塗替】	扉：シナ合板 OP塗装 枠：メラビコー OP塗装	扉：シナ合板 OP塗装 枠：メラビコー OP塗装	扉：ニャトー合板着色CL 枠：ニャトー着色CL ガラス：厚4型板	扉：シナ合板 OP塗装 枠：メラビコー OP塗装
付属金物	モノロック錠、レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当りくつずりA	モノロック錠、レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当りくつずりA	モノロック錠(非常開装置付)、レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当りくつずりA	モノロック錠(非常開装置付)、レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当りくつずりA	レバーハンドル錠、ステンレス丁番、ドアクローザー、戸当りくつずりA	レバーハンドル錠、ステンレス丁番、ドアクローザー、戸当りくつずりA
備考	レバーハンドル：美和 LAL20-2A同等品以上	レバーハンドル：美和 LAL20-2A同等品以上	レバーハンドル：美和 LAL20-2A同等品以上	レバーハンドル：美和 LAL20-2A同等品以上	レバーハンドル：ユニオン UL719003同等品以上	レバーハンドル：美和 LAL20-2A同等品以上
符号・場所・数量	WD.011 2階 ラウンジ 1ヶ所	WF.001 宿泊室洗面所 2ヶ所	WF.002 宿泊室シャワユニット 2ヶ所	WF.003 1階 管理人室UB 1ヶ所	WF.004 3階 廊下3-(3) 1ヶ所	WF.005 2階 ラウンジ 1ヶ所
姿図						
形式・見込	木製引違戸 100	木製三方枠	木製額縁 100	木製額縁 100	木製三方枠 110	木製三方枠 110
材質・ガラス	扉：ニャトー着色CL塗装、リンボード着色CL塗装 枠：ニャトー着色CL塗装	メラビコー DP塗装【塗替】	メラビコー OP塗装	メラビコー OP塗装	ニャトー着色CL	ニャトー着色CL
付属金物	ステンレス引手L300、ステンレス丁番、ドアクローザー、戸当りフワーヒンジ(ストップ無し)くつずりA	ステンレス靴摺りA				
備考	取手：ユニオ G5200-01-023-L300同等品以上		詳細はSUメーカー仕様による。	詳細はUBメーカー仕様による。		
符号・場所・数量	WD.001 1階 管理人室和室 1ヶ所	WD.002 1階 管理人室和室 1ヶ所	WD.001 1階 管理人室和室 2ヶ所			
姿図						
形式・見込	三本引き換 105	戸袋付引違い襖 85	B棟 廊下2-(2) 115			
材質・ガラス	扉：シナ合板フラッシュ 両面：新鳥の子紙 枠：メラビコー CL塗装	扉：シナ合板フラッシュ 両面：新鳥の子紙 枠：メラビコー CL塗装	木製フラッシュ親子開き戸			
付属金物	引き手、敷居スベリ、付属金物一式	引き手、敷居スベリ、付属金物一式	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビコー OS塗装【塗替】くつずりA レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクロ・ザー			
備考						
凡例	⊕ : 【新設】建具を示す。	⊙ : 既存建具【既存のまま】を示す。	□ : 【撤去】建具を示す。			
	⊖ : 既存建具【塗替】を示す。	□ : 【撤去】【新設】建具を示す。(カバー工法)				
					工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 建具表(3) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園	
						70 A-70





記号設計	AW 1 AW 1A	5, 16ヶ所	AW 2 AW 2A	12・10ヶ所	AW 5	3ヶ所	AW 6	1ヶ所	AW 6A	2ヶ所
窓図										
使用箇所	A棟 廊下		A棟B棟 宿泊室		階段(1)		廊下1-(5)		2階3階リフレッシュコーナー	
見込	50		70		70		70		70	
型材料	アルミ片引きマド FIX		アルミ片引きマド		アルミ ハメ殺しマド		アルミ殺しマド むき出し窓		アルミハメ殺しマド	
仕上	下地調整の上 DP塗【新設】		全左		全左		カラーアルミ		全左	
硝子	フロート t=8		全左		フロート t=6		フロート t=8		フロート m8	
金物	附属金物一式 水切(アルミ)		全左		全左		附属金物一式		全左	
備考	( ):AW・1'を示す		( ):AW・2'を示す							

記号設計	AW 7	1ヶ所	AG	AG-1 450W x 450H	2ヶ所	AG-3 800W x 1600H	1ヶ所	AG-4 800W x 1100H	1ヶ所	
窓図									AG-2 1800W x 1000H	2ヶ所
使用箇所	オープンクローブ(3)		アルミガラリ			カラーアルミ			AG-5 1100W x 2200H	1ヶ所
見込	100					空間ダクト,**用アングル,水切,その他附属金物一式			AG-6 1100W x 1400H	1ヶ所
型材料	アルミハメ殺しマド 排煙マド付(開放角度90°)									
仕上	下地調整の上 DP塗【新設】									
硝子	強化ガラス t=8 フロート t=8									
金物	全左									
備考	オペレーター付 FL+1200									

記号設計	AW 10	1ヶ所	AW 11	1ヶ所	AW 12	1ヶ所	AW 13	3ヶ所	AW 14	1ヶ所	AW 15	1ヶ所	AG	AG-5 600W x 600H	1ヶ所	AG-6 600W x 600H	1ヶ所
窓図																	
使用箇所	パブリック***		***		サポートオフィス		倉庫1-1-(2)		講師控室・管理人室		倉庫1-1-(2)		アルミガラリ(防水)				
見込	80		70		70		70		70		70		カラーアルミ				
型材料	アルミ,ハメ殺しマド		アルミハメ殺しマド		アルミ引違イマド,片開きドア,FIX		アルミ引違イマド		アルミ引違イマド		アルミハメ殺しマド		アルミガラリ				
仕上	カラーアルミ 下地調整の上DP塗装【新設】		全左		全左		全左		全左		全左		空間ダクト,**用アングル,水切,その他附属金物一式				
硝子	フロート t=6 ガラスブロック,SUS製枠		フロート t=6		フロート t=6		フロート t=6		全左		全左						
金物	附属金物一式		全左		全左		全左		全左		全左						
備考																	

凡例	: 【新設】 建具を示す。	: 既存建具【既存のまま】を示す。	: 【撤去】 建具を示す。	: 既存建具【塗替】を示す。	: 【撤去】 【新設】 建具を示す。(カバー工法)	 <small>一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号</small>	工事名 沖縄科学技術大学院大学サイドハウス改修工事 図面名 建具表(5) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園	72 A-72
----	---------------	-------------------	---------------	----------------	---------------------------	---	--	------------

記号設計	AW16 1ヶ所	AW16A 2ヶ所	AW18 1ヶ所	AW20 1ヶ所	AW21 1ヶ所	AW22 4ヶ所
図面						
使用箇所	1階ELVホール	1階2階3階ELVホール	廊下1-(2)	セミナー室	倉庫1-(3)	B棟2階3階 廊下
見込	100	100	100	100	70	70
型式材料	アルミハメ殺シマド	アルミハメ殺シマド	アルミハメ殺シマド、片引きドア、***マド(***)	アルミハメ殺シマド	アルミ排煙マド(開放角度90°)	アルミ引違イマド FIX
仕上	下地調整の上DP塗装【新設】	下地調整の上DP塗装【新設】	全左	全左	全左	全左
硝子	強化ガラス t=8 フロート t=8	強化ガラス t=8 フロート t=8	フロート t=8	フロート t=8	フロート t=6	全左
金物	附属金物一式	附属金物一式	全左	附属金物一式	全左	全左
備考	特定防火設備	特定防火設備	乙防 オペレーター機械付 FL+1200	オペレーター**付 FL+1200		
記号設計	AW23 6ヶ所	AW24 4ヶ所	AW25 AW25A 4・2ヶ所	AW26 3ヶ所	AW27 6ヶ所	
図面						
使用箇所	B棟2階3階 廊下	C棟2階3階 男子便所	C棟2階3階 女子便所	ラウンジ	2階ラウンジ 3階ちゅうらホール	
見込	70	70	70	70	70	
型式材料	アルミ引違イマド FIX	アルミ片開式マド	アルミ引違イマド	アルミ引違窓、排煙窓(開放角度90°)	アルミ片引きマド FIX	
仕上	下地調整の上DP塗装【新設】	全左	全左	全左	カラーアルミ	
硝子	全左	全左	全左	全左	フロート t=8	
金物	全左	全左	全左	全左	附属金物一式	
備考				オペレーター FL+1200		
記号設計	1 AW			1ヶ所	4 AW 2ヶ所	1 AD 1ヶ所
図面						
使用箇所	キッズルーム			クラブルーム、スタディールーム	スタディールーム	
見込	100			100	70	
型式材料	アルミ製 片開き框戸付両袖 F I X 窓			アルミ製 片開き框戸付 F I X 窓	アルミ製 袖 F I X 窓付片開き框戸	
仕上	ステンカラー色			ステンカラー色	ステンカラー色	
硝子	強化 t=10			強化 t=10	P t=6	
金物	付属金物一式、ドアチェック、戸当、水切 レバーハンドル錠、アルミ顔縁			付属金物一式、ドアチェック、戸当、水切 レバーハンドル錠、アルミ顔縁	付属金物一式、ドアチェック、戸当、SUS靴すり	
備考	上部スチールブラインドボックスW250*H400 電気錠引き込み有り(別途工事)			上部スチールブラインドボックスW250*H400	空錠、アルミ顔縁	
凡例	: 【新設】 建具を示す。 : 既存建具【既存のまま】を示す。 : 既存建具【塗替】を示す。		: 【撤去】 建具を示す。 : 【撤去】 【新設】 建具を示す。(カバー工法)			
					工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 建具表(6) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学園	
					73 A-73	

記号設計	4 AD	5 AD	1 GD	1 SS	AW 6
1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
図					
使用箇所	スタディールーム	クラスタールーム	ブレイルーム	ブレイルーム	A棟 廊下1-(1)
見込	100	100	630	—	100
型式	木製 片開き戸	アルミ製 片開き戸	両袖 F I X ガラス扉	防煙スチールシャッター	両袖 F I X ガラス扉
仕上	メラビエ突板 クリア塗り	着色陽極酸化塗装複合皮膜	SUS製	SUS製	SUS製
硝子	Pt = 5	—	強化 t = 10	—	強化 t = 10
金物	ドアチェック (ドア埋込: コンシールドドアクローザー)	付属金物一式、ドアチェック、戸当、SUS靴すり、アルミ顔縁	ガラス扉枠: ステンレス 付属金物一式、フロアヒンジ	煙感運動式、手動式ハンドル付	煙感運動式、手動式ハンドル付
備考	レバーハンドル錠	レバーハンドル錠	ドアハンドル: ユニオン / T 6 1 0 ステンレス H L 同等 電気錠引き込み有り (別途工事)	レール: ステンレス製、L G S 壁内納まり ボックス天井内納まり	—

記号設計					
図					
使用箇所					
見込					
型式					
仕上					
硝子					
金物					
備考					

記号設計	TB 001	TB 002	TB 003	TB 004	TB 005	TB 006
1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	1ヶ所
図						
使用箇所	トイレブース					
見込	高圧メラミン化粧板 (木目柄) 厚40					
型式	笠木 (ステンレス) 巾木 (ステンレス)					
仕上	中心吊りヒンジ、表示付ラッチ、戸当り帽子掛					
硝子	エッジ材 (アルミアルマイト仕上)					
金物	パネル芯材 (ペーパーコア) ドア上下 (メラミン板貼り)					
備考	パネル下端 (防水塗装仕上げ)					

凡例	: 【新設】建具を示す。 : 既存建具【既存のまま】を示す。 : 【撤去】建具を示す。	: 既存建具【塗替】を示す。 : 【撤去】【新設】建具を示す。(カバー工法)		工務名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 建具表(7) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100 沖縄科学技術大学院大学学園	74 A-74
----	---	---	--	--	------------

記号設計	①SSD 1か所	②SSD 1か所	①SK 3か所		
姿					
使用箇所	B棟 廊下1-(1)	B棟 オープンワークショップ	E L Vホール		
見込	100	100	125		
型式材料	ステンレス製3連片引き自動ドア	ステンレス製3連片引き自動ドア	防煙スクリーン		
仕上	ステンレスHL	ステンレスHL	耐火クロス		
硝子	強化ガラス t = 10	強化ガラス t = 10			
金物					
備考	タッチ式スイッチ、補助光源スイッチ、スライドドアエンジン、ステンレスガイドレール 付属金物一式	タッチ式スイッチ、補助光源スイッチ、スライドドアエンジン、ステンレスガイドレール 付属金物一式	煙感知器連動、ステンレスガイドレール 付属金物一式		
記号設計	①WD 1か所	②WD 1か所	③WD 2か所	④WD 2か所	⑤WD 1か所
姿					
使用箇所	A棟 廊下1-(4)	C棟 廊下1-(2)	A棟 廊下2-(1)、3-(1)	B棟 廊下3-(1)	B棟 廊下3-(1)
見込	115	115	115	115	115
型式材料	木製フラッシュ親子開き戸	木製フラッシュ親子開き戸	木製フラッシュ親子開き戸	木製フラッシュ親子開き戸	木製フラッシュ両開き戸
仕上	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビニー DP塗装	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビニー DP塗装	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビニー DP塗装	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビニー DP塗装	扉：シナ合板 DP塗装【塗替】 枠：メラビニー DP塗装
硝子	フロート t = 8	フロート t = 8	フロート t = 8	フロート t = 8	フロート t = 8
金物	レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクロ - ザー	レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクロ - ザー	レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクロ - ザー	レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクロ - ザー	レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、ドザクロ - ザー
備考	くつずりA	くつずりA	くつずりA	くつずりA	くつずりA
記号設計					
姿					
使用箇所					
見込					
型式材料					
仕上					
硝子					
金物					
備考					

**共通事項**

1. 詳細番号の記号は次のとおりとする。  
 (1) - - - は、建築工事標準詳細図(平成17年版)の分類番号を示す。  
 (2) SDK-, SFK-, SWK-, AWK- は、矯正施設用指定部品図集(平成17年版)の分類記号を示す。  
 (3) 材種・寸法・取合いなどでそのまま適用できないものはこれを準用する。  
 2. 鋼製建具、鋼製軽量建具、鋼製ガラリ及び重量シャッターの特記以外の仕上げはSOPとする。  
 3. 建具見込み寸法は、特記以外は鋼製建具40、鋼製軽量建具35以上、ふすま19.5、障子30とする。  
 4. 鋼製軽量の召合わせ、縦小口包み板は、特記以外はステンレス鋼板とする。  
 5. 建具金物は公共建築工事標準仕様書の表16.7.1-表16.7.4による。  
 ただし、既製建具は製造所指定の付属品でよい。  
 6. 外部アルミニウム製建具本体は、延焼ラインにかかわらず全て告示平12建告第1360号による防火設備仕様とする(建具本体に適合する認定防火戸の認証シールを張り付ける。)-  
 7. 建具の凡例

- 防：告示 平12建告第1360号による防火設備
- 特防：告示 平12建告第1369号による特定防火設備
- 指定：矯正施設用指定部品図集に定める建具(鉄格子を含む)で品質検査を要するもの
- 標準：公共建築工事標準仕様書に定める標準型建具

**表示略号**

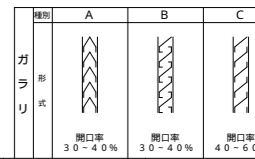
- (建具)
- WD：木製扉
  - SD：鋼製扉
  - SSD：ステンレス製扉
  - AD：アルミニウム製扉
  - LD：鋼製軽量扉
  - WW：木製窓
  - SW：鋼製窓
  - AW：アルミニウム製窓
  - SS：鋼製重量シャッター
  - SSS：ステンレス製シャッター
  - LS：鋼製軽量シャッター
  - OD：オーバーヘッドドア
  - WG：木製ガラリ
  - SG：鋼製ガラリ
  - AG：アルミニウム製ガラリ
  - SSG：ステンレス製ガラリ
  - SL：鉄格子
  - AL：アルミニウム製ルーバー
  - SP：鋼製パーテーション
  - AP：アルミニウム製パーテーション
  - H：ふすま
  - P：障子
- (建具金物)
- DCF：ドアクローザー
  - PH：ヒボットヒンジ
  - HC：ヒンジクローザー
  - FH：フロアヒンジ
  - AS：アームストッパー
  - AH：オートヒンジ
- (ガラス)
- FL：フロート板ガラス
  - FLSG：フロート板ガラス(すりガラス)
  - F：型板ガラス
  - NF：網入り型板ガラス
  - WF：線入り型板ガラス
  - NP：網入りみかげ板ガラス
  - WP：線入りみかげ板ガラス
  - L：合わせガラス
  - T：強化ガラス
  - HAP：熱線吸収フロート板ガラス
  - IG：複層ガラス
  - HR：熱線反射ガラス
  - DS：倍強度ガラス
  - PC：ポリカーボネート樹脂板
  - AC：アクリル樹脂板
- (仕上げ)
- SOP：合成樹脂調合ペイント塗り
  - DP：耐水性塗料塗り
  - FE：フタル酸樹脂エナメル塗り
  - F-BE：フッ素樹脂塗料(焼付型)
  - F-UH：フッ素樹脂塗料(常温型)(長期耐候性塗料)
  - CL：クリヤラッカー塗り
  - UC：ウレタン樹脂ニス塗り
  - OS：オイルステイン塗り
  - LE：ラッカーエナメル塗り
  - OF：オイル塗りワックス拭き
  - HDZ55：鉄の溶融亜鉛めっきA種(550g/m以上)
  - HDZ45：鉄の溶融亜鉛めっきB種(450g/m以上)
  - HDZ35：鉄の溶融亜鉛めっきC種(350g/m以上)
  - A-1種：無着色陽極酸化皮膜
  - A-2種：着色陽極酸化皮膜
  - B-1種：無着色陽極酸化塗装複合皮膜
  - B-2種：着色陽極酸化塗装複合皮膜
  - C-1種：無着色陽極酸化皮膜
  - C-2種：着色陽極酸化皮膜
  - D種：化成皮膜の上に塗装

- (ガラス)
- FL：フロート板ガラス
  - FLSG：フロート板ガラス(すりガラス)
  - F：型板ガラス
  - NF：網入り型板ガラス
  - WF：線入り型板ガラス
  - NP：網入りみかげ板ガラス
  - WP：線入りみかげ板ガラス
  - L：合わせガラス
  - T：強化ガラス
  - HAP：熱線吸収フロート板ガラス
  - IG：複層ガラス
  - HR：熱線反射ガラス
  - DS：倍強度ガラス
  - PC：ポリカーボネート樹脂板
  - AC：アクリル樹脂板

- (仕上げ)
- SOP：合成樹脂調合ペイント塗り
  - DP：耐水性塗料塗り
  - FE：フタル酸樹脂エナメル塗り
  - F-BE：フッ素樹脂塗料(焼付型)
  - F-UH：フッ素樹脂塗料(常温型)(長期耐候性塗料)
  - CL：クリヤラッカー塗り
  - UC：ウレタン樹脂ニス塗り
  - OS：オイルステイン塗り
  - LE：ラッカーエナメル塗り
  - OF：オイル塗りワックス拭き
  - HDZ55：鉄の溶融亜鉛めっきA種(550g/m以上)
  - HDZ45：鉄の溶融亜鉛めっきB種(450g/m以上)
  - HDZ35：鉄の溶融亜鉛めっきC種(350g/m以上)
  - A-1種：無着色陽極酸化皮膜
  - A-2種：着色陽極酸化皮膜
  - B-1種：無着色陽極酸化塗装複合皮膜
  - B-2種：着色陽極酸化塗装複合皮膜
  - C-1種：無着色陽極酸化皮膜
  - C-2種：着色陽極酸化皮膜
  - D種：化成皮膜の上に塗装

**建具開閉表示記号**

- ↔：両引き
- ←：引違い
- ：片引き
- ↗：開き
- FIX：はめごころし
- ⊠：回転
- ⊞：内倒し
- ☒：外倒し
- ☒：つきだし
- ↓：上げ下げ
- ↓B：バランス



種類	A	B	C	D	E
形状	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0
詳細番号	4-31-1	4-31-4	4-41-1,2,3・4-42-1,2,3	4-43-1,2,3・4-44-1,2,3	4-45-1,2,3,4
種類	F	G	H		
形状	ステンレス SUS304 6x12		ステンレス SUS304 HLt=2.0		
詳細番号	4-31-2	4-31-3			

凡例	⊕：【新設】建具を示す。	⊙：既存建具【既存のまま】を示す。	⊖：【撤去】建具を示す。		
	⊕：既存建具【塗替】を示す。	⊖：【撤去】【新設】建具を示す。(カバー工法)			

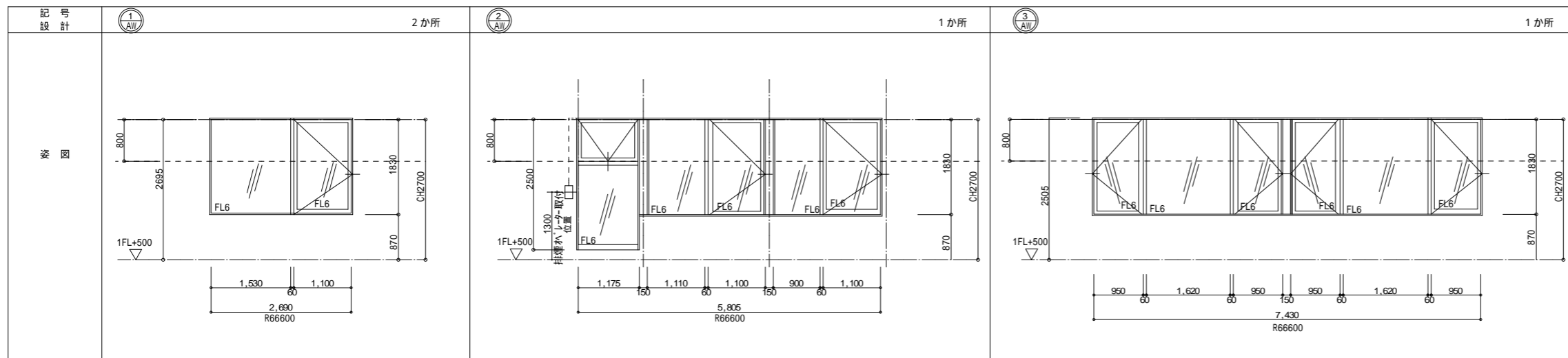
工務名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 建具表(8) 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100

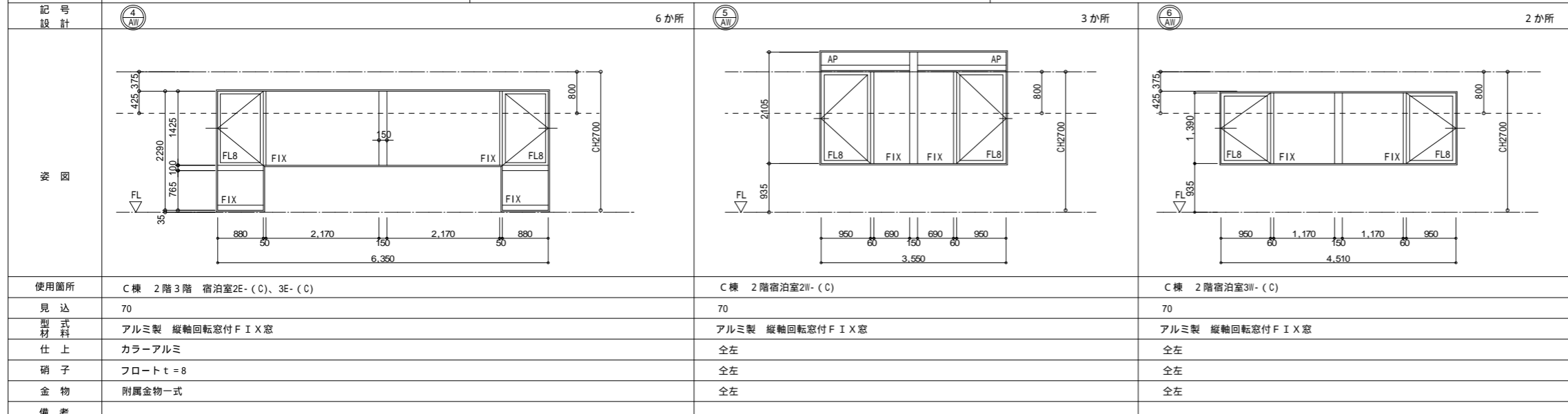
75

沖繩科学技術大学院大学学園

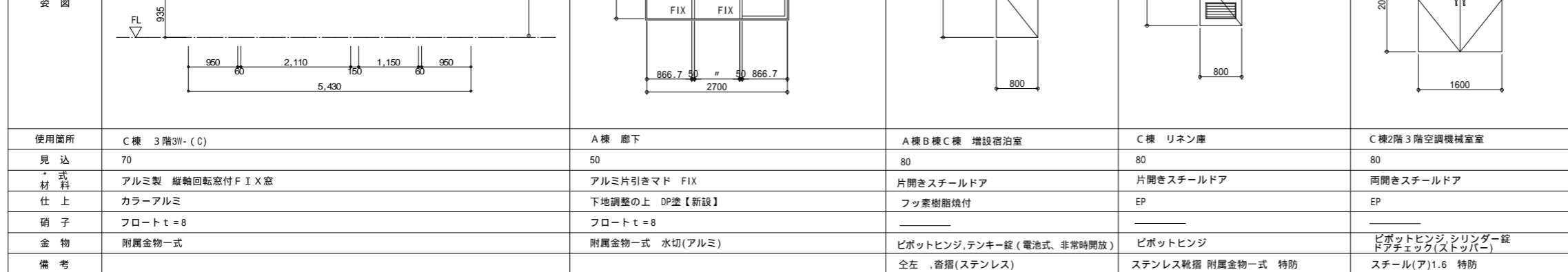
A-75



使用箇所	A棟宿泊室1-(B)	A棟宿泊室1-(B2)	A棟宿泊室1-(HC)
見込	100	100	100
型式	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓	アルミ製 縦軸回転窓付排煙窓	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓
仕上	ステンカラー色	ステンカラー色	ステンカラー色
硝子	FL t=6	FL t=6	FL t=6
金物	付属金物一式、ドアチェック、戸当、水切 レバーハンドル錠、アルミ額縁	付属金物一式、ドアチェック、戸当、水切 レバーハンドル錠、アルミ額縁	付属金物一式、ドアチェック、戸当、水切 レバーハンドル錠、アルミ額縁
備考	上部スチールブラインドボックスW250*H400	上部スチールブラインドボックスW250*H400	上部スチールブラインドボックスW250*H400



使用箇所	C棟 2階3階 宿泊室2E-(C)、3E-(C)	C棟 2階宿泊室2W-(C)	C棟 2階宿泊室3W-(C)
見込	70	70	70
型式	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓
仕上	カラーアルミ	全左	全左
硝子	フロート t=8	全左	全左
金物	付属金物一式	全左	全左
備考			



使用箇所	C棟 3階3W-(C)	A棟 廊下	A棟B棟C棟 増設宿泊室	C棟 リネン庫	C棟2階3階空調機械室
見込	70	50	80	80	80
型式	アルミ製 縦軸回転窓付 F I X窓	アルミ片引きマド FIX	片開きスチールドア	片開きスチールドア	両開きスチールドア
仕上	カラーアルミ	下地調整の上 DP塗【新設】	フッ素樹脂焼付	EP	EP
硝子	フロート t=8	フロート t=8			
金物	付属金物一式	付属金物一式 水切(アルミ)	ピボットヒンジ、テンキー錠(電池式、非常時開放)	ピボットヒンジ	ピボットヒンジ シリンダー錠 ドアチェック(ストッパー)
備考			全左、番指(ステンレス)	ステンレス靴指 付属金物一式 特防	スチール(ア)1.6 特防

**共通事項**

- 詳細番号の記号は次のとおりとする。  
 (1) - - - は、建築工事標準詳細図(平成17年版)の分類番号を示す。  
 (2) S D K - , S F K - , S W K - , A W K - は、矯正施設用指定部品図集(平成17年版)の分類記号を示す。  
 (3) 材種・寸法・取合いなどでそのまま適用できないものはこれを準用する。  
 (4) 鋼製建具、鋼製軽量建具、鋼製ガラリ及び重量シャッターの特記以外の仕上げはS O Pとする。  
 (5) 建具見込み寸法は、特記以外は鋼製建具40、鋼製軽量建具35以上、ふすま19.5、障子30とする。  
 (6) 鋼製建具の召合せ、縦小口包み板は、特記以外はステンレス鋼板とする。  
 (7) 建具金物は公共建築工事標準仕様書の表16.7.1~表16.7.4による。  
 ただし、既製建具は製造所指定の付属品でよい。  
 (8) 外部アルミ製建具本体は、番指ラインにかかわらず全て告示平12建造第1360号による防火設備仕様とする(建具本体に適合する認定防火戸の認証シールを張り付ける。)  
 (9) 建具の凡例

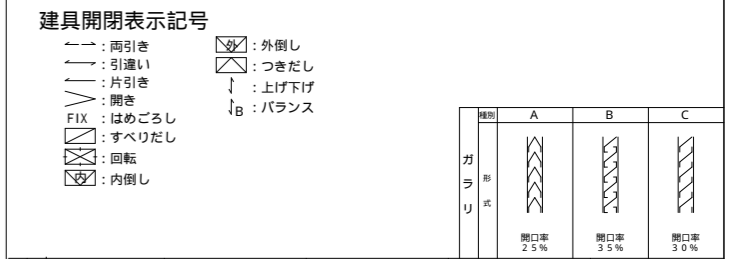
防：告示平12建造第1360号による防火設備  
 特防：告示平12建造第1369号による特定防火設備  
 指定：矯正施設用指定部品図集に定める建具(鉄格子を含む)で品質検査を要するもの  
 標準：公共建築工事標準仕様書に定める標準型建具

**表示略号**

(建具)  
 W D : 木製扉  
 S D : 鋼製扉  
 S D : ステンレス製扉  
 A D : アルミニウム製扉  
 L D : 鋼製軽量扉  
 W W : 木製窓  
 S W : 鋼製窓  
 A W : アルミニウム製窓  
 S S : 鋼製重量シャッター  
 S S S : ステンレス製シャッター  
 L S : 鋼製軽量シャッター  
 O D : オーバーヘッドア  
 W G : 木製ガラリ  
 S G : 鋼製ガラリ  
 A G : アルミニウム製ガラリ  
 S S G : ステンレス製ガラリ  
 S L : 鉄格子  
 A L : アルミニウム製ルーバー  
 S P : 鋼製パーテーション  
 A P : アルミニウム製パーテーション  
 H : ふすま  
 P : 障子

(建具金物)  
 D C F D : アクローザー  
 P H : ビボットヒンジ  
 H C : ヒンジクローザー  
 F H : フロアヒンジ  
 A S : アームストッパー  
 A H : オートヒンジ  
 F L : フロートガラス  
 F L S G : フロートガラス(すりガラス)  
 F : 型板ガラス  
 N F : 網入り型板ガラス  
 W F : 網入り複層ガラス  
 N P : 網入り片引き板ガラス  
 W P : 網入り合わせ板ガラス  
 L : 合わせガラス  
 T : 強化ガラス  
 H A P : 熱線吸収フロートガラス  
 I G : 複層ガラス  
 H R : 熱線反射ガラス  
 D S : 伝導ガラス  
 P C : ポリカーボネート樹脂板  
 A C : アクリル樹脂板

(仕上げ)  
 S O P : 合成樹脂調合ペイント塗り  
 D P : 耐水性塗料塗り  
 F E : フタル酸樹脂エナメル塗り  
 F-BE : フッ素樹脂塗料(焼付型)  
 F U H : フッ素樹脂塗料(常温型)(長期耐候性塗料)  
 C L : クリヤラッカー塗り  
 U C : ウレタン樹脂ニス塗り  
 O S : オイルステイン塗り  
 L E : ラッカーエナメル塗り  
 O F : オイル塗りワックス拭き  
 H D Z 55 : 鉄の溶融亜鉛めっきA種(550g/m以上)  
 H D Z 45 : 鉄の溶融亜鉛めっきB種(450g/m以上)  
 H D Z 35 : 鉄の溶融亜鉛めっきC種(350g/m以上)  
 A-1種 : 無着色陽極酸化皮膜  
 A-2種 : 着色陽極酸化皮膜  
 B-1種 : 無着色陽極酸化塗装複合皮膜  
 B-2種 : 着色陽極酸化塗装複合皮膜  
 C-1種 : 無着色陽極酸化皮膜  
 C-2種 : 着色陽極酸化皮膜  
 D種 : 化成皮膜の上に塗装



種別	A	B	C	D	E
形状	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0
詳細番号	(内部用) 4-31-1	(内部用) 4-31-4	(外部用) 4-41-1,2,3・4-42-1,2,3	(外部簡易気密) 4-43-1,2,3・4-44-1,2,3	(内部簡易気密) 4-45-1,2,3,4
種別	F	G	H		
形状	ステンレス SUS304 6x12		ステンレス SUS304 HLt=2.0		
詳細番号	(内部用) 4-31-2	(内部用) 4-31-3			

記号設計	④ SD 2か所	⑤ SD 2か所	⑥ SD 1か所	⑪ SD 4か所
図				
使用箇所	C棟 2階3階 廊下	A棟 宿泊室1- (HC)	A棟 1階 分電盤室	PS
見込	100	80	80	60
型式	SUS製嵌設し窓付片開き扉戸	片開きスチールドア	片開きスチールドア	全左
仕上	HL	フッ素樹脂焼付	EP	OP
硝子	70ト: 5			
金物	レバーハンドル錠、ピボットヒンジ、フランス落し、ドアクローザー、戸当り	三方棒、引棒 (SUS製)、非常錠錠表示付打掛錠 (操作ラベル付)	ピボットヒンジ	全左
備考	付属金物一式	シリンダー錠、引戸クローザーシステム、付属金物一式	ステンレス靴摺 付属金物一式 特防	全左
記号設計				

**1. 共通事項**

- 詳細番号の記号は次のとおりとする。  
 (1) - - - は、建築工事標準詳細図 (平成17年版) の分類番号を示す。  
 (2) S D K - , S F K - , S W K - , A W K - は、矯正施設用指定部品図集 (平成17年版) の分類記号を示す。  
 (3) 材種・寸法・取合いなどでそのまま適用できないものはこれを準用する。  
 (4) 鋼製建具、鋼製軽量建具、鋼製ガラリ及び重量シャッターの特記以外の仕上げはS O Pとする。  
 (5) 建具見込み寸法は、特記以外は鋼製建具40、鋼製軽量建具35以上、ふすま19.5、障子30とする。  
 (6) 鋼製軽量戸の召合わせ、縦小口包み板は、特記以外はステンレス鋼板とする。  
 (7) 建具金物は公共建築工事標準仕様書の表16.7.1-表16.7.4による。  
 ただし、既製建具は製造所指定の付属品でよい。  
 (8) 外部アルミ製建具本体は、葎機ラインにかかわらず全て告示平12建造第1360号による防火設備仕様とする (建具本体に適合する認定防火戸の認証シールを張り付ける。)  
 (9) 建具の凡例

防: 告示平12建造第1360号による防火設備  
 特防: 告示平12建造第1369号による特定防火設備  
 指定: 矯正施設用指定部品図集に定める建具 (鉄格子を含む) で品質検査を要するもの  
 標準: 公共建築工事標準仕様書に定める標準型建具

**表示略号**

(建具)  
 WD: 木製扉  
 SD: 鋼製扉  
 SS: ステンレス製扉  
 AD: アルミニウム製扉  
 LD: 鋼製軽量扉  
 WW: 木製窓  
 SW: 鋼製窓  
 AW: アルミニウム製窓  
 SS: 鋼製重量シャッター  
 SSS: ステンレス製シャッター  
 LS: 鋼製軽量シャッター  
 OD: オーバーヘッドドア  
 WG: 木製ガラリ  
 SG: 鋼製ガラリ  
 AG: アルミニウム製ガラリ  
 SSG: ステンレス製ガラリ  
 SL: 鉄格子  
 AL: アルミニウム製ルーバー  
 SP: 鋼製パーテーション  
 AP: アルミニウム製パーテーション  
 H: ふすま  
 P: 障子

(建具金物)  
 DCFD: ドアクローザー  
 PH: ピボットヒンジ  
 HC: ヒンジクローザー  
 FH: フロアヒンジ  
 AS: アームストッパー  
 AH: オートヒンジ  
 (ガラス)  
 FL: フロート板ガラス  
 FLSG: フロート板ガラス (すりガラス)  
 F: 型板ガラス  
 NF: 網入り型板ガラス  
 WF: 線入り型板ガラス  
 NP: 網入りみかげ板ガラス  
 WP: 線入りみかげ板ガラス  
 L: 合わせガラス  
 T: 強化ガラス  
 HAP: 熱線吸収フロート板ガラス  
 IG: 複層ガラス  
 HR: 熱線反射ガラス  
 DS: 倍強ガラス  
 PC: ポリカーボネート樹脂板  
 AC: アクリル樹脂板

(仕上げ)  
 SOP: 合成樹脂調合ペイント塗り  
 DP: 耐熱性塗料塗り  
 FE: フタル酸樹脂エナメル塗り  
 F-BE: フッ素樹脂塗料 (焼付型)  
 FUH: フッ素樹脂塗料 (常温型) (長期耐熱性塗料)  
 CL: クリヤラッカー塗り  
 UC: ウレタン樹脂ニス塗り  
 OS: オイルステイン塗り  
 LE: ラッカーエナメル塗り  
 OF: オイル塗りワックス拭き  
 HDZ55: 鉄の溶融亜鉛めっきA種 (550g/m以上)  
 HDZ45: 鉄の溶融亜鉛めっきB種 (450g/m以上)  
 HDZ35: 鉄の溶融亜鉛めっきC種 (350g/m以上)  
 A-1種: 無着色陽極酸化皮膜  
 A-2種: 着色陽極酸化皮膜  
 B-1種: 無着色陽極酸化塗装複合皮膜  
 B-2種: 着色陽極酸化塗装複合皮膜  
 C-1種: 無着色陽極酸化皮膜  
 C-2種: 着色陽極酸化皮膜  
 D種: 化成皮膜の上に塗装

**建具開閉表示記号**

↔: 両引き  
 →: 引違い  
 ←: 片引き  
 ↗: 開き  
 FIX: はめこりし  
 ⊠: すべりだし  
 ⊞: 回転  
 ⊞: 内倒し

☑: 外倒し  
 ⊞: つきだし  
 ↓: 上げ下げ  
 ↓B: バランス

ガラリ式

種類	A	B	C
開口率	2.5%	3.5%	3.0%

種類	A	B	C	D	E
形状	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0	ステンレス SUS304 t=2.0
詳細番号	(内部用) 4-31-1	(内部用) 4-31-4	(外部用) 4-41-1,2,3・4-42-1,2,3	(外部簡易気密) 4-43-1,2,3・4-44-1,2,3	(内部簡易気密) 4-45-1,2,3,4
種類	F	G	H		
形状	ステンレス SUS304 6x12		SUS304 HLt=2.0		
詳細番号	(内部用) 4-31-2	(内部用) 4-31-3			

法チェック表							
宿泊室 (D) -1	部屋面積	4.43 × 65 × 1/2 × 2.3.14 (57.4)² × 7.772° / 360° = 64.4931/2 = 32.24655	AW-1	C棟 宿泊室2E-(C) C棟 宿泊室3E-(C)	部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-4
	必要採光面積	32.25/7 = 4.61			必要採光面積	17.44/7 = 2.491	
	採光係数	1			採光係数	1	
	採光計算	2.69 × 1.83 = 4.92... OK			採光計算	1.72 × 1.425 + 0.875 × 2.29 = 4.454... OK	
	必要換気面積	32.25/20 = 1.61			必要換気面積	17.44/20 = 0.872	
	換気計算	0.95 × 1.73 = 1.64... OK			換気計算	0.875 × 1.425 = 1.246... OK	
	必要開口面積 (排煙)	32.25/50 = 0.645			必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348	
開口計算	1.1 × 0.8 = 0.88... OK		開口計算	0.875 × 0.425 = 0.371... OK			
宿泊室1- (B2)	部屋面積	4.43 × 66.6 × 1/2 × 2.3.14 (59.2)² × 7.772° / 360° = 57.5518/2 = 28.775-2.13 × 1.6 = 25.367	AW-2	C棟 宿泊室2H-(C)	部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-5
	必要採光面積	25.36/7 = 3.62			必要採光面積	17.44/7 = 2.491	
	採光係数	1			採光係数	1	
	採光計算	2.225 × 1.83 = 4.071... OK			採光計算	1.64 × 1.8 = 2.952... OK	
	必要換気面積	25.36/20 = 1.26			必要換気面積	17.44/20 = 0.872	
	換気計算	0.95 × 1.73 = 1.64... OK			換気計算	0.95 × 1.8 = 1.71... OK	
	必要開口面積 (排煙)	25.36/50 = 0.507			必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348	
開口計算	1.1 × 0.8 = 0.88... OK		開口計算	0.95 × 0.8 = 0.76... OK			
宿泊室1- (B2A)	部屋面積	2.53 × 66.6 × 1/2 × 2.3.14 (59.2)² × 7.772° / 360° = 64.8778/2 = 32.4389	AW-2	C棟 宿泊室3H-(C)	部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-6
	必要採光面積	17.7/7 = 2.528			必要採光面積	17.44/7 = 2.491	
	採光係数	1			採光係数	1	
	採光計算	2.38 × 1.83 = 4.355... OK			採光計算	2.18 × 1.39 = 3.030... OK	
	必要換気面積	17.7/20 = 0.885			必要換気面積	17.44/20 = 0.872	
	換気計算	0.95 × 1.73 = 1.64... OK			換気計算	0.95 × 1.39 = 1.320... OK	
	必要開口面積 (排煙)	17.7/50 = 0.354			必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348	
開口計算	1.1 × 0.8 = 0.88... OK		開口計算	0.95 × 0.425 = 0.403... OK			
宿泊室1- (HC)	部屋面積	75.869 × 12.48/2 = 44.1745	AW-3	C棟 宿泊室3H-(C)	部屋面積	3.875 × 4.5 = 17.44	AW-7
	必要採光面積	44.1745/7 = 6.310			必要採光面積	17.44/7 = 2.491	
	採光係数	1			採光係数	1	
	採光計算	3.63 × 1.83 = 6.64... OK			採光計算	2.64 × 1.39 = 3.669... OK	
	必要換気面積	44.1745/20 = 2.2087			必要換気面積	17.44/20 = 0.872	
	換気計算	0.95 × 1.83 × 2 = 3.477... OK			換気計算	0.95 × 1.39 = 1.320... OK	
	必要開口面積 (排煙)	44.1745/50 = 0.883			必要開口面積 (排煙)	17.44/50 = 0.348	
開口計算	0.95 × 0.8 × 2 = 1.52... OK		開口計算	0.95 × 0.425 = 0.403... OK			

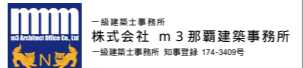
凡例	⊙: 【新設】建具を示す。	⊙: 既存建具【既存のまま】を示す。	□: 【撤去】建具を示す。	廊下1-(5) 36/50 = 0.72 1.175 × 0.655 = 0.769... OK AW-2
	⊙: 既存建具【塗替】を示す。	□: 【撤去】【新設】建具を示す。(カバー工法)		廊下2-(3)、3-(3) 82.78/50 = 1.65 1.65 × 0.8 = 1.32 AW-25 1.215 × 0.8 = 0.968 AW-25A = 2.28... OK

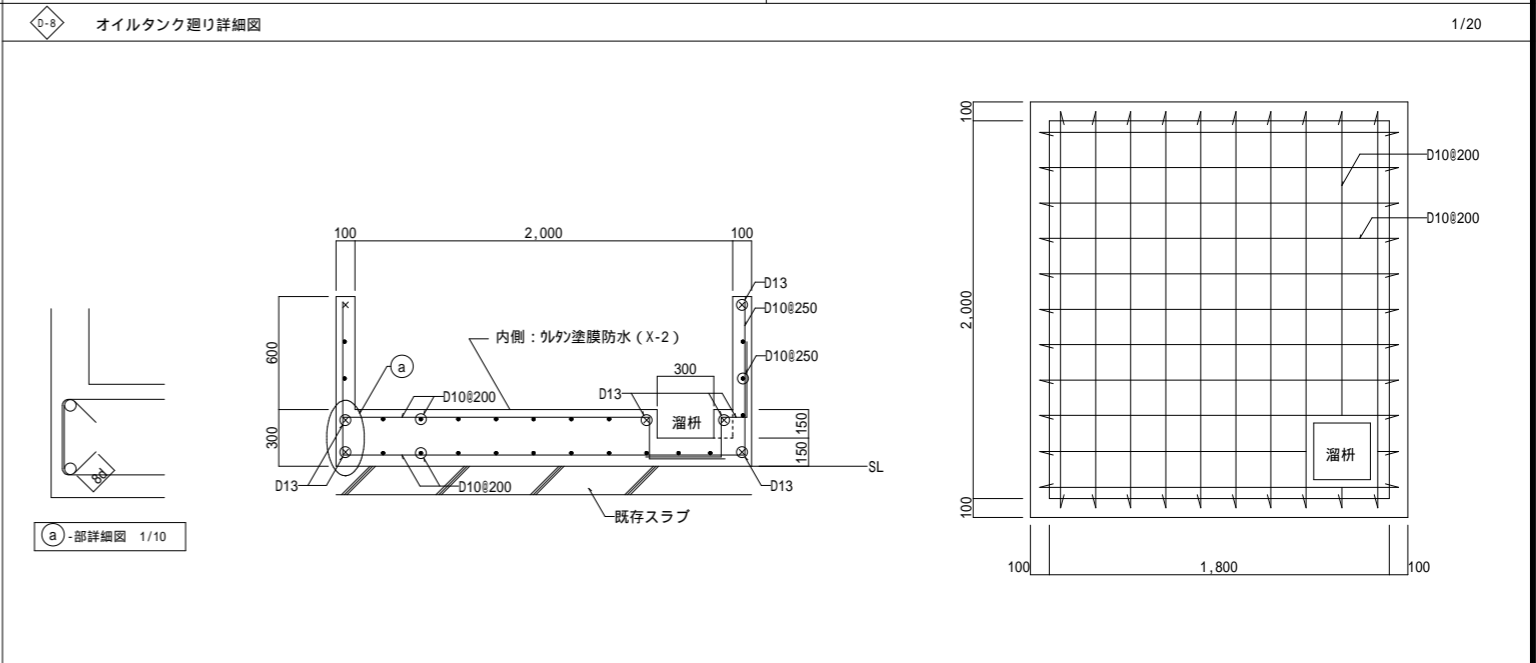
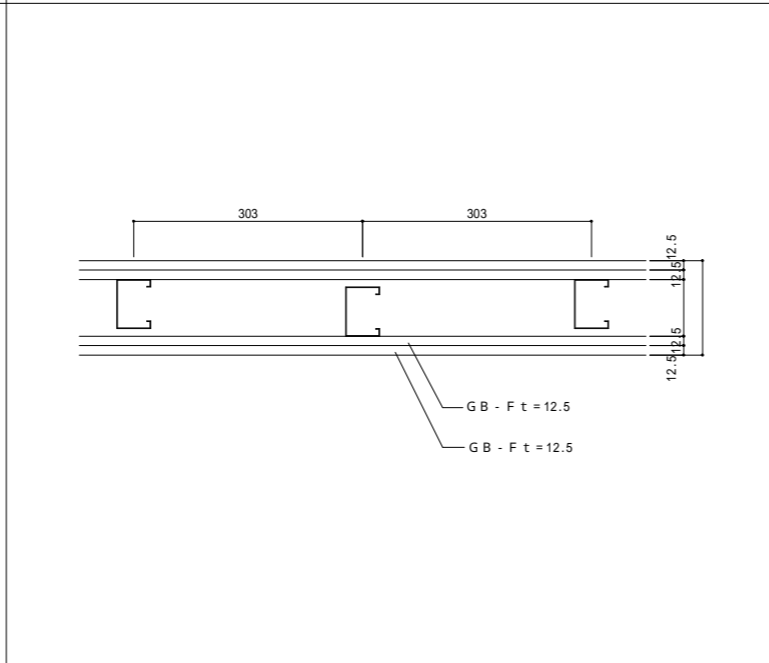
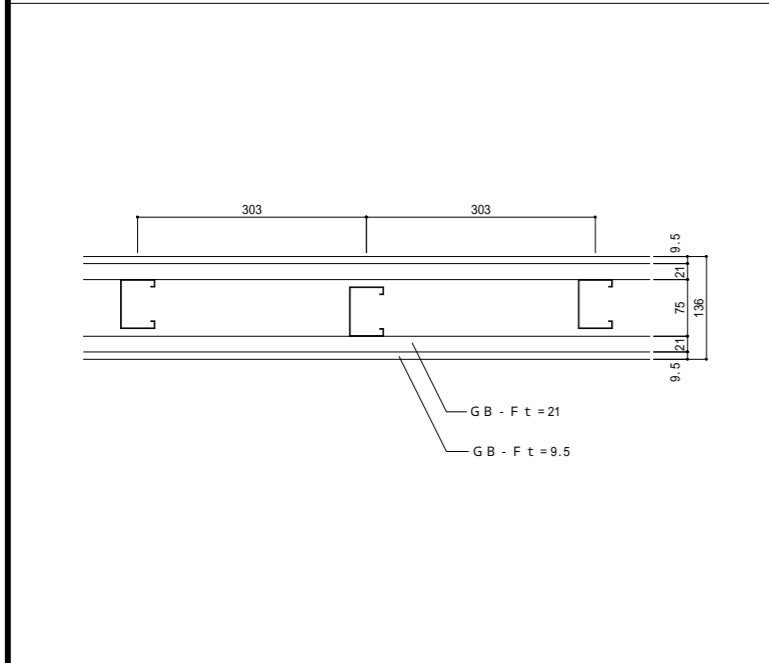
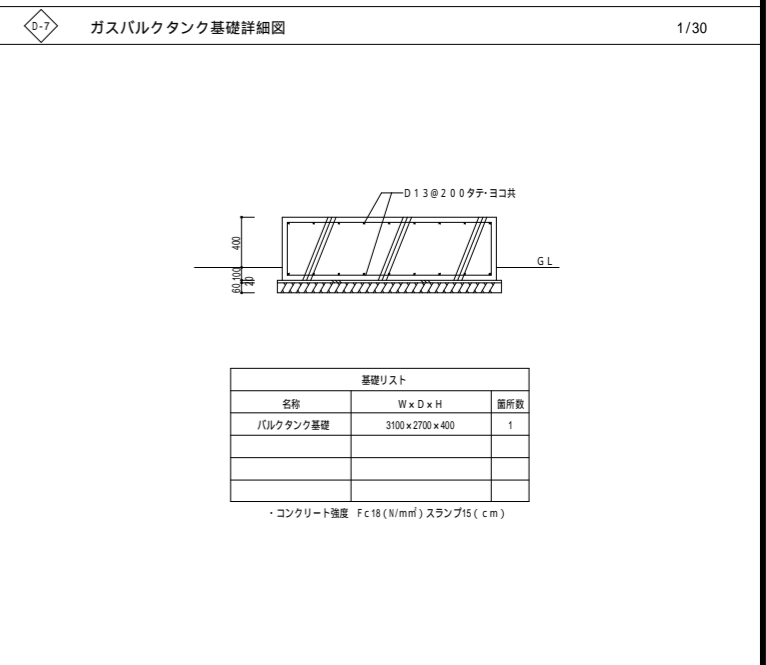
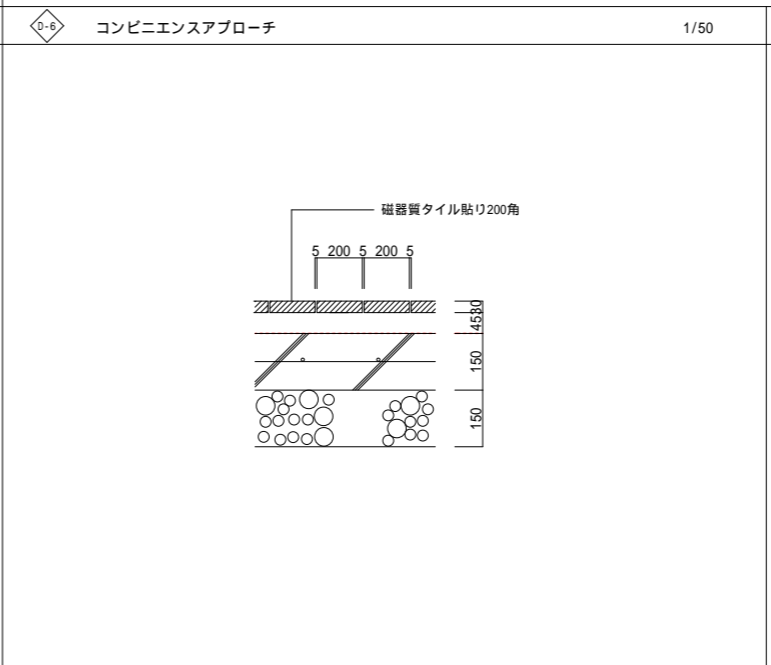
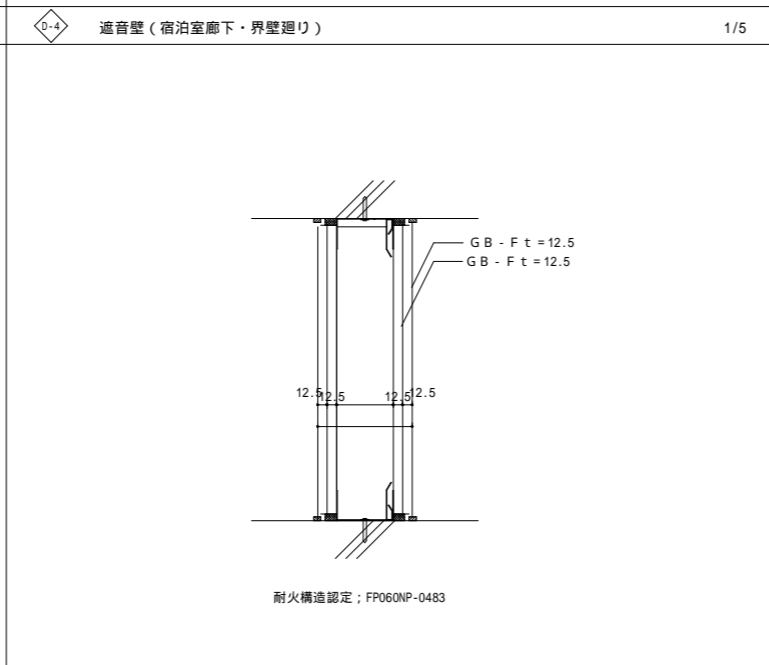
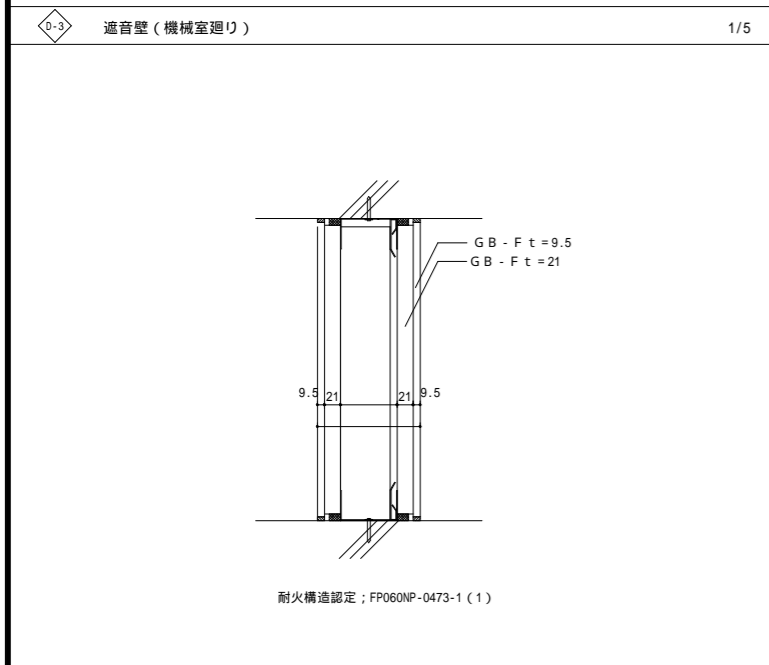
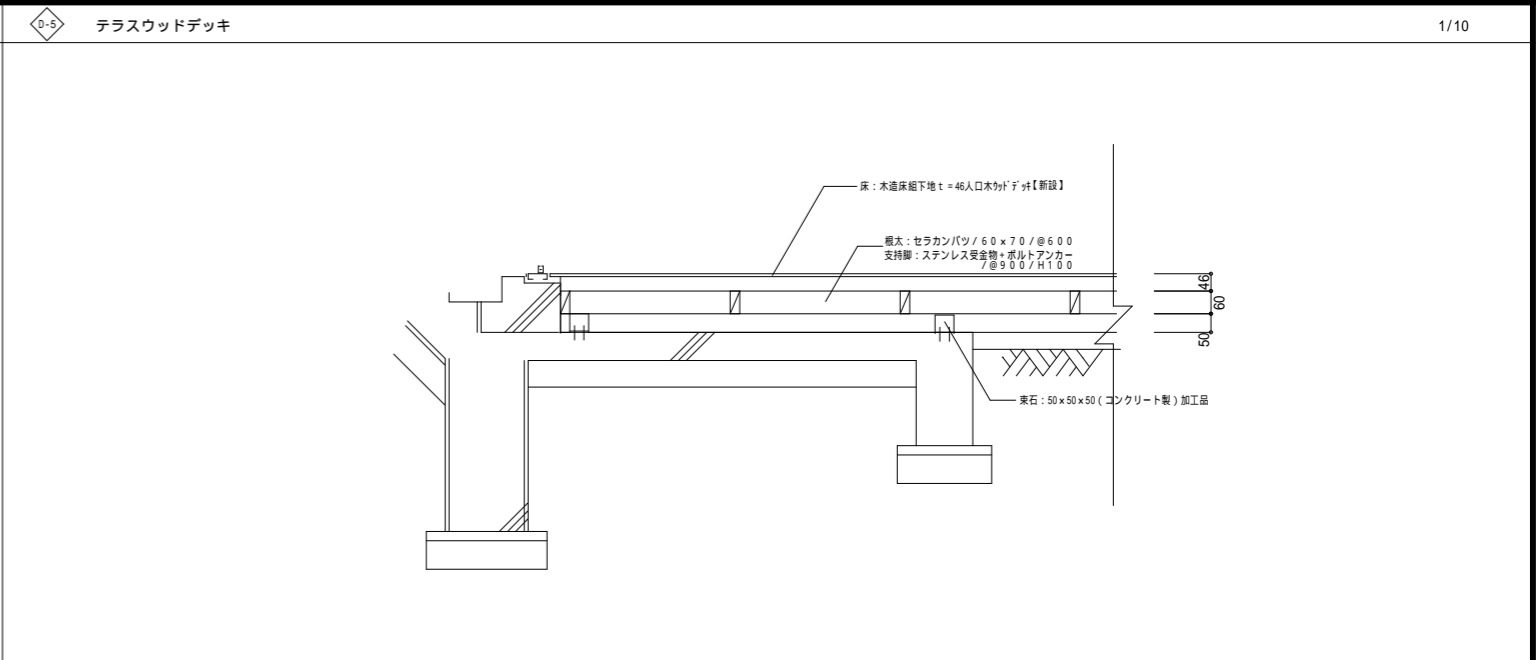
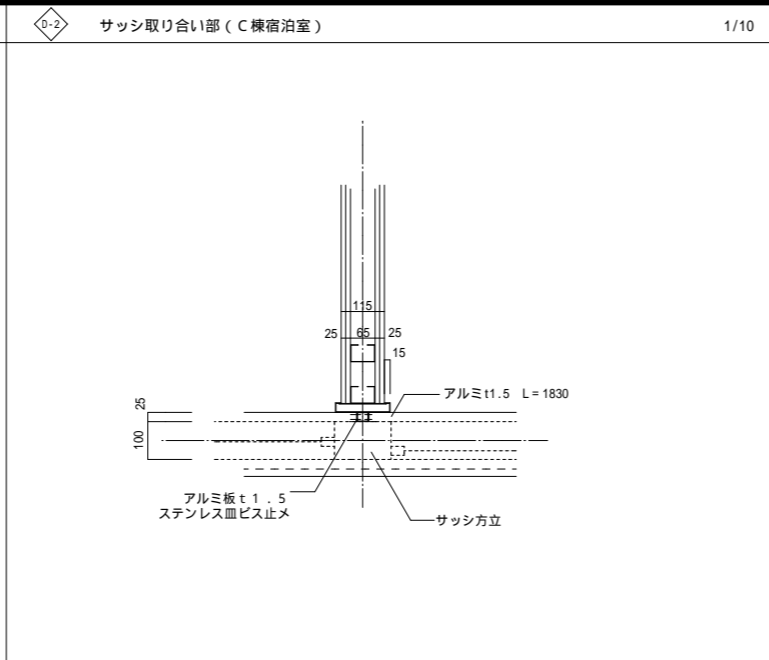
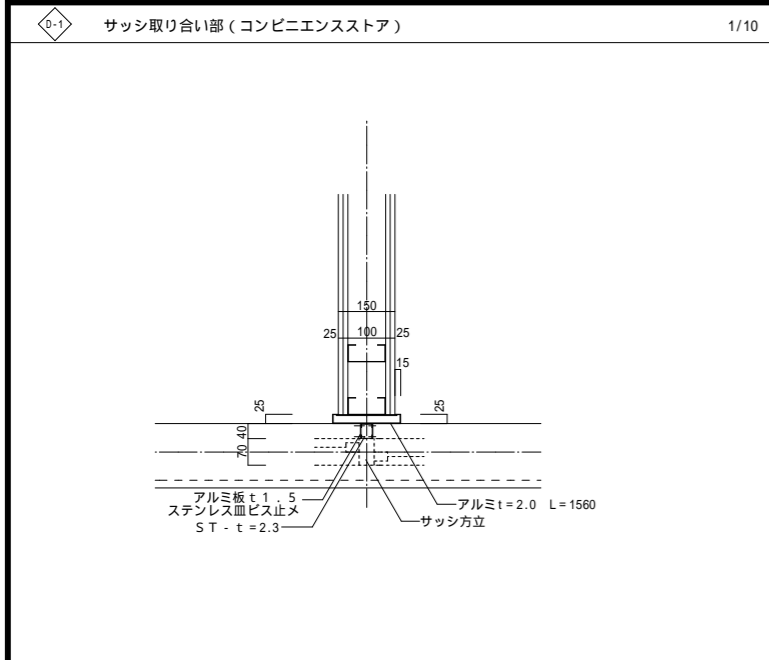
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 建具表 (10) , 法チェック表 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100

沖縄科学技術大学院大学学園

77  
A-77





凡例	撤去範囲 (下地共)	【新設】建具を示す。	【撤去】建具を示す。
	撤去範囲 (躯体)	既存建具【塗替】を示す。	
		既存建具【既存のまま】を示す。	
		【撤去】【新設】建具を示す。	

一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

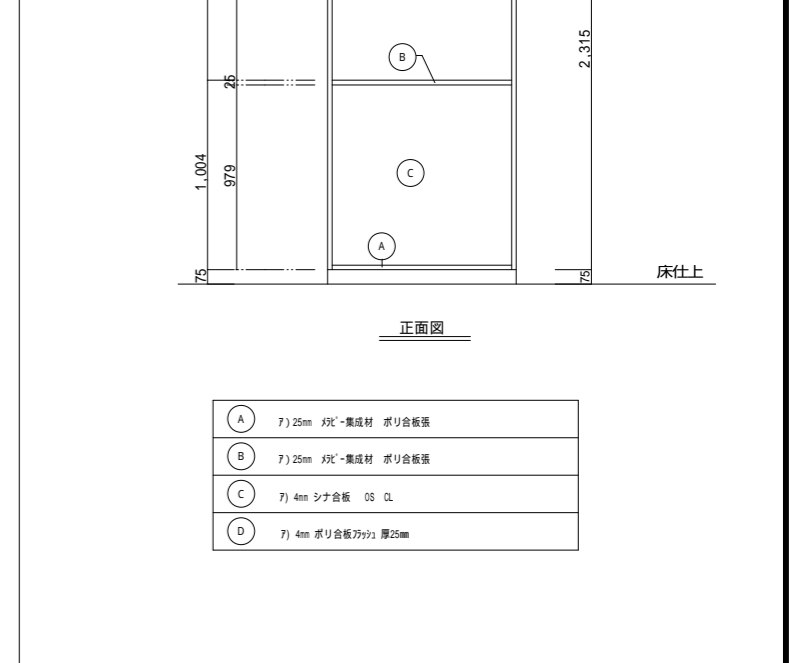
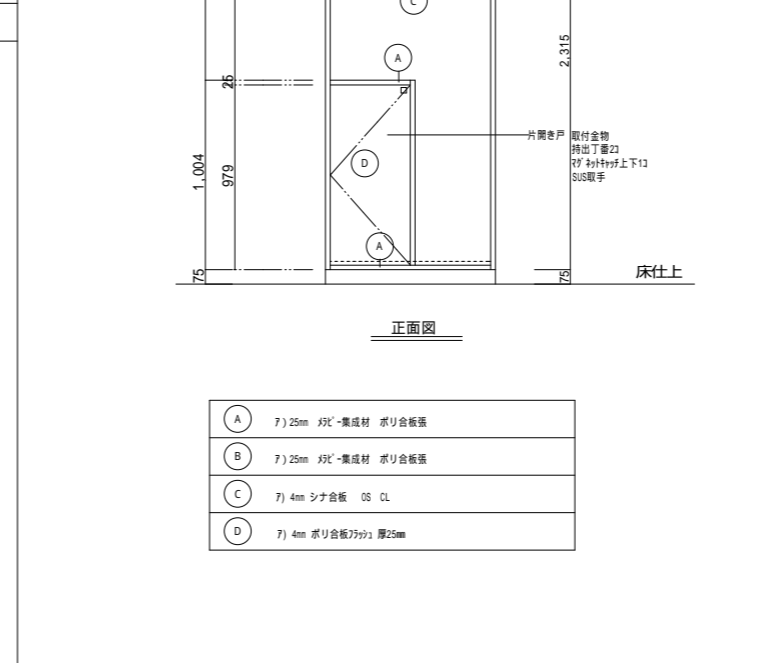
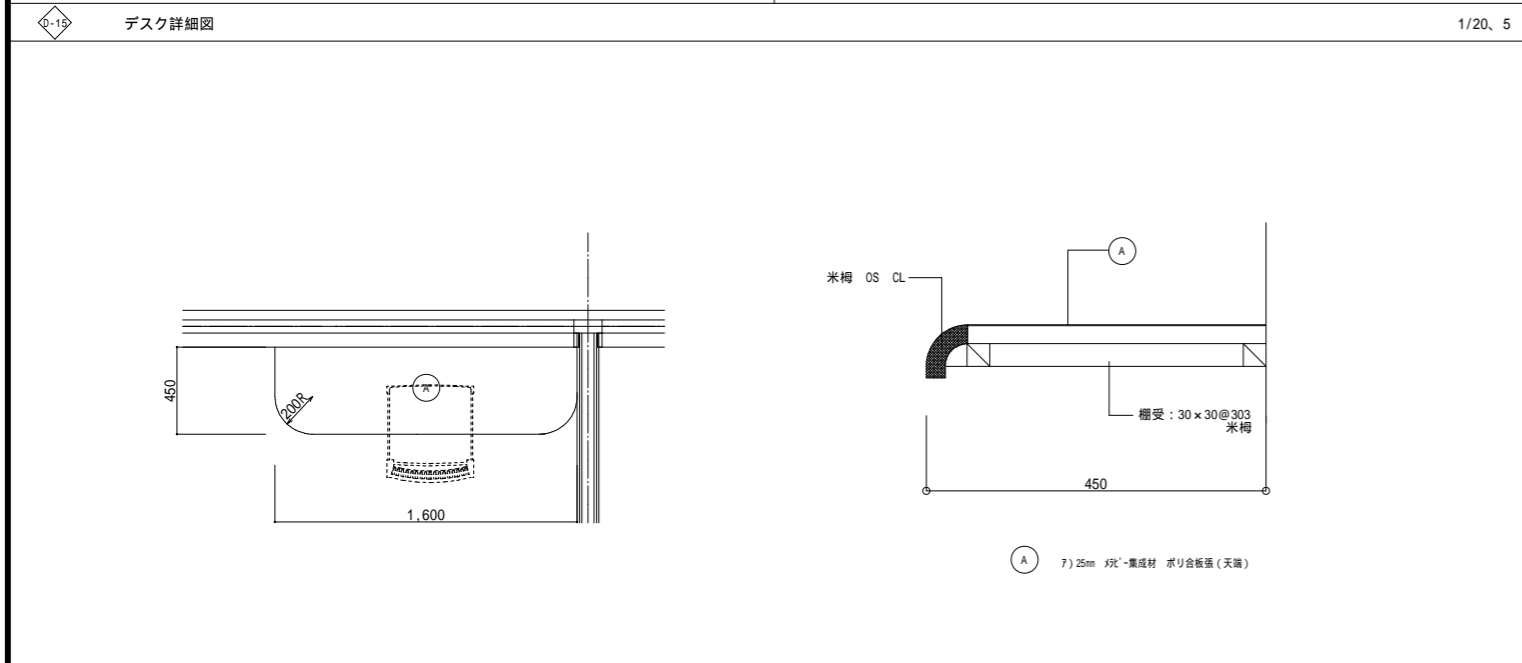
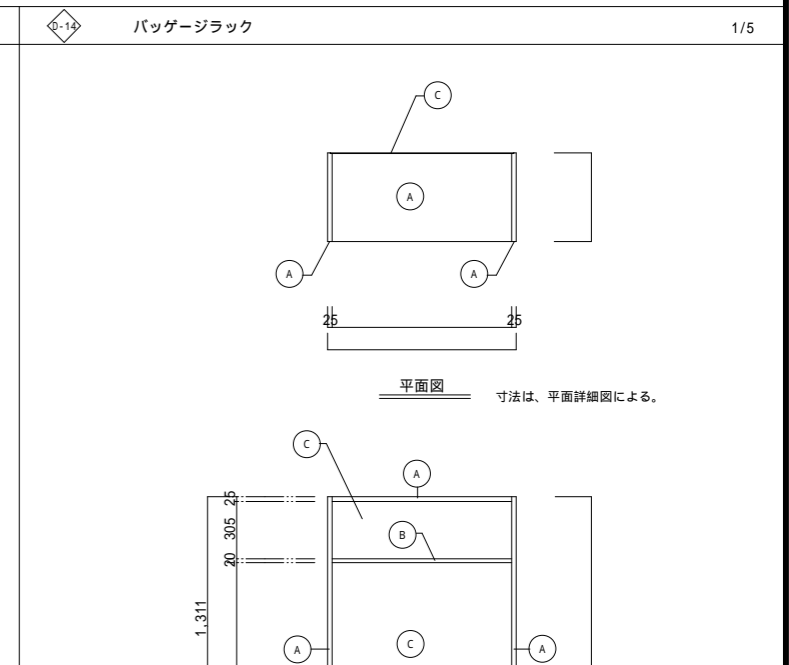
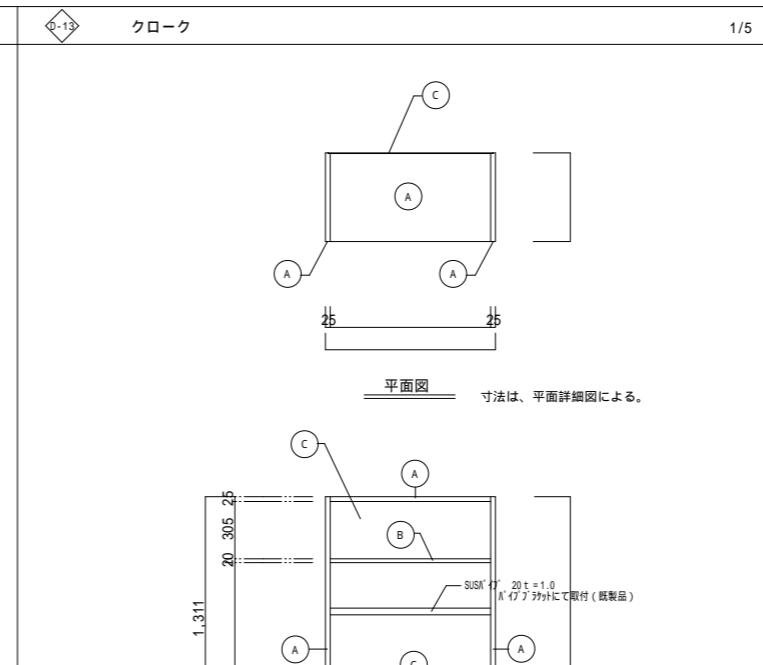
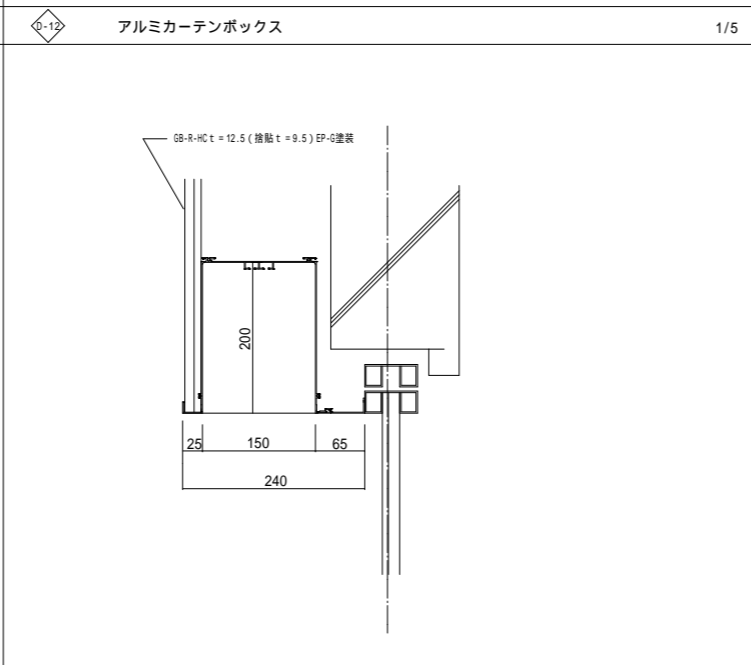
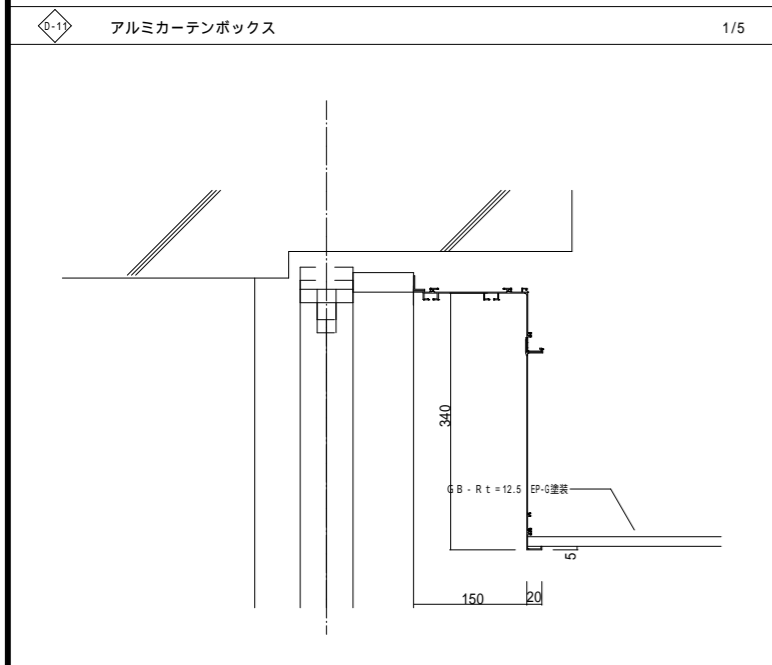
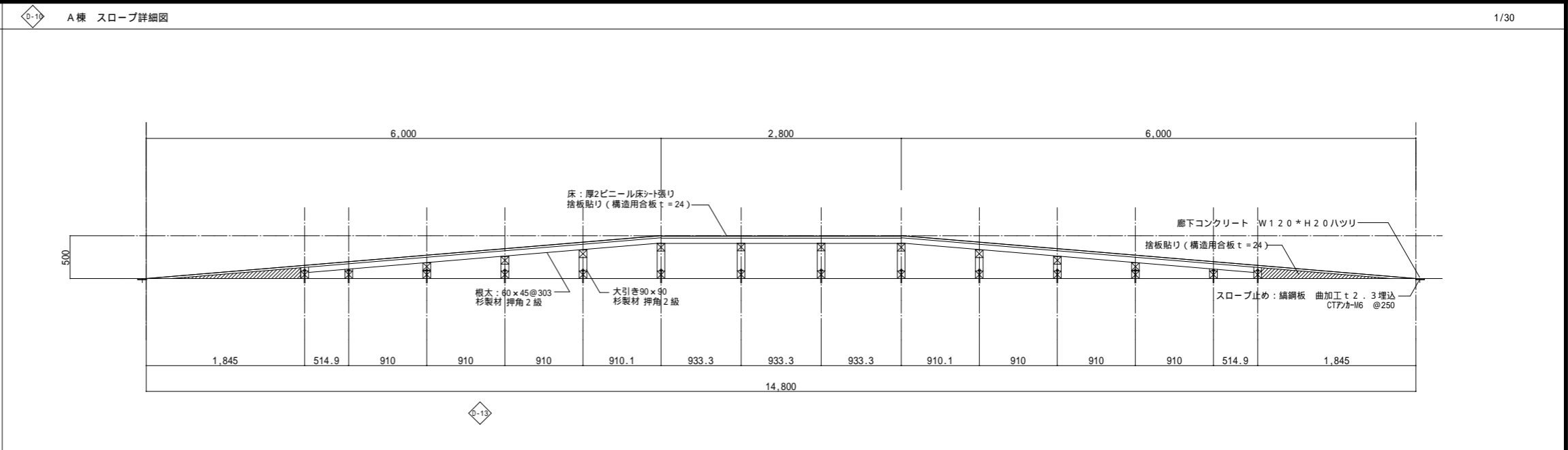
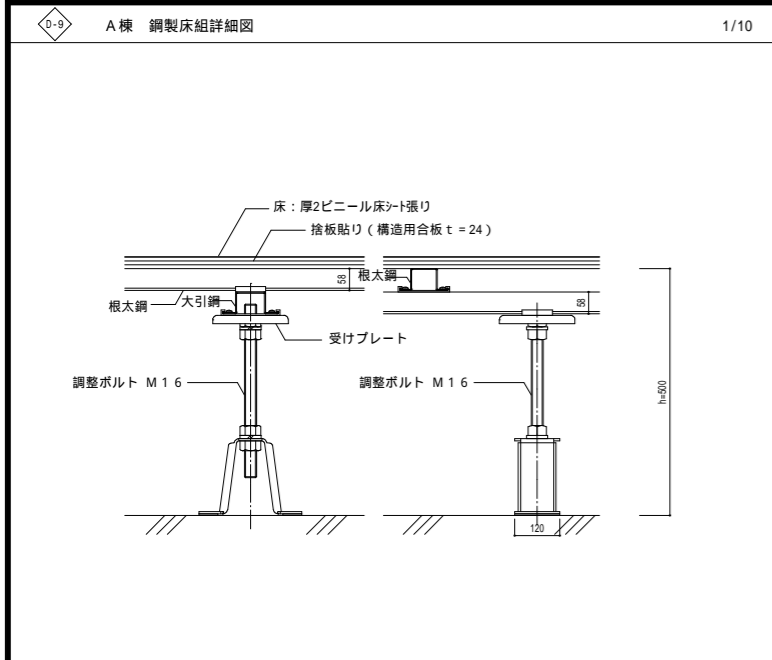
工事名 沖縄科学技術大学院大学ソーサイドハウス改修工事

図面名 部分詳細図 (1) 縮尺 A1: 1/5, 10, 30  
A3: 1/10, 20, 60

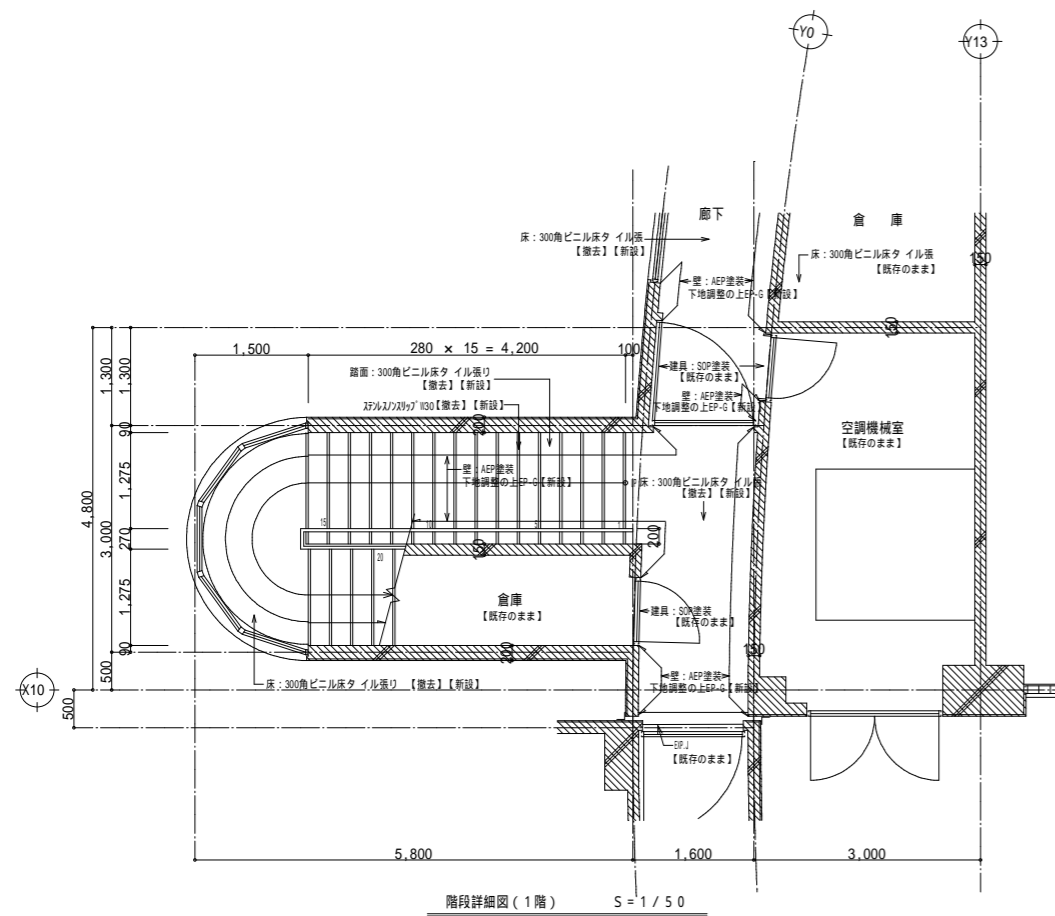
沖縄科学技術大学院大学学園

78

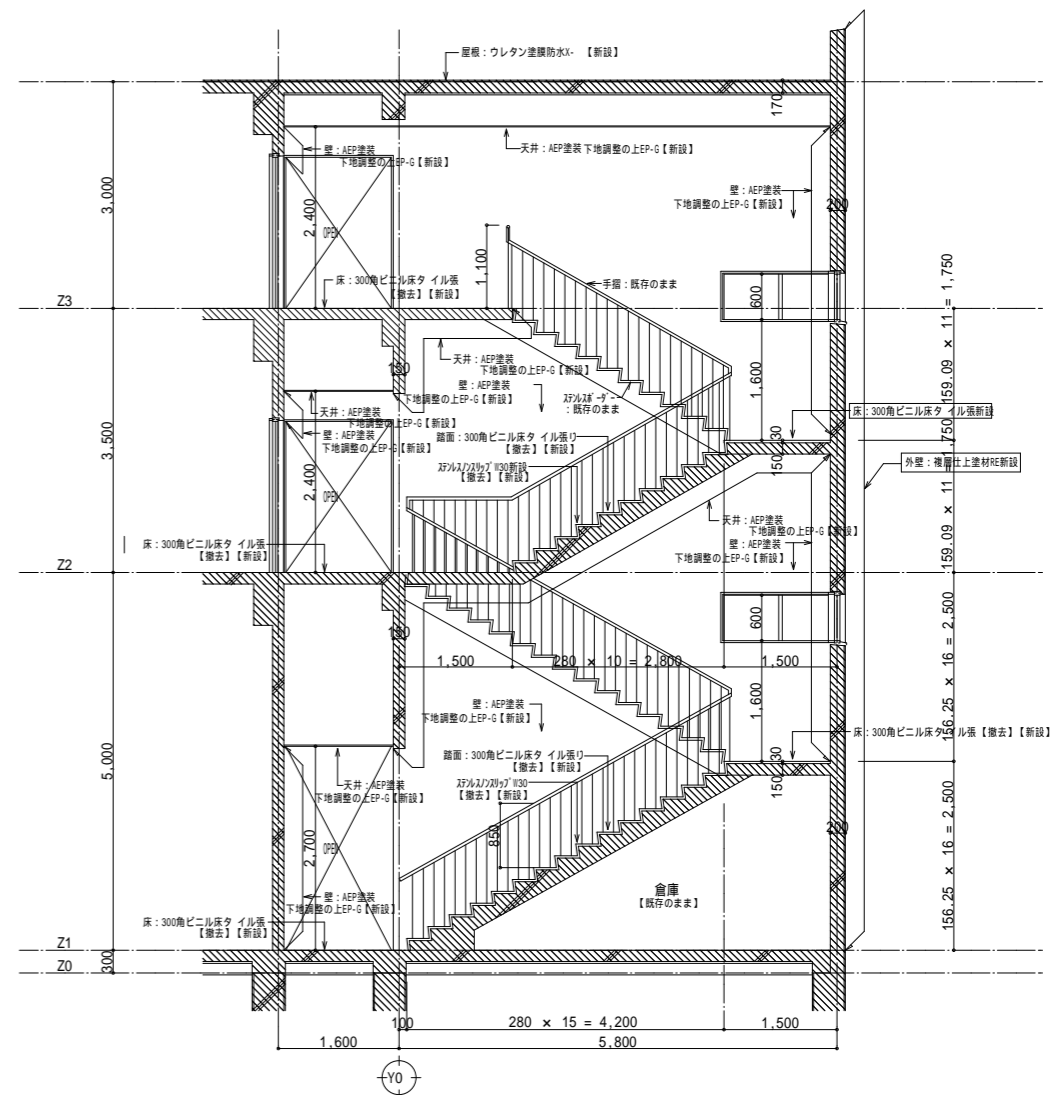
A-78



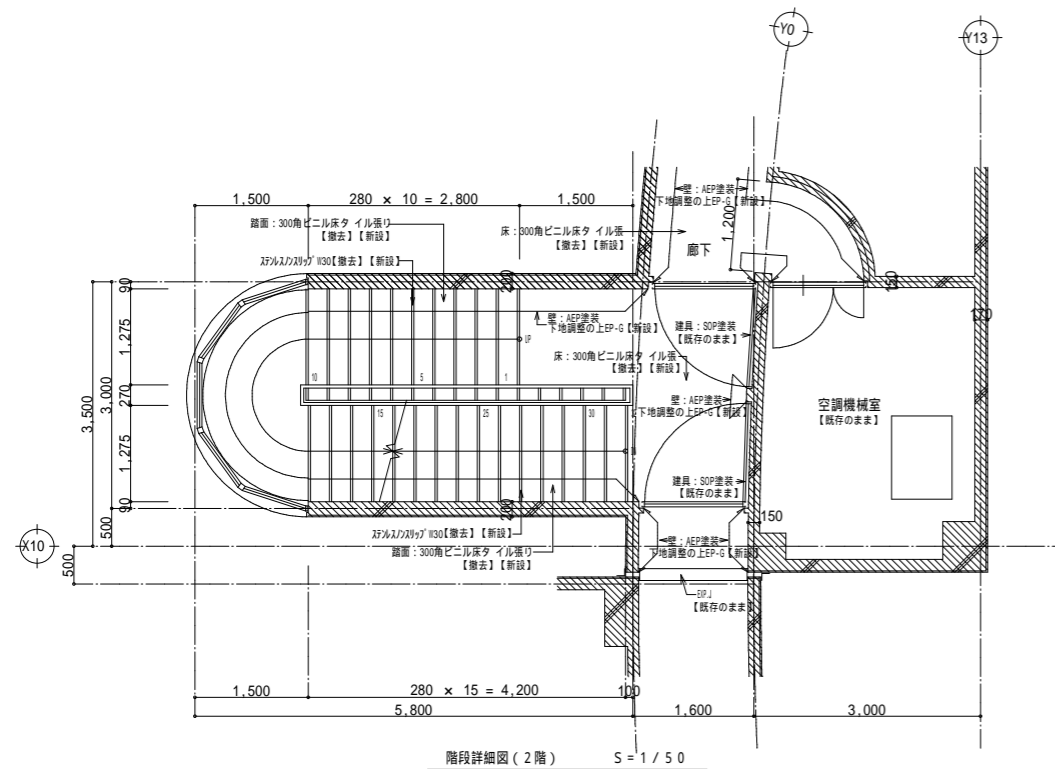
凡例		撤去範囲 (下地共)		【新設】建具を示す。		【撤去】建具を示す。	一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 部分詳細図 (2) 縮尺 A1: 1/5, 10, 20, 30 A3: 1/10, 20, 40, 60 沖縄科学技術大学院大学学園	79 A-79
		撤去範囲 (躯体)		既存建具【塗替】を示す。		既存建具【既存のまま】を示す。			



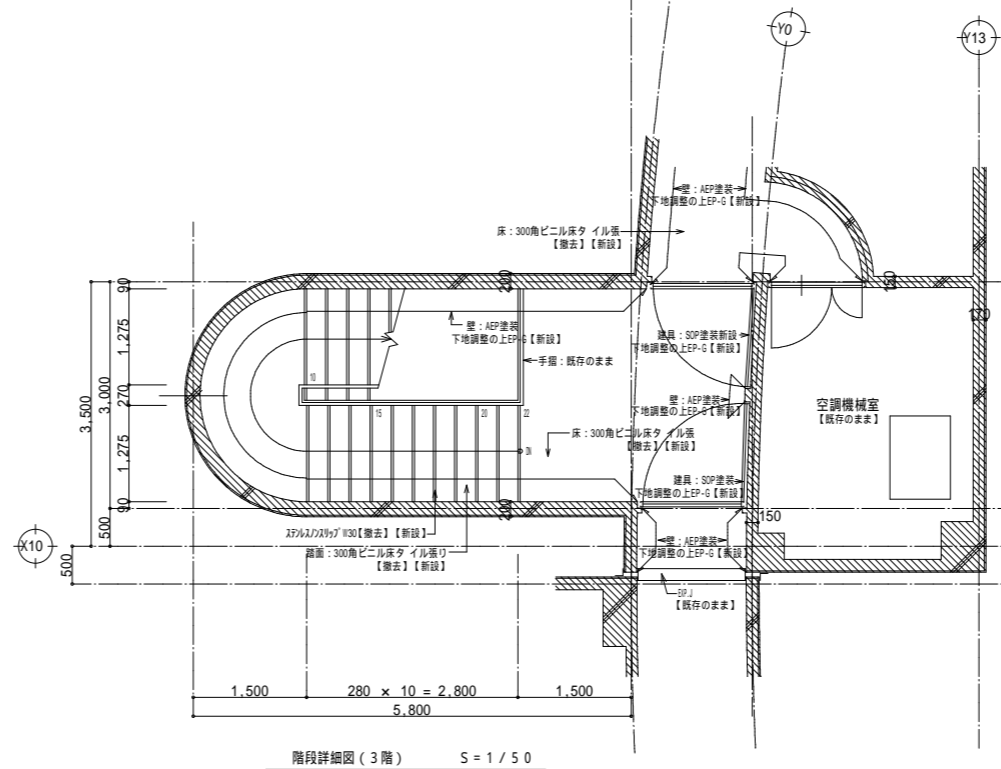
階段詳細図(1階) S=1/50



断面詳細図 S=1/50



階段詳細図(2階) S=1/50



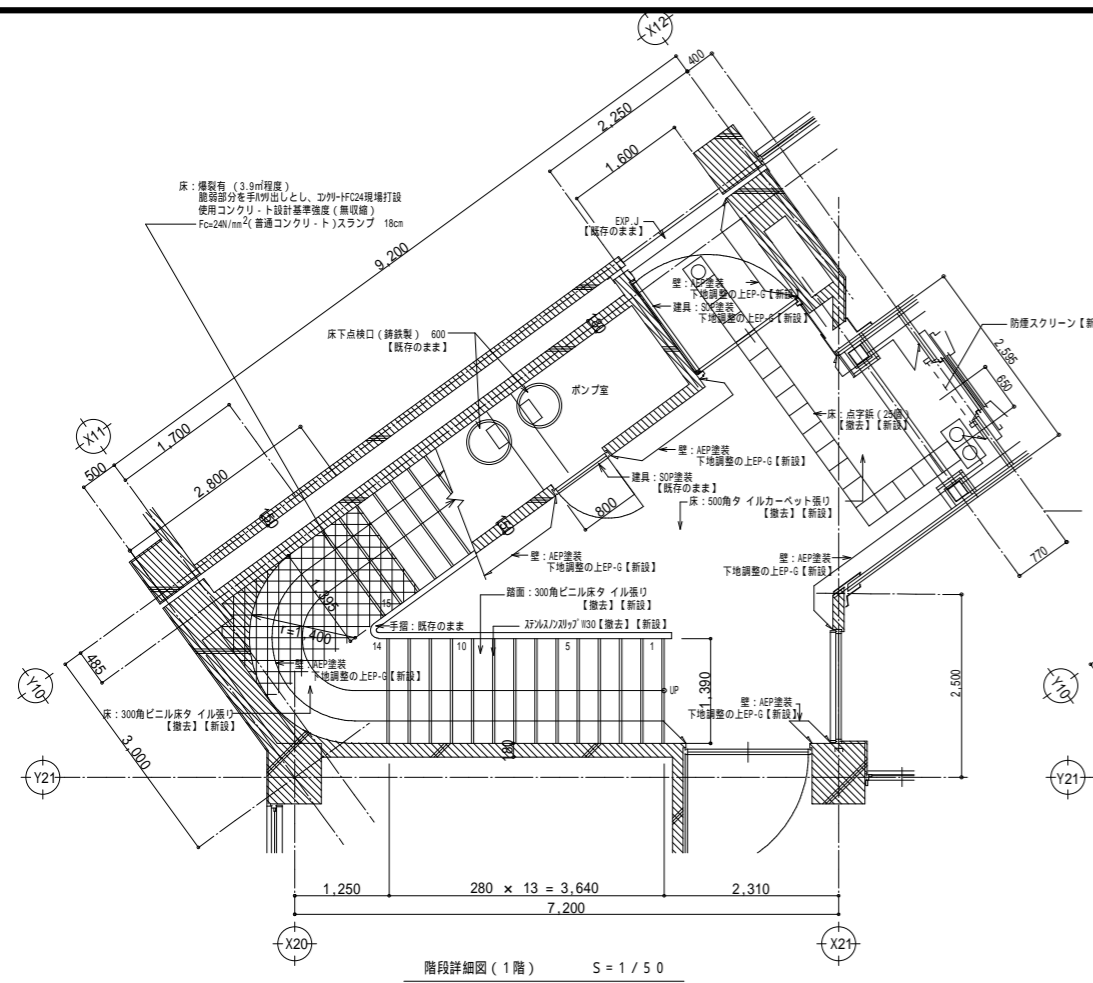
階段詳細図(3階) S=1/50



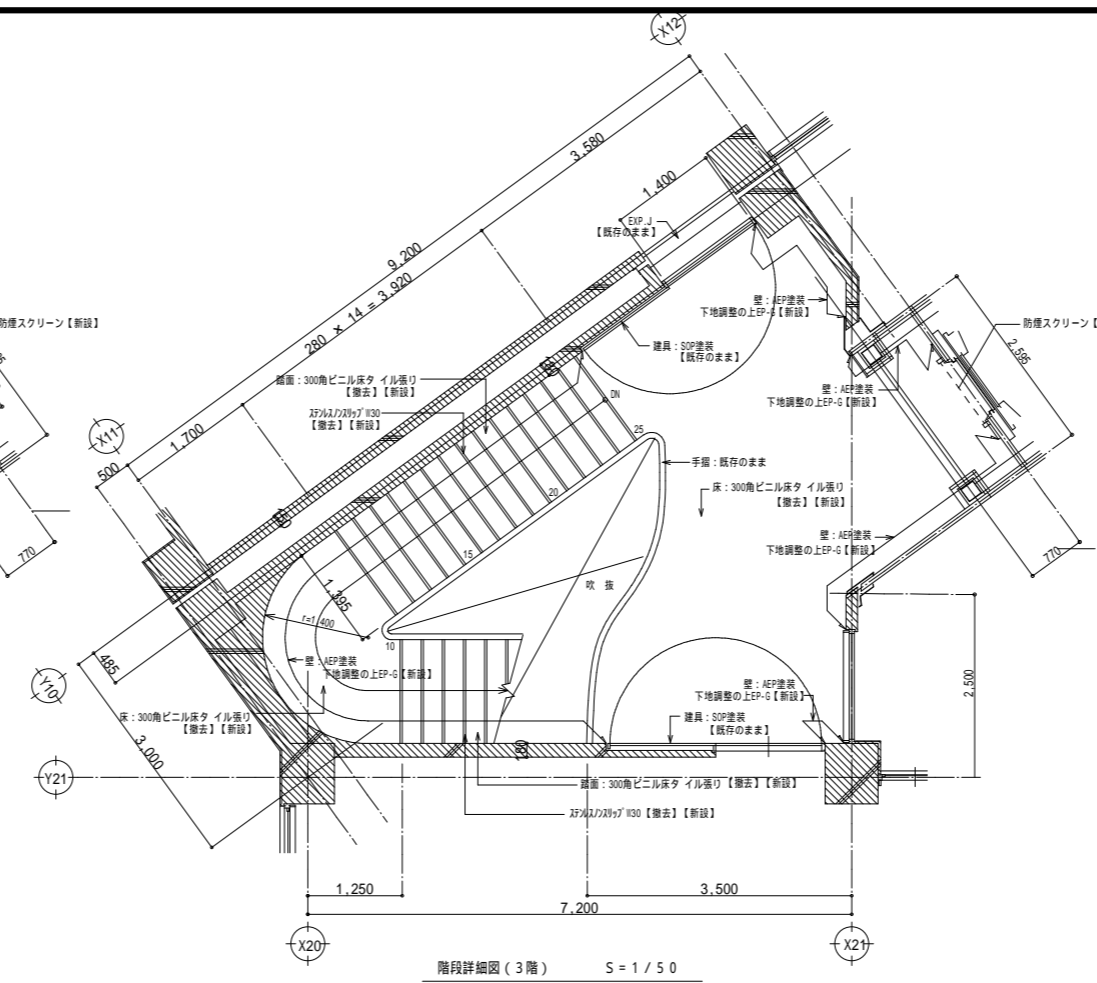
一級建築士事務所  
株式会社 m 3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
図面名 階段詳細図1(改修図) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100  
沖縄科学技術大学院大学学術

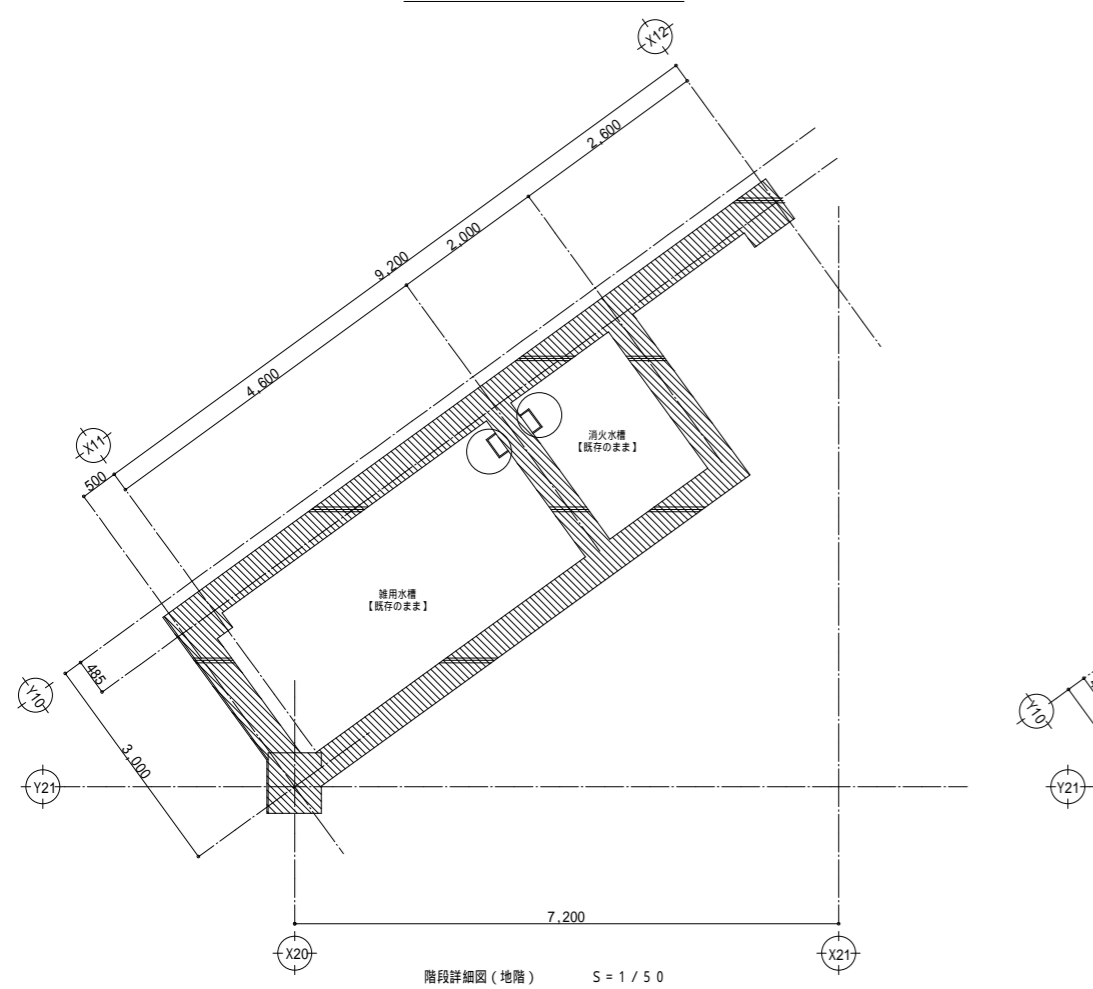
80  
A-80



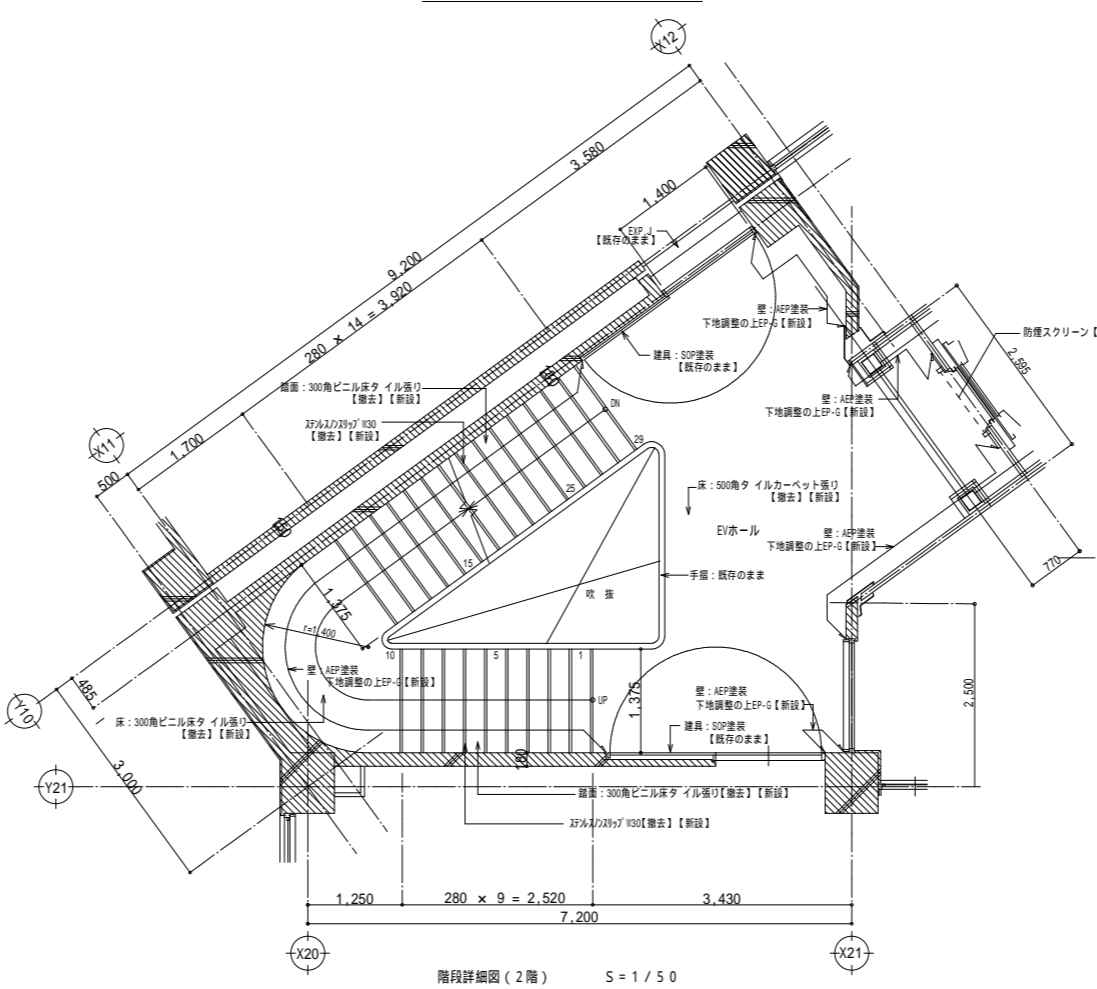
階段詳細図(1階) S=1/50



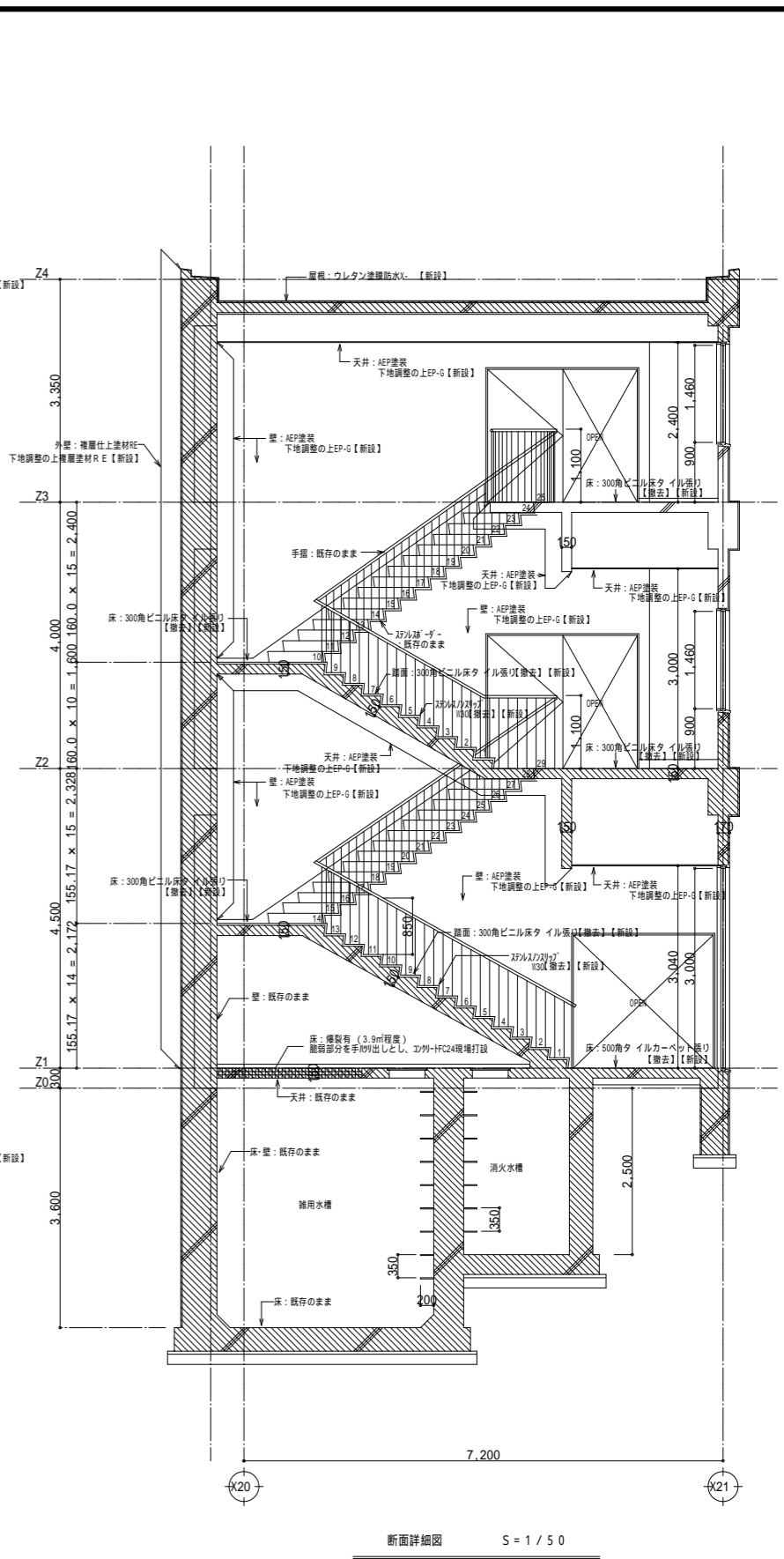
階段詳細図(3階) S=1/50



階段詳細図(地階) S=1/50



階段詳細図(2階) S=1/50

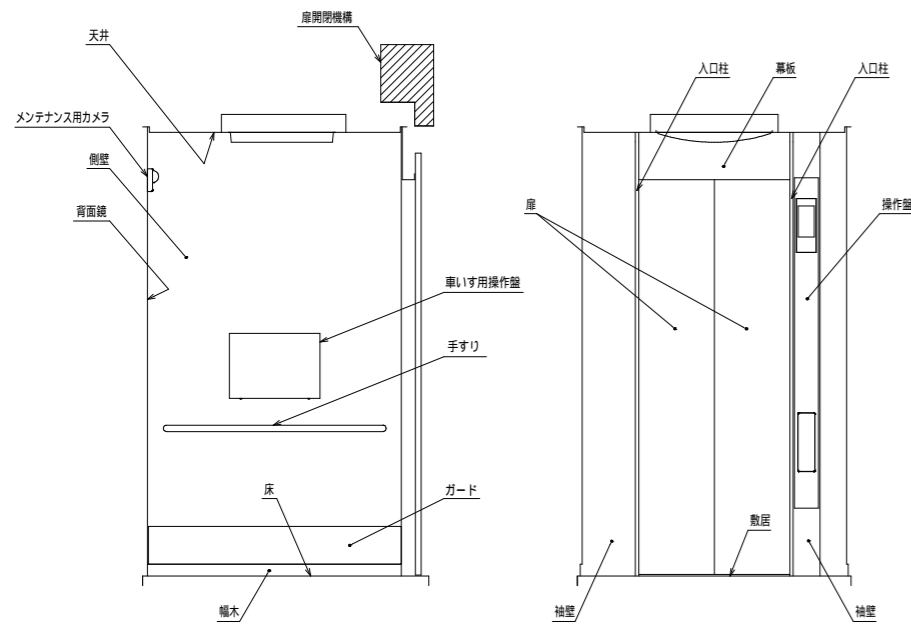


断面詳細図 S=1/50



一級建築士事務所  
株式会社 m 3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

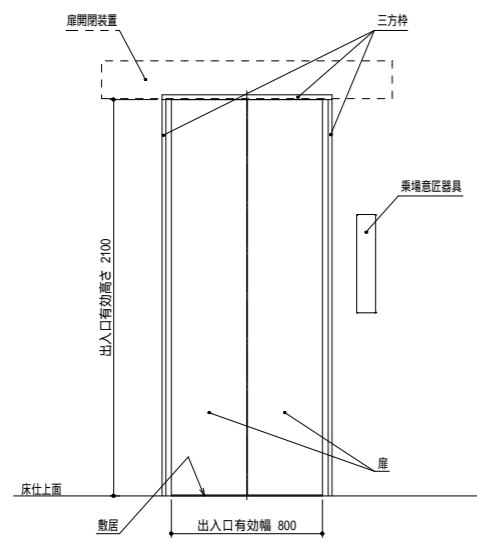
工事名	沖縄科学技術大学院大学サイドハウス改修工事	81
図面名	階段詳細図2(改修図)	縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100
沖縄科学技術大学院大学学術		A-81



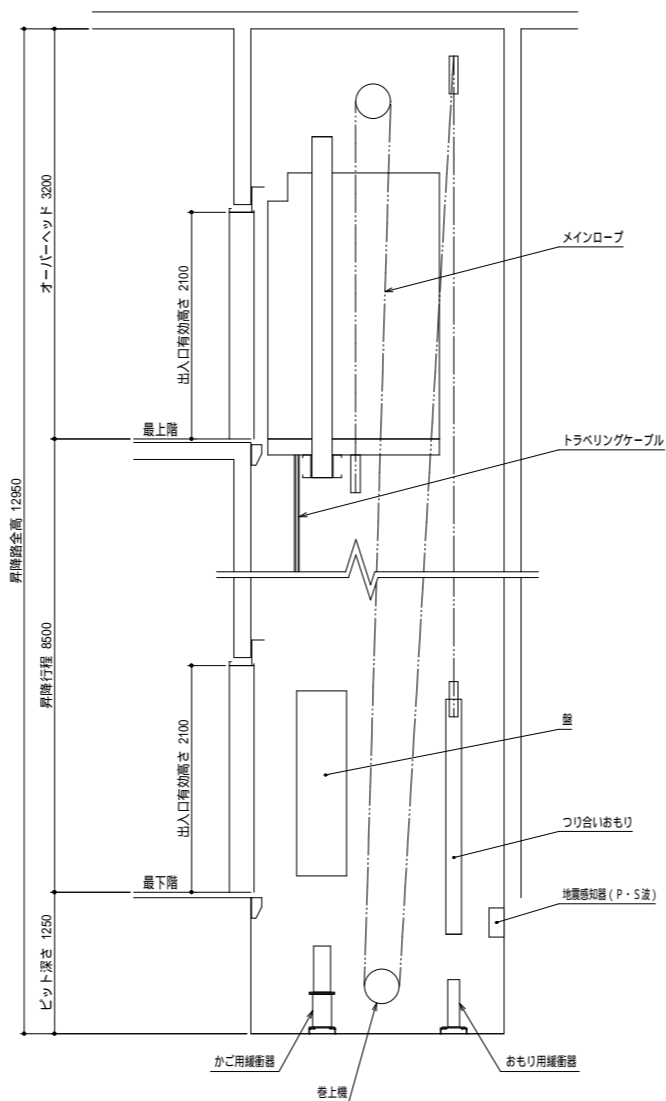
U側面図

U出入口正面図

Uかご内室図



U出入口正面図



U昇降路断面図

かご内室図

名称	既設	新設	備考
天井			
天井パネル	●		
照明		●	LED化、照明カバー取替
停電灯		●	LED化
換気装置		●	
側壁	●		
扉	●		
幕板	●		
袖壁	●		
入口柱	●		
幅木	●		
敷居	●		
床			
床版	●		
床仕上材	●		
扉開閉機構	●		インバータ更新
操作盤		●	
車いす用操作盤		●	
背面鏡	●		
手すり	●		
ガード	●		
メンテナンス用カメラ		●	122万画素
付属品		●	光電式多光軸ドアセンサー
		●	音声案内装置

出入口正面図

名称	既設	新設	備考
三方枠	(全階) ●		
扉	(全階) ●		
扉開閉装置	(全階) ●		
敷居	(全階) ●		
乗場意匠器具	(全階)	●	

昇降路断面図

名称	既設	新設	備考
巻上機		●	
盤	制御盤		●
	インバータ盤		●
	UCMP盤		●
地震感知器 (P・S波)		●	
メインロープ		●	
トラベリングケーブル		●	
かご用緩衝器		●	
おもり用緩衝器		●	
つり合いおもり		●	

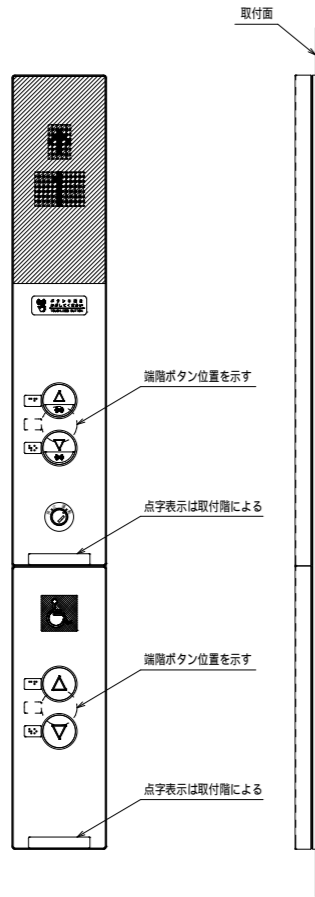
仕様一覧	
号機	-
用途	乗用 (車いす用)
制御方式	インバータ制御方式 (電力再生無し)
運転操作方式	乗合全自動方式
積載	750 kg 11 名
速度	45 m/min
動力電源	210 V 60 Hz
巻上電動機	3.7 kW
停止階及び数	(正面) 1-3 階 3 箇所 (背面) --- 階 - 箇所
かご内法	(開口) 1400 mm (奥行) 1350 mm
出入口寸法	(開口) 800 mm (高さ) 2100 mm
戸の方式	2枚両引き (電動式)
おもり	50 %バランス
管制	地震時管制運転 : (P・S波) リスタート運転機能付
管制	火災時管制運転
管制	停電時自動着床
管制	冠水時管制運転
管制	自家発時管制運転 -
管制	緊急地震速報連動 -
管制	長周期地震時管制運転 -
特記仕様	耐震対策 (14新法耐震既存不適格解消) 戸開走行保護装置 AirTap 非接触ボタン 自動診断 / 恢復旧運転 (注)

(注) : NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能です。



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	82
図面名	E L V改修図 (1)	縮尺 A1 : 1/20 A3 : 1/40
沖縄科学技術大学院大学学園		A-82



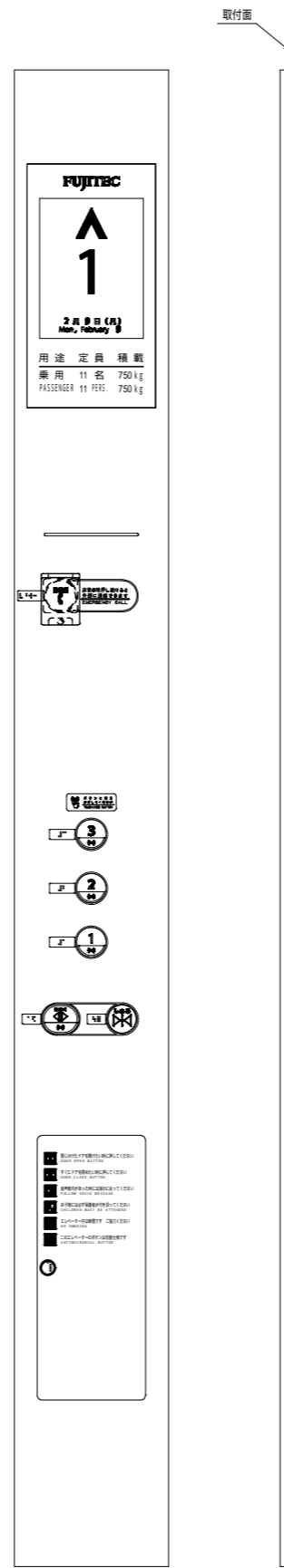
U乗場意匠器具図  
パーキングスイッチは1階に設置

乗場意匠器具（一般用押釦）

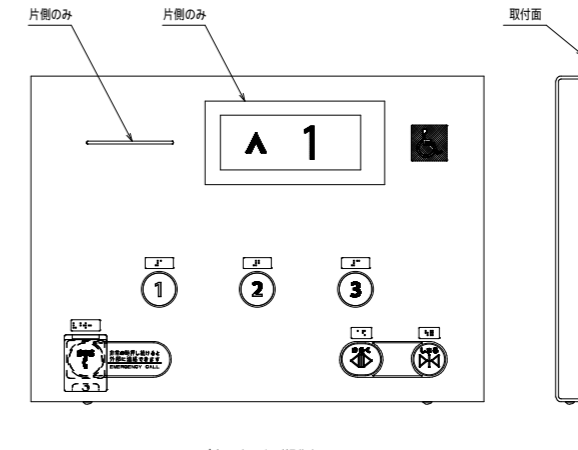
項目	意匠内容
フェースプレート	クリアアクリル製（周囲は樹脂製）、ベースプレート（ステンレスパイプレーション仕上）付
押しボタン	非接触一体型標準ボタン
表示部	デジタル表示

乗場意匠器具（車いす用押釦）

項目	意匠内容
フェースプレート	一般用押釦と一体型
押しボタン	標準ボタン



Uかご一般用操作盤図



Uかご車いす用主副操作盤図

かご意匠器具（操作盤）

項目	意匠内容
フェースプレート	ステンレスパイプレーション仕上
押しボタン	非接触一体型標準ボタン（非常呼ボタン、閉まるボタンは標準ボタン）
表示部	液晶ディスプレイ

かご意匠器具（車いす用操作盤）

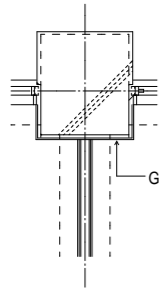


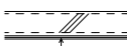
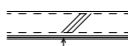
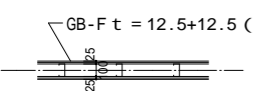
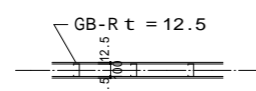
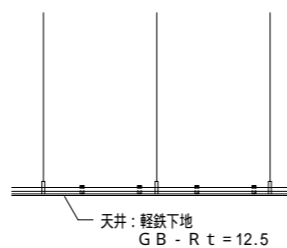
項目	意匠内容
フェースプレート	ステンレスパイプレーション仕上
押しボタン	標準ボタン
表示部	液晶ディスプレイ









<p>6524LVS</p>	<p>6524LVY</p>	<p>6524KRF</p>	<p>0888GAD</p> <p>最下階フロアレベルより下に取付</p>
<p>制御盤外形図</p>	<p>インバータ盤外形図</p>	<p>UCMP盤外形図</p>	<p>地震感知器 ( P , S 波 ) 外形図</p>

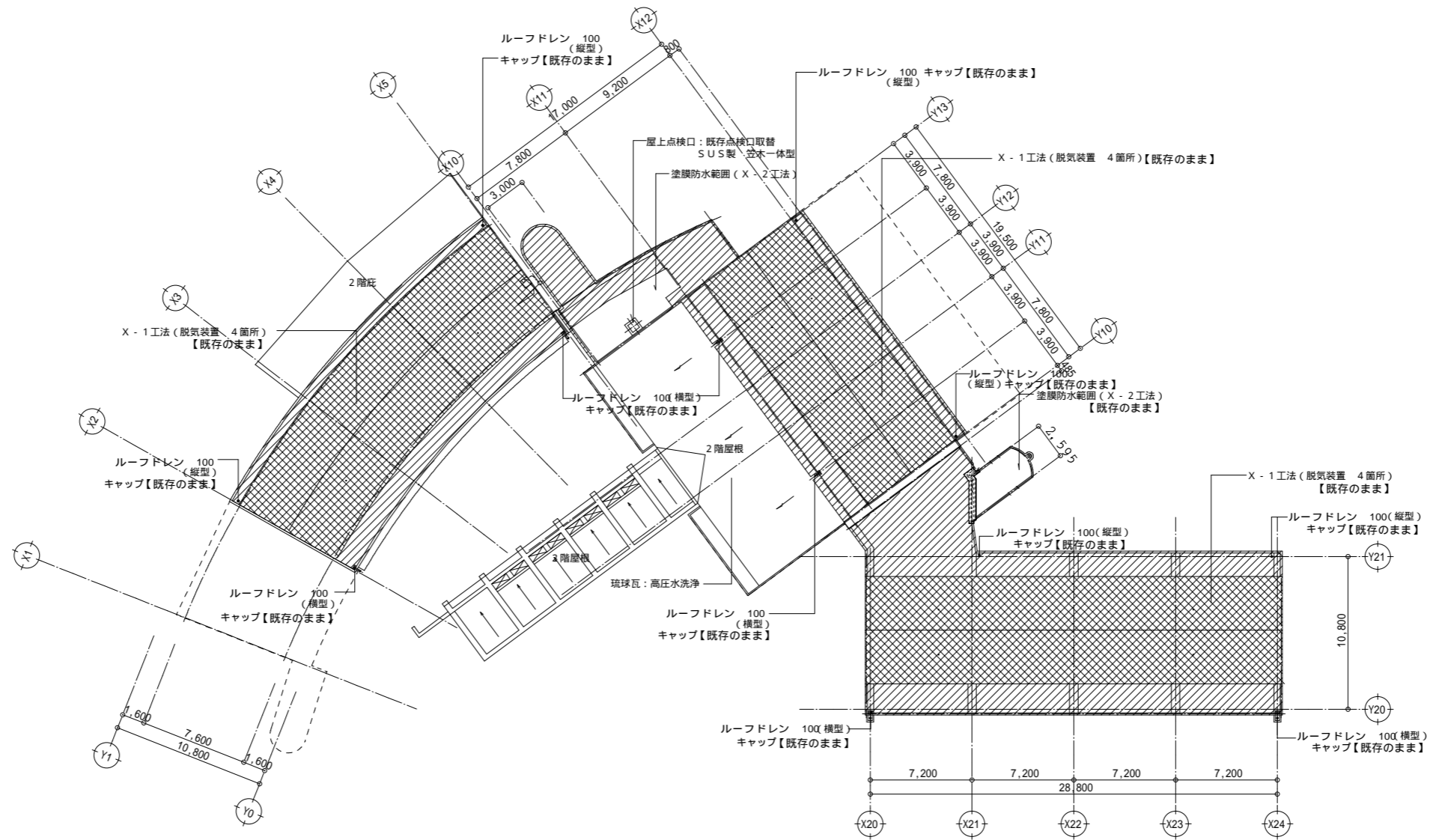



一般建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一般建築士事務所 知事登録 174-3409号


工事名	沖縄科学技術大学院大学サイドハウス改修工事	縮尺	A1 : 20 A3 : 40
図面名	E L V改修図 ( 3 )		
沖縄科学技術大学院大学学園			

柱廻り 改修仕様	壁廻り 改修仕様 (居室)	壁廻り 改修仕様 (共用部分)	【新設】壁廻り 仕様 (居室)	【新設】壁廻り 仕様 (共用部分)	
 <p>GB-R-HC t = 9.5 GL工法【新設】</p>	 <p>GB-R-HC t = 9.5 【新設】既存'ド'に増張り</p>	 <p>AEP塗 (既存) 下地調整の上EP-G塗【新設】</p>	 <p>吹付硬質ウレタンフォーム t = 25 BG-R t = 9.5 (捨張)の上 GB-R-HC t = 12.5</p>	 <p>吹付硬質ウレタンフォーム t = 25 BG-R t = 12.5 GL工法</p>	
<p>軽量鉄骨廻り仕様 壁：(界壁) (廊下)</p> <p>【114条区画】 (上階スラブ下端まで) LGS100+GB-F t = 12.5+12.5 FPO60-NP-0483</p>  <p>GB-F t = 12.5+12.5 (両面)</p>	<p>軽量鉄骨廻り仕様 壁：(その他)</p>  <p>GB-R t = 12.5</p>	<p>軽量鉄骨廻り仕様 天井</p>  <p>天井：軽鉄下地 GB-R t = 12.5</p>			

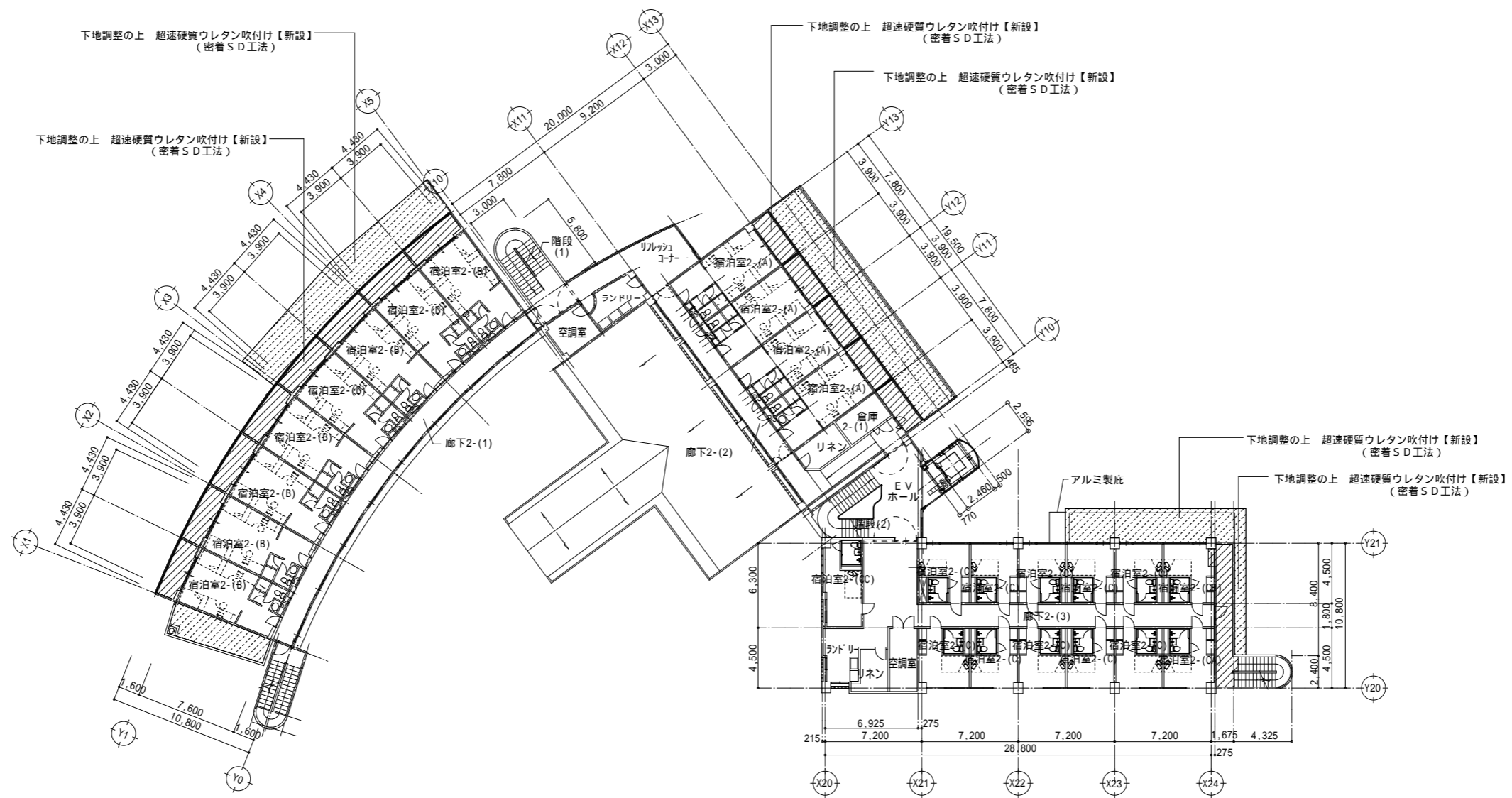
凡例	 撤去範囲 (下地共)	 【新設】建具を示す。	 【撤去】建具を示す。		 <p>一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号</p>	<p>工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事</p>	85	
	 撤去範囲 (躯体)	 既存建具【塗替】を示す。				<p>図面名 改修仕様リスト</p>	<p>縮尺 A1 : 1/30 A3 : 1/60</p>	
		 既存建具【既存のまま】を示す。				<p>沖縄科学技術大学院大学学園</p>		A-85
		 【撤去】【新設】建具を示す。						



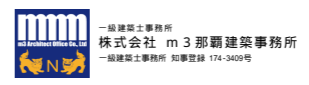
屋根伏図 S = 1/200


		工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 【防水改修】屋根伏図(改修前) 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400 沖縄科学技術大学院大学学園
	一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3400号	86 A-86

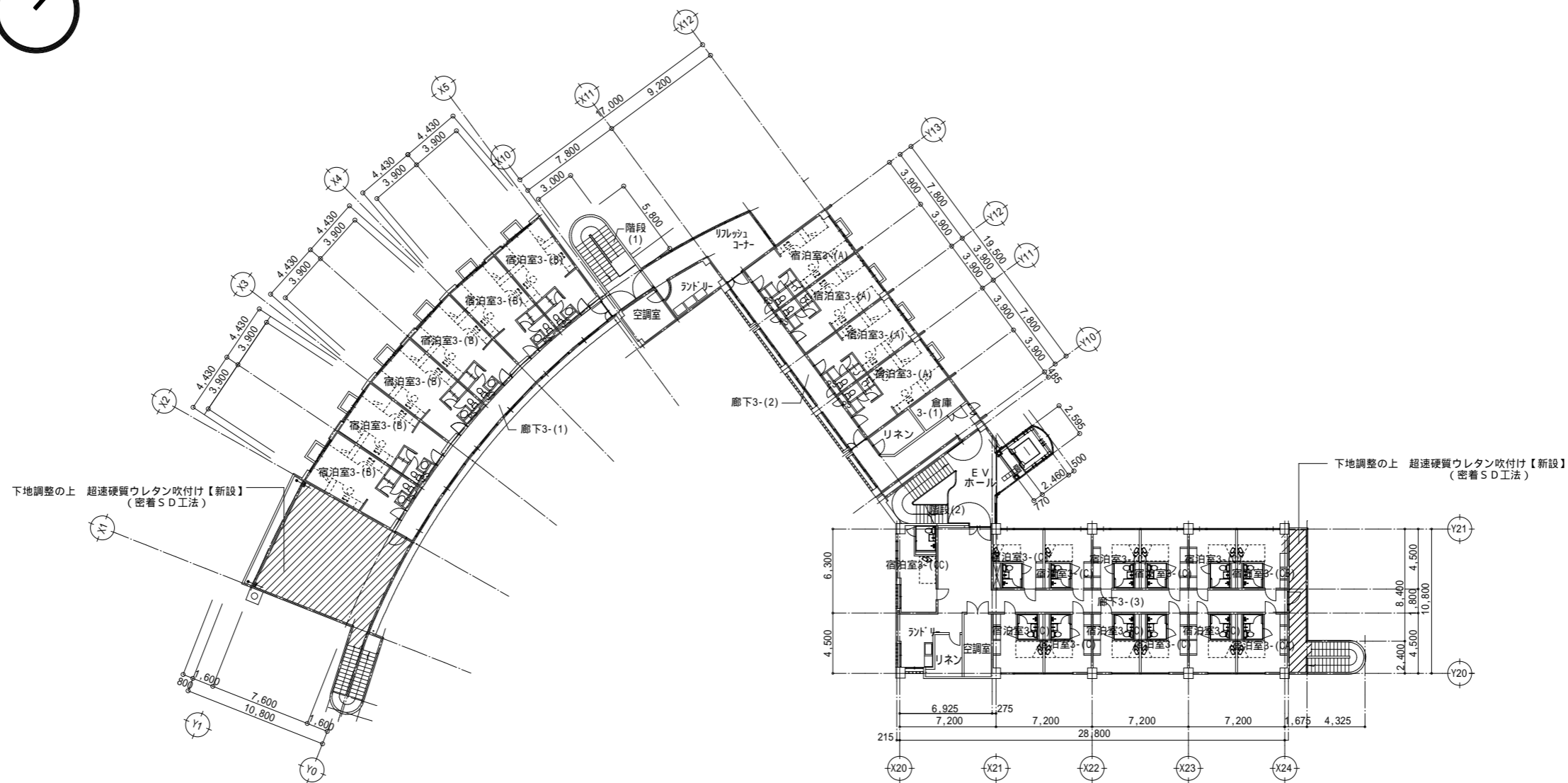





2階平面図 S = 1/200

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 【防水改修】2階平面図(改修図) 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400 沖縄科学技術大学院大学学園	88 A-88
--	------------

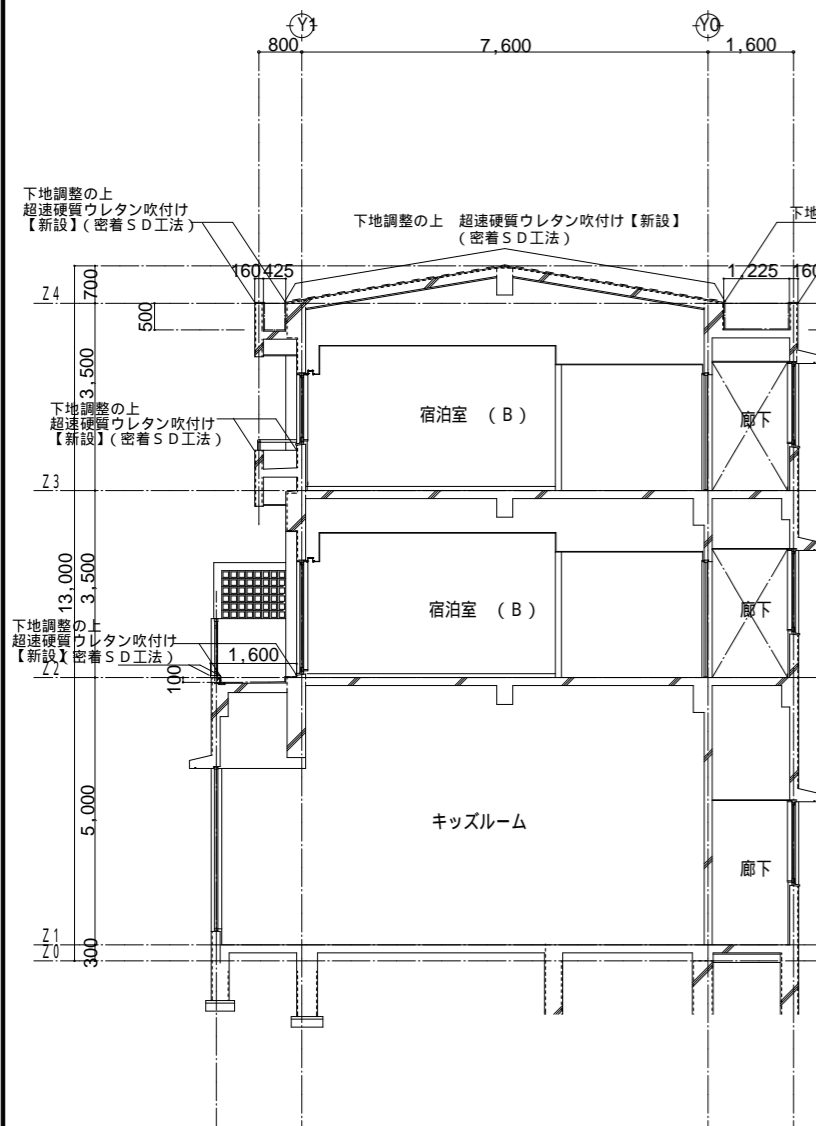
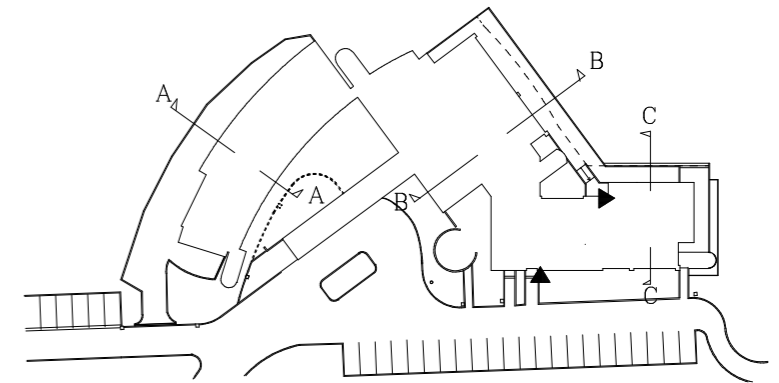
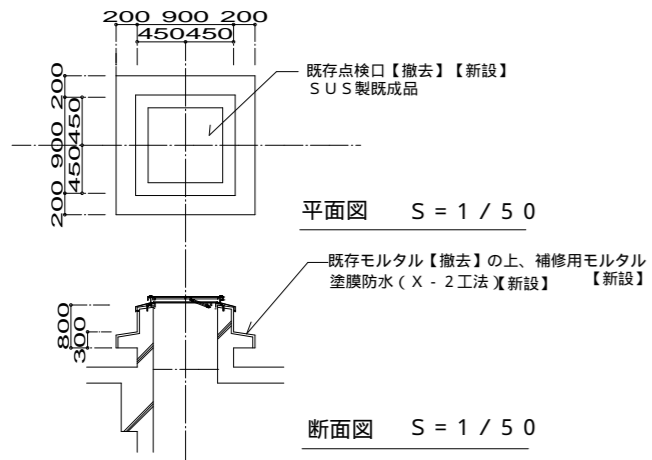


3 階平面図 S = 1/200

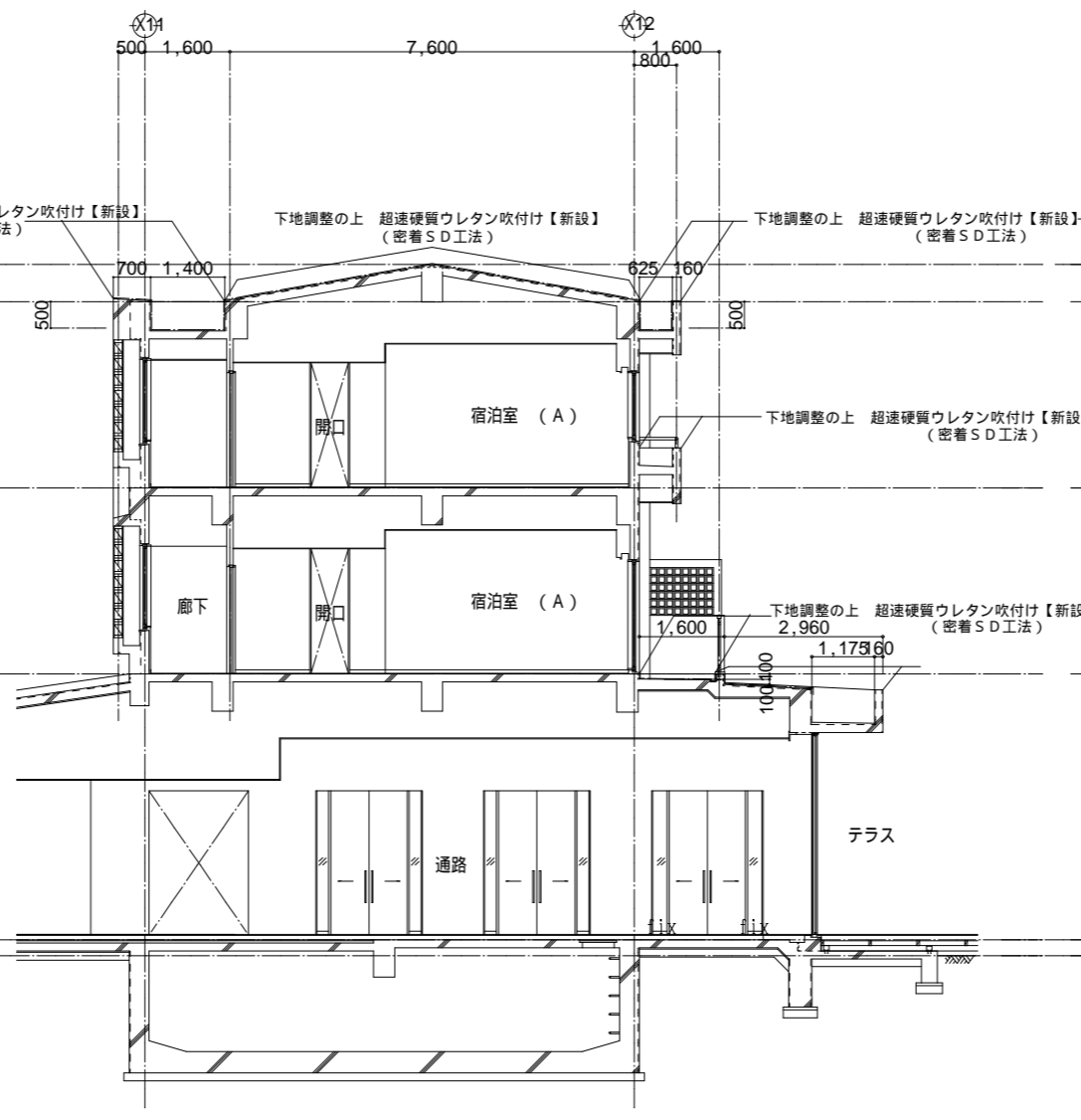


 一級建築士事務所  
 株式会社 m3 那覇建築事務所  
 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 【防水改修】3階平面図(改修図) 縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400 沖縄科学技術大学院大学学園	89 A-89
--	------------

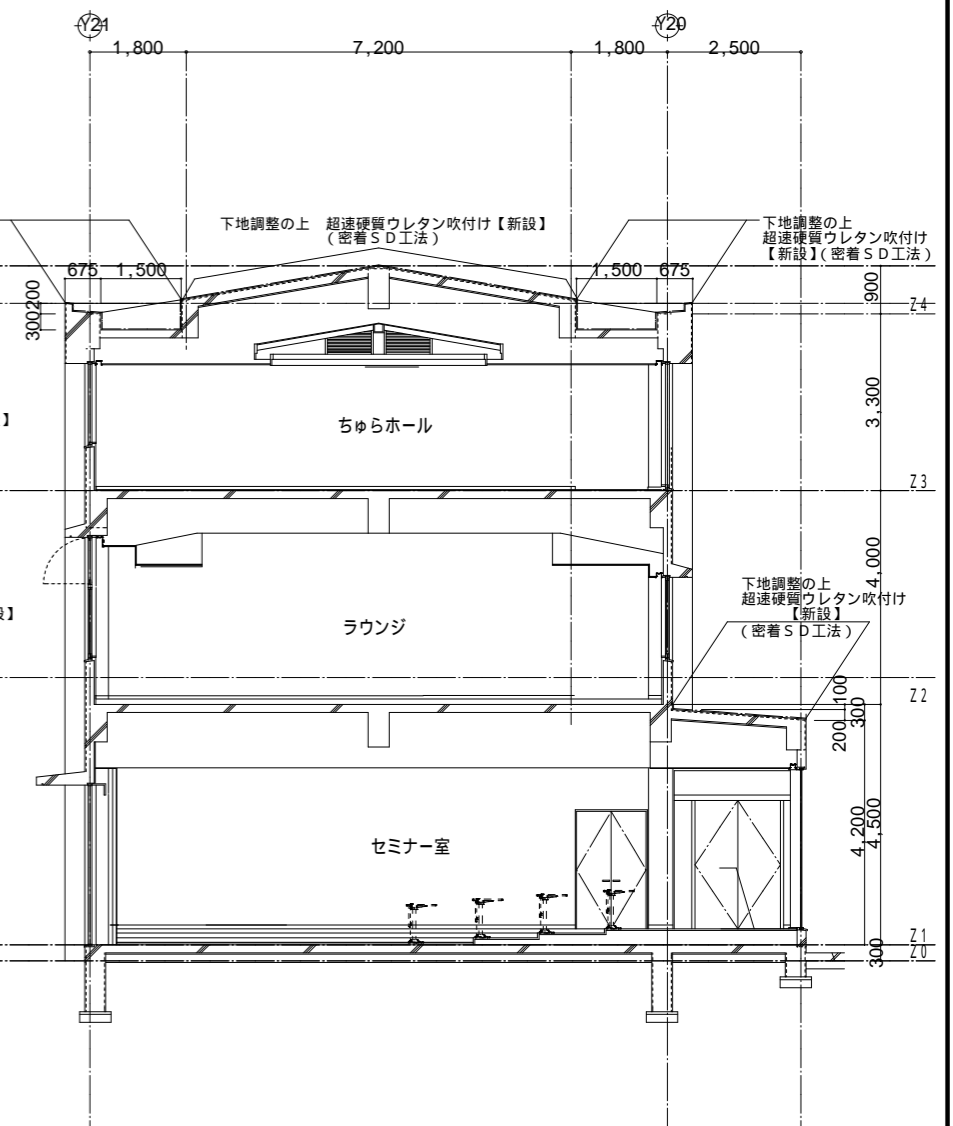
屋上点検口取替 詳細図 S = 1 / 5 0



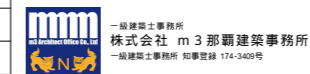
断面図 A S = 1 / 1 0 0



断面図 B S = 1 / 1 0 0



断面図 C S = 1 / 1 0 0



一般建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一般建築士事務所 知事登録 174-3409号

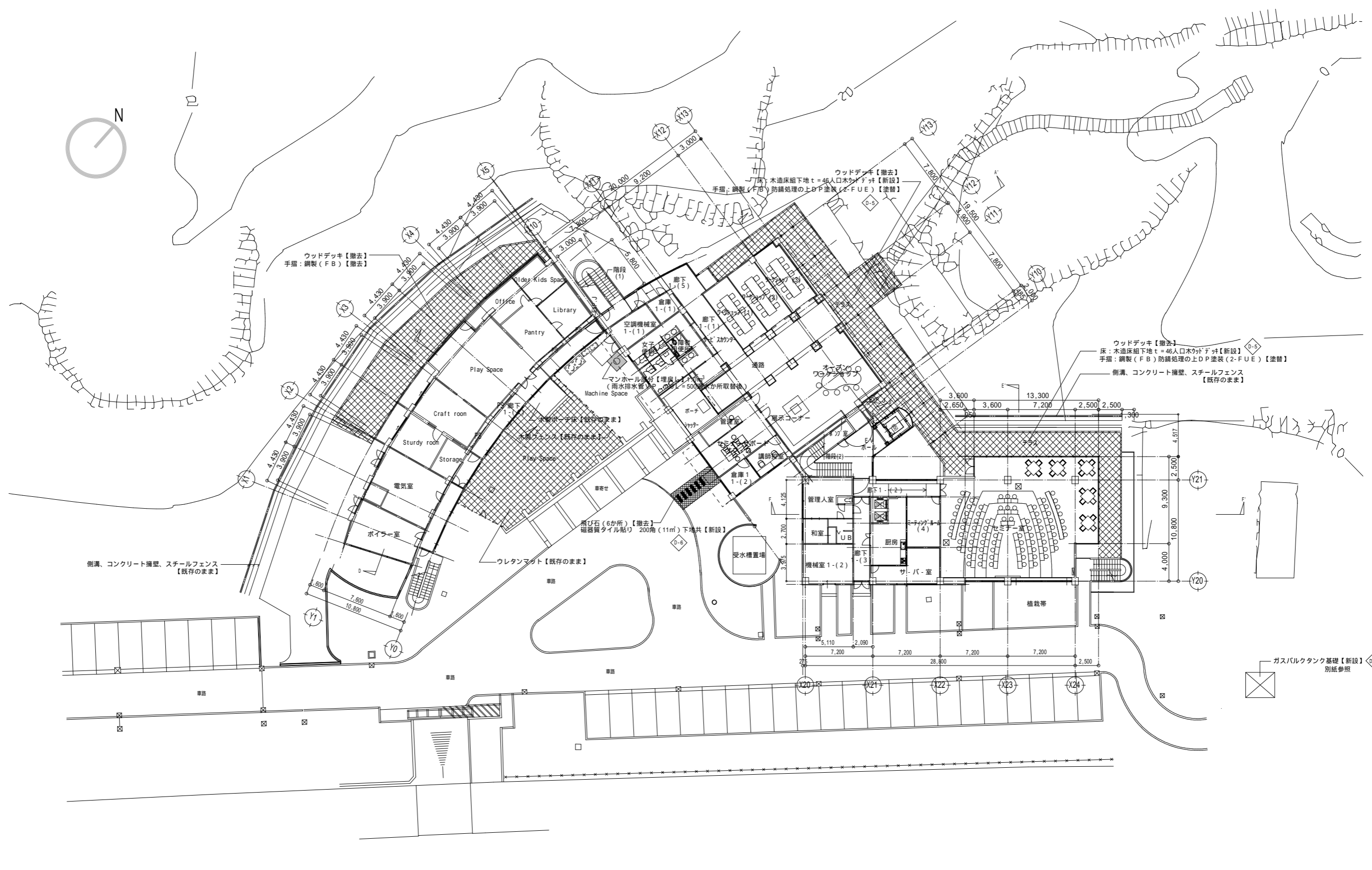
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

図面名 【防水改修】A棟B棟C棟断面図(改修図)縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200

沖縄科学技術大学院大学学園

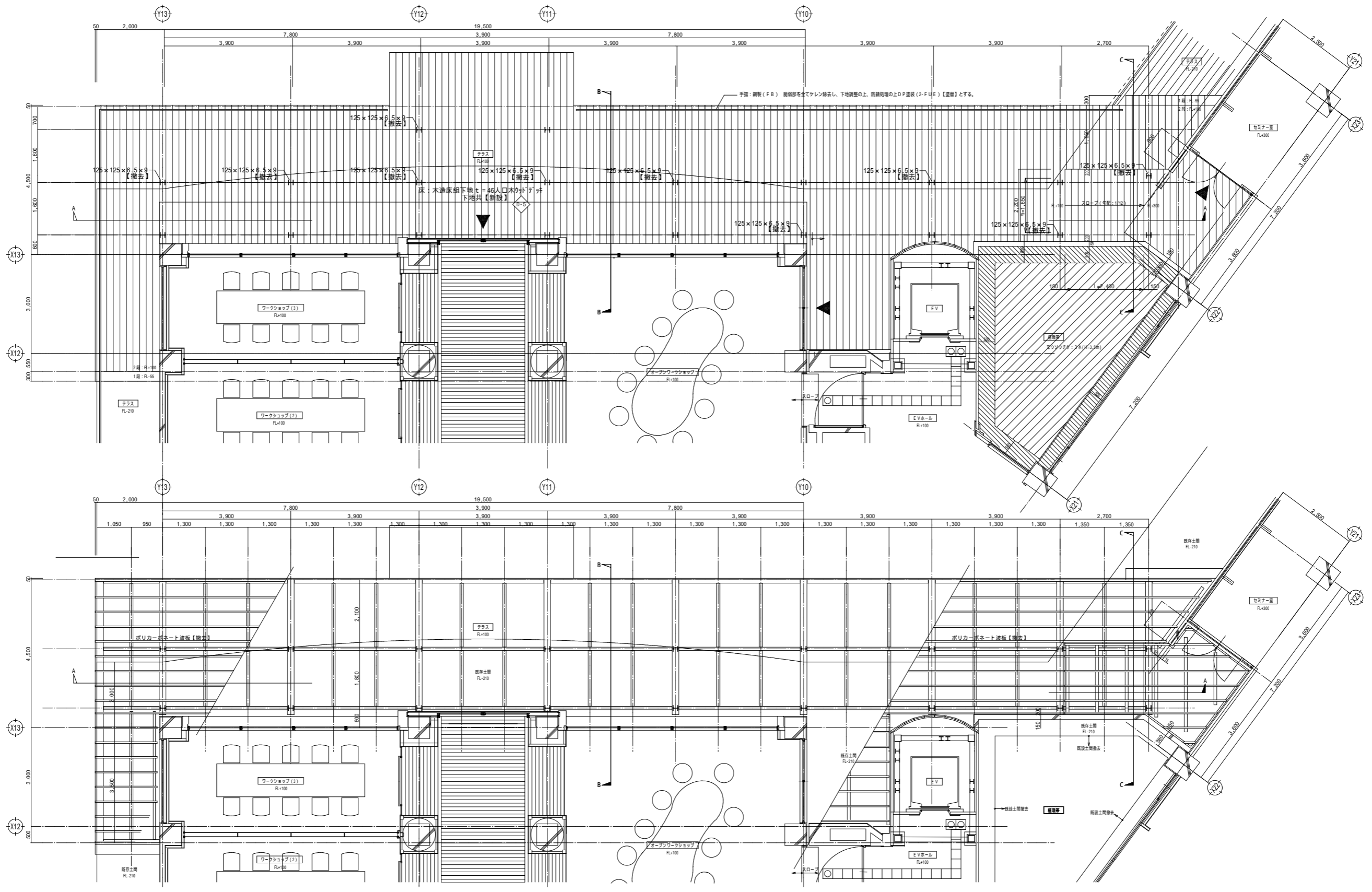
90

A-90

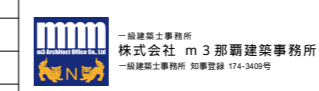


1階平面図 S = 1/200

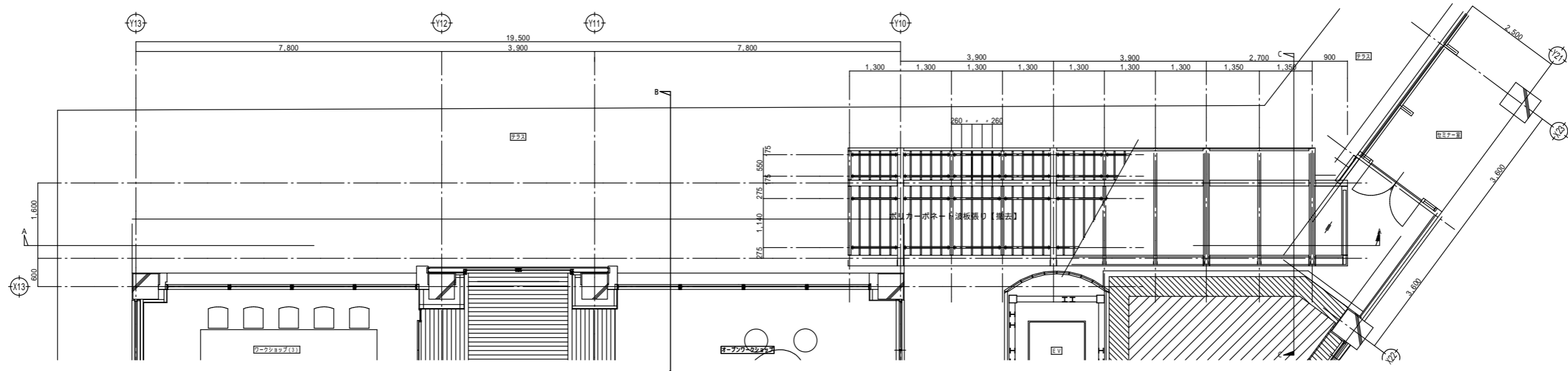
凡例		撤去範囲（下地共）	工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事 図面名 【外構改修】1階平面図（改修図） 縮尺 A1 : 1/200 A3 : 1/400 沖縄科学技術大学院大学学園	91 A-91
		改修範囲（マンホール部分）		
			一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号	



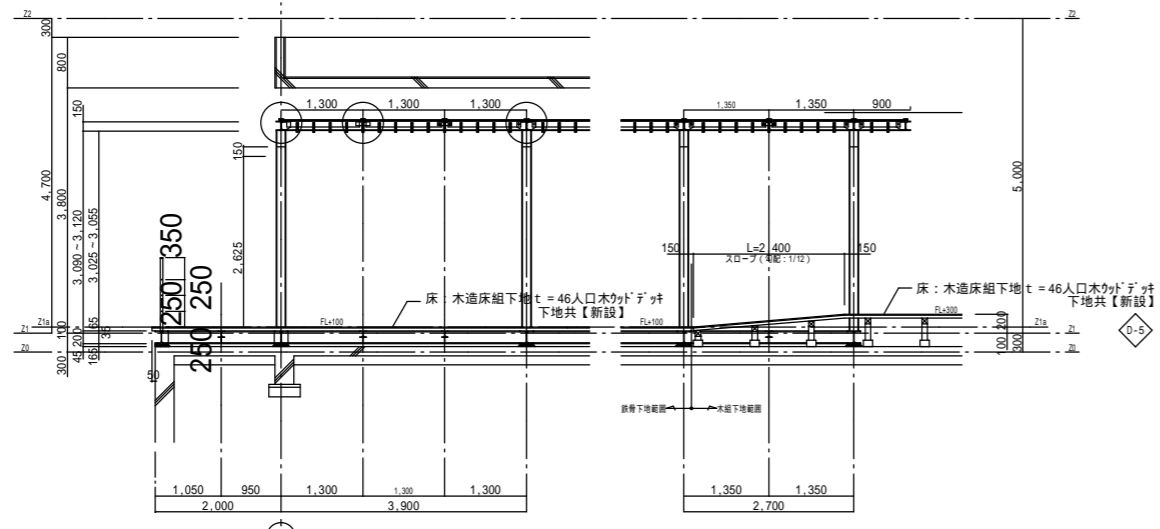
A棟C棟テラス 平面図(改修図) S=1/60



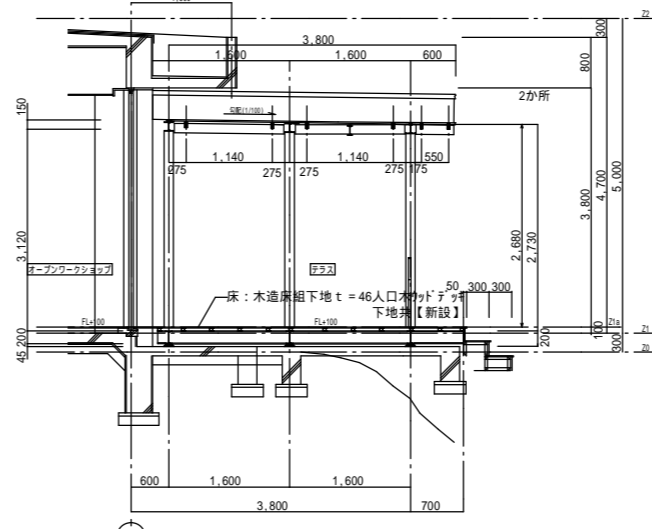
工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 【外構改修】B棟テラス 回廊詳細図1(改修図) 縮尺 A1: 1/60 A3: 1/120  
 沖縄科学技術大学院大学学園



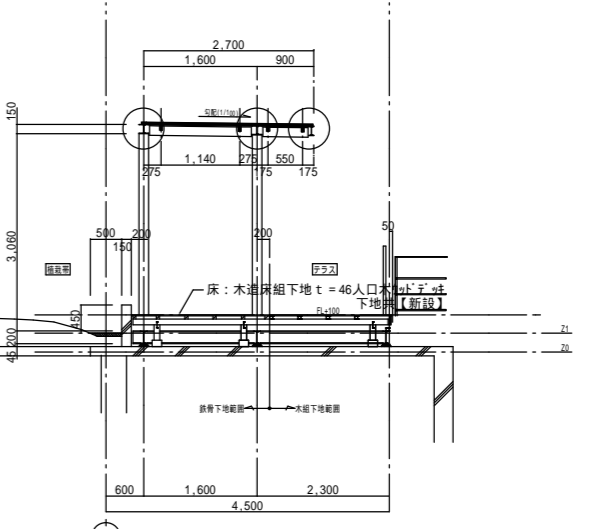
平面詳細図(パーゴラ部分 S=1/60) 注: 鋼材(上屋)は全て【撤去】とする。



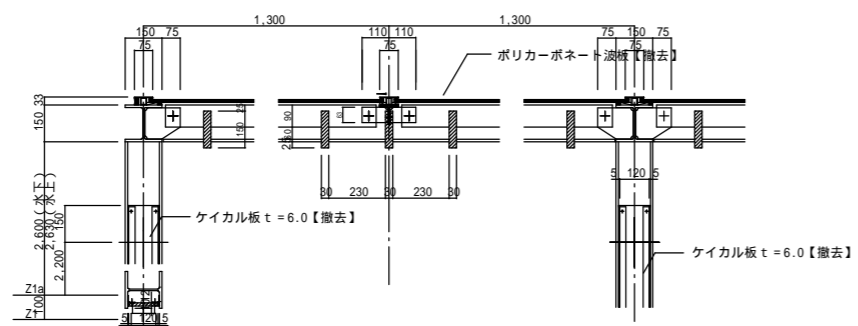
A - 断面詳細図 S=1/60 注: 鋼材(上屋)は全て【撤去】とする。



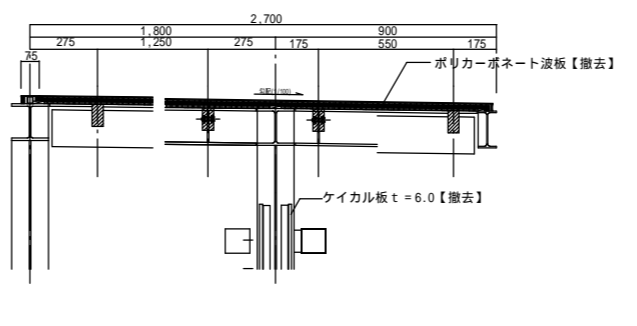
B - 断面詳細図 S=1/60 注: 鋼材(上屋)は全て【撤去】とする。



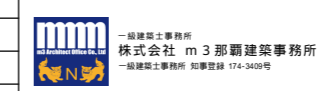
C - 断面詳細図 S=1/60 注: 鋼材(上屋)は全て【撤去】とする。



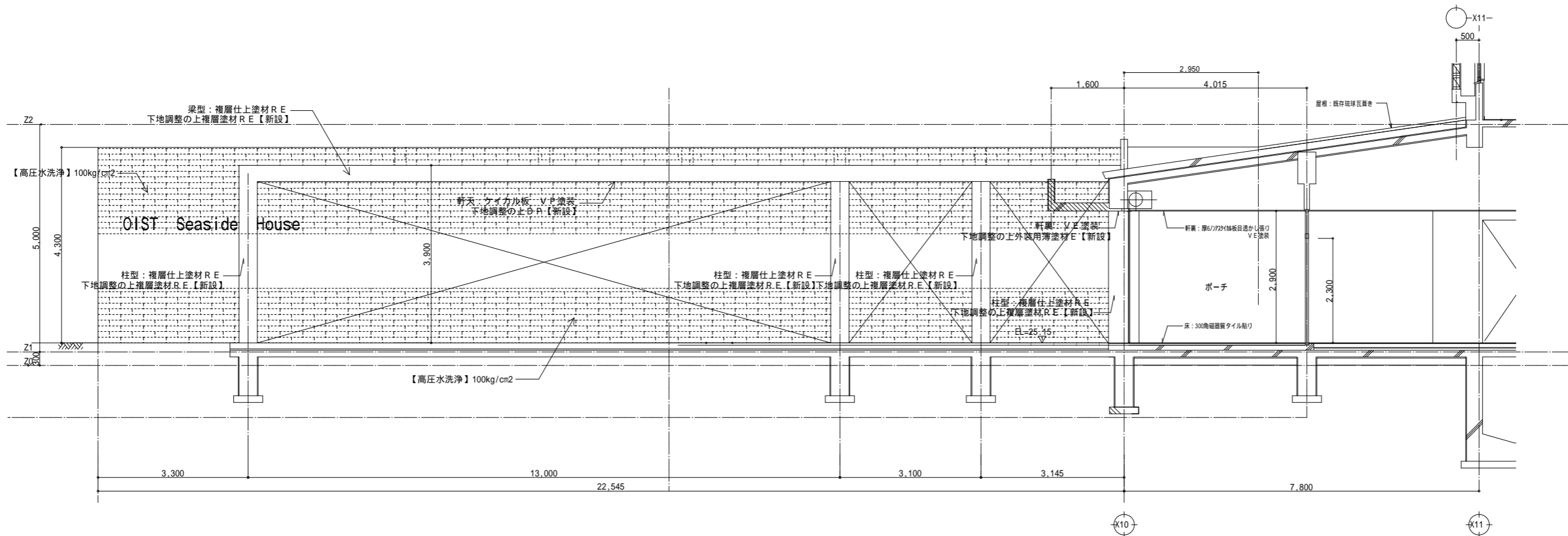
A - 部分詳細図 S=1/20 注: 鋼材(上屋)は全て【撤去】とする。



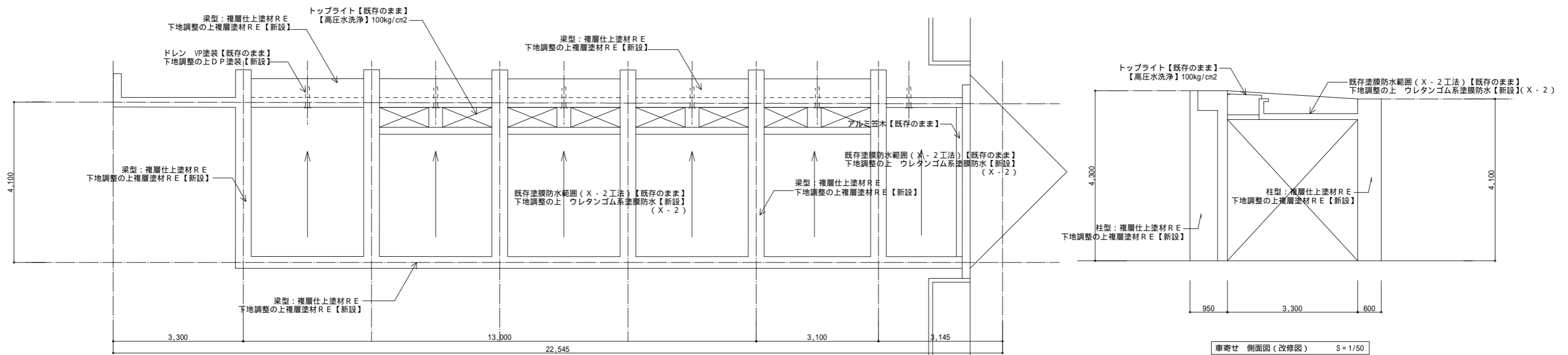
B - 部分詳細図 S=1/20 注: 鋼材(上屋)は全て【撤去】とする。



工事名 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事  
 図面名 【外構改修】B棟テラス 回廊詳細図2(改修図) 縮尺 A1: 1/60, 20 A3: 1/120, 40  
 沖縄科学技術大学院大学学園



車寄せ 正面図 (改修図) S = 1/50



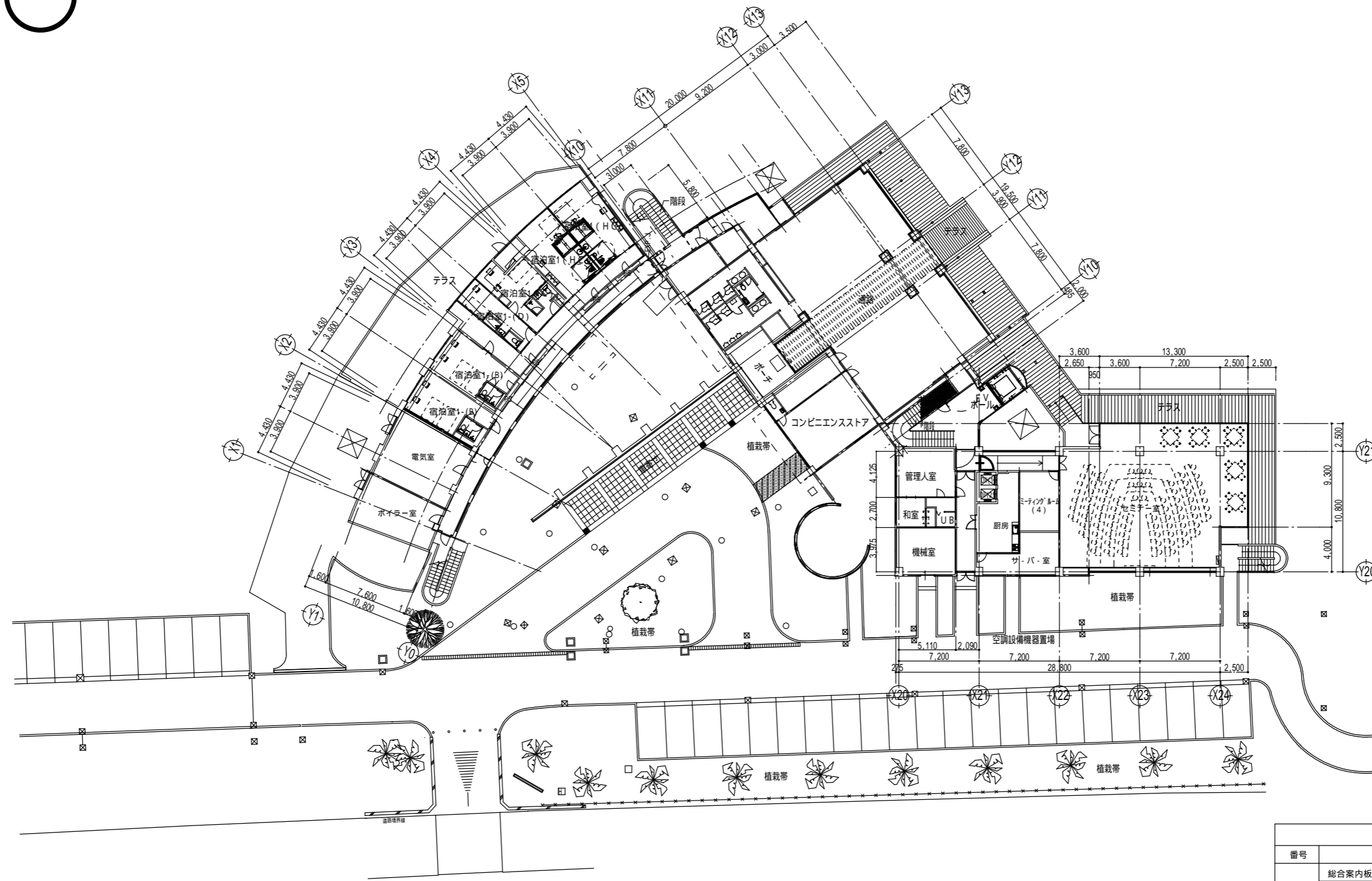
車寄せ 平面図 (改修図) S = 1/50

車寄せ 側面図 (改修図) S = 1/50



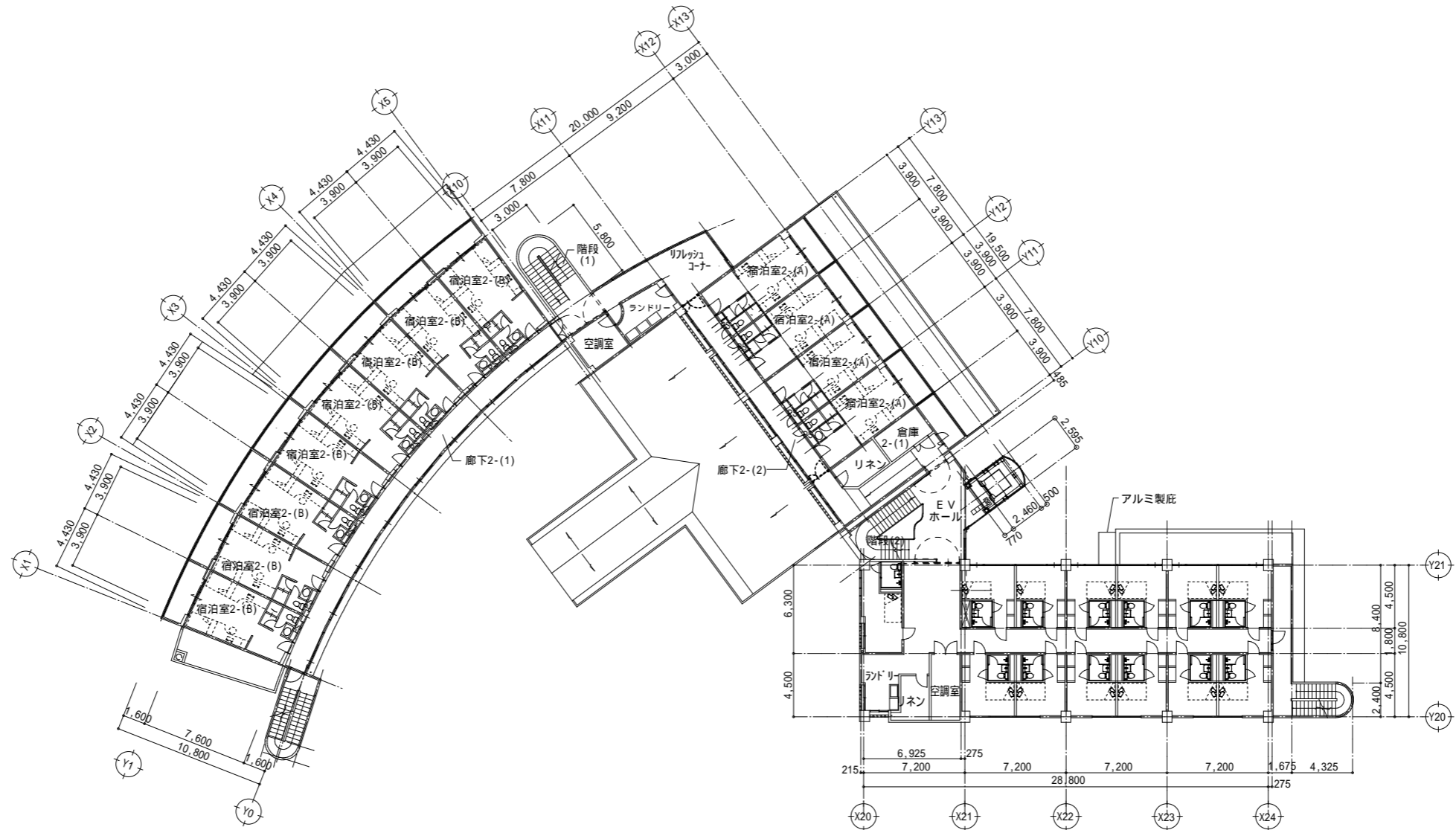
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3429号

工事名	沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事	94
図面名	【外構改修】車寄せ詳細図 (改修図) 縮尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	A-94
施工場所	沖縄科学技術大学院大学学園	



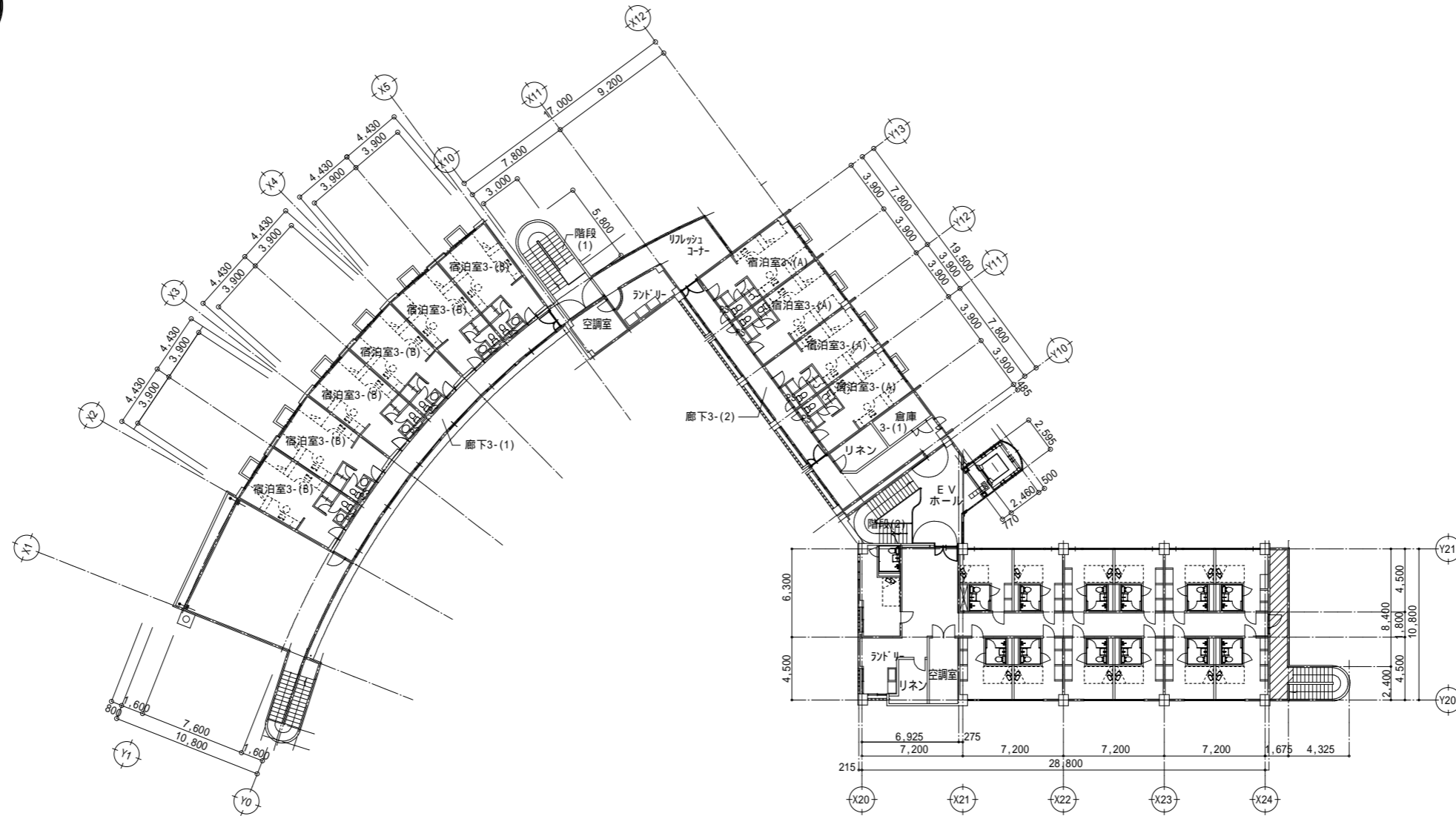
1階平面図 S = 1/200

サインリスト		
番号	仕様	個数
	総合案内板 8-42-1	
	亚克力板、シルク印刷 (900×600)	1
	案内板 8-42-3	
	亚克力板、シルク印刷 (300×600)	5
	室名札 8-43-3	
	亚克力板、シルク印刷 (300×600)	6



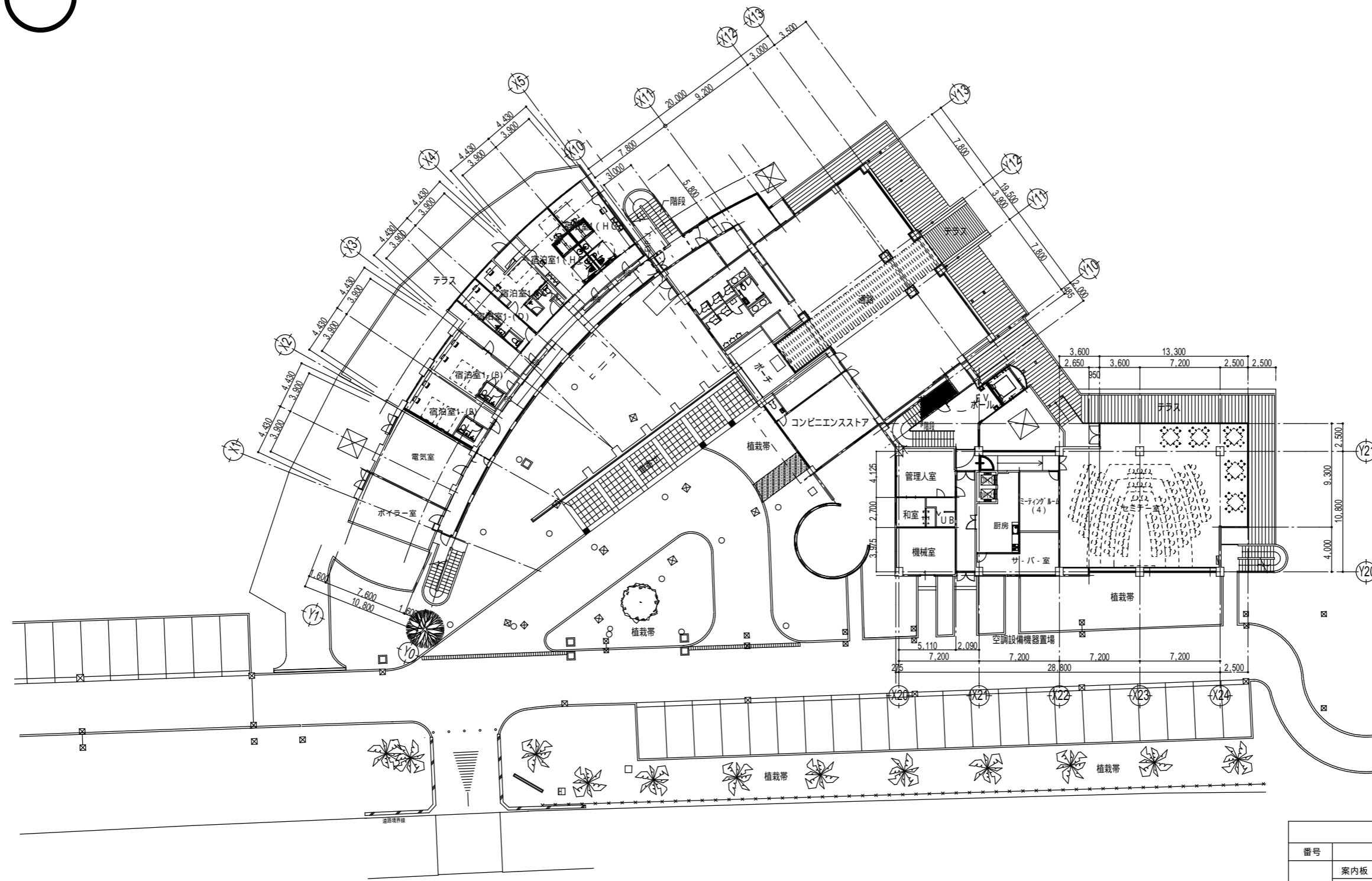
2階平面図 S = 1/200

サインリスト		
番号	仕様	個数
	案内板 8-42-3	4
	亚克力板、シルク印刷 (300 x 600)	
	室名札 8-43-3	15
	亚克力板、シルク印刷 (300 x 600)	



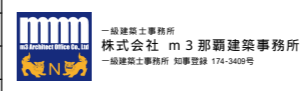
3階平面図 S = 1/200

サインリスト		
番号	仕様	個数
	案内板 8-42-3	4
	亚克力板、シルク印刷 (300×600)	
	室名札 8-43-3	15
	亚克力板、シルク印刷 (300×600)	



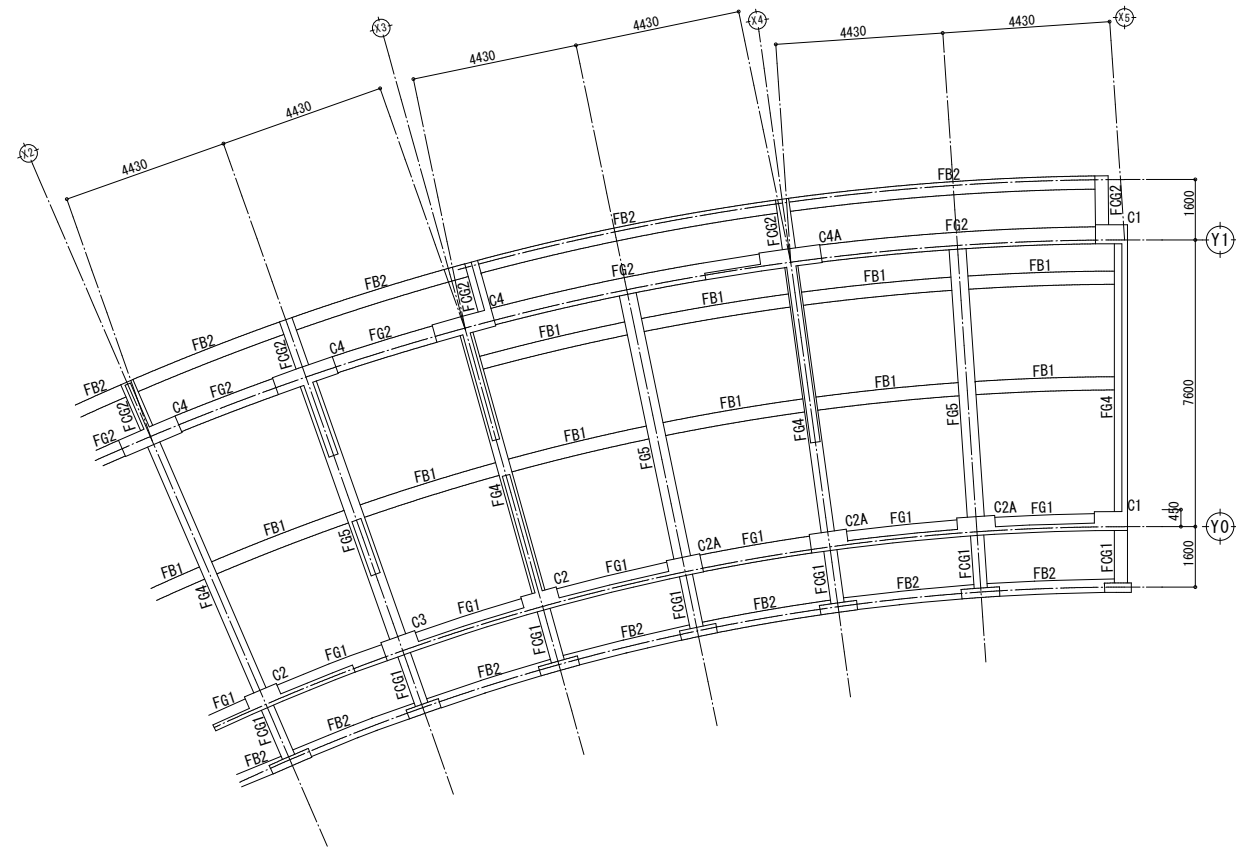
1階平面図 S = 1/200

サインリスト		
番号	仕様	個数
	案内板 8-42-3	2
	亚克力板、シルク印刷 (300×600)	

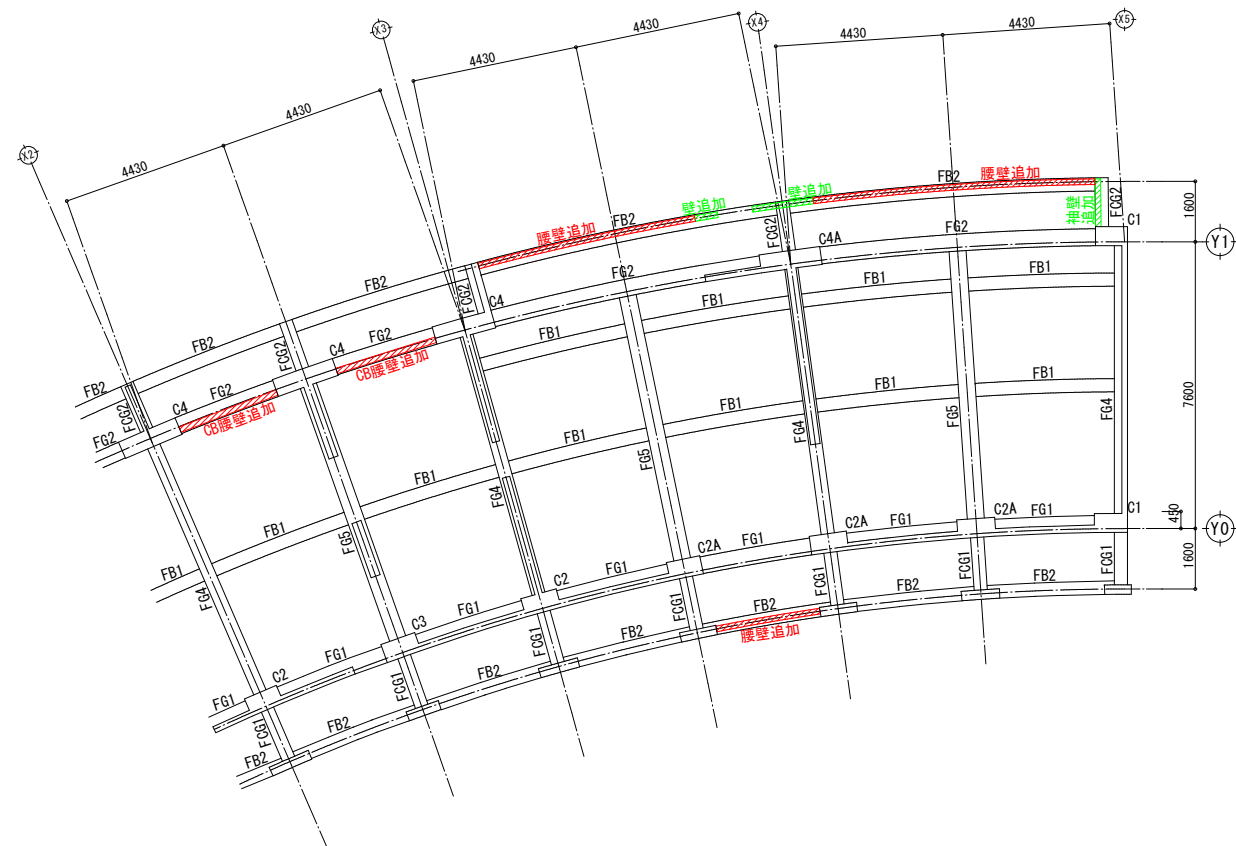


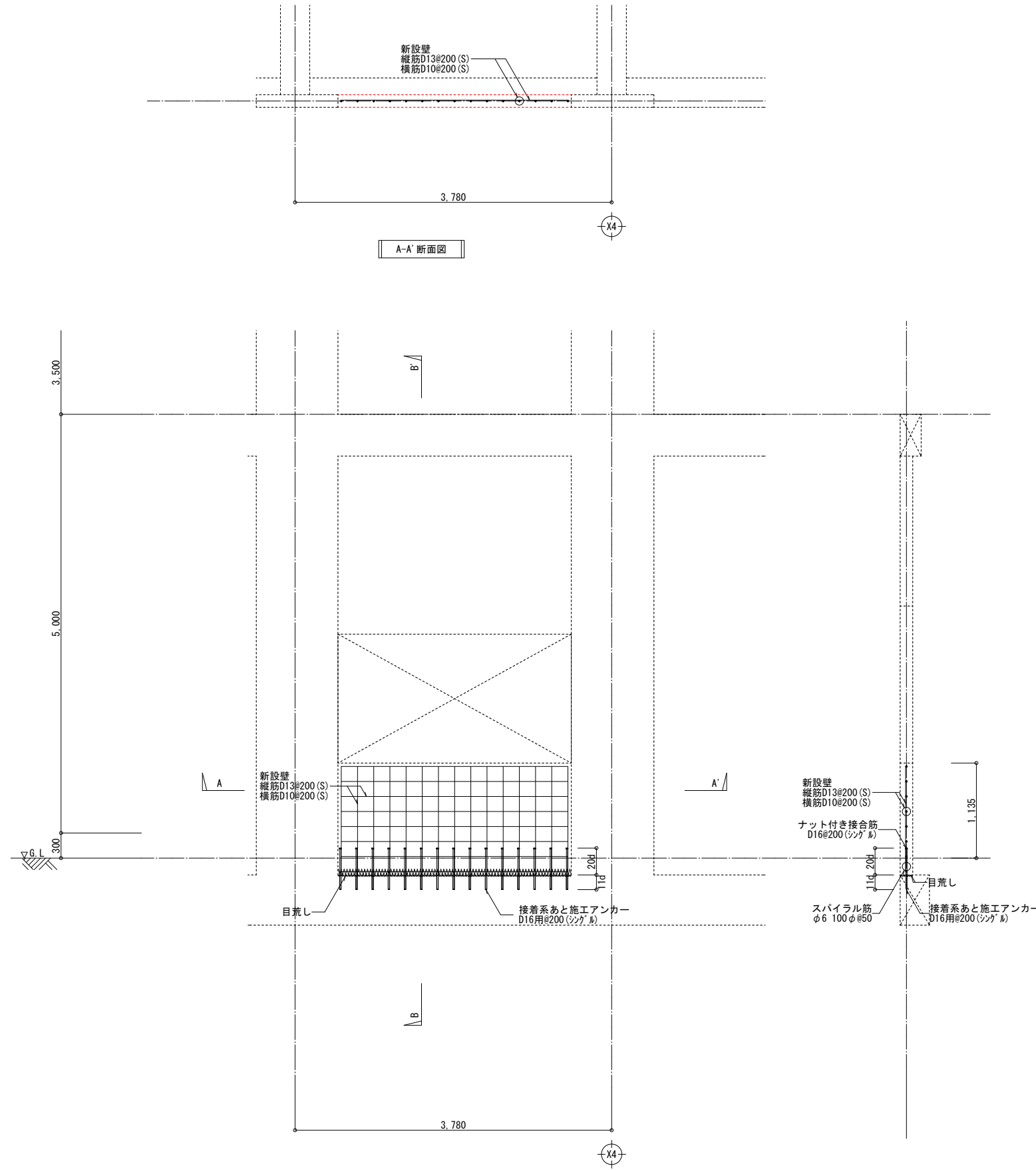
一般建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一般建築士事務所 知事登録 174-3409号

既存



改修





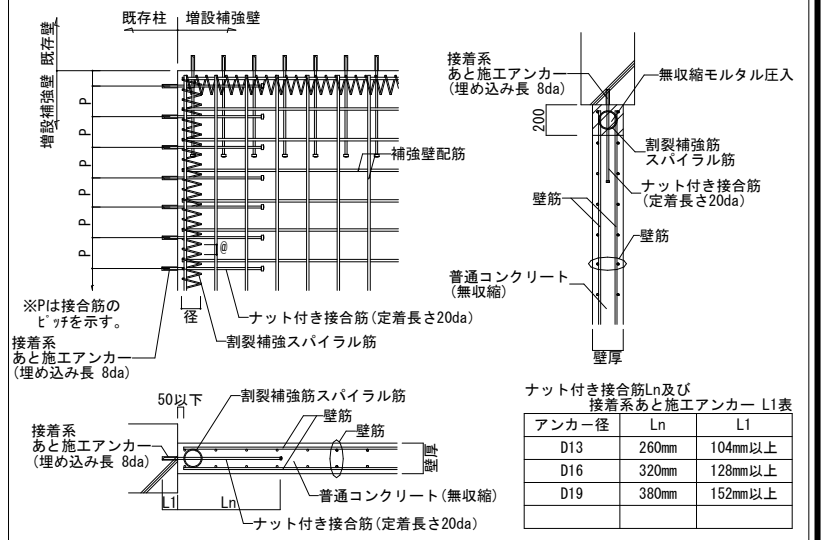
Y0-1,600通り増設壁詳細図(改修) 1/30

B-B' 断面図

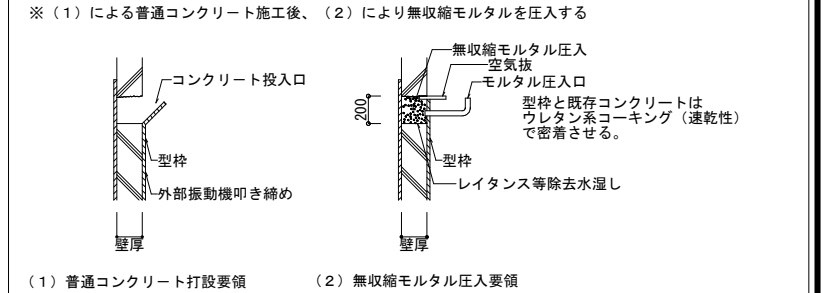
一般仕様 (鉄筋コンクリート補強)

- 特記なき構造詳細は(財)日本防災協会編「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説(2001年改訂版)」による。
- 使用鉄筋  
D6~D16:SD295A (JIS規格品)  
D19以上:SD345 (JIS規格品)
- 使用コンクリート設計基準強度  
 $F_c=24N/mm^2$  (普通コンクリート) スランプ:15cm
- (無収縮)モルタル設計基準強度  
 $F_m=30N/mm^2$  以上
- あと施工アンカー (接着系)アンカー  
本体:メーカーにより素材強度が補償されたもの
- 注意事項
  - スパイラル筋や壁配筋等の素材の加工に先立ち躯体寸法を実測し、これらの補強筋等を実状に合った寸法に加工する。
  - 増設部材と既存コンクリート躯体と接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。
  - コンクリート打設にはバイブレーターの使用、又はタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。
  - 後打コンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。
  - コンクリートの強度発現期間内には十分な湿潤状態を養生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。
  - グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。
  - 耐震補強架構増設後、防水層を一時撤去する場合は、架構増設後、防水性能を損なわない様、適切に防水処理を行うこと。

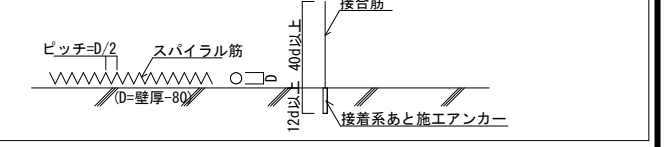
補強壁配筋納まり標準図



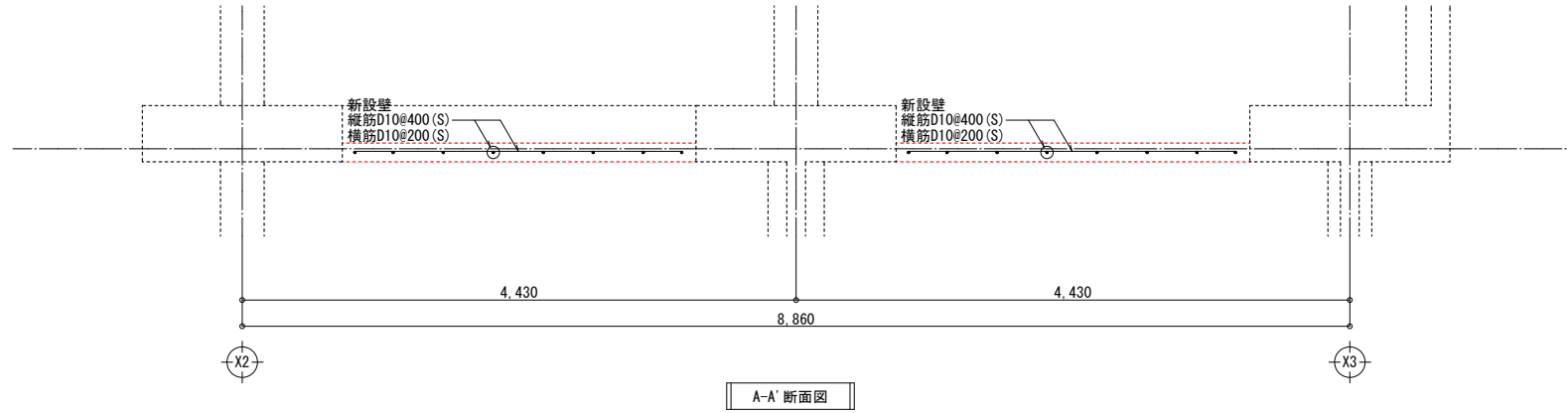
コンクリート及びモルタル圧入要領図



開口補強部

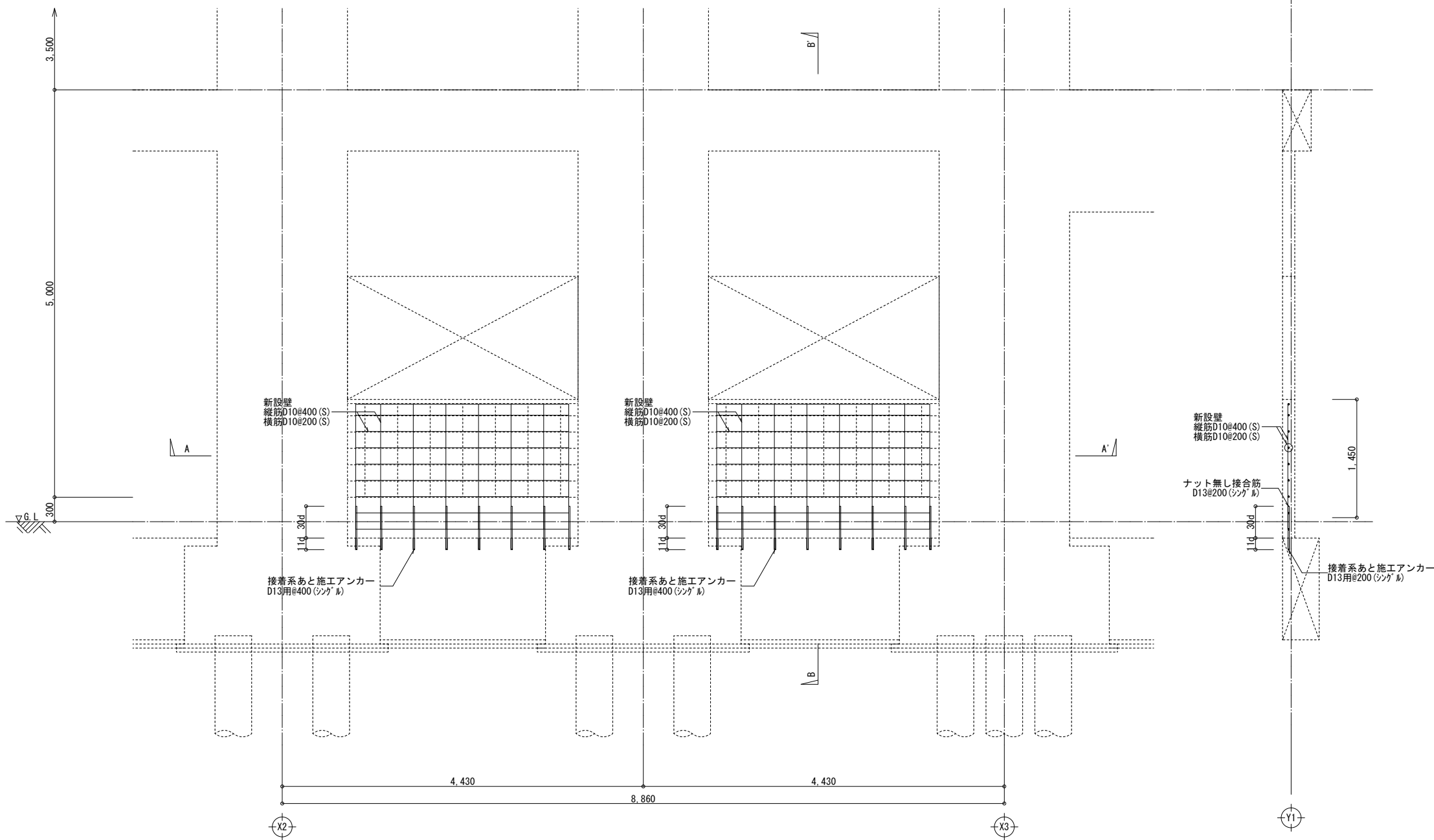


一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号



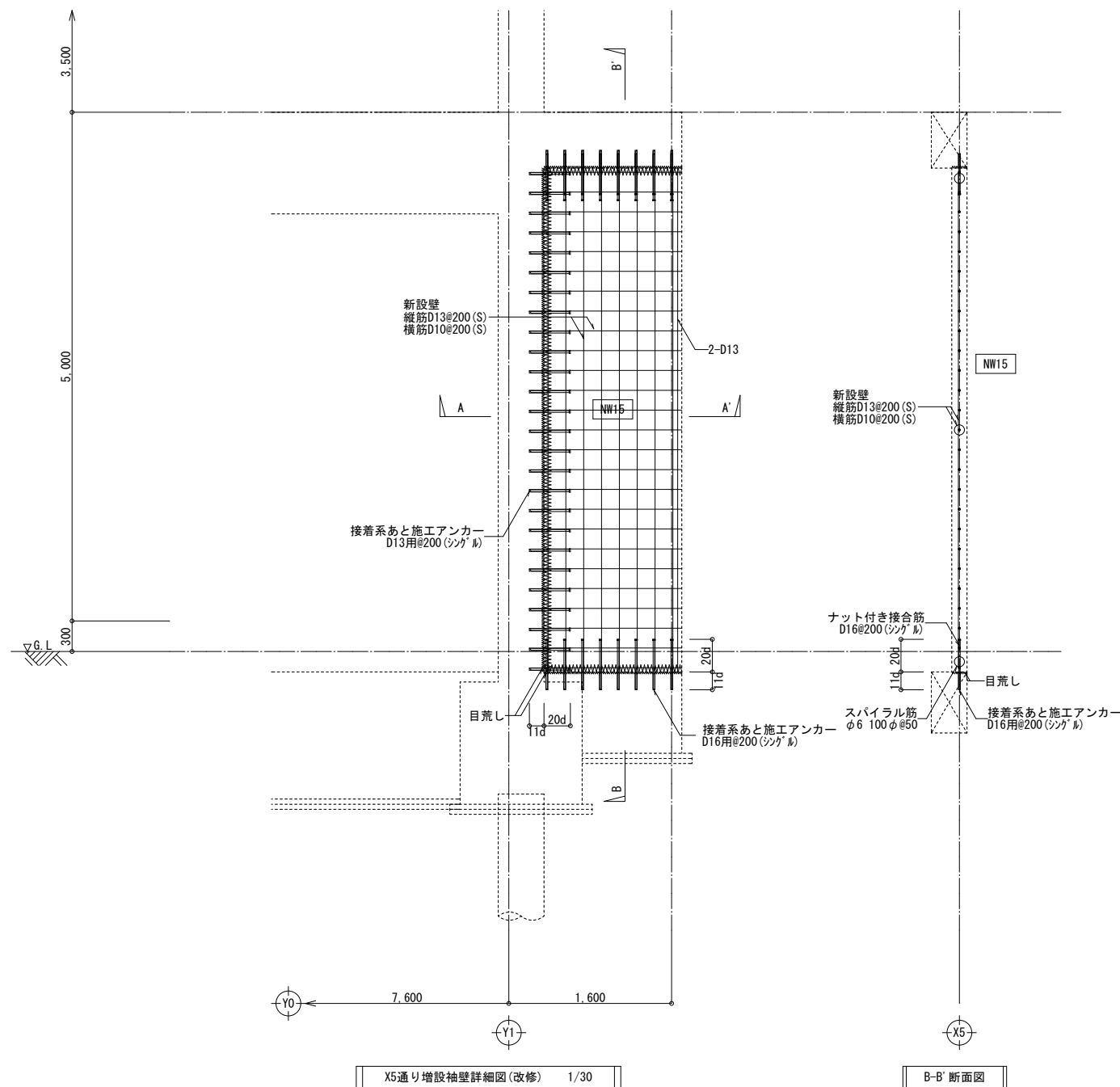
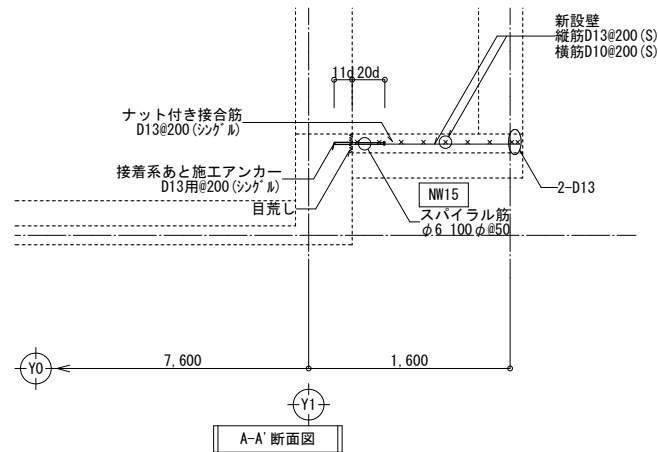
A-A' 断面図

- 一般仕様 (鉄筋コンクリート補強)
1. 特記なき構造詳細は (財) 日本防災協会編「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説・(2001年改訂版)」による。
  2. 使用鉄筋  
D6~D16 : SD295A (JIS規格品)  
D19以上 : SD345 (JIS規格品)
  3. (無収縮)モルタル設計基準強度  
 $F_m=30N/mm^2$ 以上
  4. あと施工アンカー (接着系) アンカー  
本体 : メーカーにより素材強度が補償されたもの
  5. 注意事項
    - 1) スパイラル筋や壁配筋等の素材の加工に先立ち躯体寸法を実測し、これらの補強筋等を実状に合った寸法に加工する。
    - 2) 増設部材と既存コンクリート躯体と接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。
    - 3) コンクリート打設にはバイブレーターの使用、又はタタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。
    - 4) 後打コンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。
    - 5) コンクリートの強度発現期間内は十分な湿潤状態で養生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。
    - 6) グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。
    - 7) 耐震補強架構増設後、防水層を一時撤去する場合は、架構増設後、防水性能を損なわない様、適切に防水処理を行うこと。



Y1通りコンクリートブロック壁増設詳細図 (改修) 1/30

B-B' 断面図



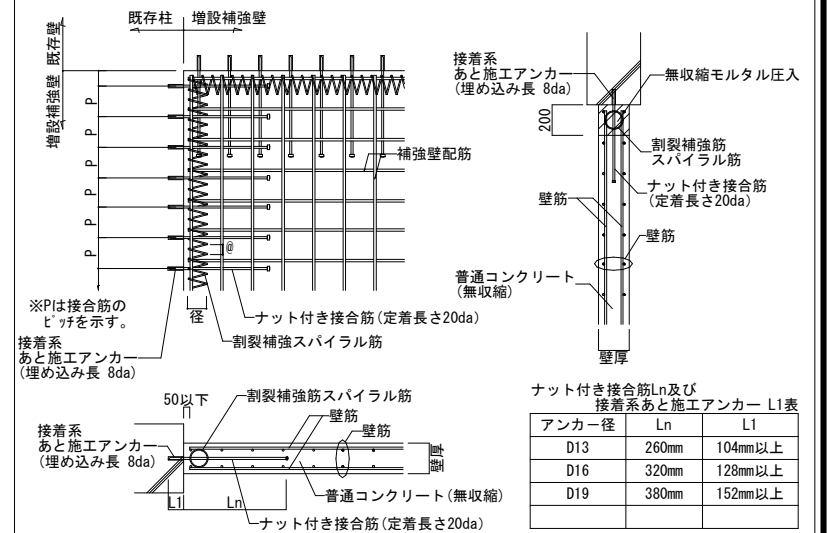
X5通り増設袖壁詳細図 (改修) 1/30

B-B' 断面図

一般仕様 (鉄筋コンクリート補強)

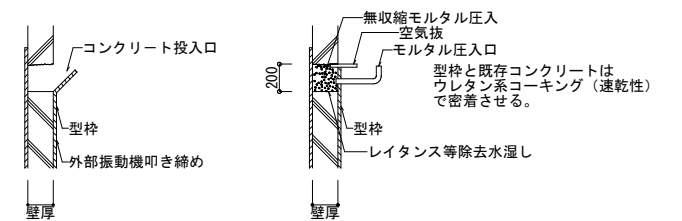
- 特記なき構造詳細は (財) 日本防災協会編「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針 同解説 (2001年改訂版)」による。
- 使用鉄筋  
D6~D16: SD295A (JIS規格品)  
D19以上: SD345 (JIS規格品)
- 使用コンクリート設計基準強度  
 $F_c=24\text{N/mm}^2$  (普通コンクリート) スランプ: 15cm
- (無収縮)モルタル設計基準強度  
 $F_m=30\text{N/mm}^2$  以上
- あと施工アンカー (接着系)アンカー  
本体: メーカーにより素材強度が補償されたもの
- 注意事項
  - スライラル筋や壁配筋等の素材の加工に先立ち躯体寸法を実測し、これらの補強筋等を実際に合った寸法に加工する。
  - 増設部材と既存コンクリート躯体と接合面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。
  - コンクリート打設にはバイブレーターの使用、又はタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。
  - 後打コンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。
  - コンクリートの強度発現期間内には十分な湿潤状態を養生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。
  - グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。
  - 耐震補強架構増設後、防水層を一時撤去する場合は、架構増設後、防水性能を損なわない様、適切に防水処理を行うこと。

補強壁配筋納まり標準図



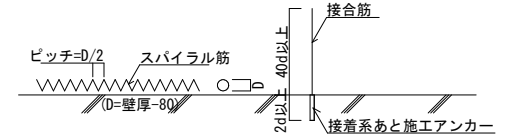
コンクリート及びモルタル圧入要領図

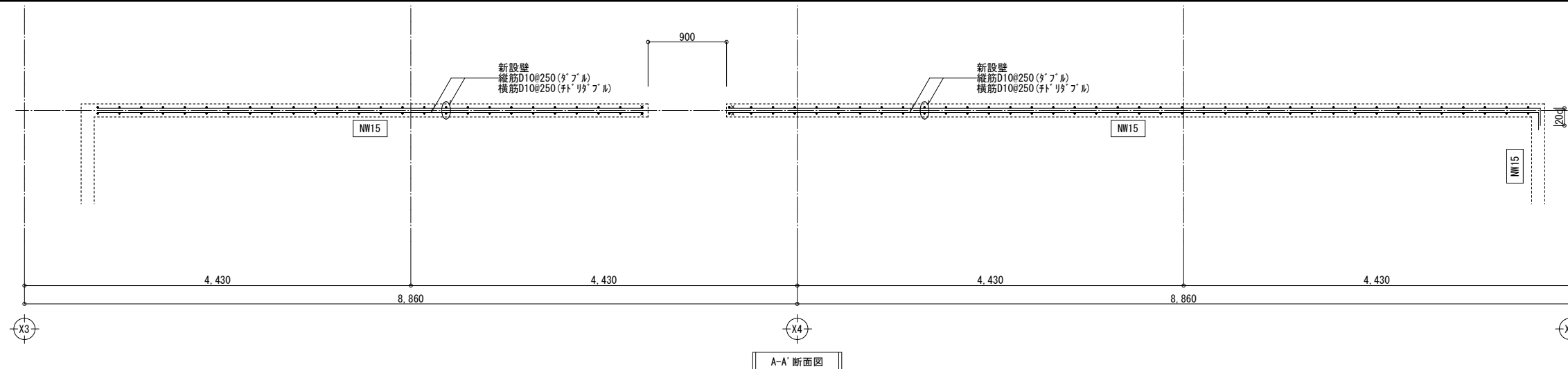
※ (1) による普通コンクリート施工後、(2) により無収縮モルタルを圧入する



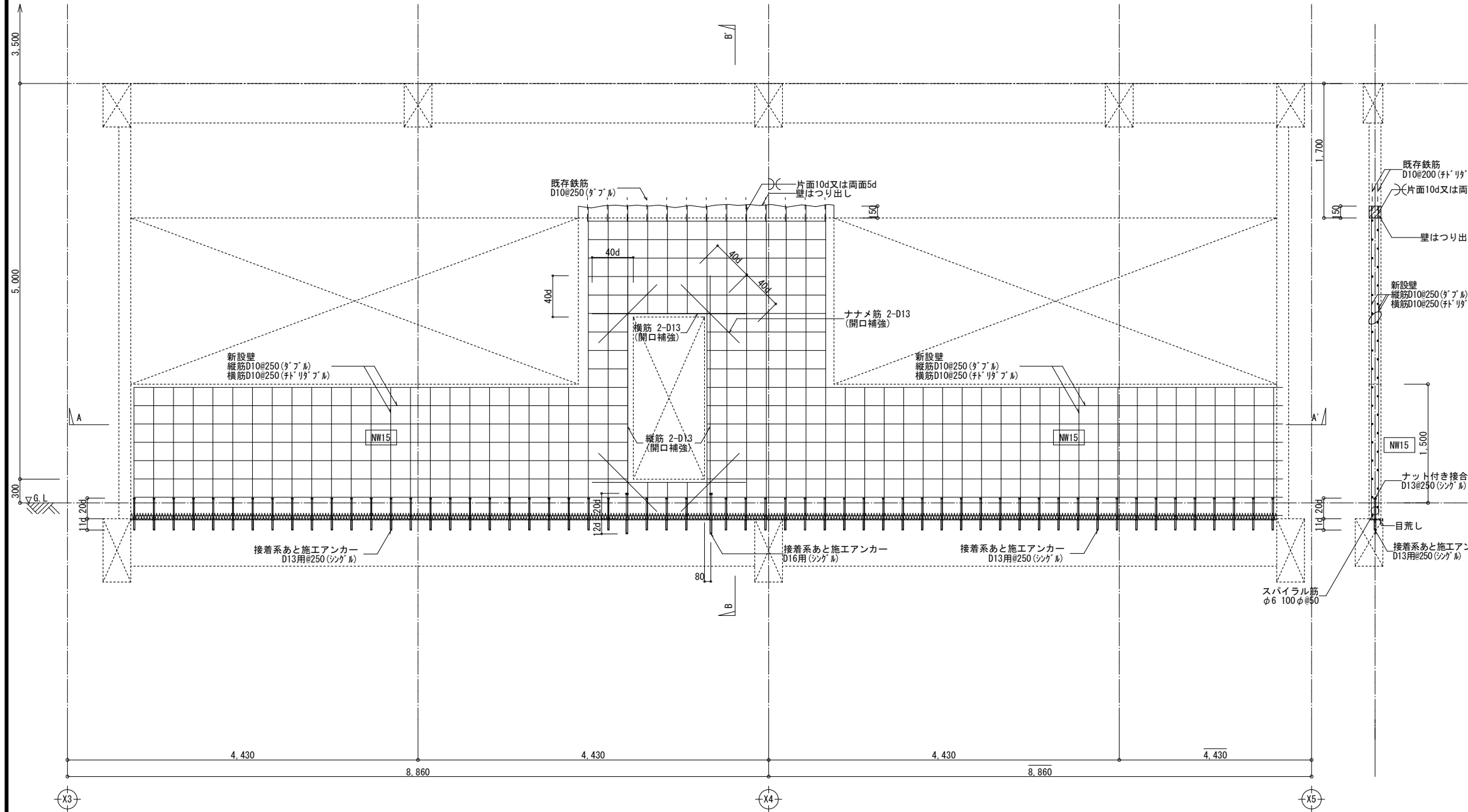
(1) 普通コンクリート打設要領 (2) 無収縮モルタル圧入要領

開口補強部





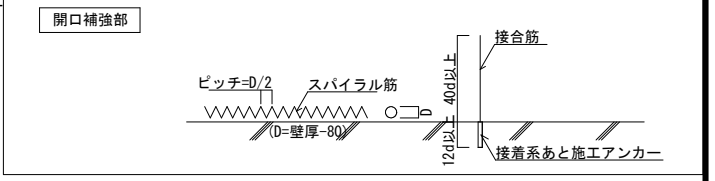
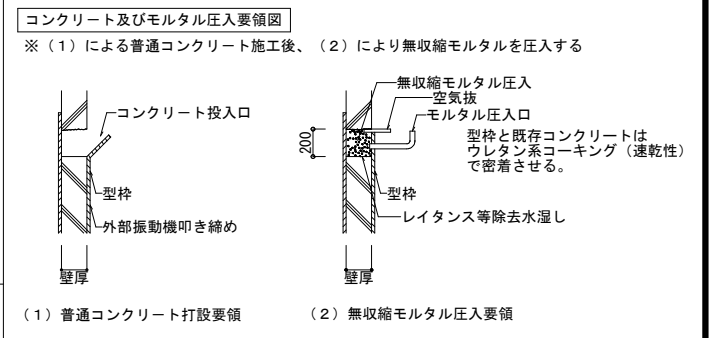
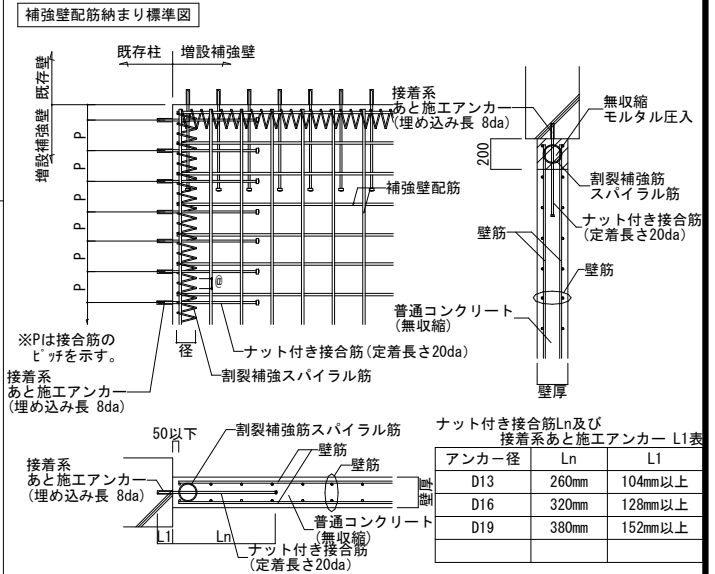
A-A' 断面図



Y1+1,600通り増設壁詳細図(改修) 1/30

B-B' 断面図

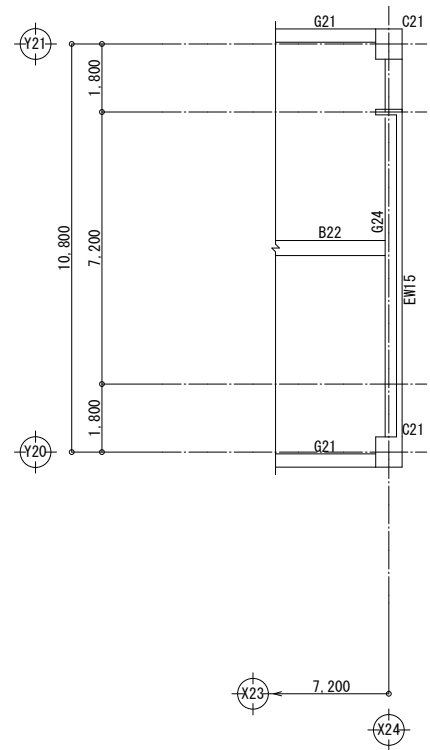
- 一般仕様 (鉄筋コンクリート補強)
- 特記なき構造詳細は (財) 日本防災協会編「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説・(2001年改訂版)」による。
  - 使用鉄筋  
D6~D16: SD295A (JIS規格品)  
D19以上: SD345 (JIS規格品)
  - 使用コンクリート設計基準強度  
 $F_c=24N/mm^2$  (普通コンクリート) スラブ: 15cm
  - (無収縮) モルタル設計基準強度  
 $F_m=30N/mm^2$  以上
  - あと施工アンカー (接着系) アンカー  
本体: メーカーにより素材強度が補償されたもの
  - 注意事項
    - スパイラル筋や壁配筋等の素材の加工に先立ち躯体寸法を測定し、これらの補強筋等を実状に合った寸法に加工する。
    - 増設部材と既存コンクリート躯体と接触面については既存コンクリート躯体面を目荒しとし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。
    - コンクリート打設にはバイブレーターの使用、又はタタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。
    - 後打コンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。
    - コンクリートの強度発現期間内には十分な湿潤状態で養生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。
    - グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。
    - 耐震補強架増設後、防水層を一時撤去する場合は、架増設後、防水性能を損なわない様、適切に防水処理を行うこと。



一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

2階柱壁・3階梁床伏図 (既存) S=1/100

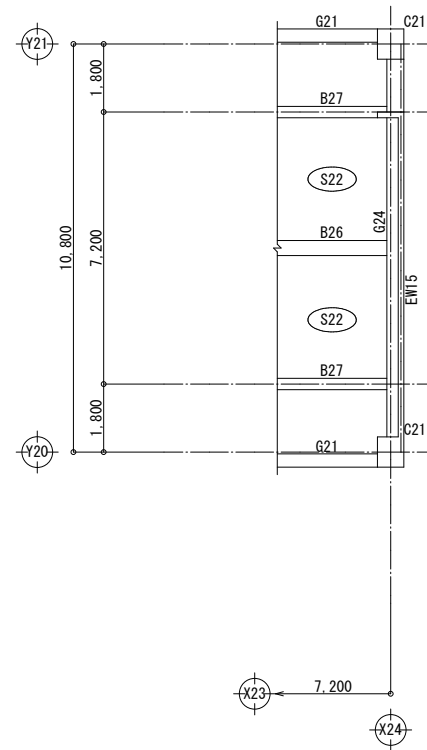
既存



2階柱壁3階梁床伏図 (既存)

3階柱壁・R階梁床伏図 (既存) S=1/100

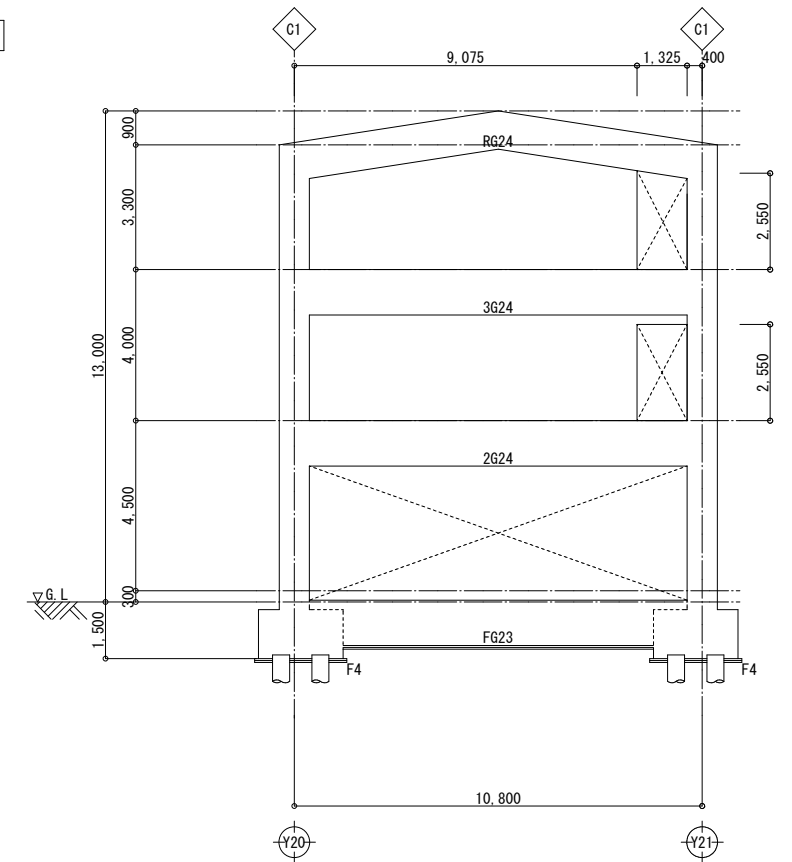
既存



3階柱壁R階梁床伏図 (既存)

X24通軸組図 (既存) S=1/100

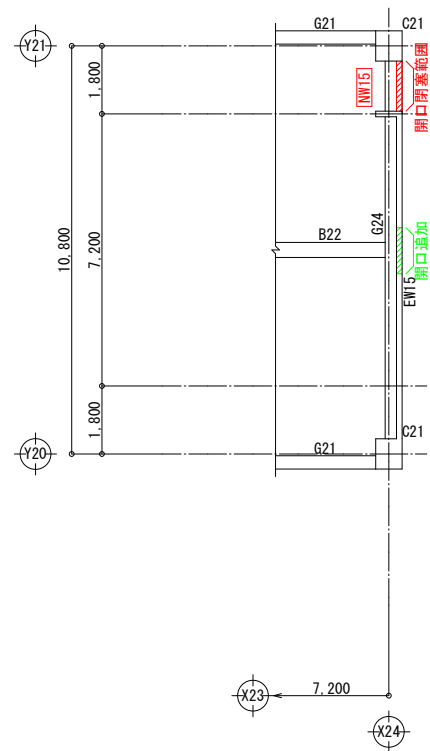
既存



X24通軸組図 (既存)

2階柱壁・3階梁床伏図 (改修) S=1/100

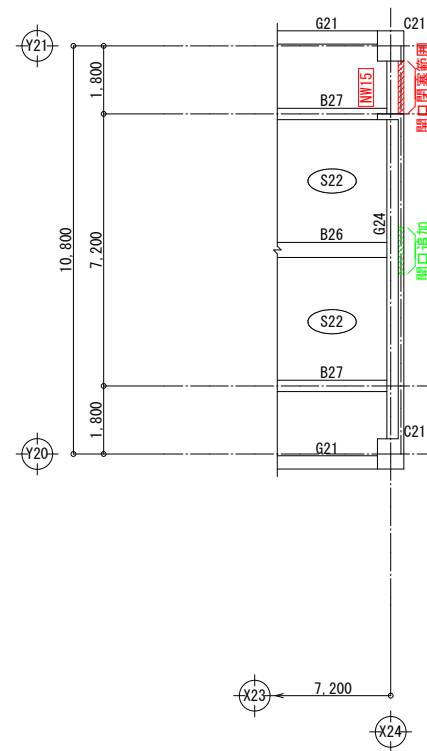
改修



2階柱壁3階梁床伏図 (既存)

3階柱壁・R階梁床伏図 (改修) S=1/100

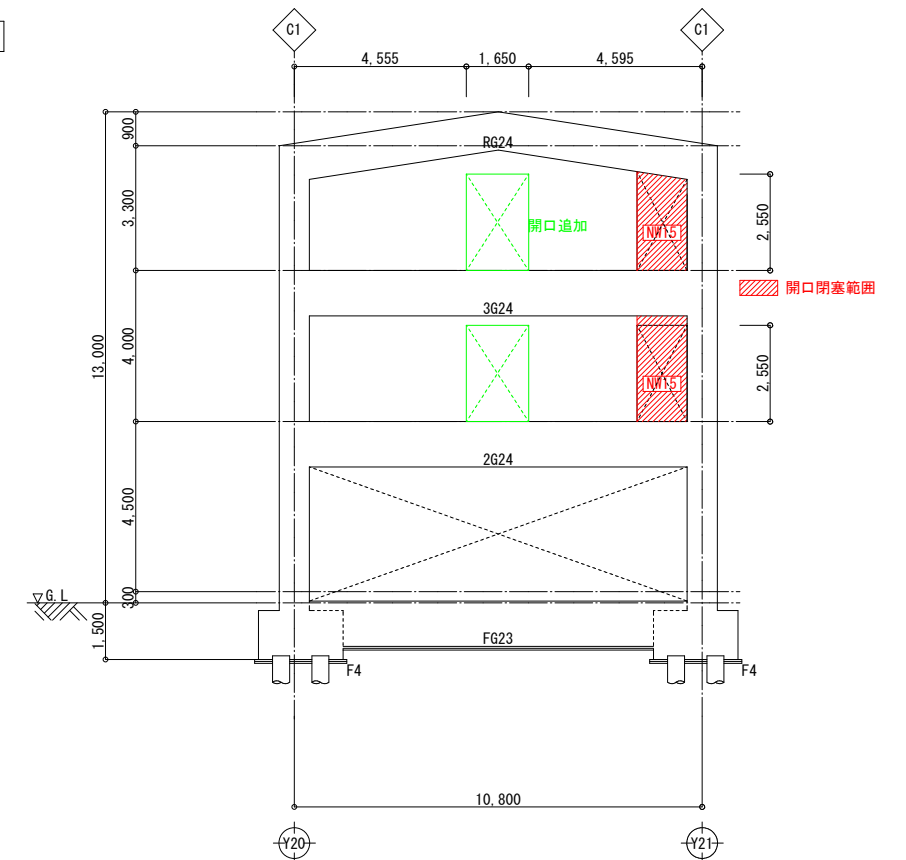
改修



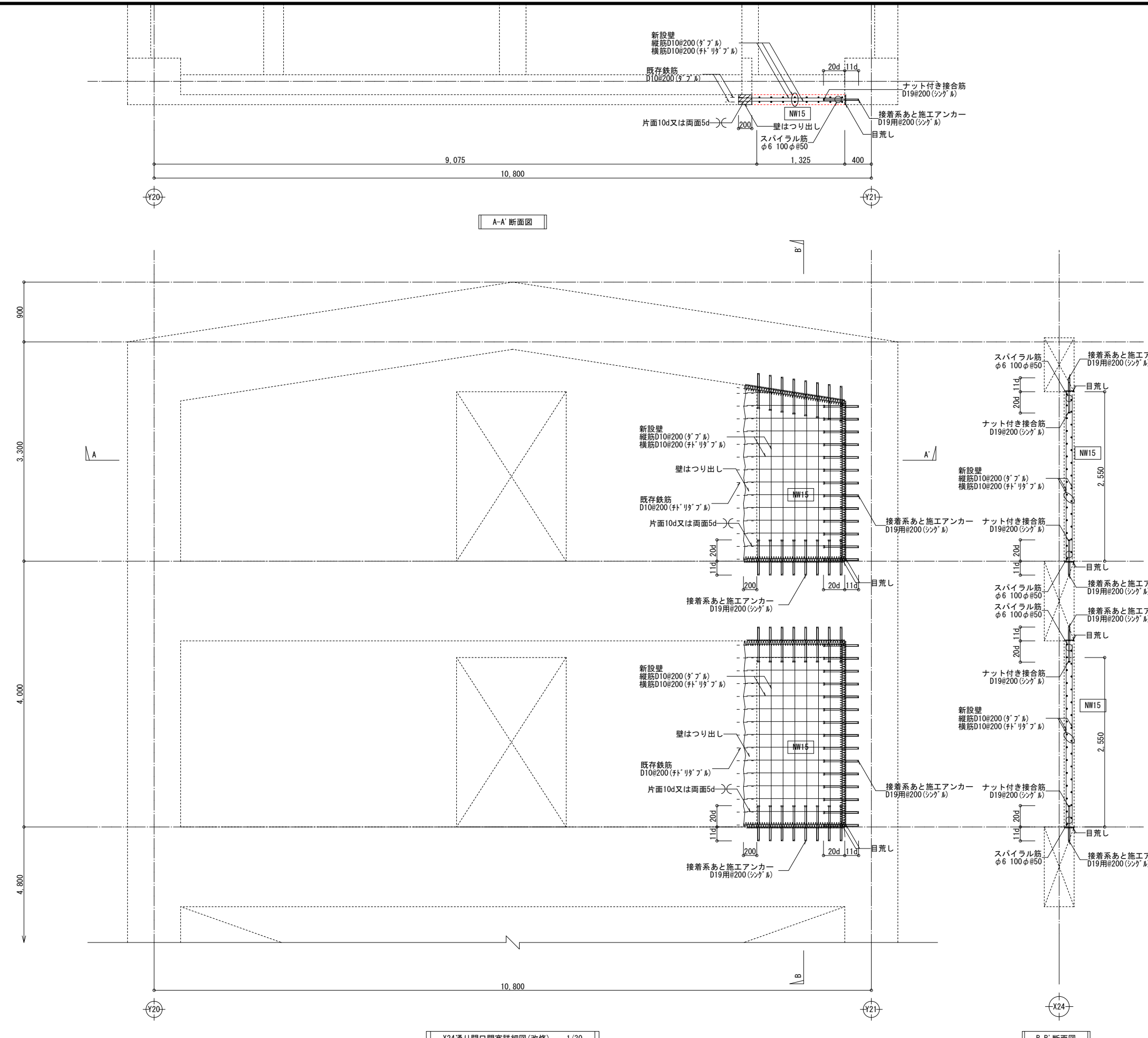
3階柱壁R階梁床伏図 (改修)

X24通軸組図 (改修) S=1/100

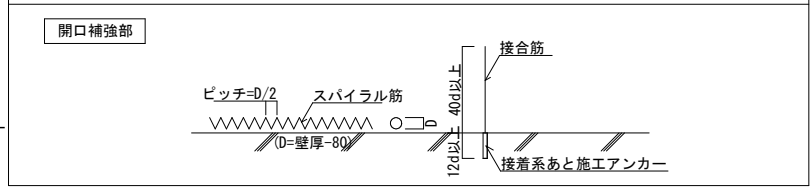
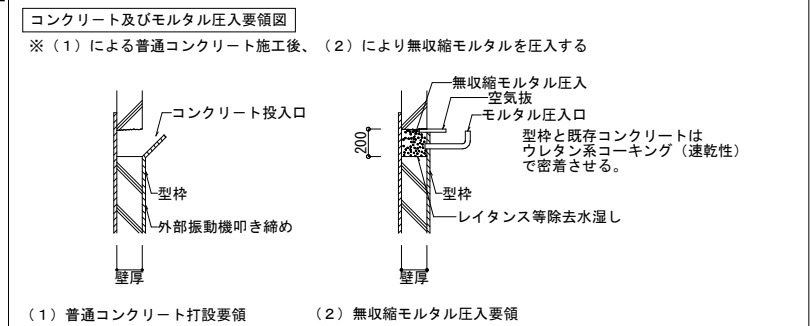
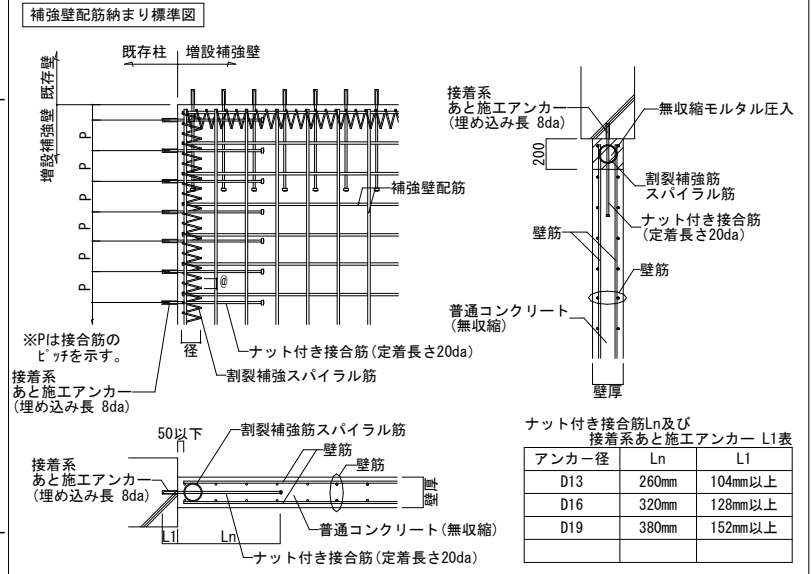
改修



X24通軸組図 (改修)



- 一般仕様 (鉄筋コンクリート補強)
- 特記なき構造詳細は(財)日本防災協会編「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説(2001年改訂版)」による。
  - 使用鉄筋  
D6~D16: SD295A (JIS規格品)  
D19以上: SD345 (JIS規格品)
  - 使用コンクリート設計基準強度  
 $F_c=24\text{N/mm}^2$  (普通コンクリート) スランプ: 15cm
  - (無収縮)モルタル設計基準強度  
 $F_m=30\text{N/mm}^2$  以上
  - あと施工アンカー (接着系)アンカー  
本体: メーカーにより素材強度が補償されたもの
  - 注意事項
    - スパイラル筋や壁配筋等の素材の加工に先立ち躯体寸法を実測し、これらの補強筋等を実状に合った寸法に加工する。
    - 増設部材と既存コンクリート躯体と接触面については既存コンクリート躯体面を目標とし、コンクリート打設前に十分な水湿しを行う。
    - コンクリート打設にはバイブレーターの使用、又はタキにより密実なコンクリートとなるように十分な施工計画を立てる。
    - 後打コンクリートは無収縮コンクリートとして計画施工する。
    - コンクリートの強度発現期間内には十分な湿潤状態を養生する。また養生期間中は振動等を与えないように注意する。
    - グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。
    - 耐震補強架構増設後、防水層を一時撤去する場合は、架構増設後、防水性能を損なわない様、適切に防水処理を行うこと。



X24通り開口閉塞詳細図(改修) 1/30

B-B'断面図



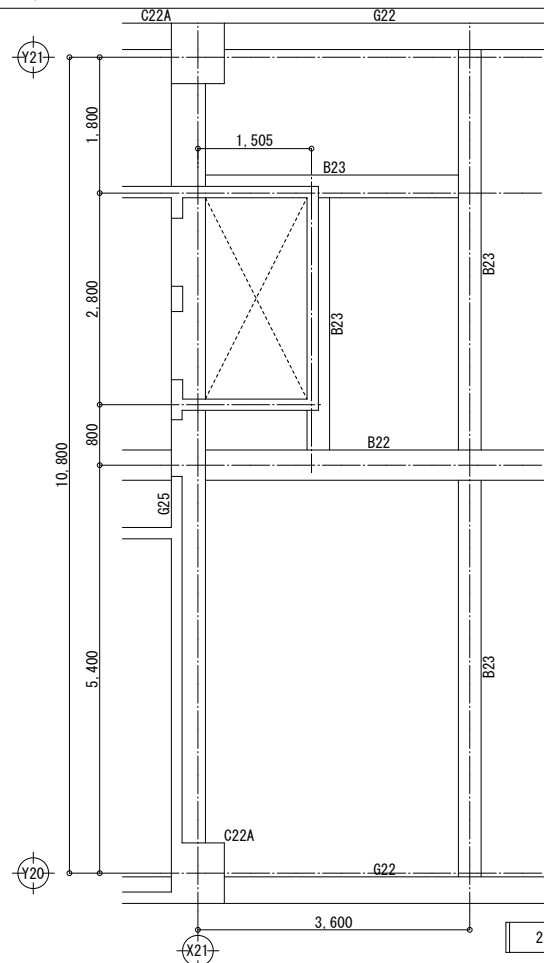
一級建築士事務所  
株式会社 m3 那覇建築事務所  
一級建築士事務所 知事登録 174-3409号





2階柱壁・3階梁床伏図 (既存) S=1/50

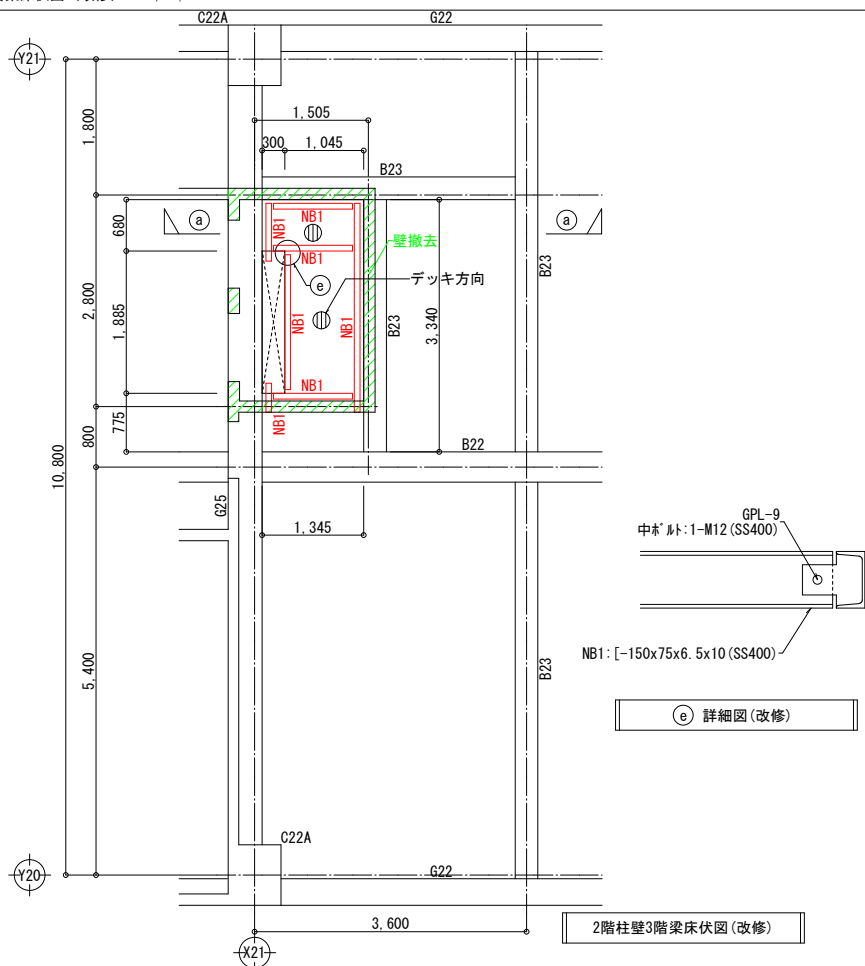
既存



2階柱壁3階梁床伏図 (既存)

2階柱壁・3階梁床伏図 (改修) S=1/10.50

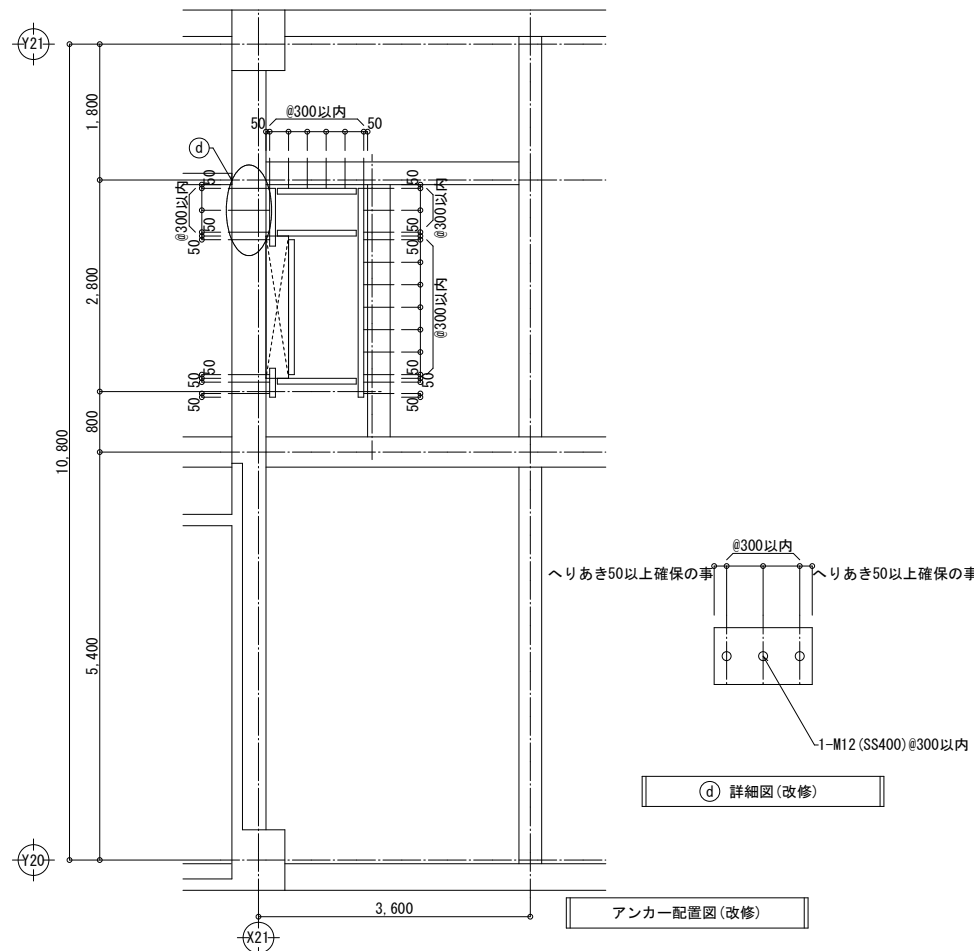
改修



2階柱壁3階梁床伏図 (改修)

⑤ 詳細図 (改修)

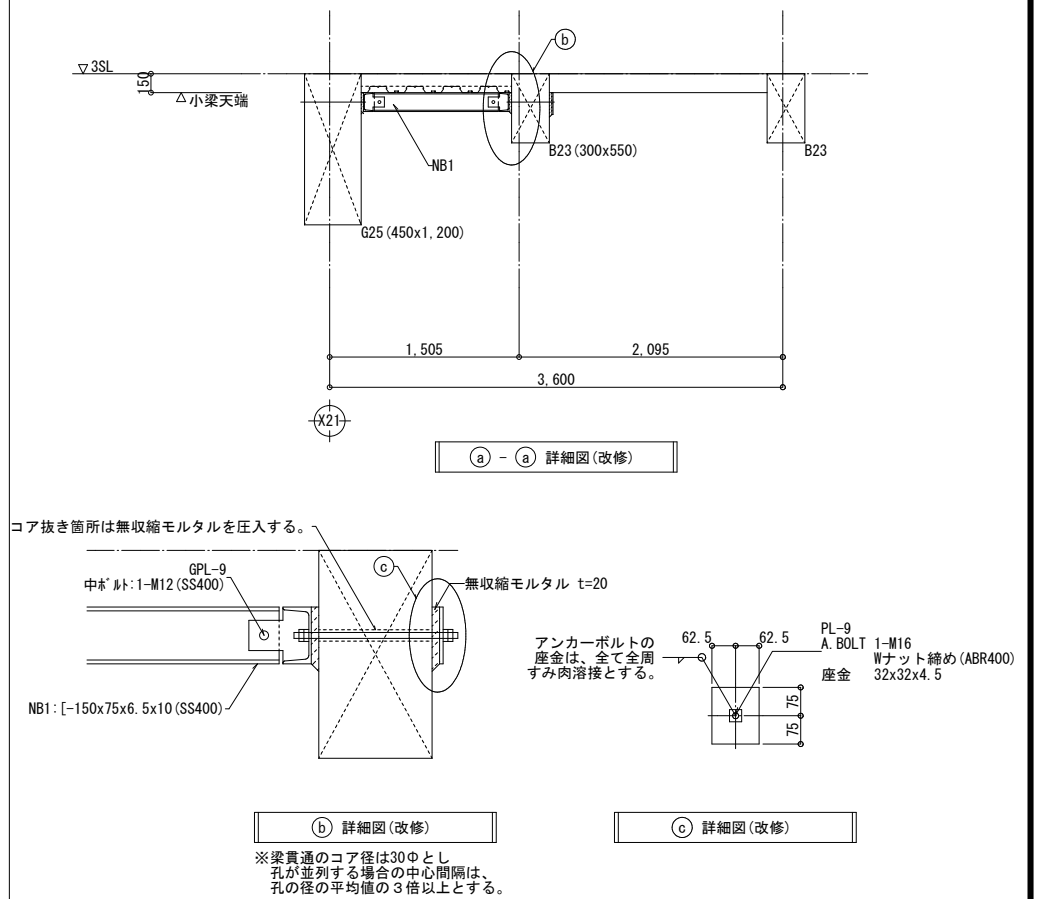
アンカー配置図 (改修) S=1/30.50



アンカー配置図 (改修)

④ 詳細図 (改修)

部分詳細図 (改修) S=1/10.30

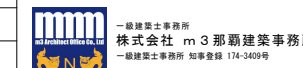


① - ② 詳細図 (改修)

② 詳細図 (改修)

③ 詳細図 (改修)

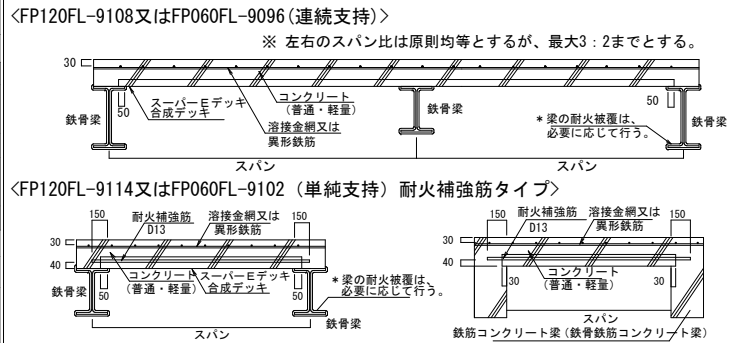
※ (無収縮) モルタル設計基準強度:  $F_m=21N/mm^2$  以上  
 ※ グラウトモルタル用材料には財団法人 日本建築防災協会発行「既存鉄筋コンクリート建築物の耐震改修設計指針同解説」の4.2.(2)に規定された材料を用い、4.7.(4)の規定により施工すること。



沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修事業設計その他業務  
 C棟 2.3階スラブ開口閉塞 (既存・改修) A1:1/10.30, 50 A3:1/20.60, 100  
 一級建築士事務所 株式会社 m3 那覇建築事務所  
 一級建築士事務所 知事登録 174-3409号

1. 設計

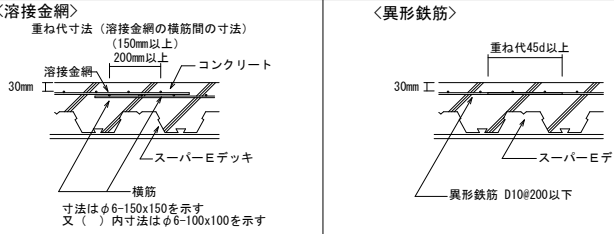
Table with columns for Deck Plate, Concrete, Welding Mesh, and Super E Deck System. Includes specifications for thickness, surface treatment, and material types.



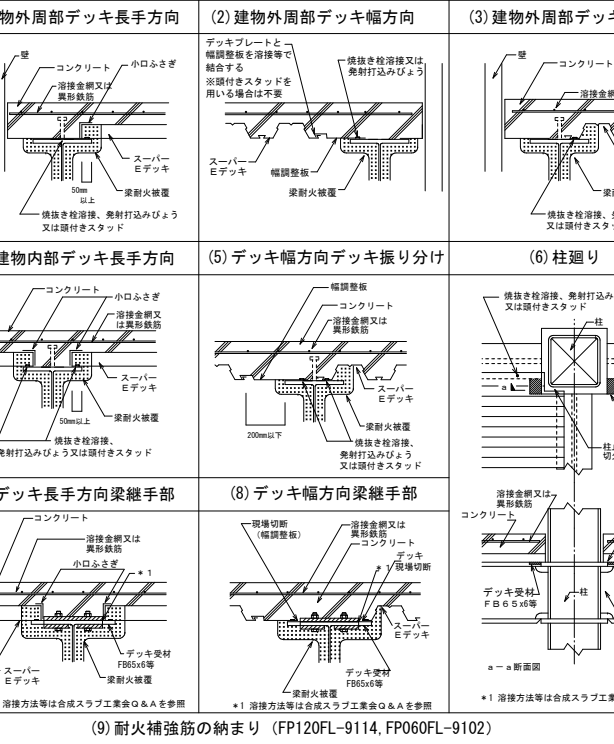
3. 施工

- 1. 割付け計画
2. 搬入・保管・揚重・仮置・墨出し
3. 敷込み・仮止め
4. デッキプレートと梁との接合
5. 小口ふさぎ・コンクリート止め
6. 開口部補強
7. 溶接金網又は異形鉄筋
8. コンクリート打設
9. 養生

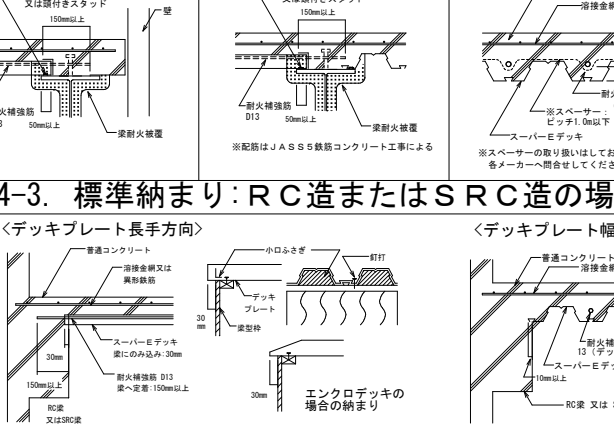
4-1. 溶接金網又は異形鉄筋の納り(共通)



4-2. 標準納まり:S造(鉄骨造)の場合



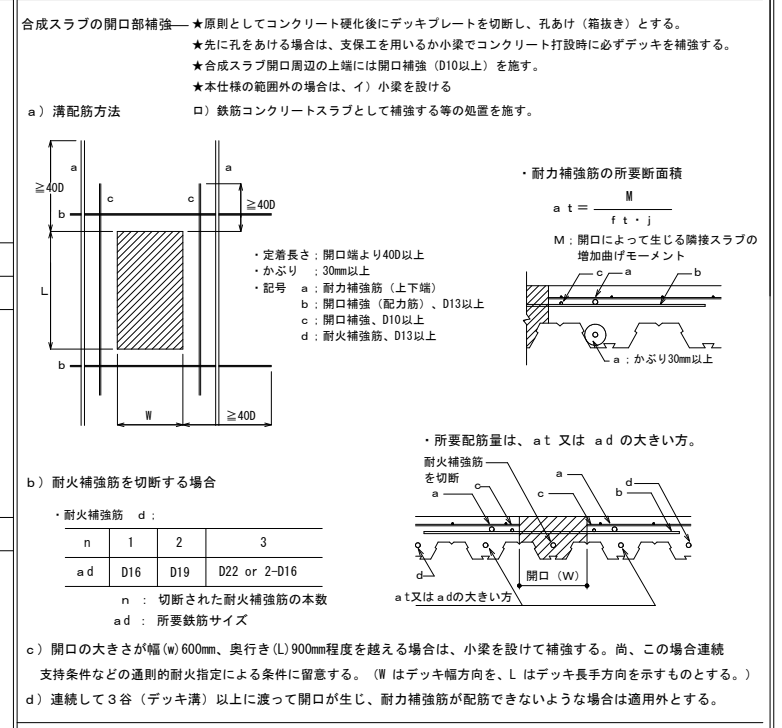
4-3. 標準納まり:RC造またはSRC造の場合



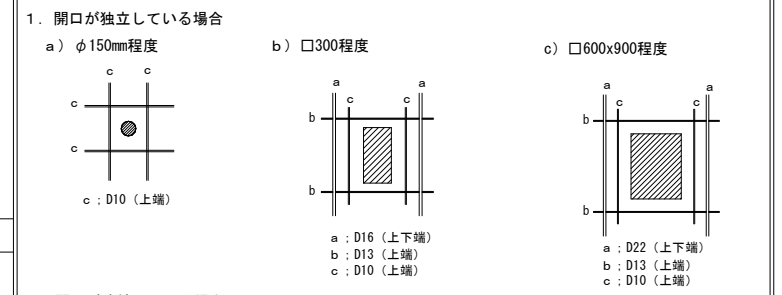
5. ひび割れ拡大防止のための留意点(参考)

- (A) 設計上の留意点
1. 小梁の剛性を大きくする。
2. ひびわれ拡大防止のため補強筋を設ける。
3. スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。
(B) 施工上の留意点
1. デッキプレートは各溝で梁に接合する。
2. 溶接金網は、所定の位置に配する。
3. 水セメント比の小さいコンクリートを用いる。
4. コンクリート打設後初期には保湿養生を行い、充分な養生期間を設ける。
5. 早期に載荷したり、振動を与えない。

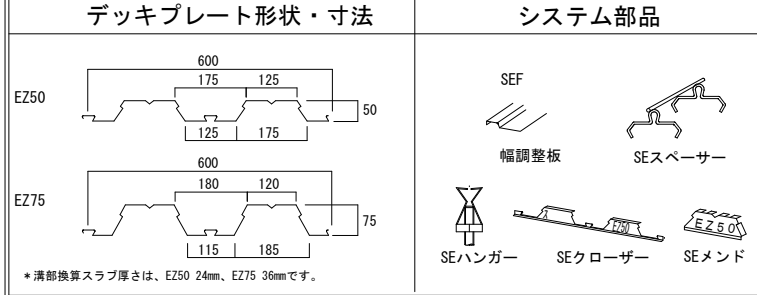
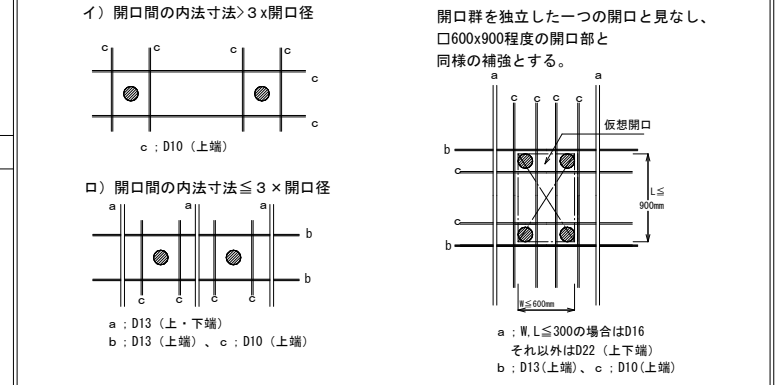
6. 開口部補強(例)



(A) 箱抜きの場合



(B) コンクリート打設前にデッキプレートを切断し、孔あけする場合



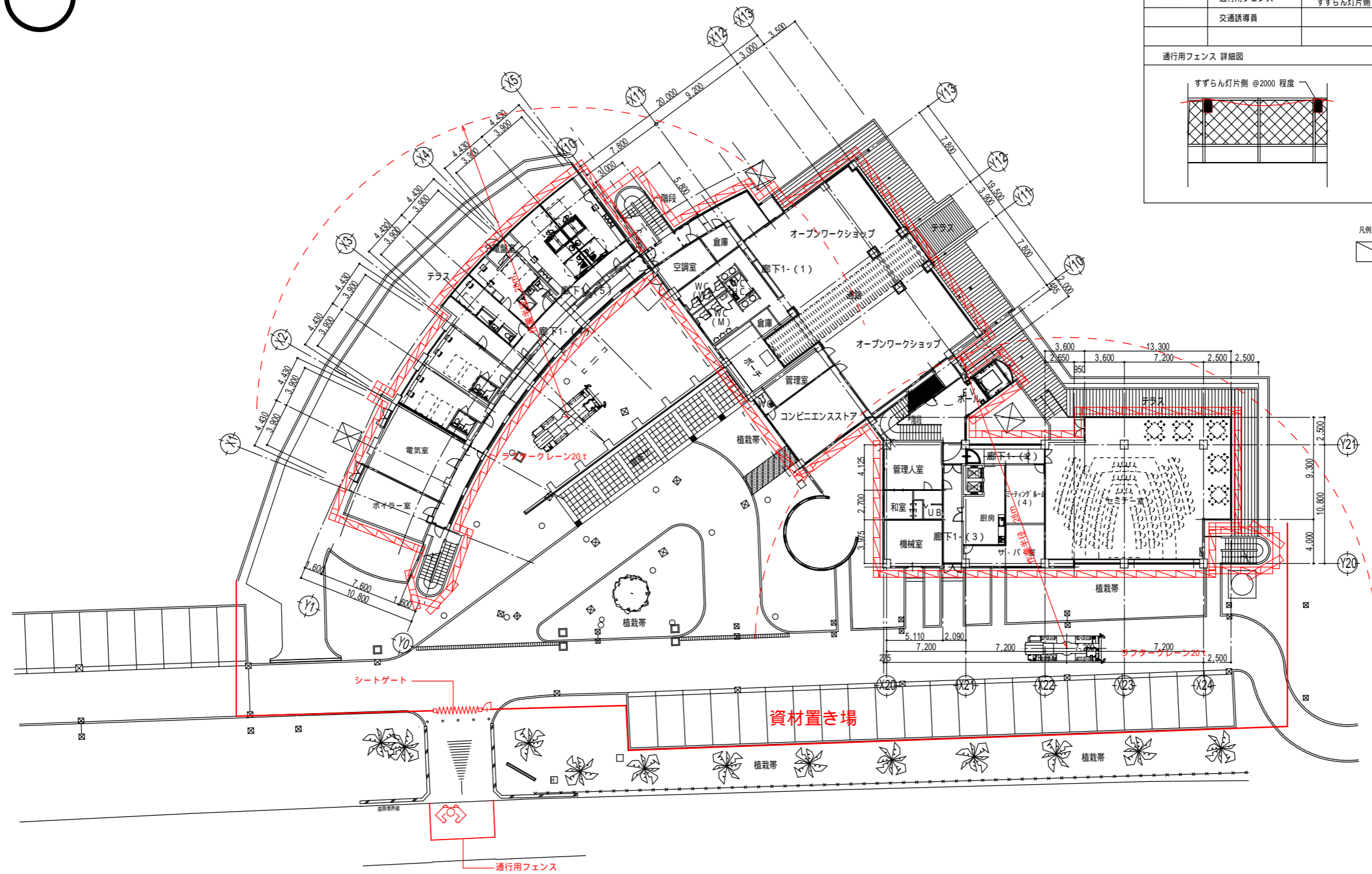
2. 耐火設計

Table detailing fire design specifications, including fire resistance ratings, support conditions, and material requirements.

Table detailing welding and reinforcement specifications, including deck plate width and length direction details.

Table detailing fire design specifications, including fire resistance ratings, support conditions, and material requirements.

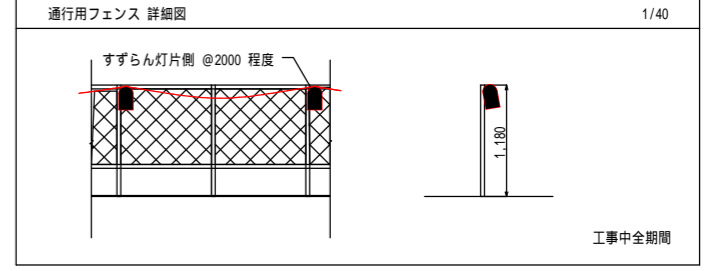
Table detailing fire design specifications, including fire resistance ratings, support conditions, and material requirements.



1階平面図 S = 1/200

仮設リスト

記号	名称	仕様	数量	設置期間
□□□□□□□□	シートゲート	W=6.0 x H=4.5m	1	9か月
—	仮囲い(成形鋼板)	H=2.0m	125m	9か月
□	通用口	W=0.9 x H=2.0m 鍵付	1	9か月
—	通用用フェンス	(プラスチックフェンスH=1180 すずらん灯片側 @2000 程度)	12.5m	9か月
	交通誘導員		常時1名	6.5か月+4人



凡例  

 材組本足場を示す  
 1階部分は#600、2-3階部分は#900とする

# 沖縄科学技術大学院大学シーサイドハウス改修工事

